

福井市



子ども・子育て支援に関する



ニーズ調査報告書

平成 31 年 3 月

福井市

目 次

第1章 調査概要

調査概要	2
------------	---

第2章 ニーズ調査結果

1. 地域について	4
2. 家族の状況について	5
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	8
4. 保護者の就労状況について	14
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について	21
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	27
7. 休日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	39
8. 病気の際の対応について	43
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	49
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	55
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	61
12. 子育てに関して感じること	70

第3章 意見・要望

1. 意見・要望欄への記載状況	74
2. 子ども・子育て支援に関する主な意見・要望等	74
3. 子ども・子育て支援に関する主な意見・要望等(抜粋)	75

第4章 調査票



第 1 章 調査概要



調査概要

- | | |
|---------|--|
| 1 調査名 | 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童） |
| 2 調査の目的 | 第二期「福井市子ども・子育て支援事業計画」のための基礎資料とするため、福井市における子育て支援施設の利用状況や今後の利用希望、子育てに関する意識などを把握する。 |
| 3 実施期間 | 平成 30 年 11 月 8 日～11 月 27 日 |
| 4 調査対象 | 平成 30 年 10 月 1 日現在、福井市に住民登録のある就学前児童の保護者 |
| 5 調査地域 | 福井市全域 |
| 6 標本数 | 2,000 人 |
| 7 抽出方法 | 無作為抽出（就学前児童の地区人口比率を考慮） |
| 8 調査方法 | 郵送配布、郵送回収 |
| 9 回収結果 | 配布数 2,000 通
回収数 958 通
回収率 47.9% |

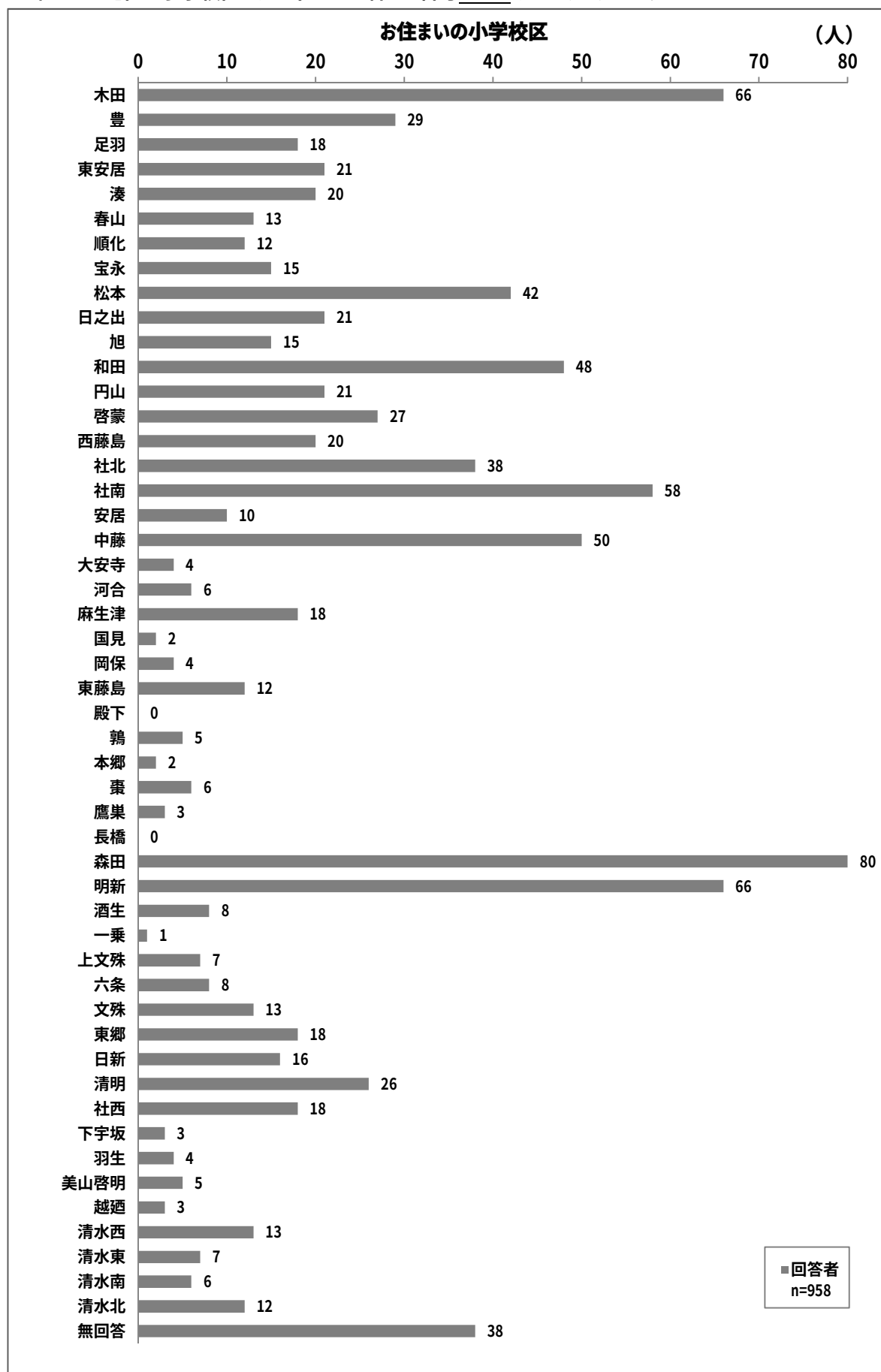


第2章 ニーズ調査結果



1. お住まいの地域についてうかがいます。

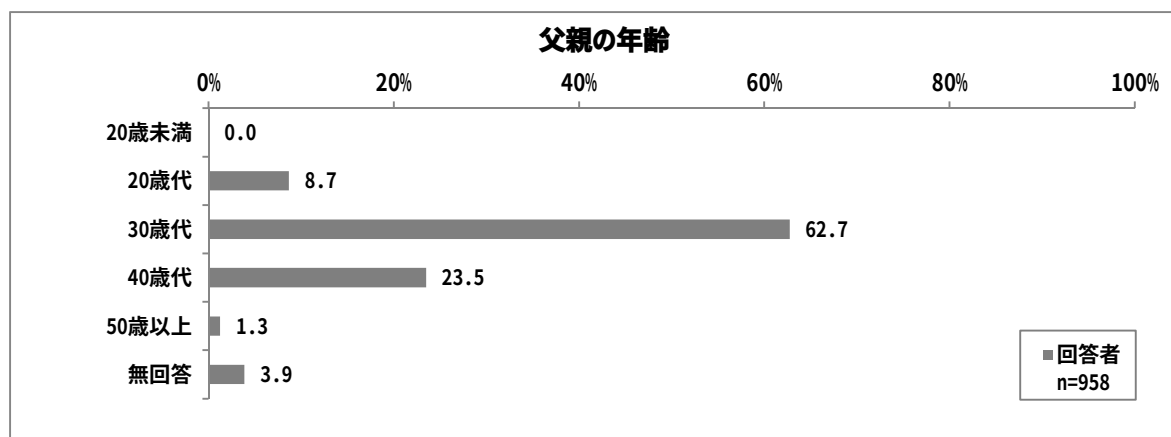
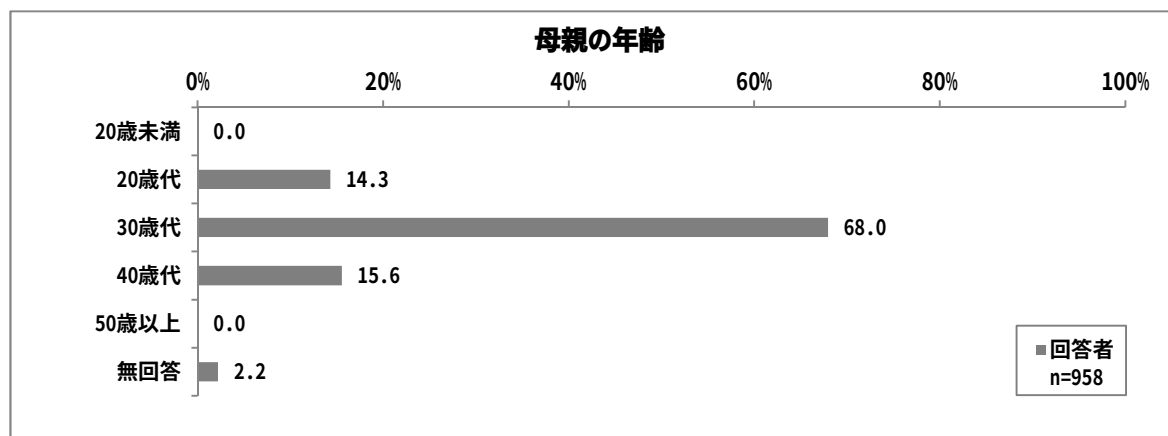
問1 お住まいの地区の小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。



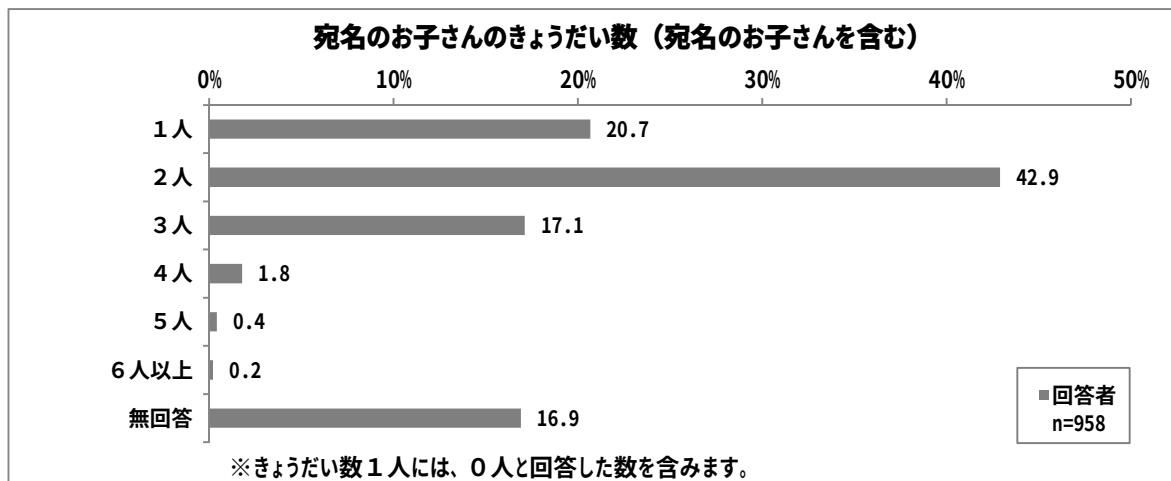
2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月と保護者の方の年齢（H30.4.1現在）をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	13	17	17	12	14	18	7	9	18	23	12	12	172
25年度	14	10	5	11	14	9	10	3	11	6	7	10	110
26年度	12	11	10	9	17	12	8	15	8	6	14	11	133
27年度	13	10	12	14	13	7	9	11	13	13	8	14	137
28年度	14	13	20	11	16	10	7	12	7	12	15	12	149
29年度	18	13	9	17	18	11	13	14	12	16	21	11	173
30年度	16	15	10	11	14	0	0	0	0	0	0	0	66
※無回答者													18



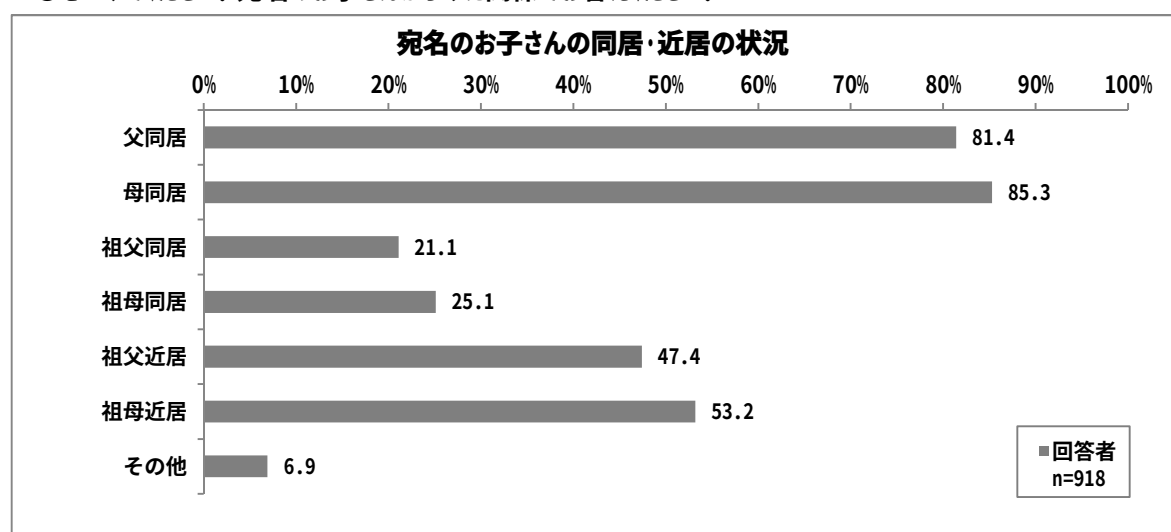
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。



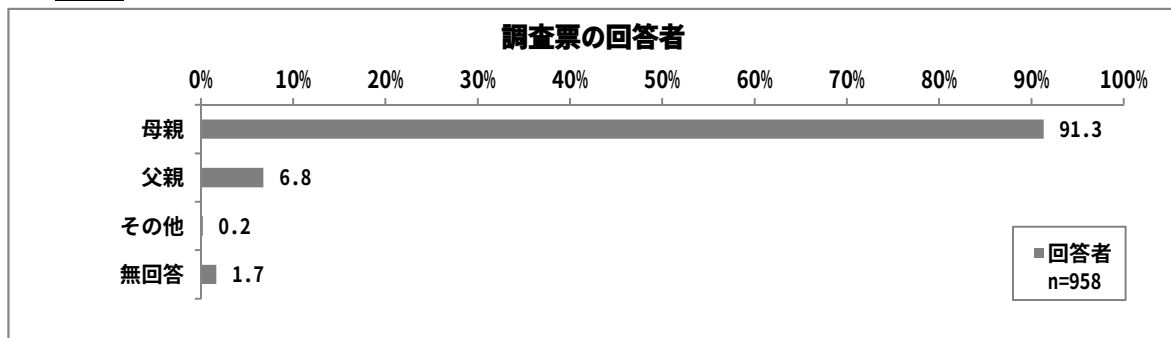
末子の生年月（お子さんが2人以上）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	0	0	0	2	0	1	0	1	2	1	0	0	7
25年度	4	4	3	6	5	2	4	1	2	1	2	3	37
26年度	4	7	3	4	7	8	2	5	4	6	6	4	60
27年度	6	4	9	10	7	7	9	9	5	6	8	9	89
28年度	6	10	13	9	10	9	11	14	9	8	11	6	116
29年度	12	14	11	14	12	17	18	17	11	15	13	13	167
30年度	12	15	11	8	17	9	3	3	1				79
無回答者 43人													
お子さんが2人以上の方のみ回答													598

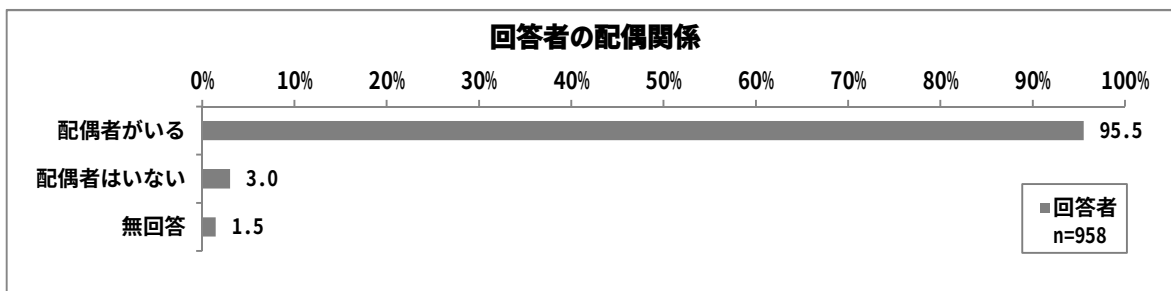
問4 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況について、当てはまるものすべてに○をつけてください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。



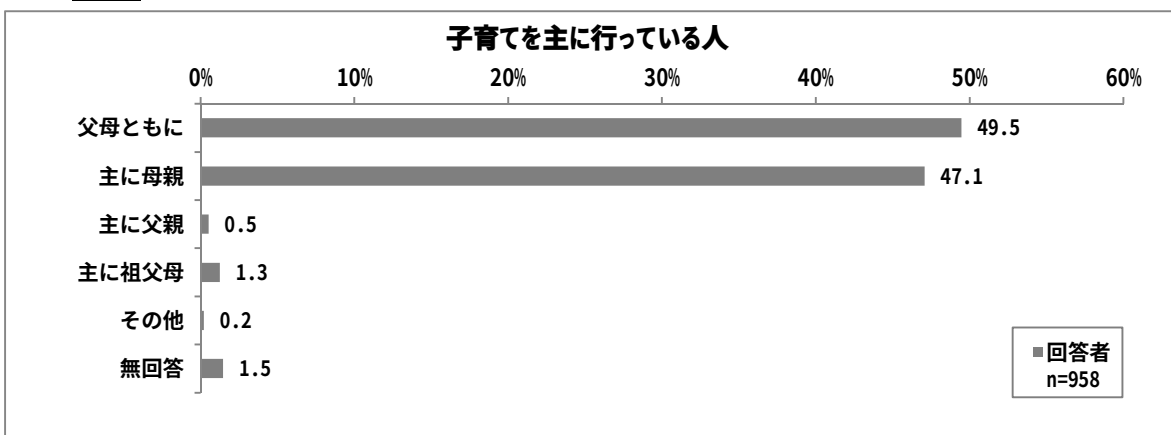
問5 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

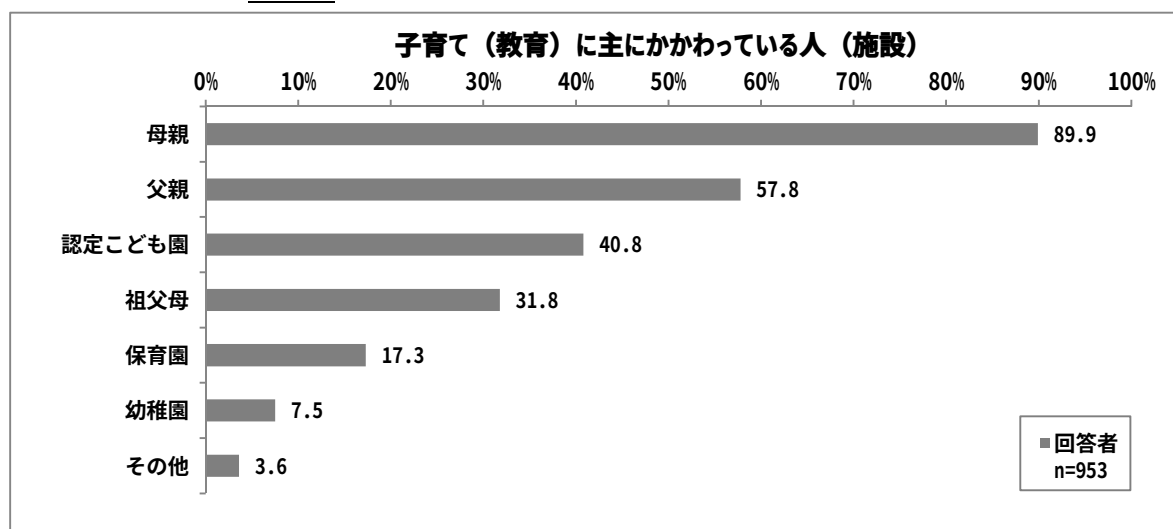


問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

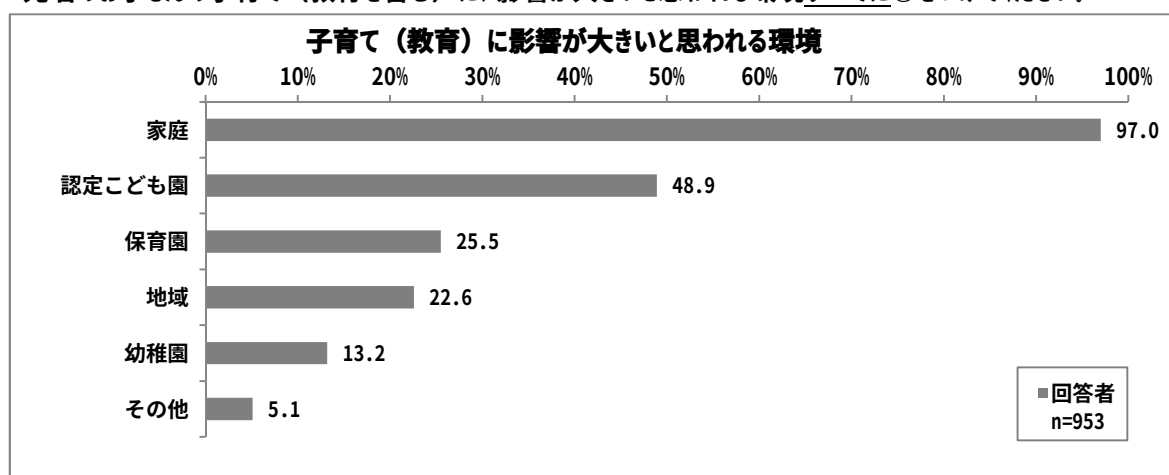


3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

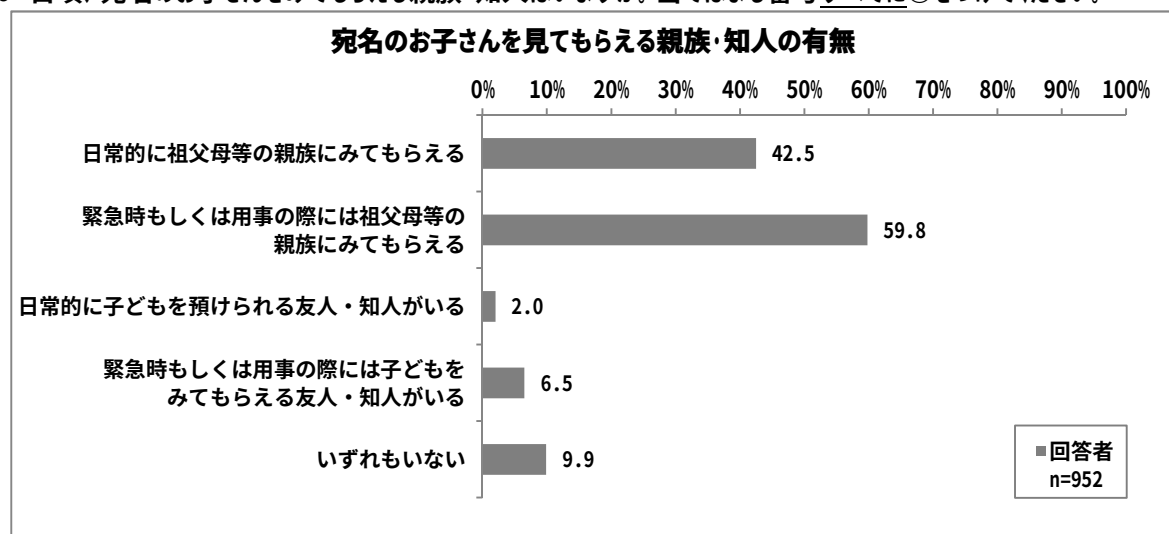
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



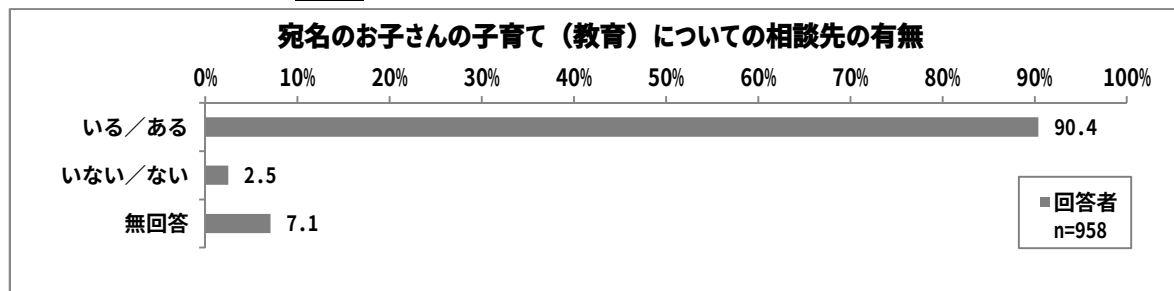
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響が大きいと思われる環境すべてに○をつけてください。



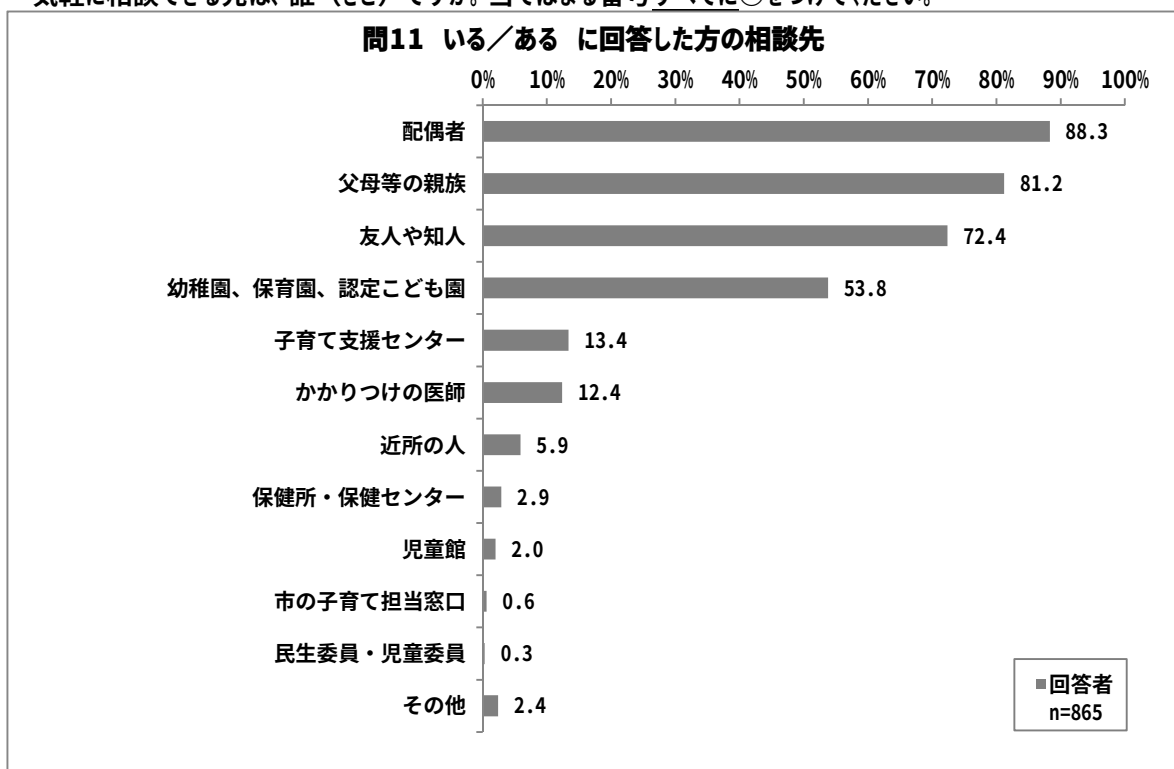
問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



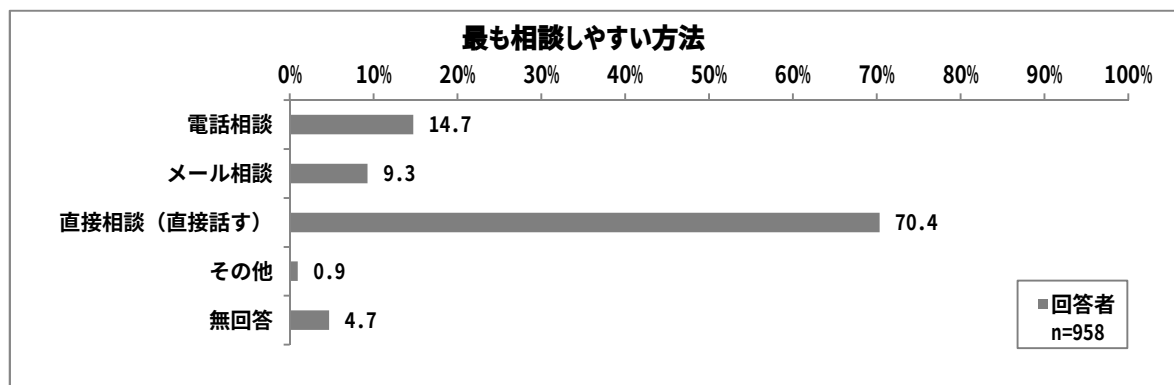
問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問11-1 問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関してあなたが気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

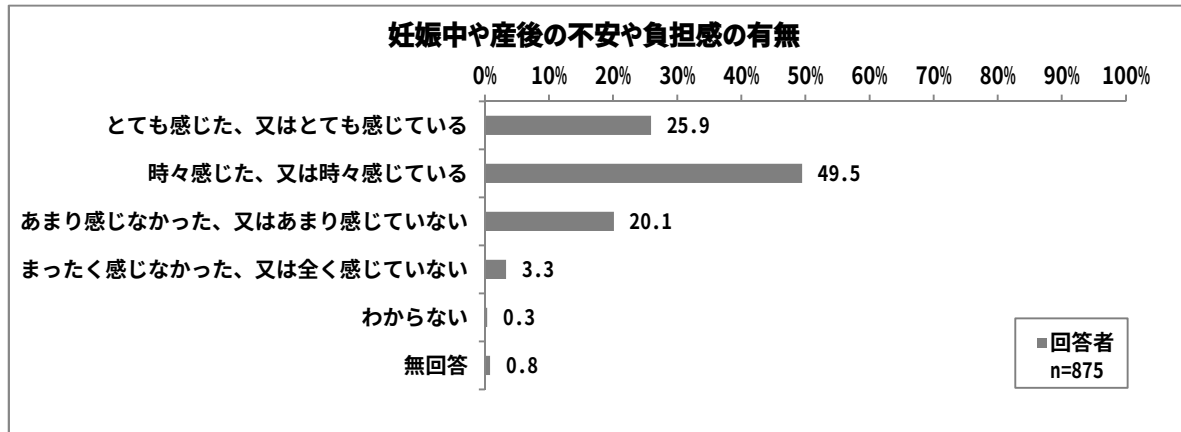


問12 すべての方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）について相談したいときに、どの方法が最も相談しやすいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

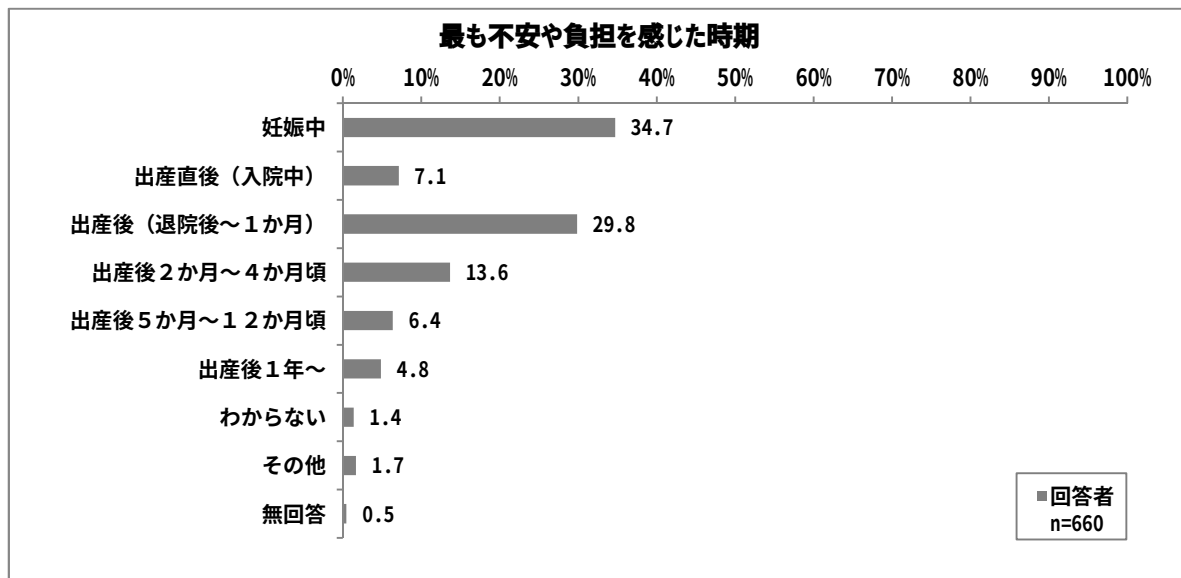


〔出産経験のある方にうかがいます。〕

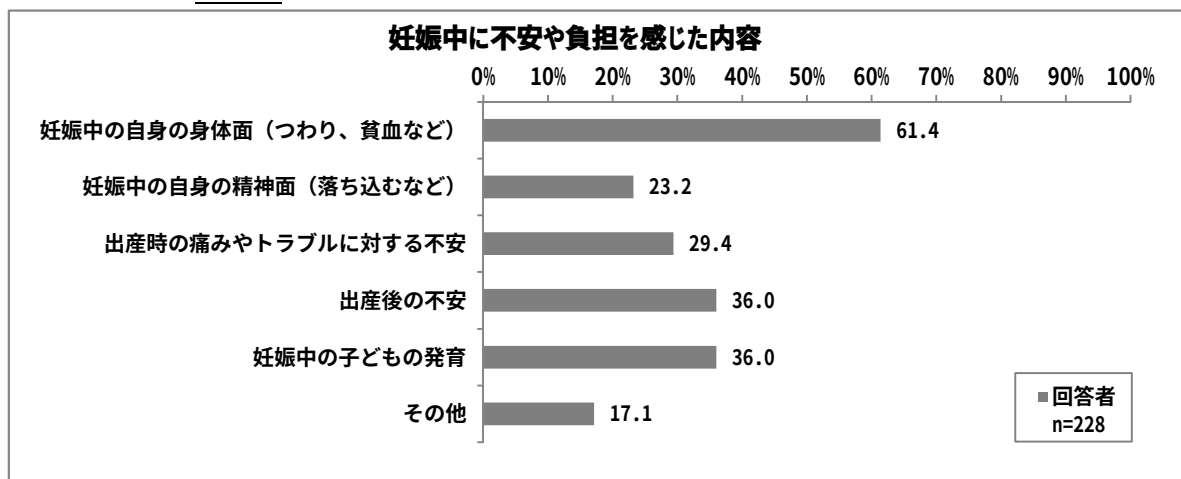
問13 あなたは、妊娠中や産後に不安や負担を感じましたか、又は感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



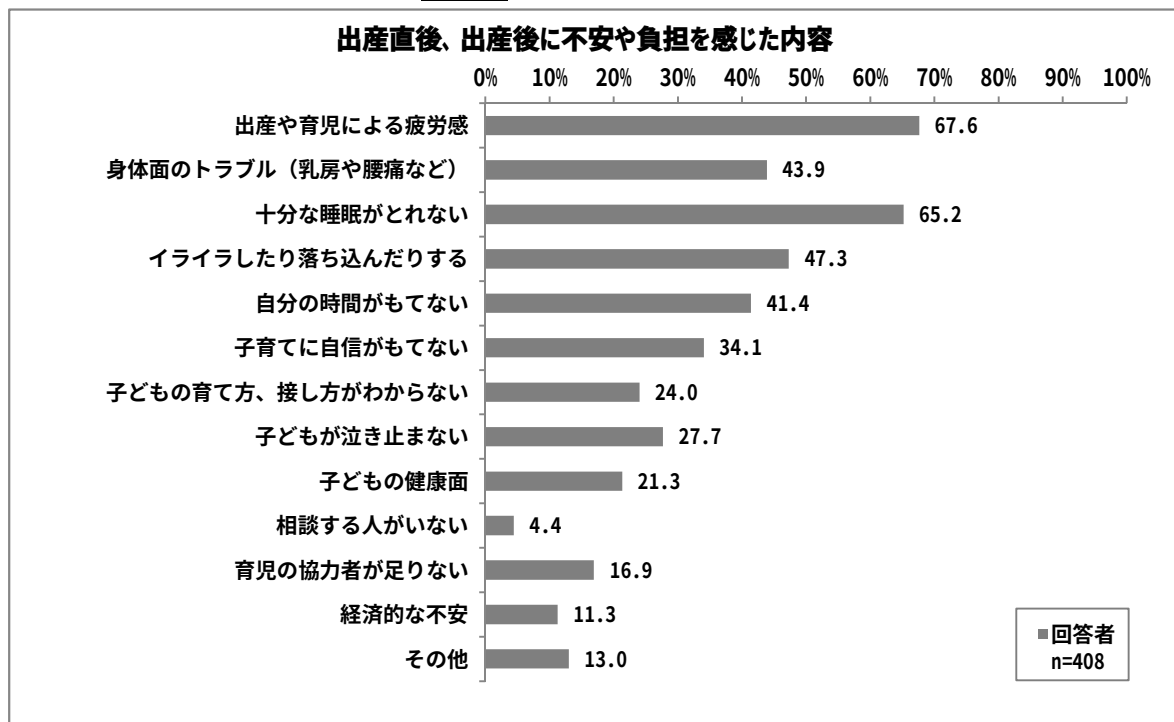
問13-1 問13で「1. とても感じた、又はとても感じている」、「2. 時々感じた、又は時々感じている」に○をつけた方にうかがいます。最も不安や負担を感じた、又は感じている時期はいつですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



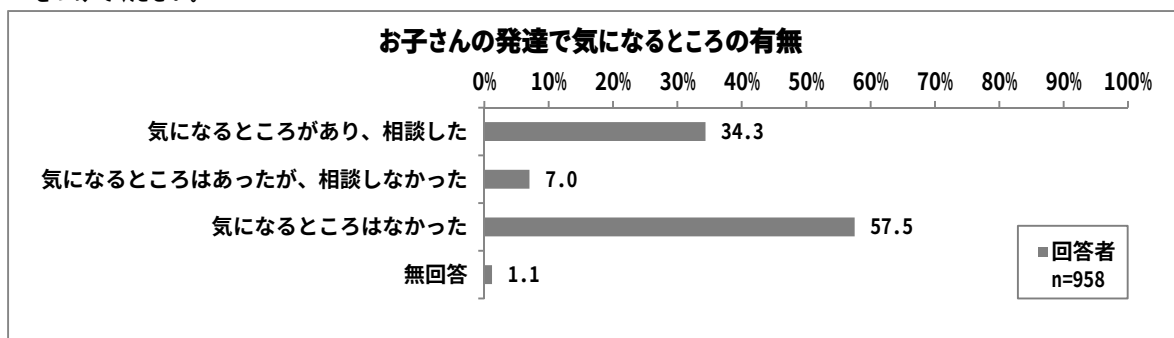
問13-2 問13-1で「1. 妊娠中」に○をつけた方にうかがいます。不安や負担を感じた内容についてお答えください。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。



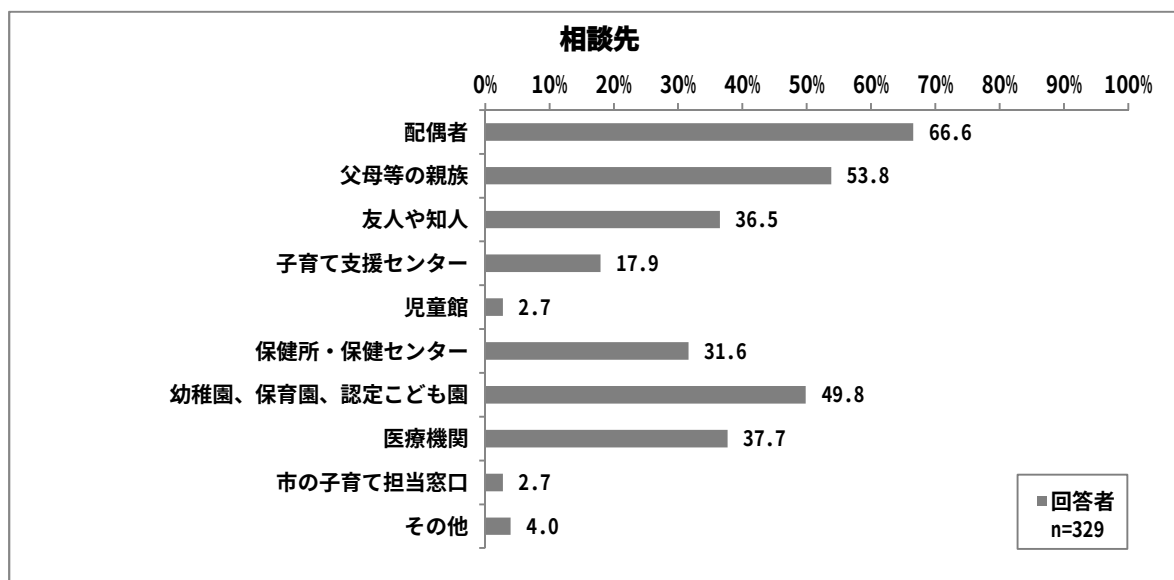
問13-3 問13-1で「2. ～6.」（出産直後、出産後）に○をつけた方にうかがいます。不安や負担を感じた内容についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



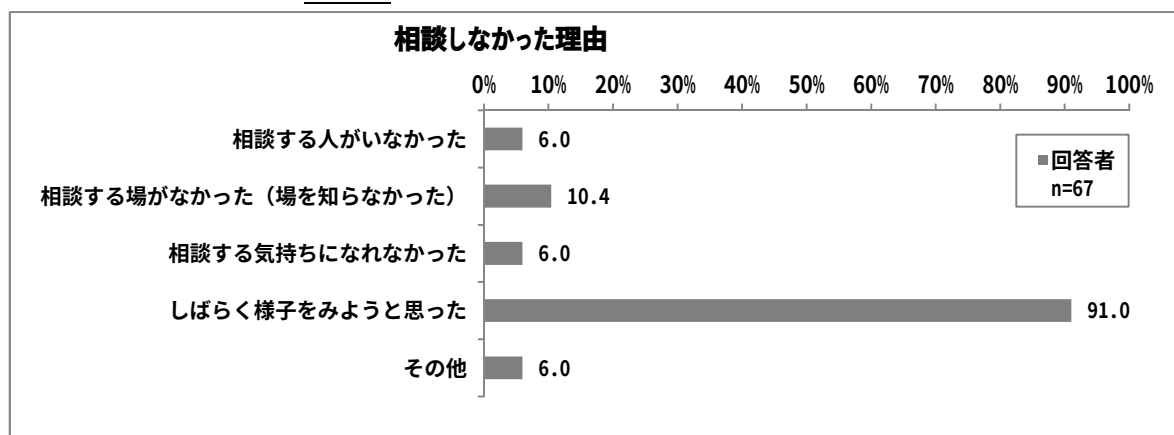
問14 お子さんの発達（ことばや行動）で気になるところ（気になっていたところ）はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



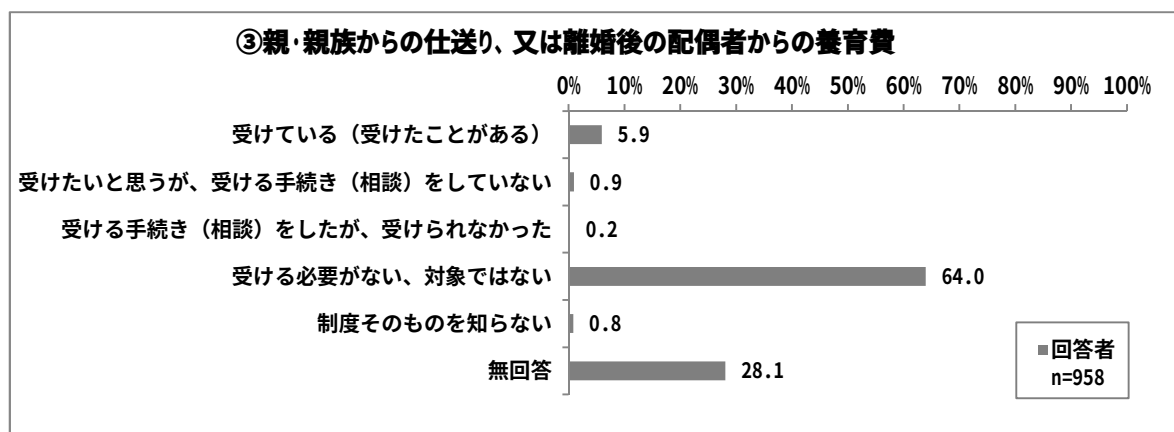
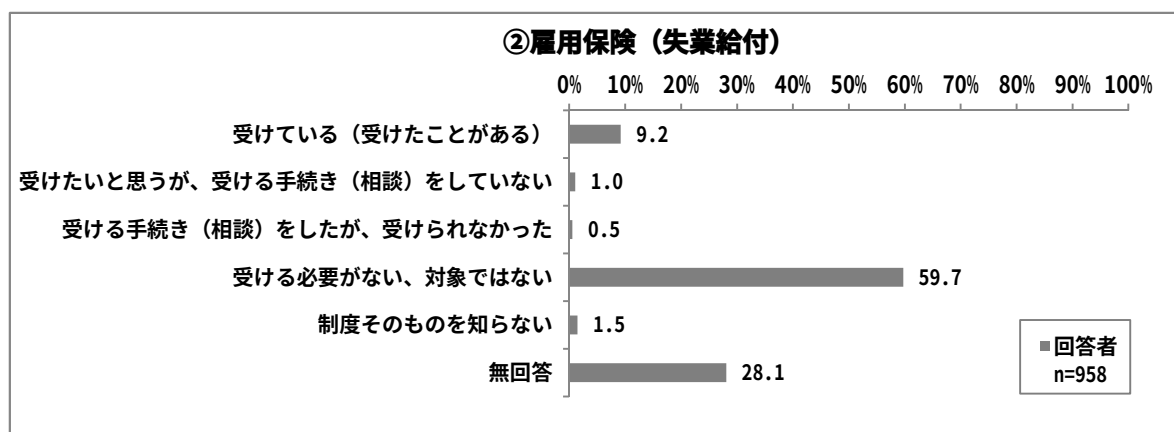
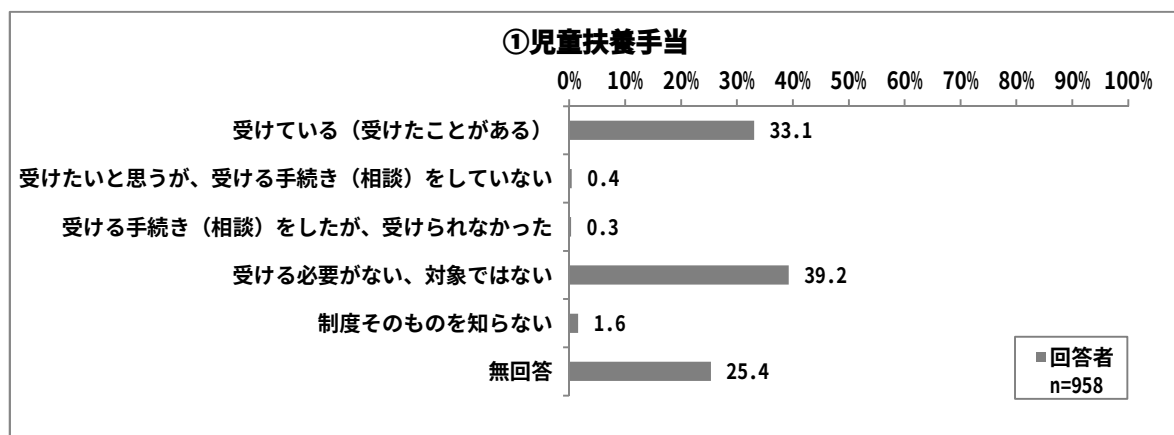
問14-1 問14で「1. 気になるところがあり、相談した」に○をつけた方にうかがいます。あなたは誰（どこ）に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



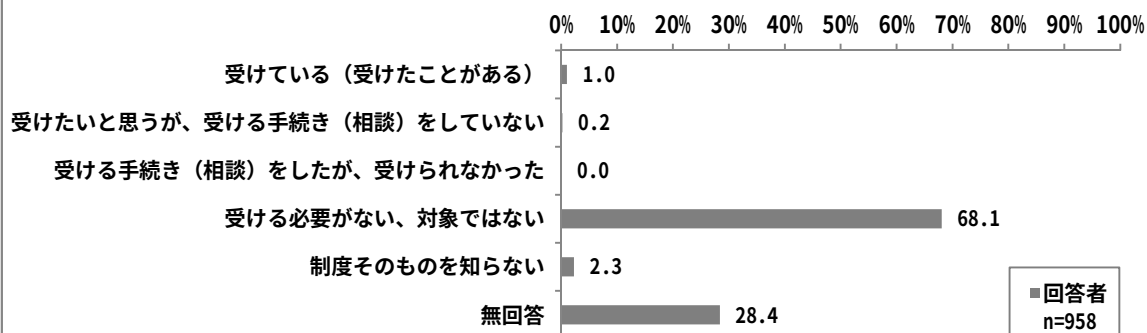
問14-2 問14で「2. 気になるところはあったが、相談しなかった」に○をつけた方にうかがいます。相談しなかったのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



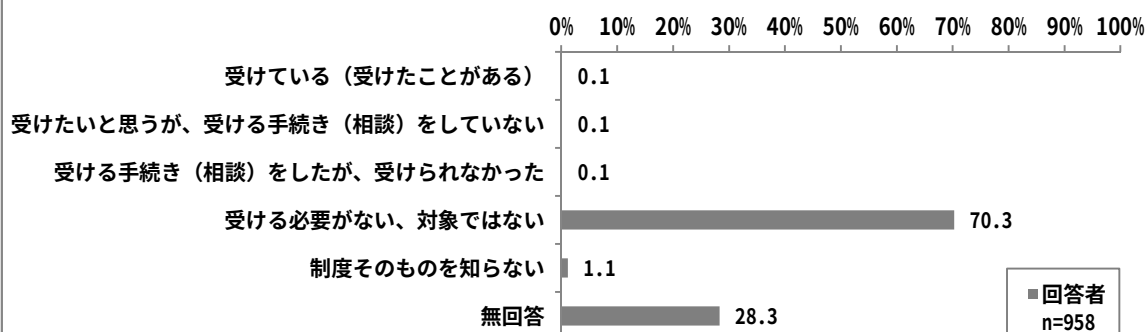
問15 宛名のお子さんのいる家庭で、過去1年間、以下の①～⑥の手当や援助などを受けたことがありますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。



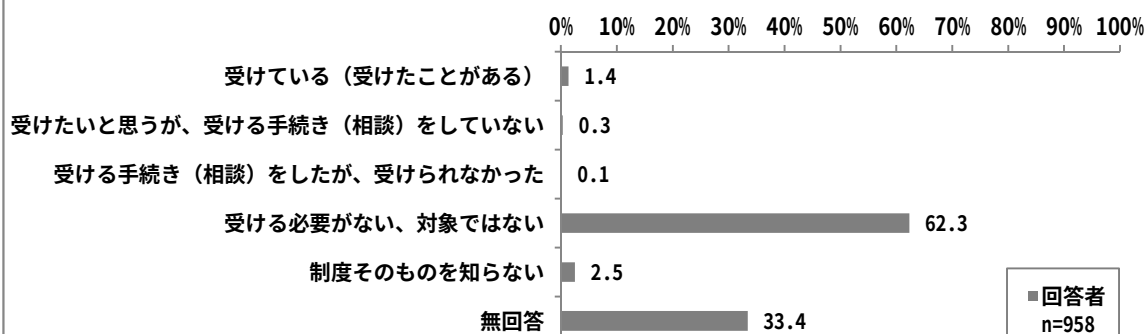
④公的年金（老齢年金、遺族年金、障害年金）



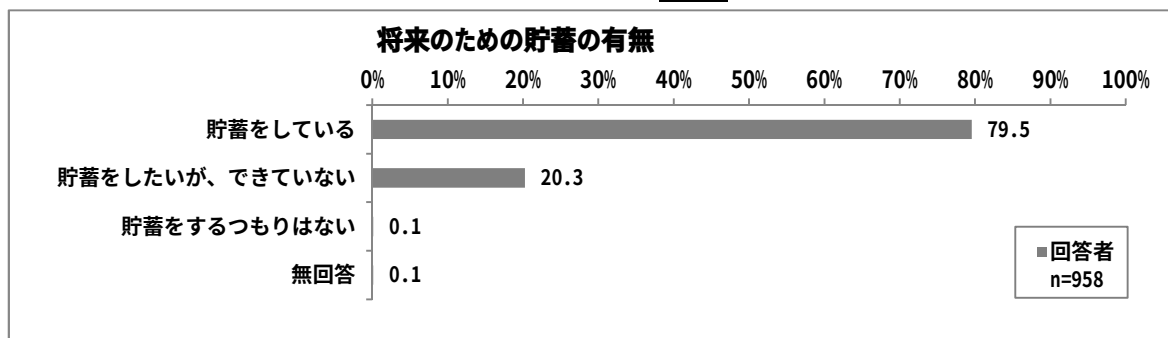
⑤生活保護



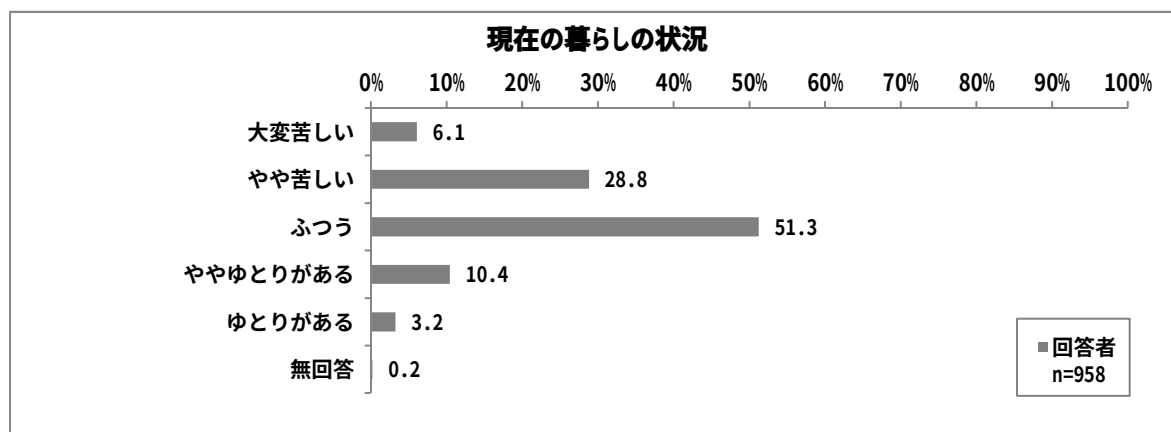
⑥（就学しているお子さんがいる場合）就学援助・高校授業料免除・奨学金



問16 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



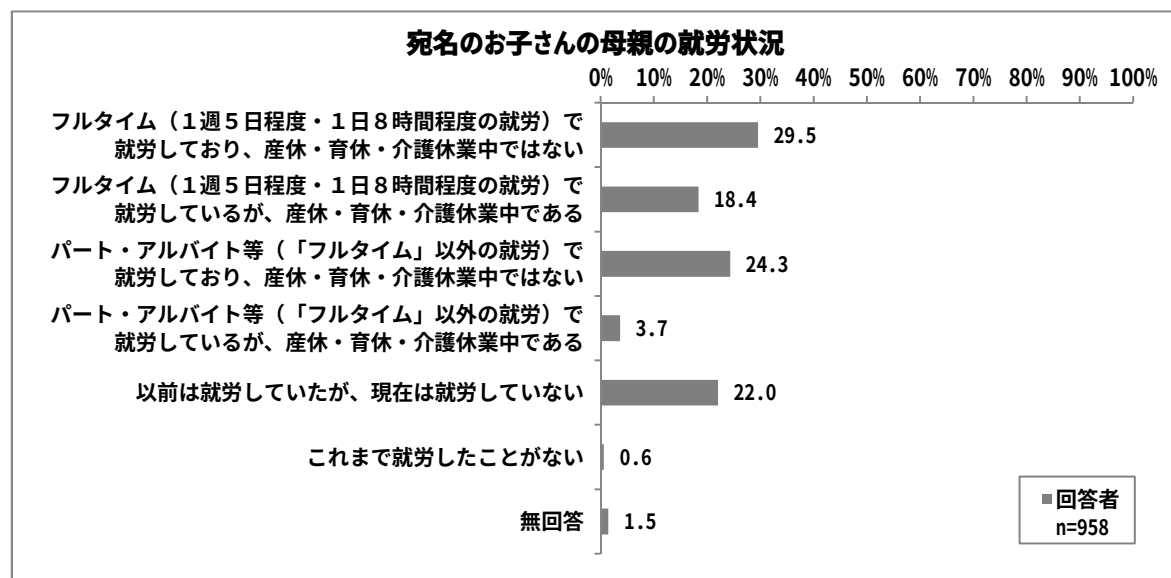
問17 あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



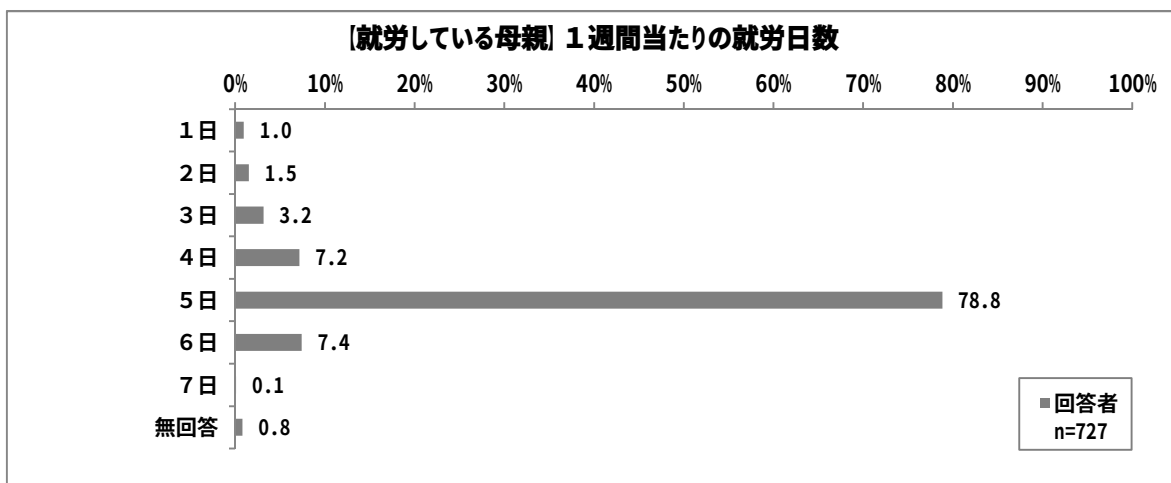
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

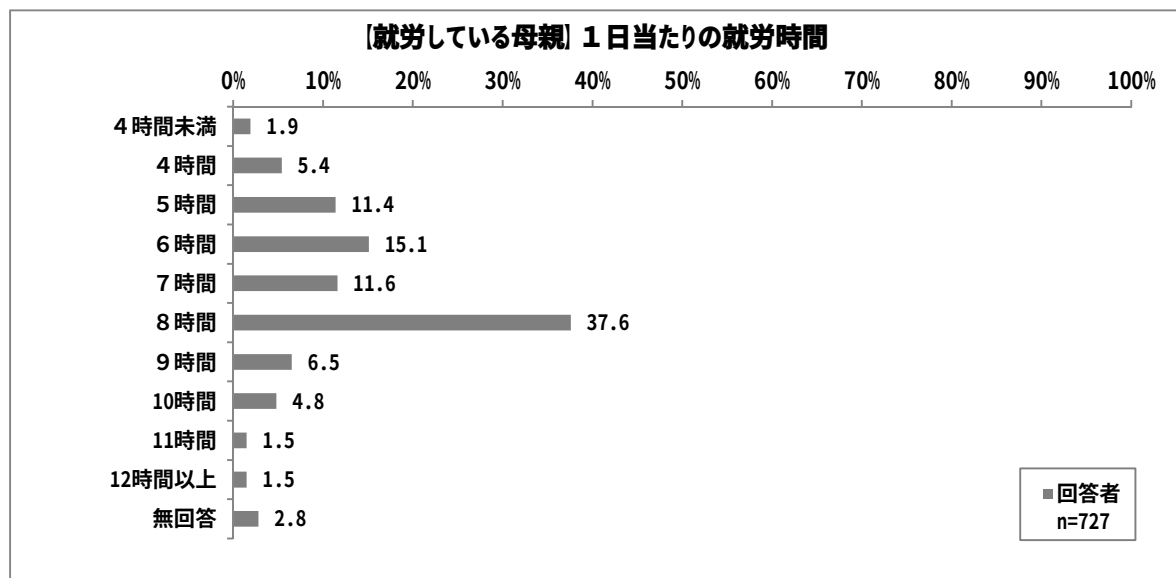
問18 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母 親 [父子家庭の場合は記入は不要です] 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



（1） -1 （1）で「1. ～ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間を除く、残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

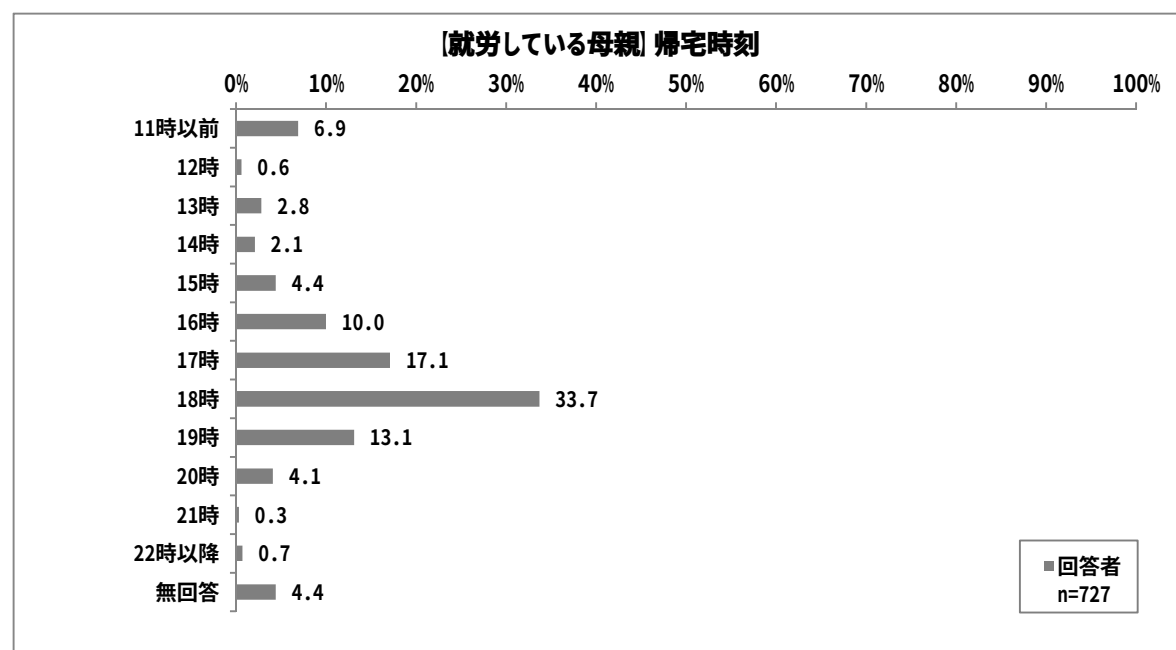
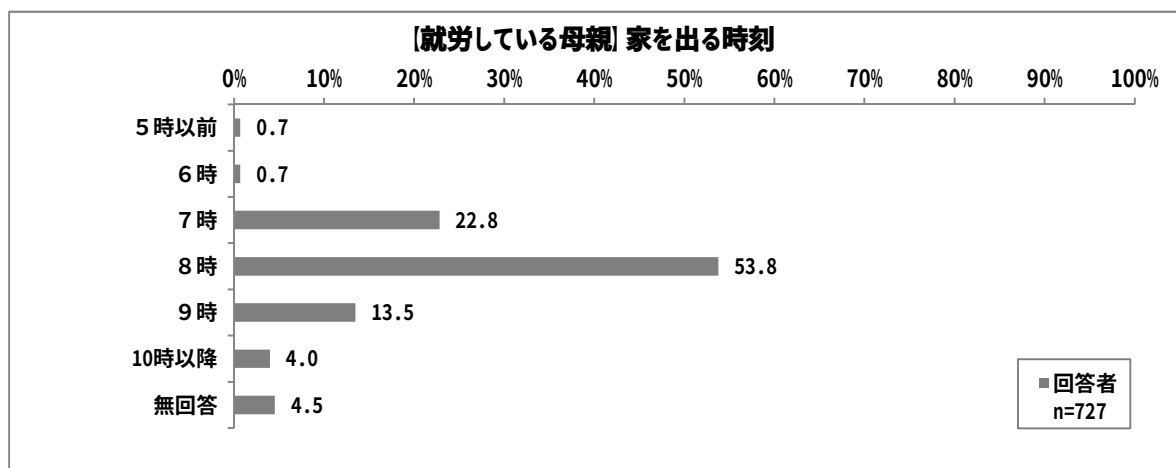




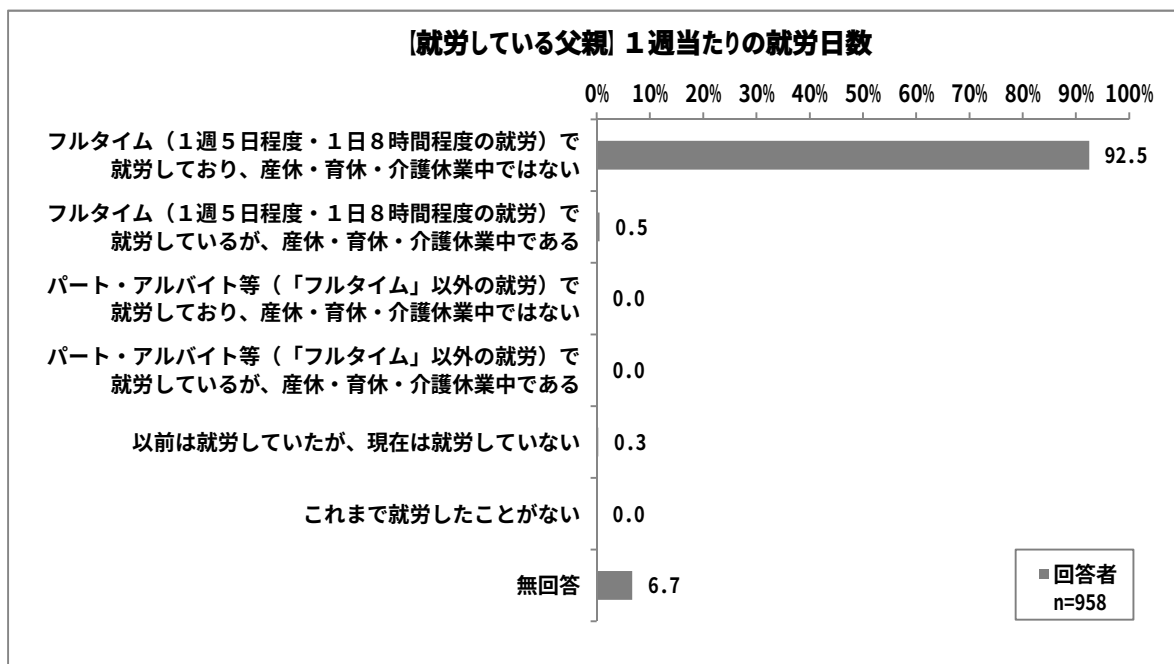
- (1) -2 (1) で「1. ～ 4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 0 8 時～1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

(例) 7 時～7 時 2 9 分の場合⇒0 7 時と回答してください。

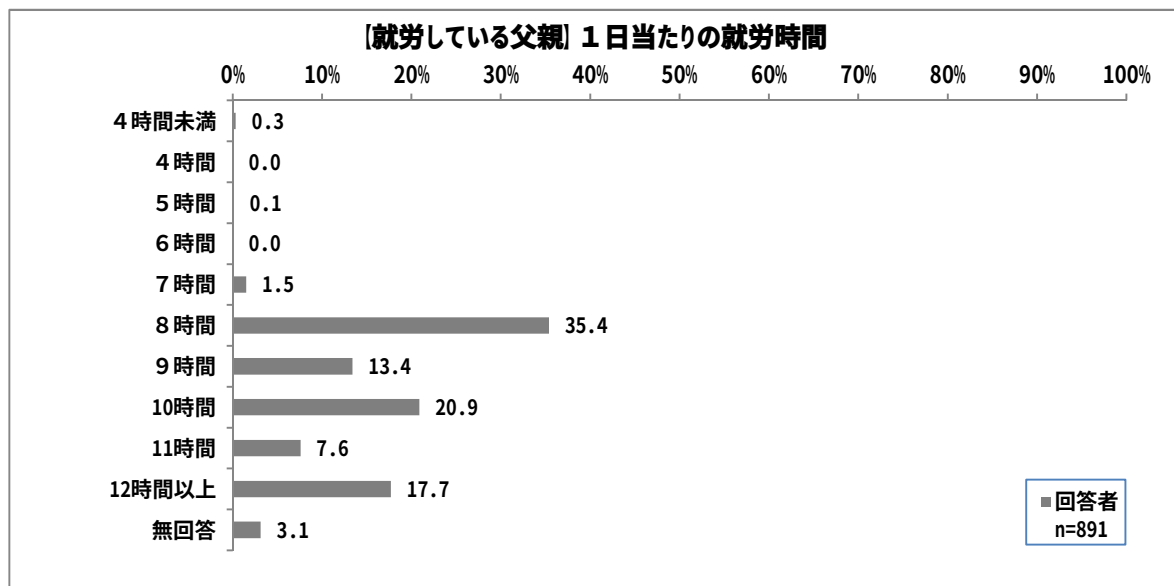
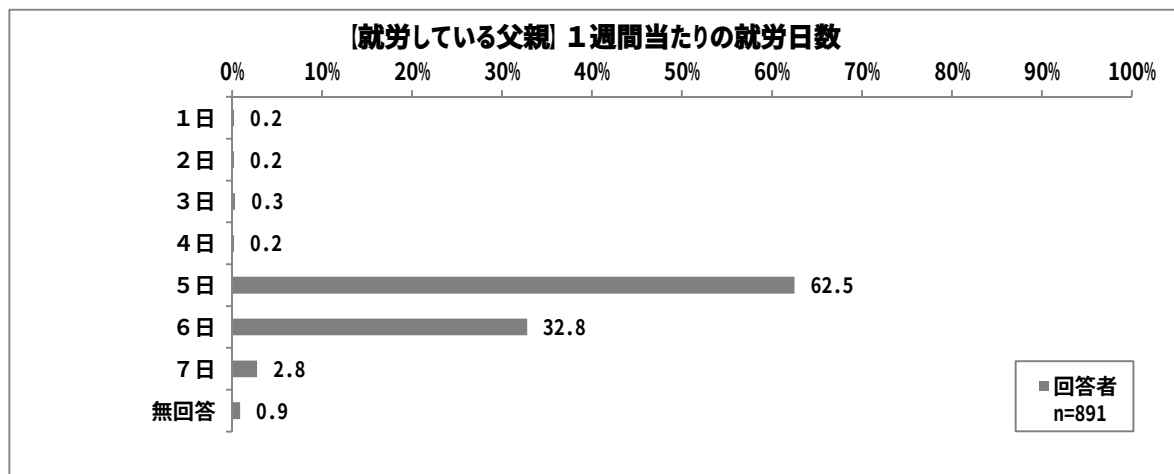
7 時 3 0 分～8 時の場合⇒0 8 時と回答してください。



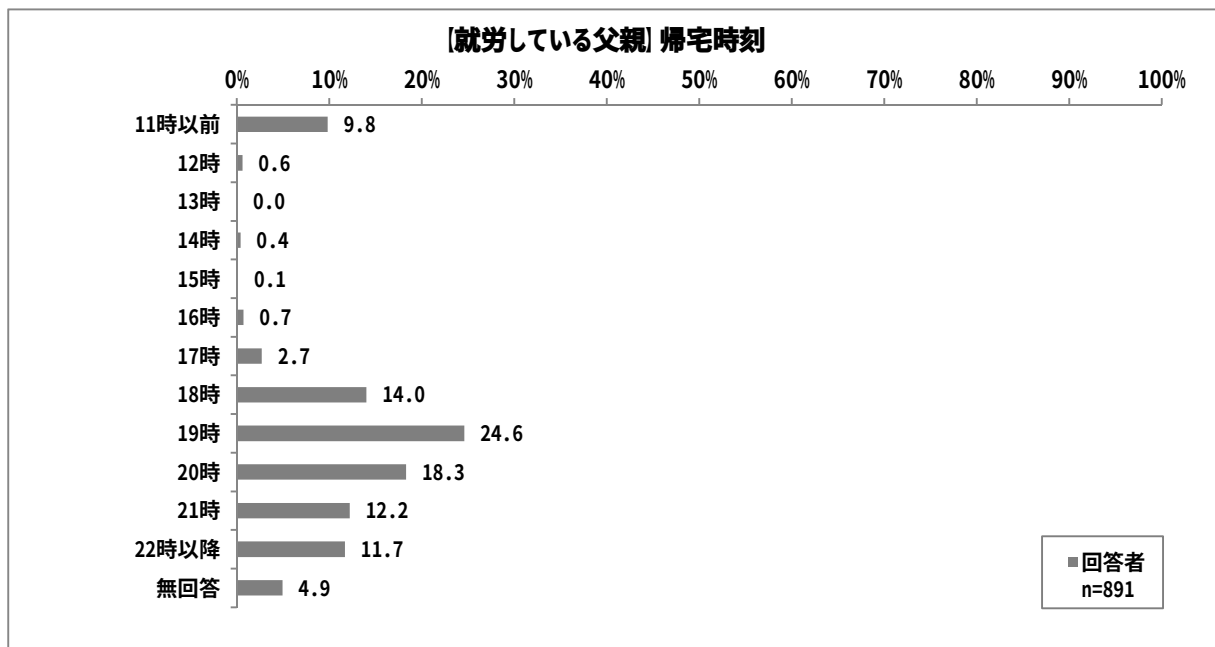
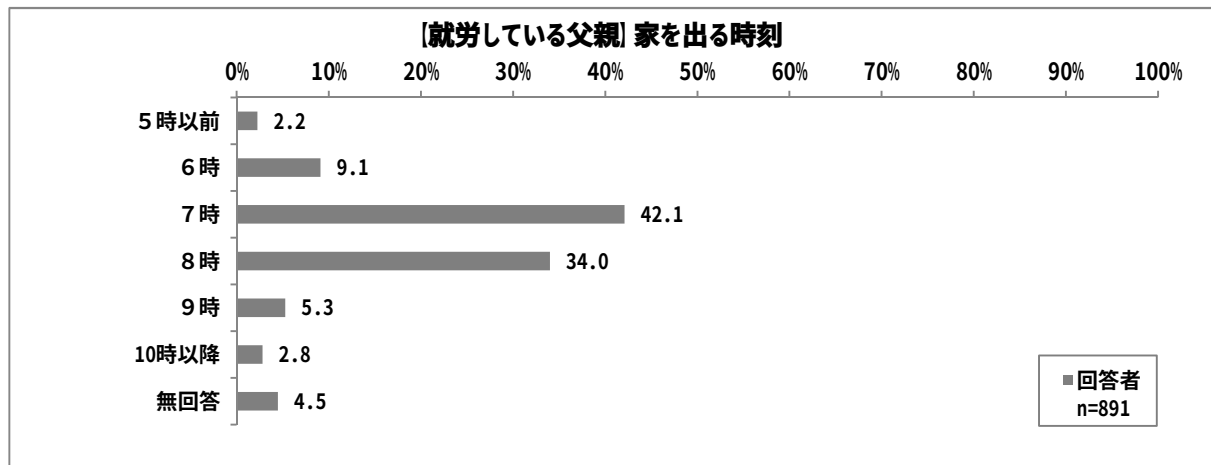
(2) 父 親 [母子家庭の場合は記入は不要です] 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



(2) -1 (2) で「1. ～ 4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間を除く、残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

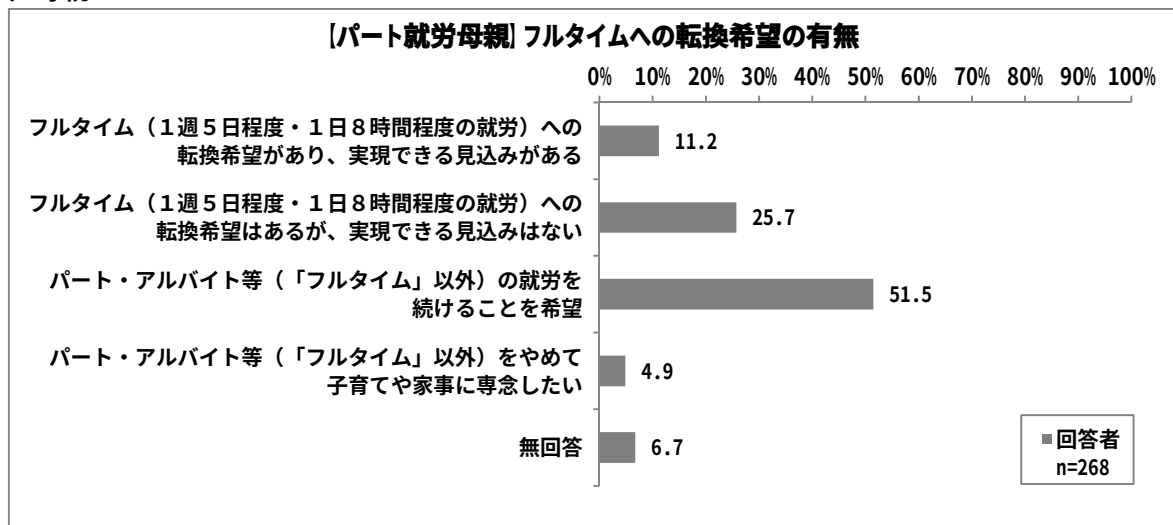


- (2) -2 (2) で「1. ～ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 0 8 時～1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)
- (例) 7 時～7 時 2 9 分の場合⇒0 7 時と回答してください。
- 7 時 3 0 分～8 時の場合⇒0 8 時と回答してください。

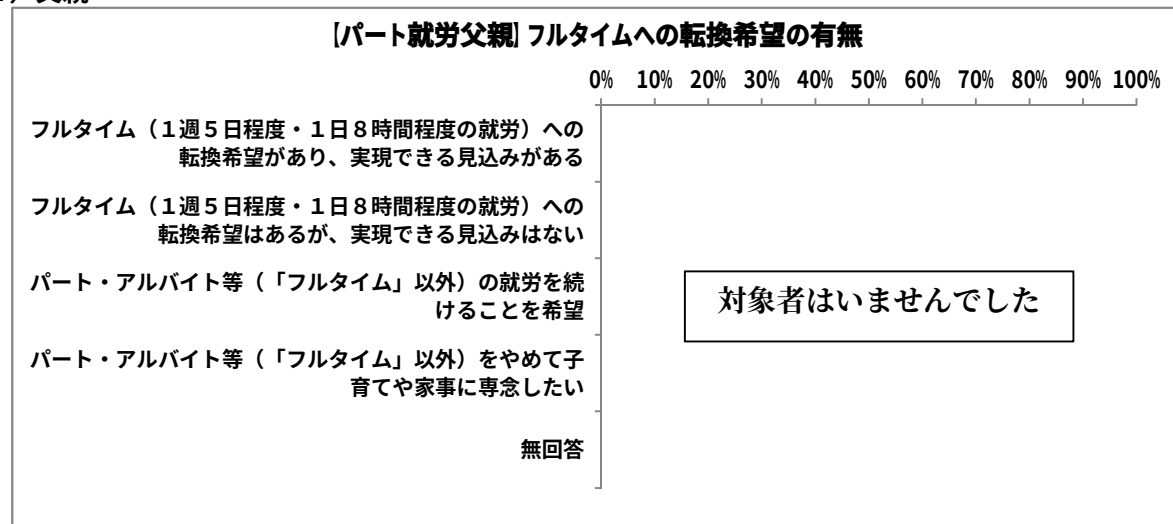


問19 問18の（１）または（２）で、「３．４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問20へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（１）母親

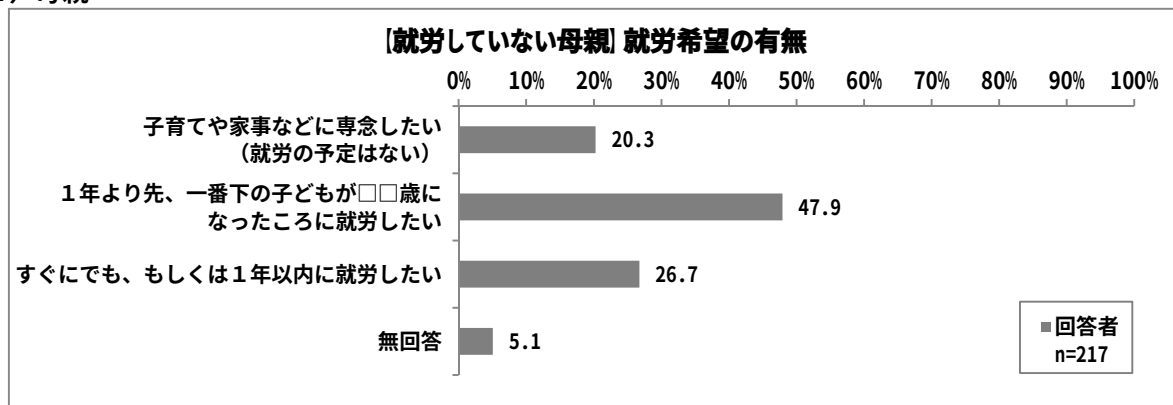


（２）父親

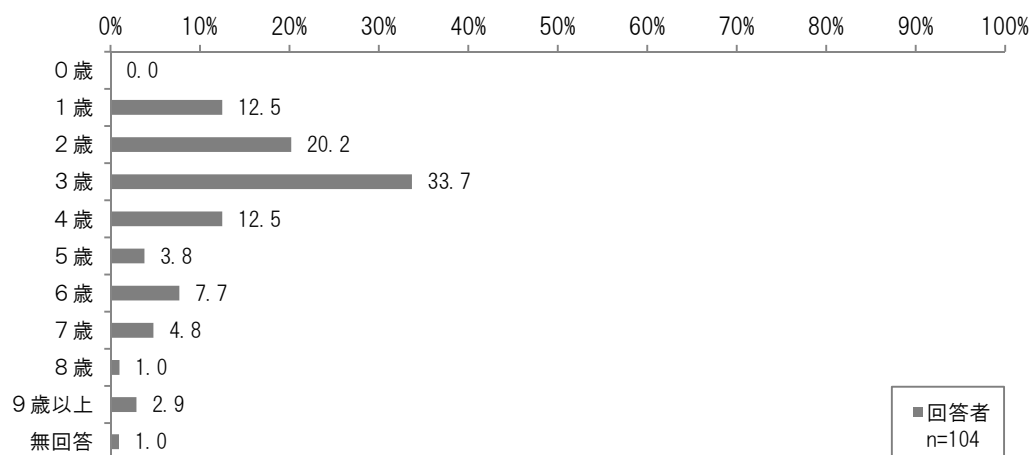


問20 問18の（１）または（２）で、「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号 それぞれ1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

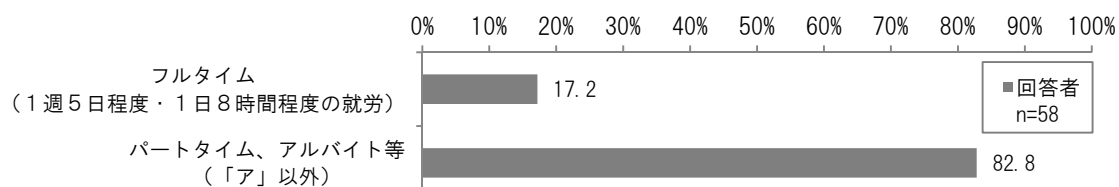
（１）母親



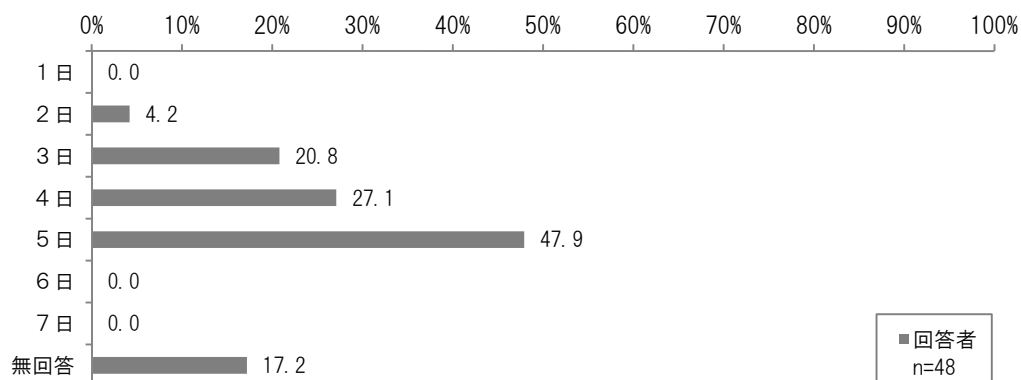
【就労していない母親】就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢



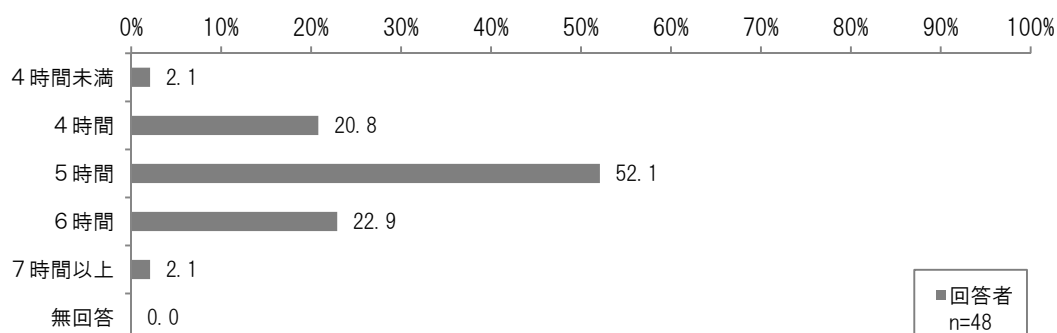
【就労していない母親】1年以内に就労を希望する場合の就労形態



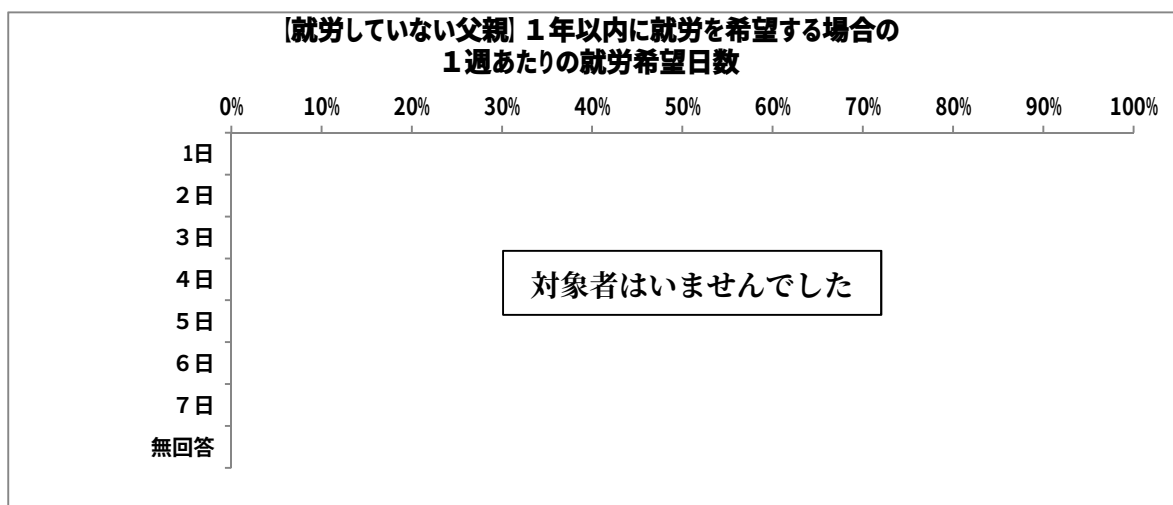
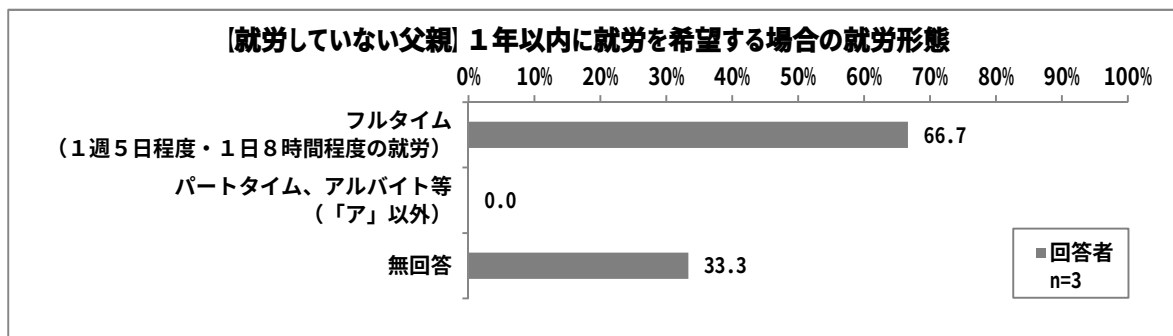
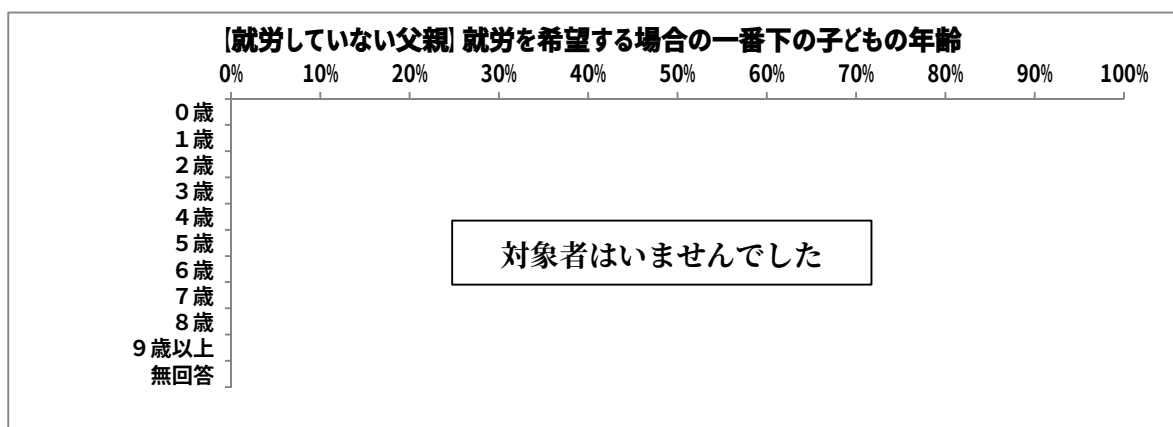
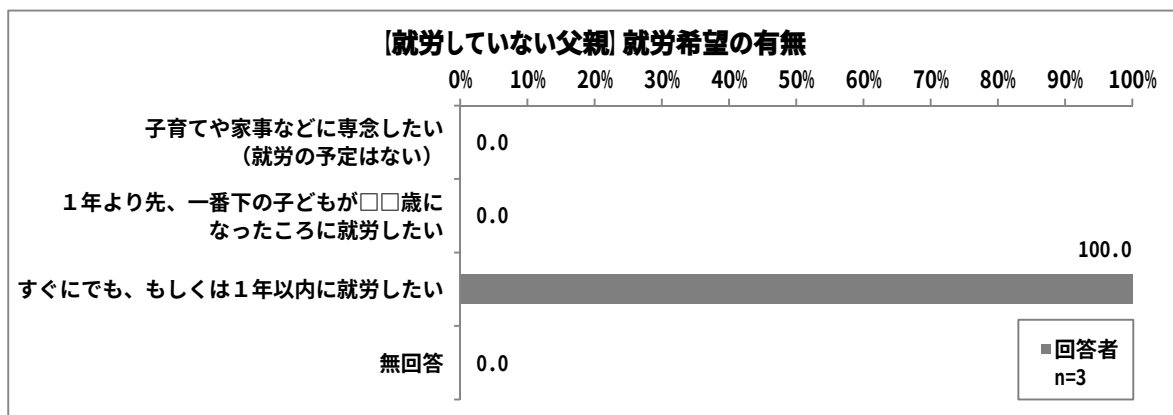
【就労していない母親】1年以内に就労を希望する場合の
1週あたりの就労希望日数

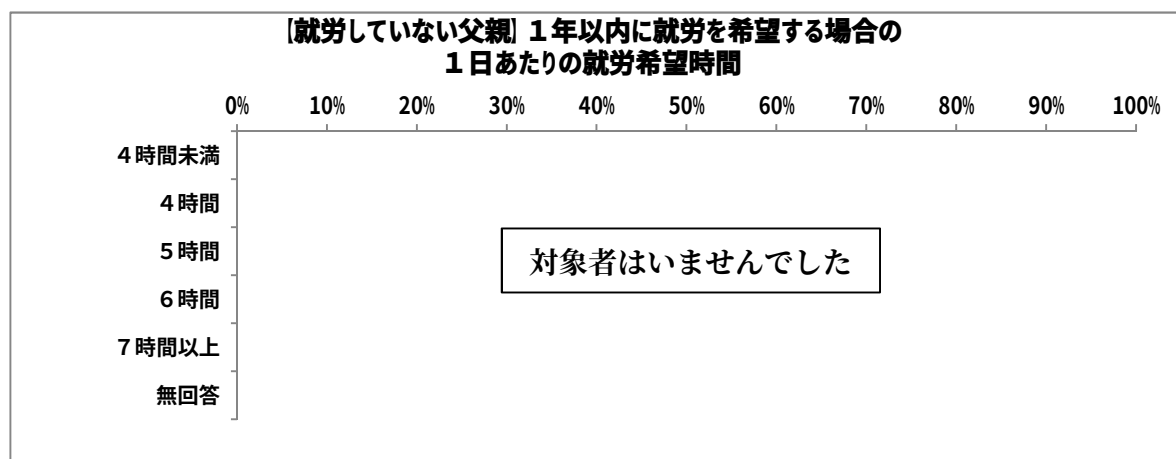


【就労していない母親】1年以内に就労を希望する場合の
1日あたりの就労希望時間



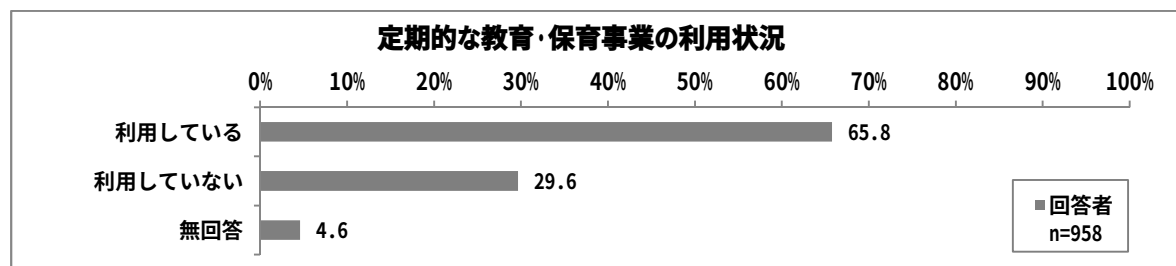
(2) 父親



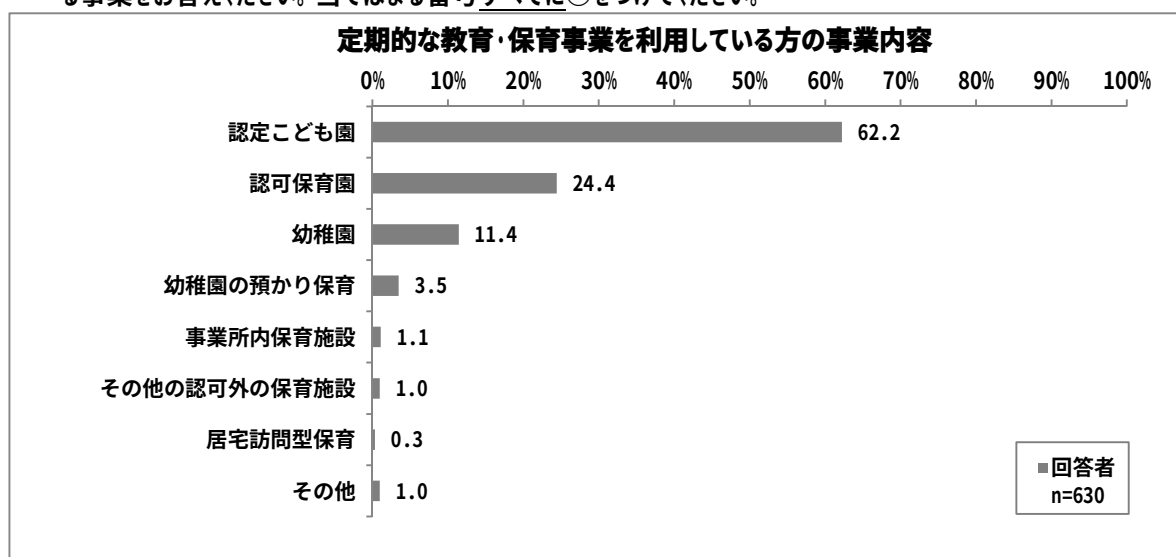


5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

問21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園、認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

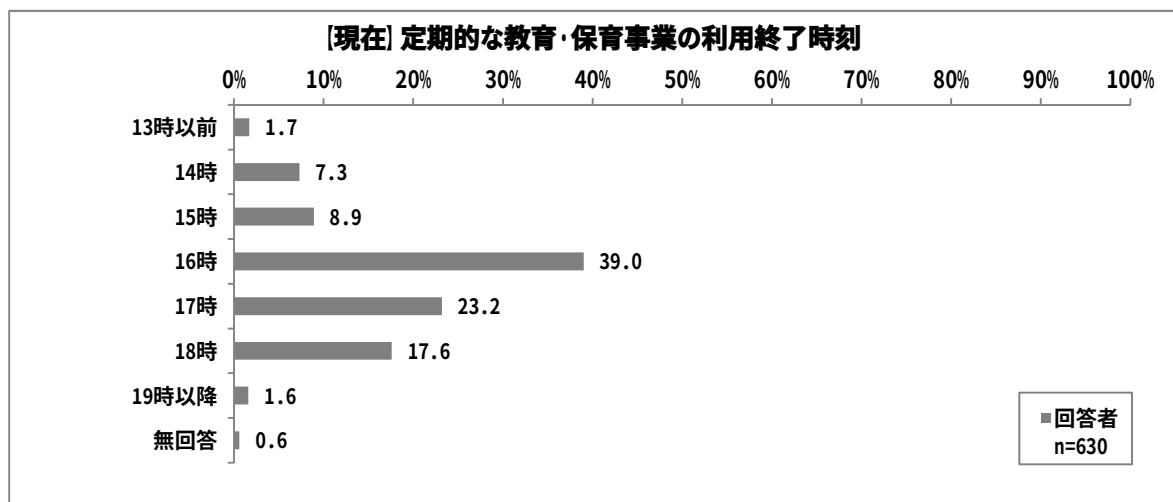
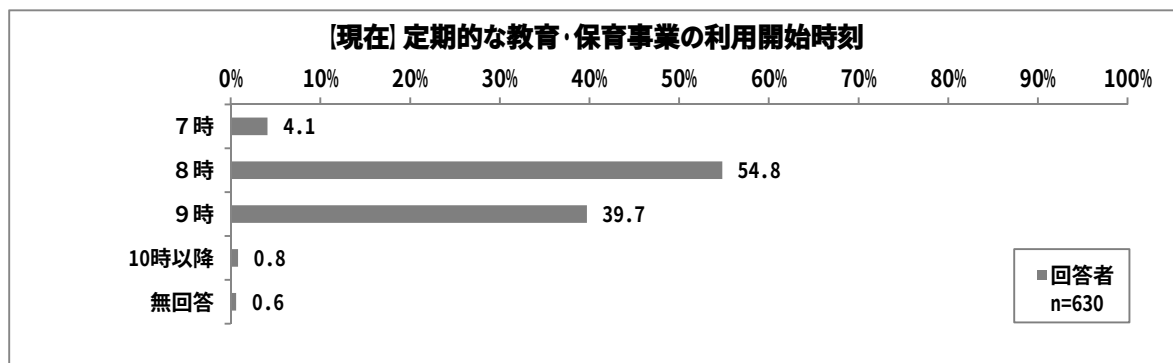
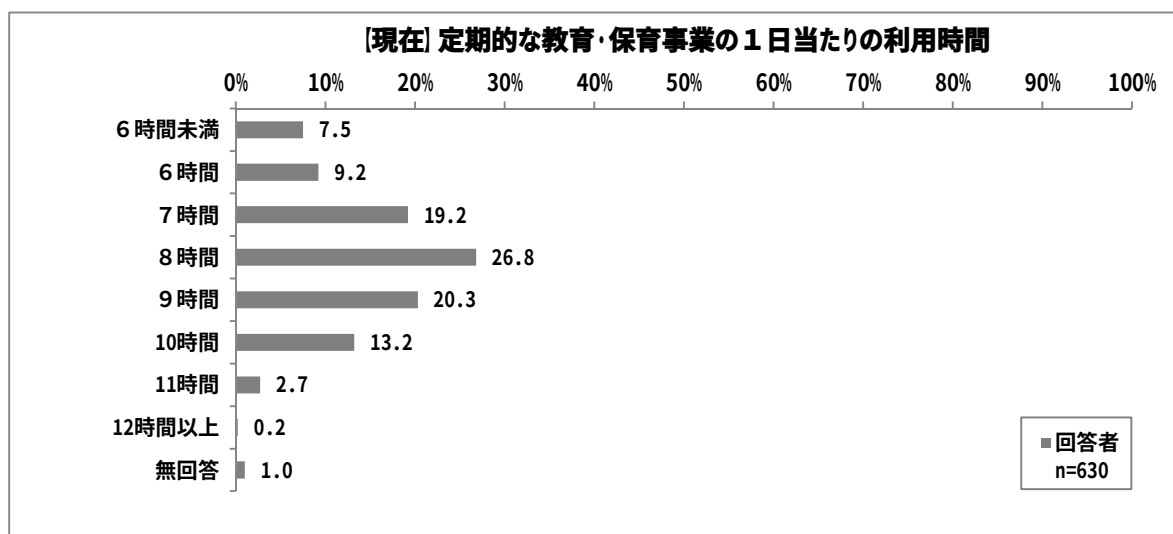
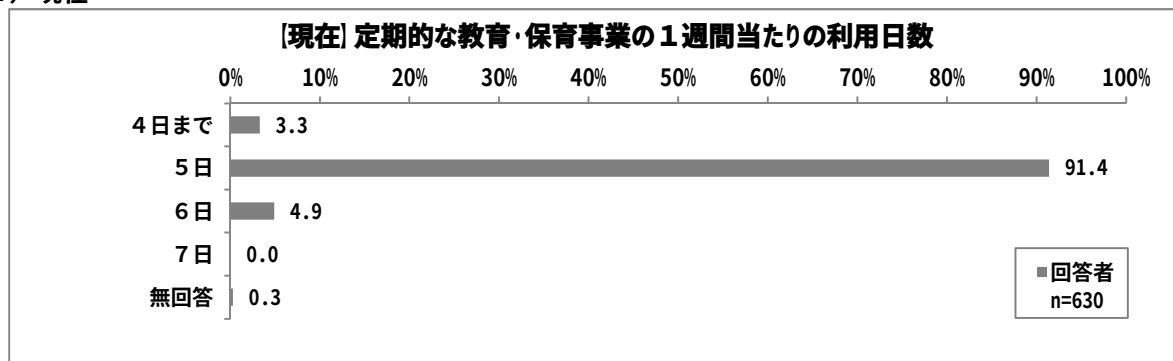


問21-1 問21-1～問21-4は、問21で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号 すべてに ○をつけてください。

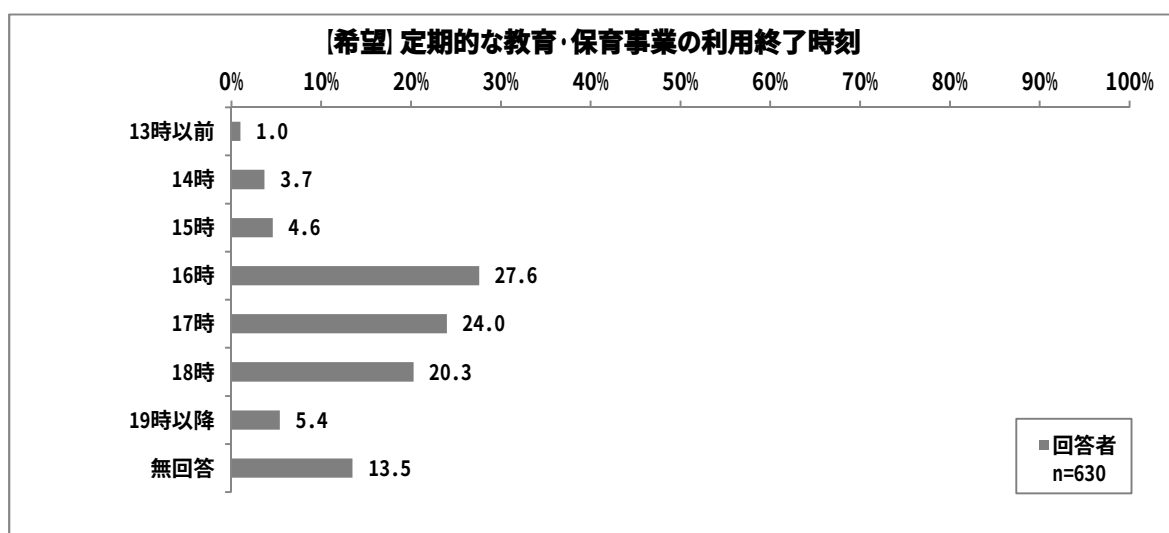
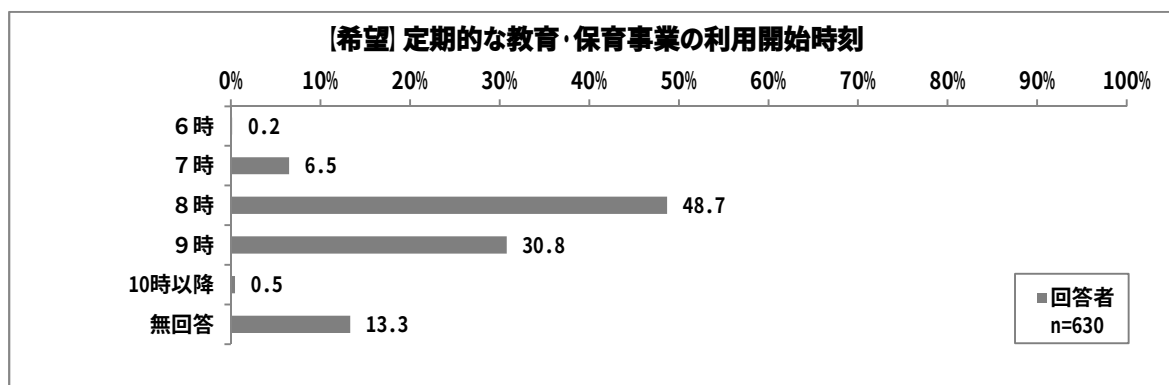
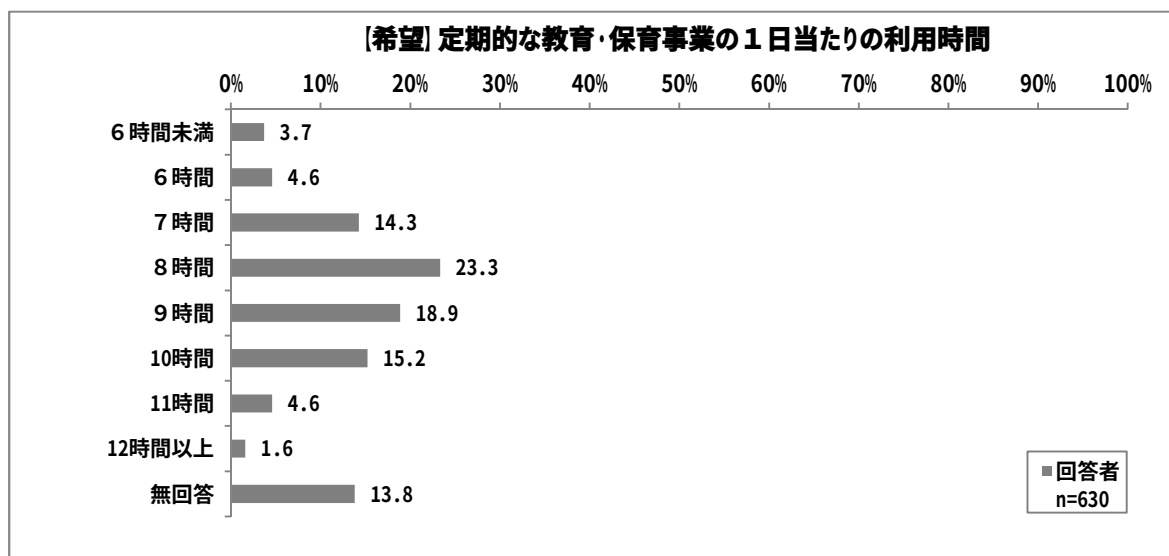
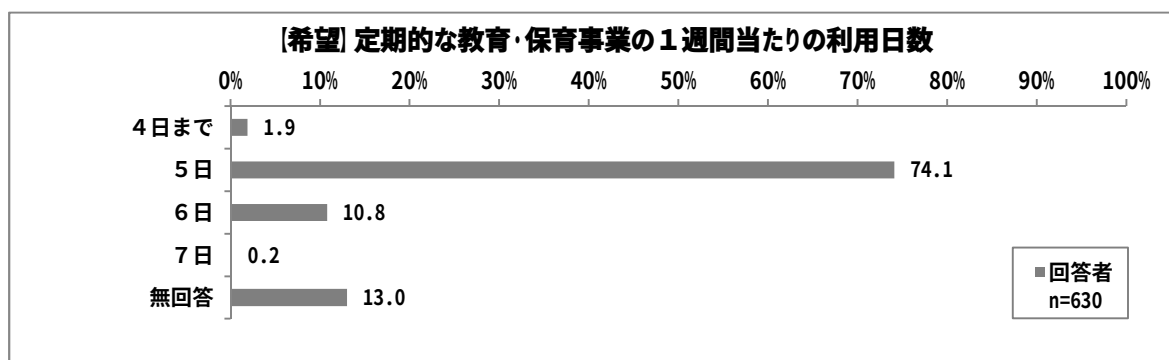


問21-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）08時～18時のように24時間制でお答えください。

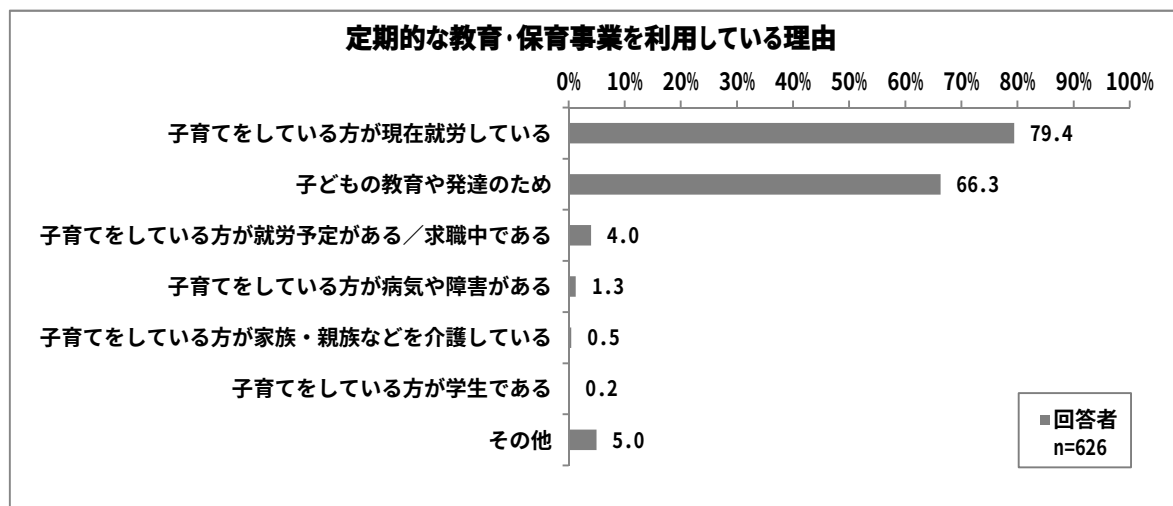
(1) 現在



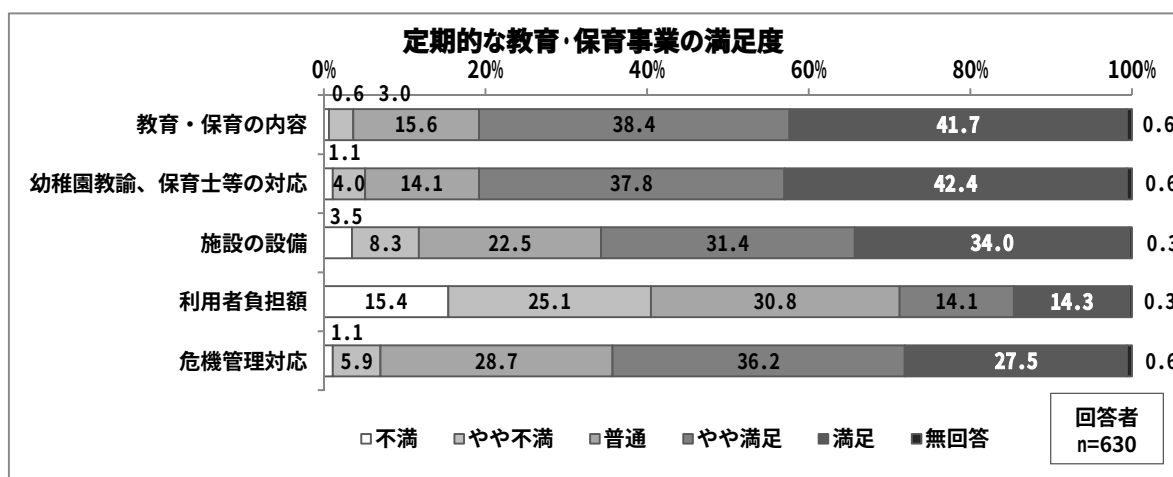
(2) 希望



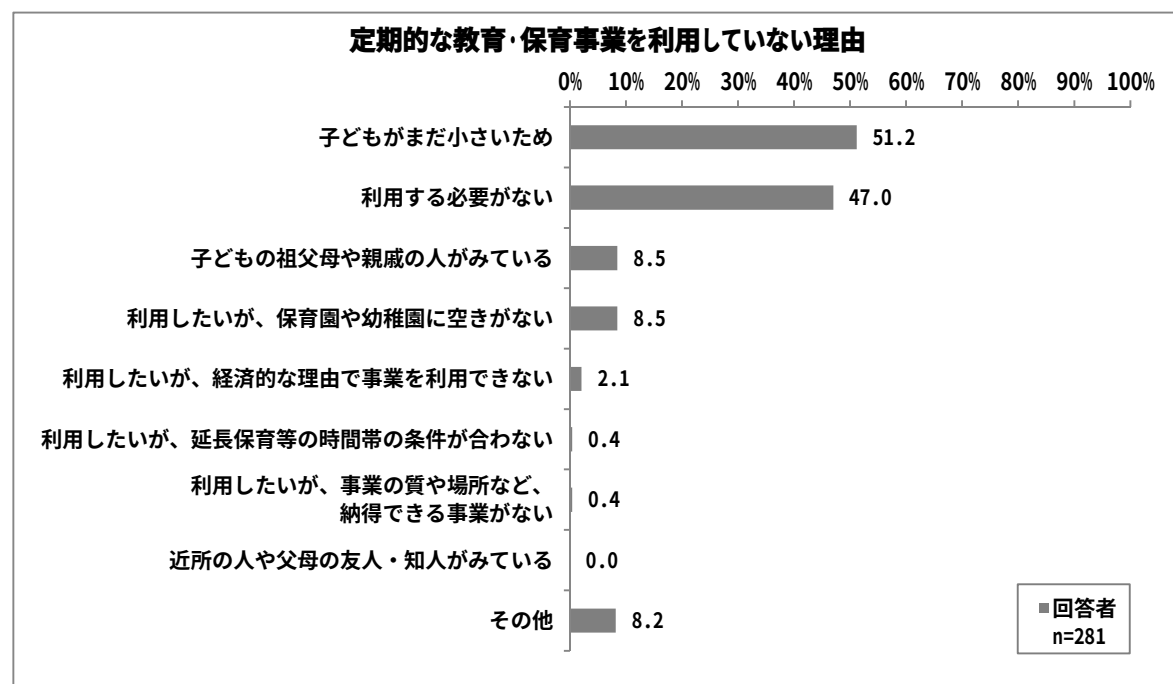
問21-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

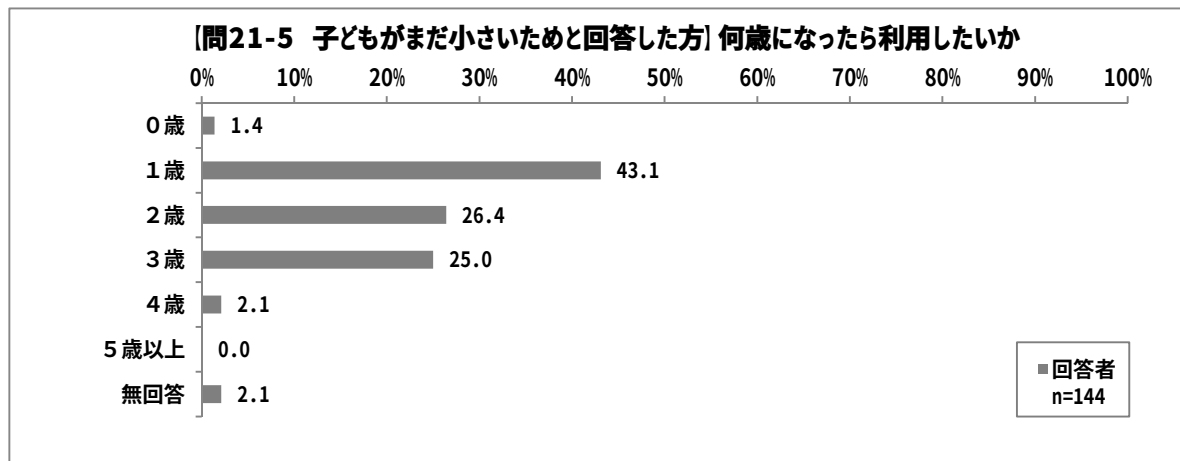


問21-4 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、以下の項目ごとに満足度として当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

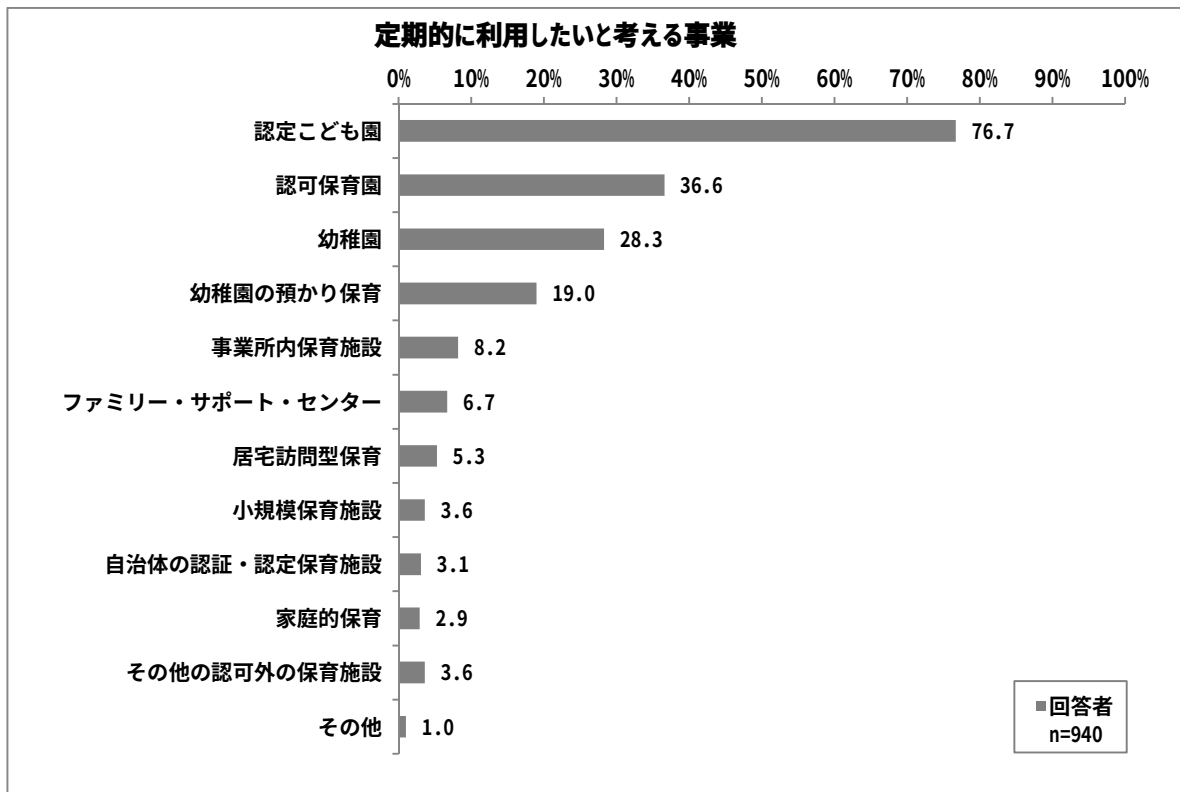


問21-5 問21で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

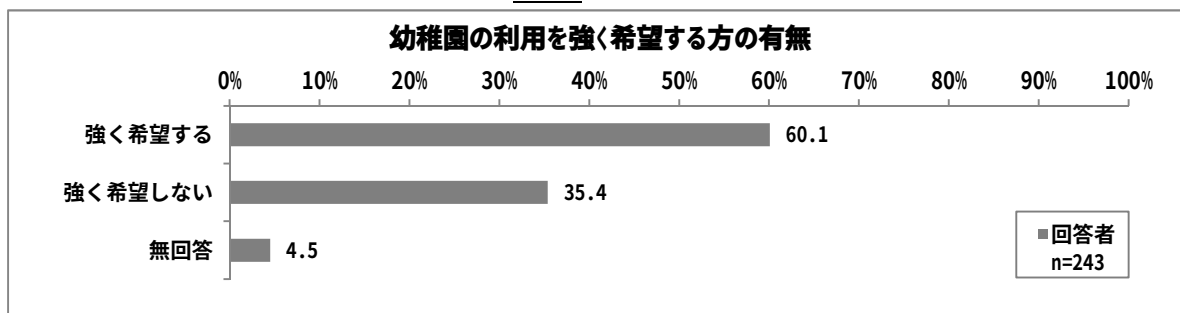




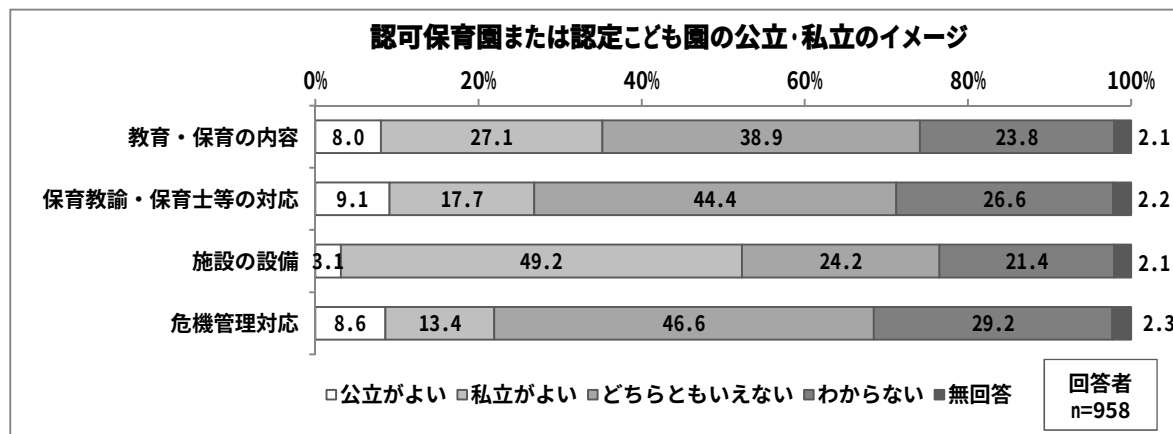
問22 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



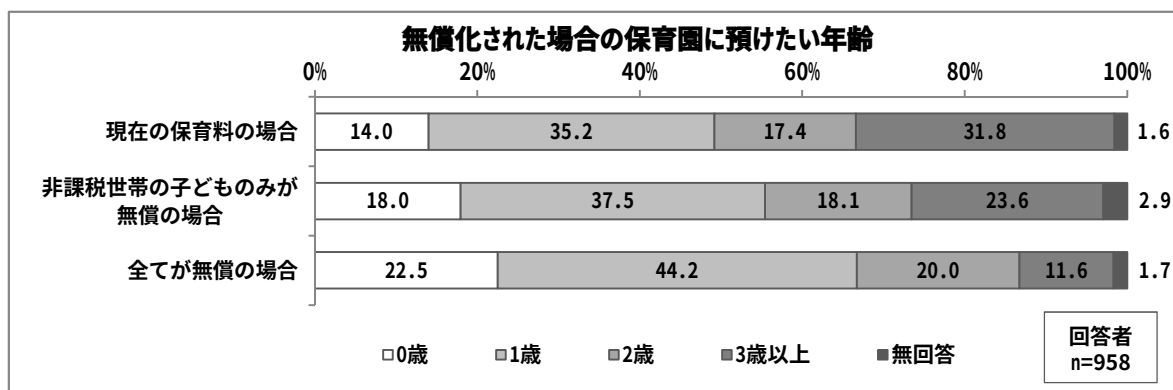
問22-1 問22で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～12.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



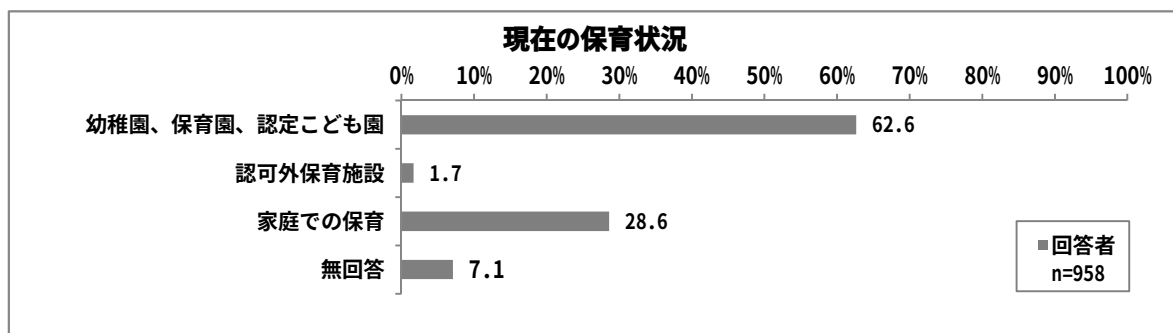
問23 すべての方にうかがいます。認可保育園または認定こども園について、公立と私立のイメージとして以下の項目ごとに当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問24 すべての方にうかがいます。平成31年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定です。無償化が実施された場合、0歳～2歳については非課税世帯の子どもに限り保育園、認定こども園の利用が無料になる予定です。その場合に、お子さんを何歳から保育園等に預けたいですか。
また、今後0歳～2歳までのお子さんの保育料がすべて無償化された場合はお子さんを何歳から保育園等に預けたいと思いますか。
それぞれの場で預けたいお子さんの年齢をそれぞれの□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※お子さんが0～2歳に当てはまらない方も、仮定で構いませんのでお答えください。

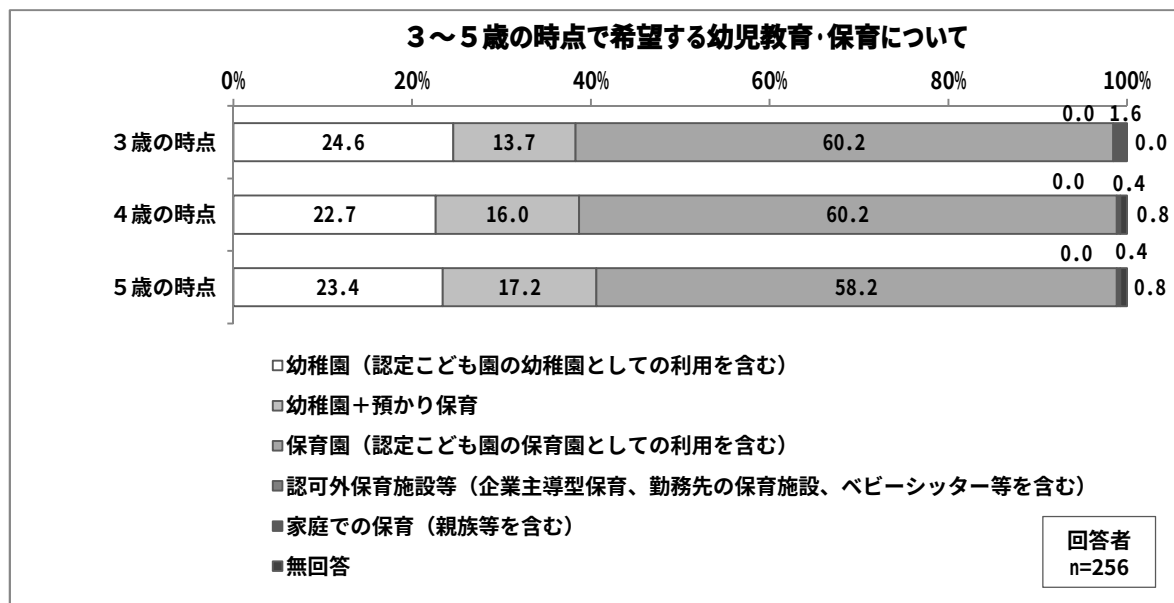


問25 お子さんの現在の保育状況についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



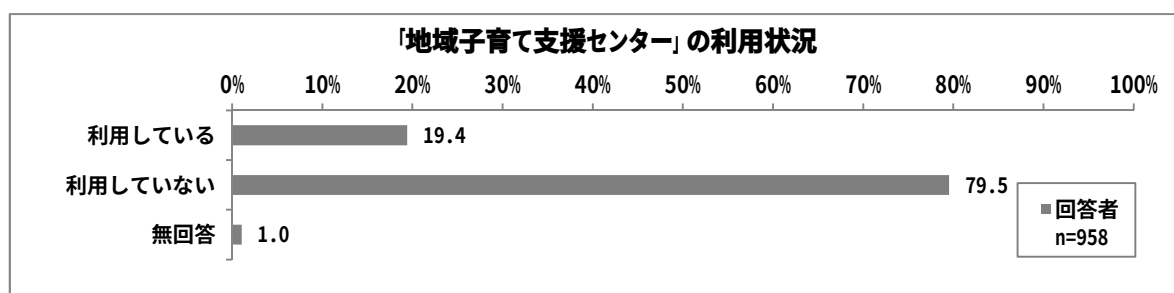
問25-1 問25で「2. 認可外保育施設」または「3. 家庭での保育」に○をつけ、かつ、現在0～4歳のお子さんをもつ保護者の方にうかがいます。幼児教育・保育の無償化が実施された場合、3歳～5歳については幼稚園、保育園、認定こども園の利用が無料になる予定です。その場合に、3～5歳の各時点で希望する幼児教育・保育について当てはまる番号をそれぞれ1つに○をつけてください。

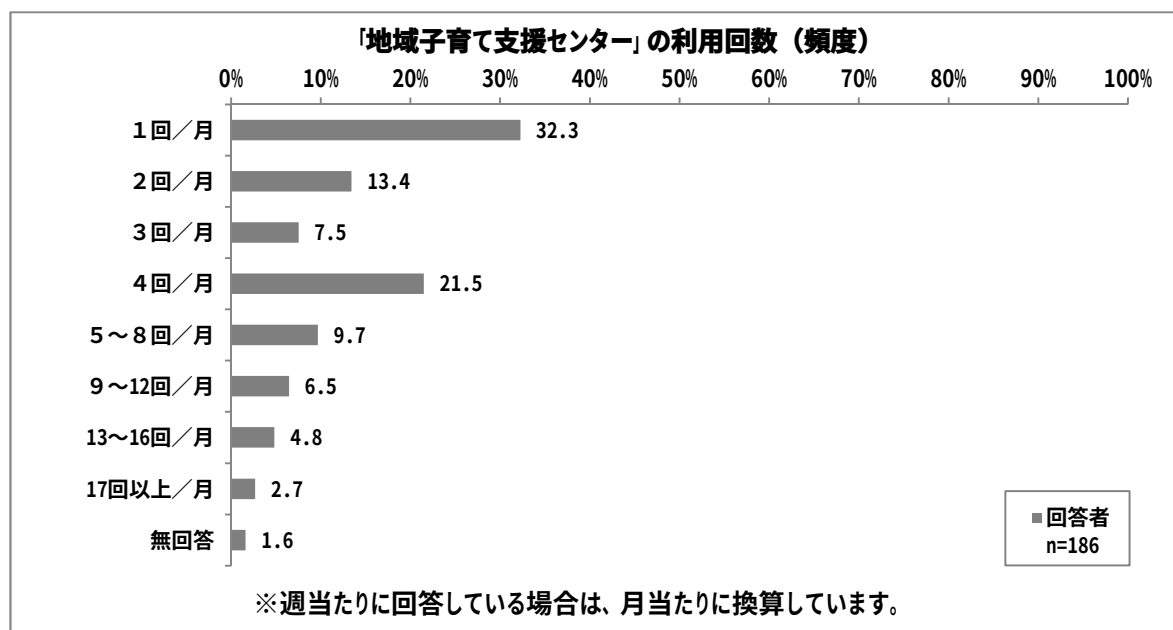
なお、保育の必要性の認定（※）を受けていないお子さんについては、無料で利用できるのは「1. 幼稚園（認定こども園の幼稚園としての利用を含む）」のみで、原則として「3. 保育園（認定こども園の保育園としての利用を含む）」の利用はできません。



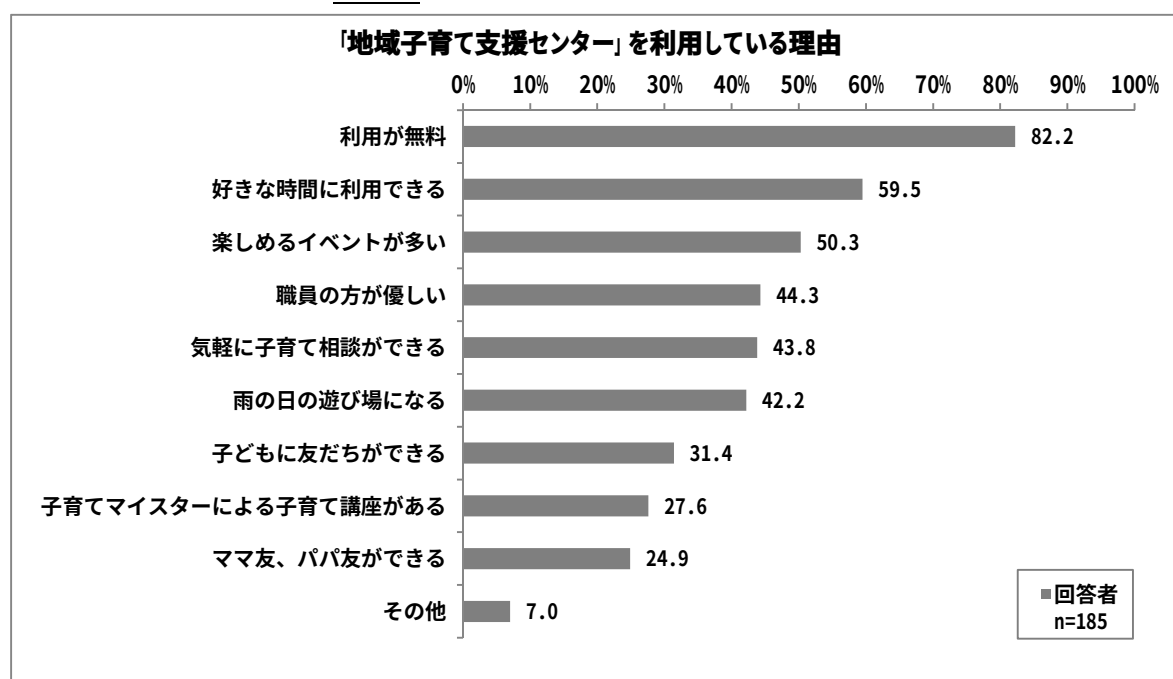
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問26 宛名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場 P1 参照）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

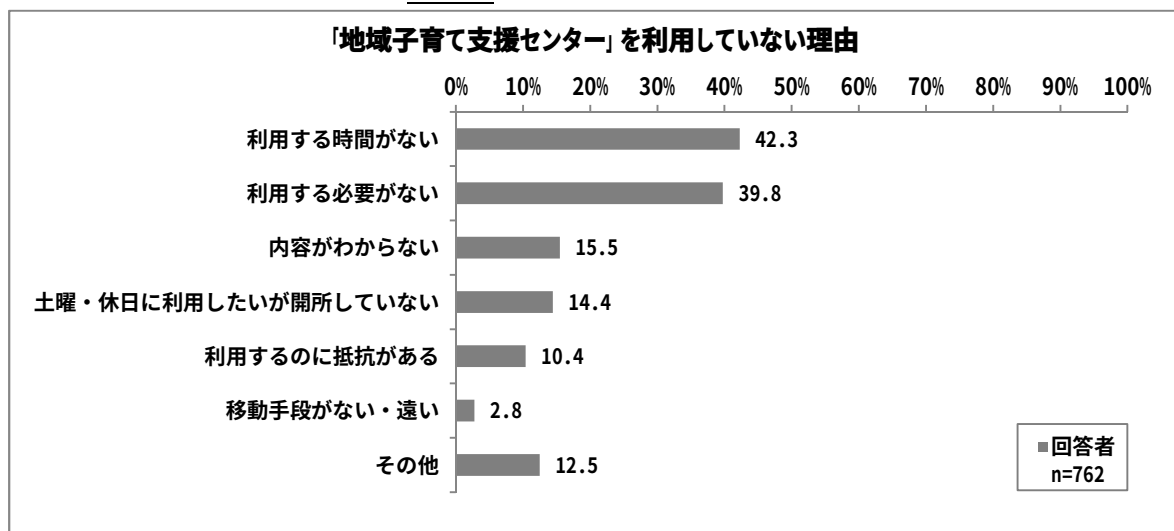




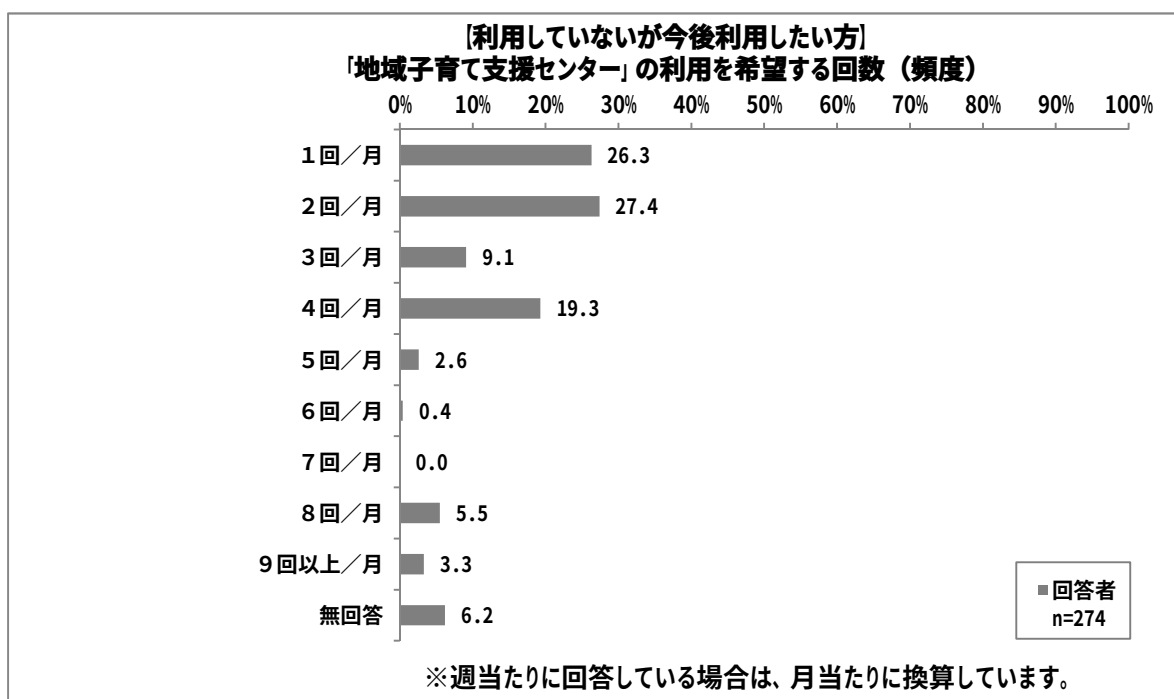
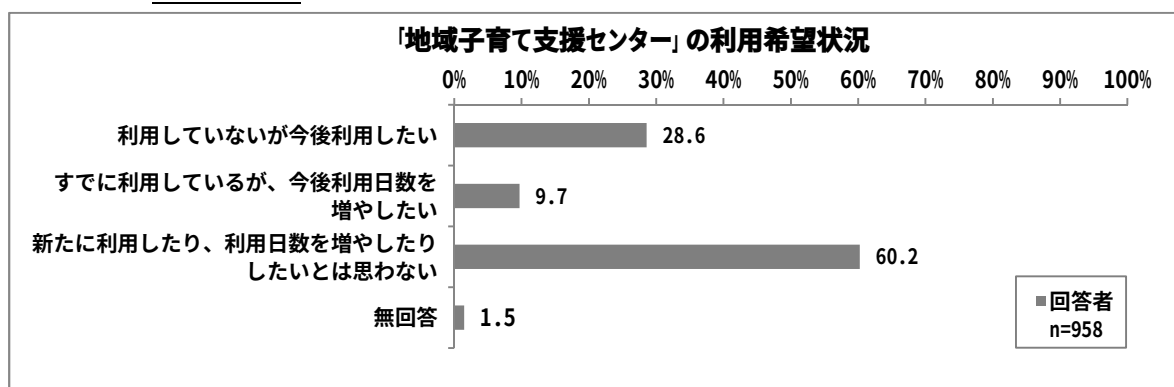
問26-1 問26で、「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。「地域子育て支援センター」を利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

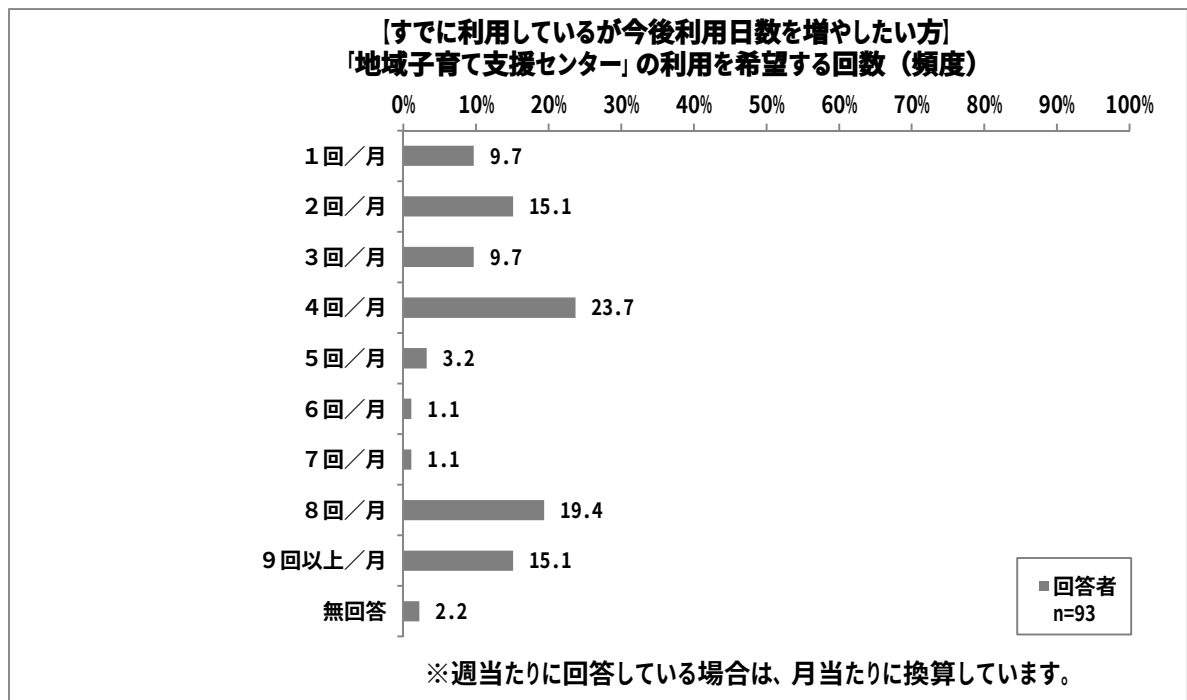


問26-2 問26で、「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。「地域子育て支援センター」を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

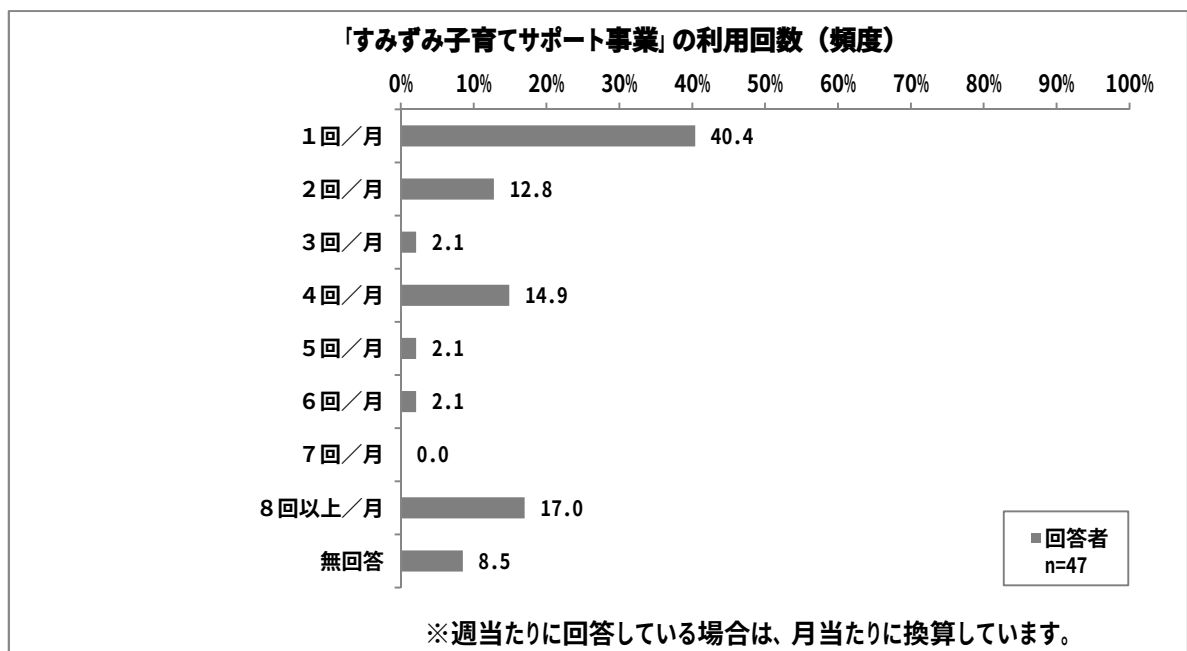
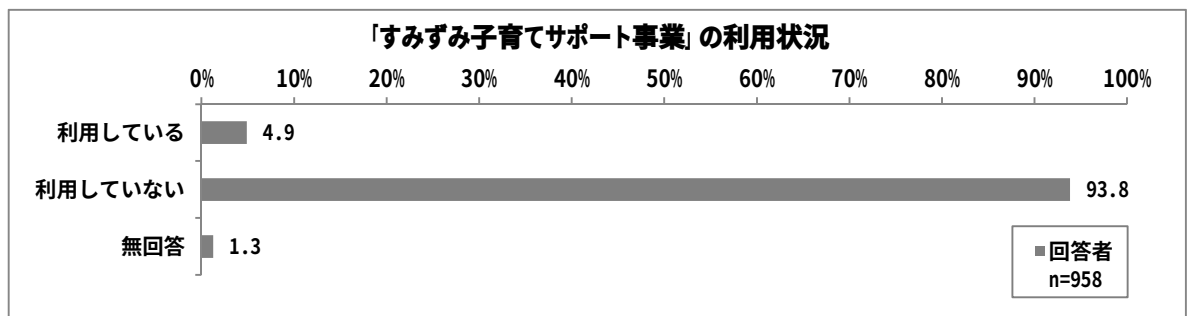


問26-3 すべての方にうかがいます。地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

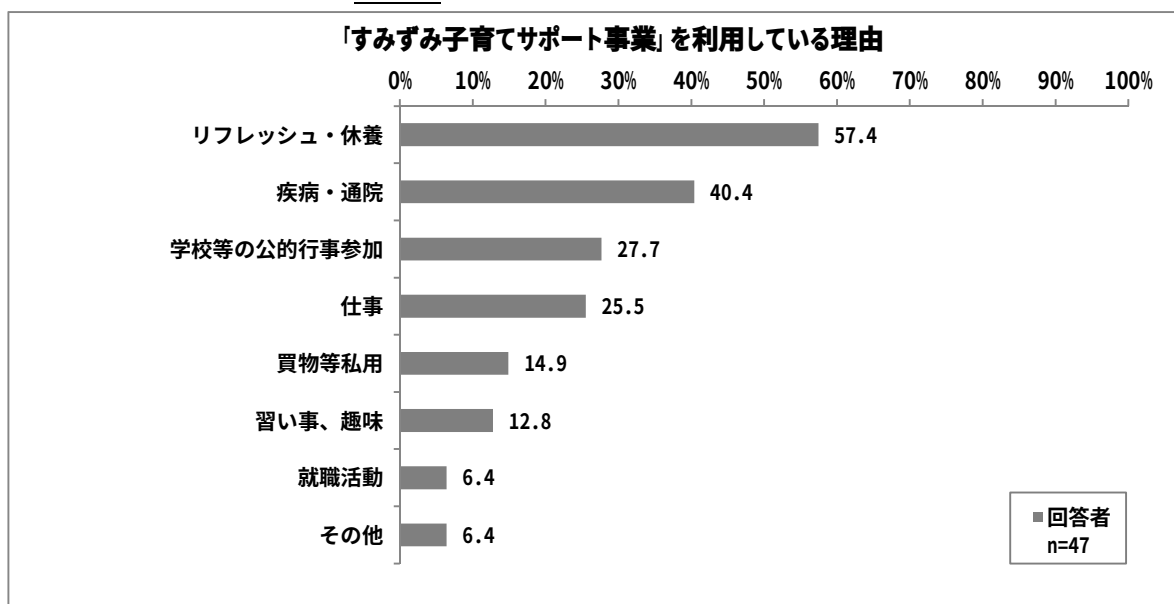




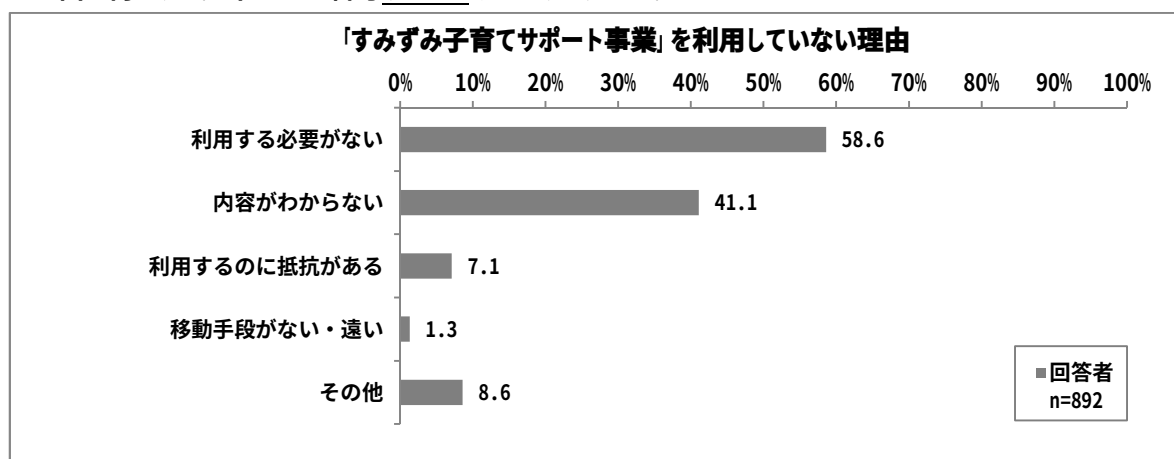
問27 すみずみ子育てサポート事業を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



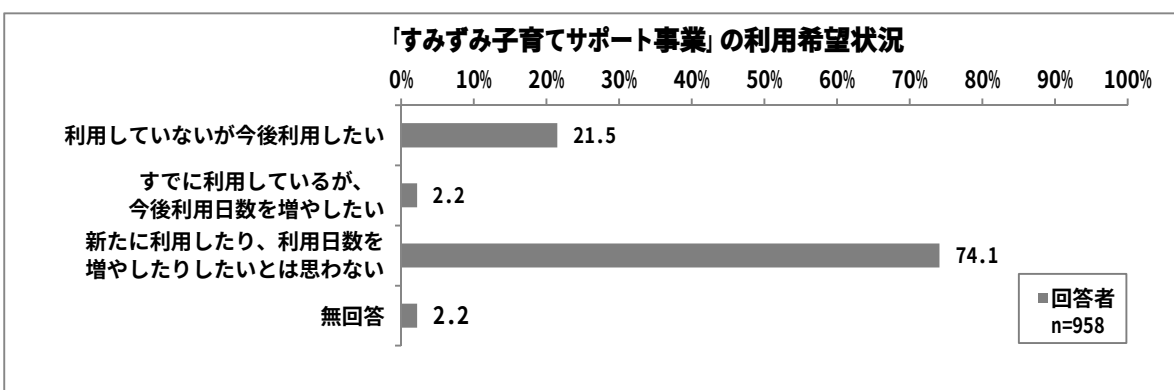
問27-1 問27で、「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。すみずみ子育てサポート事業を利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

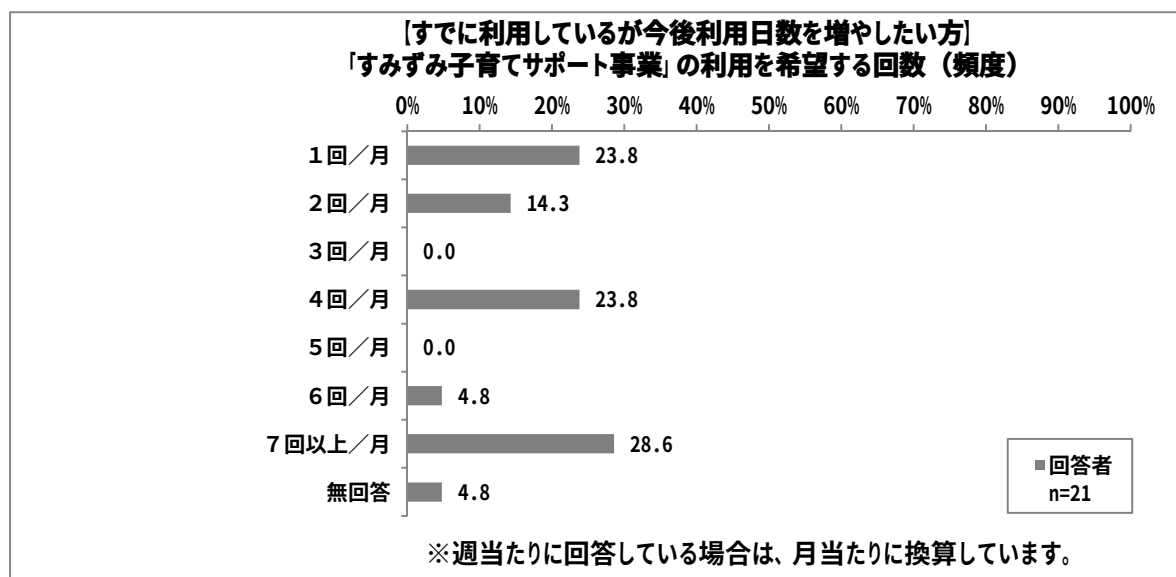
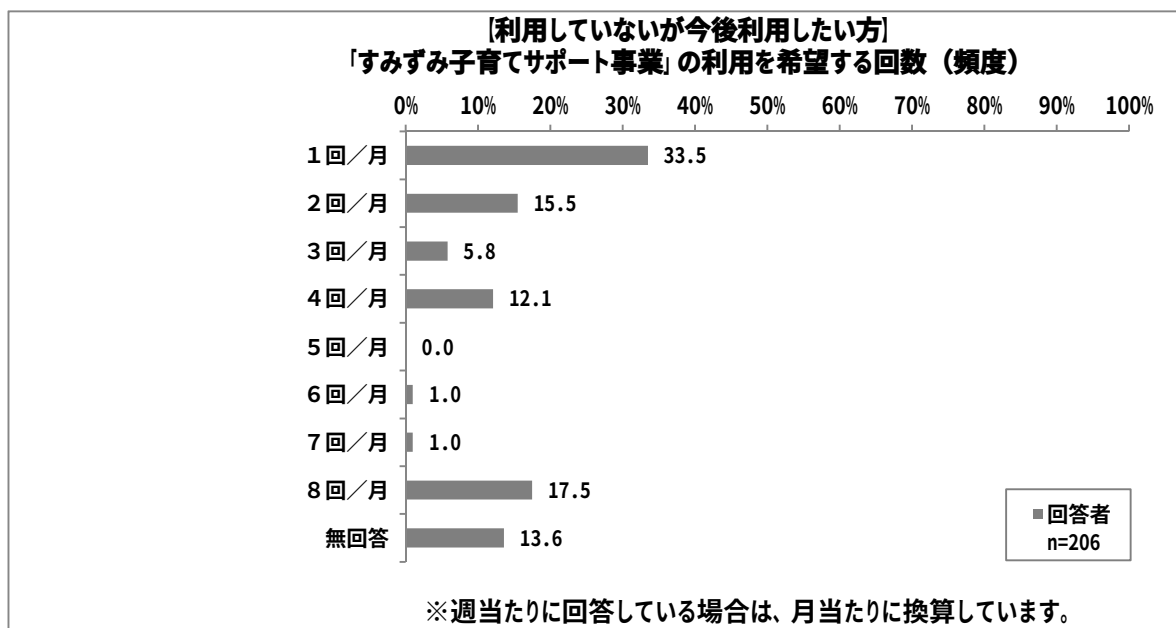


問27-2 問27で、「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。すみずみ子育てサポート事業を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

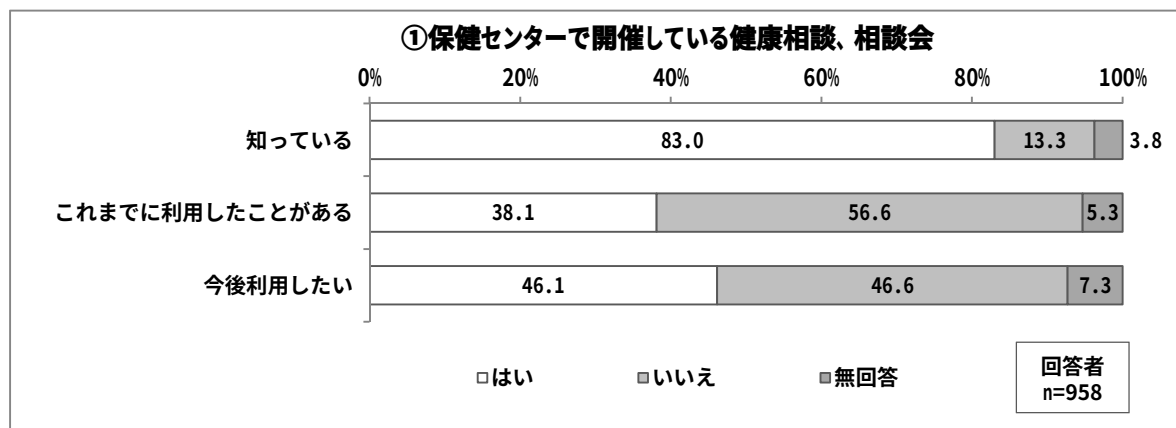


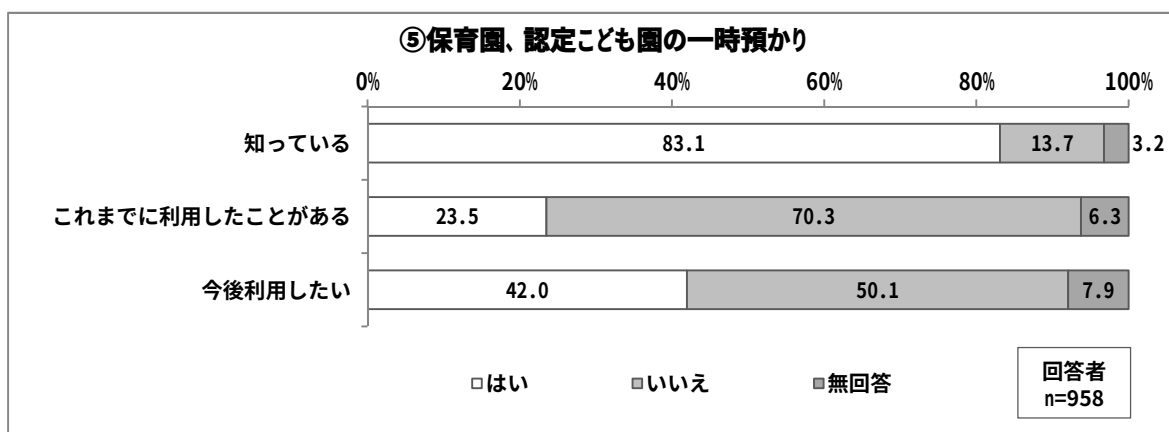
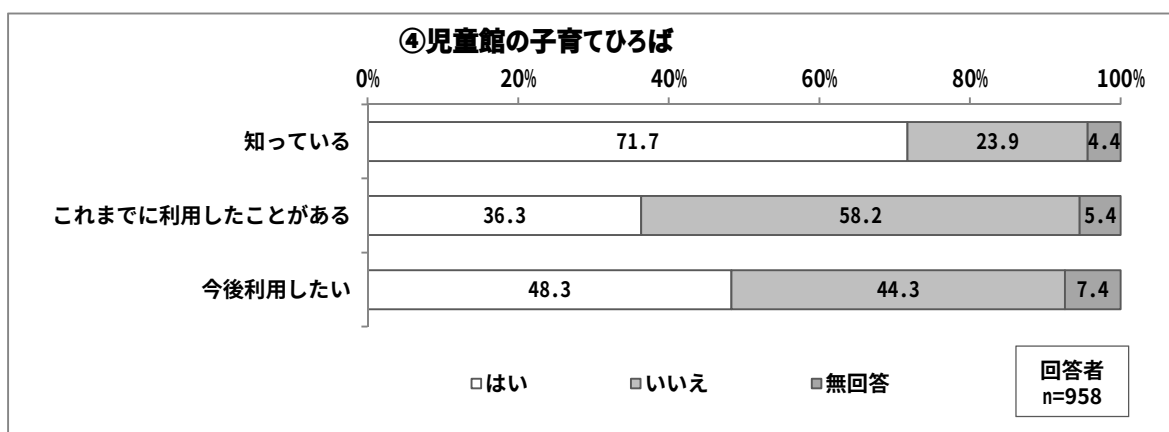
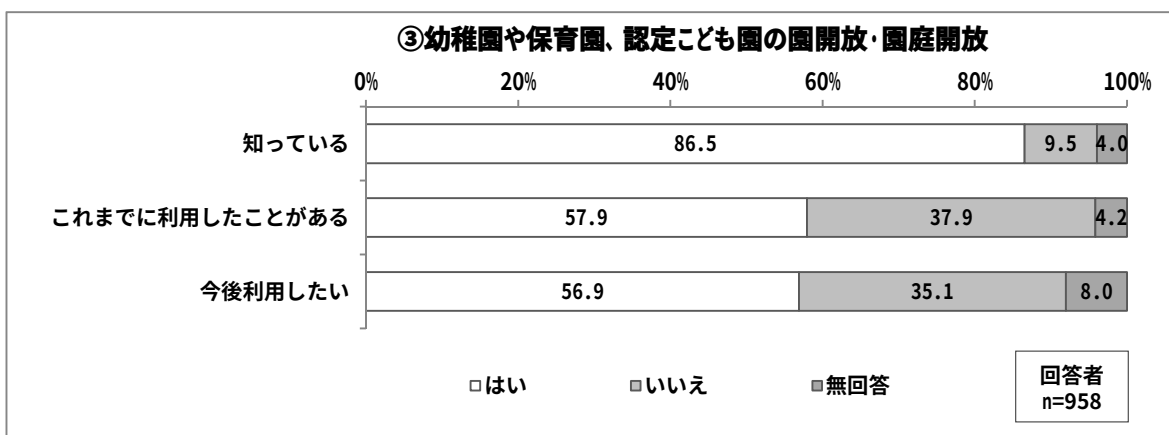
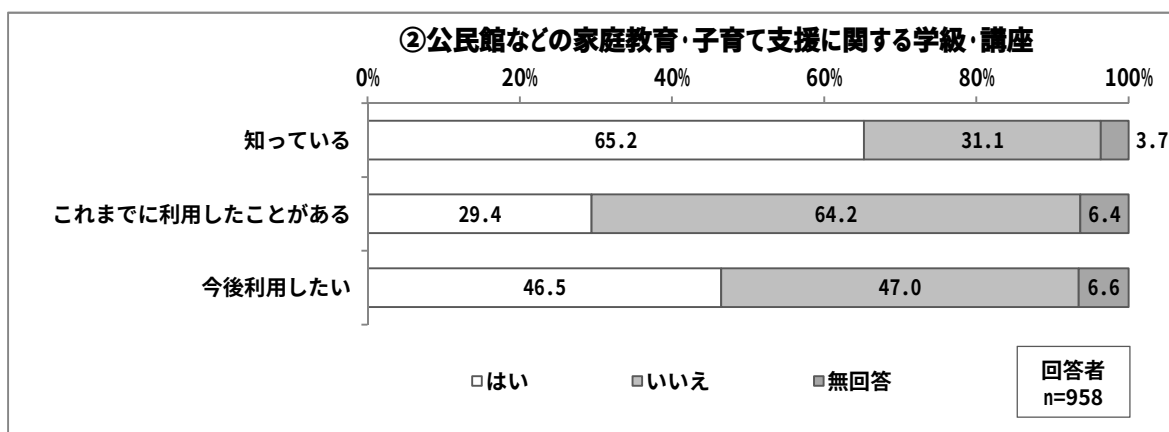
問27-3 すべての方にうかがいます。すみずみ子育てサポート事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



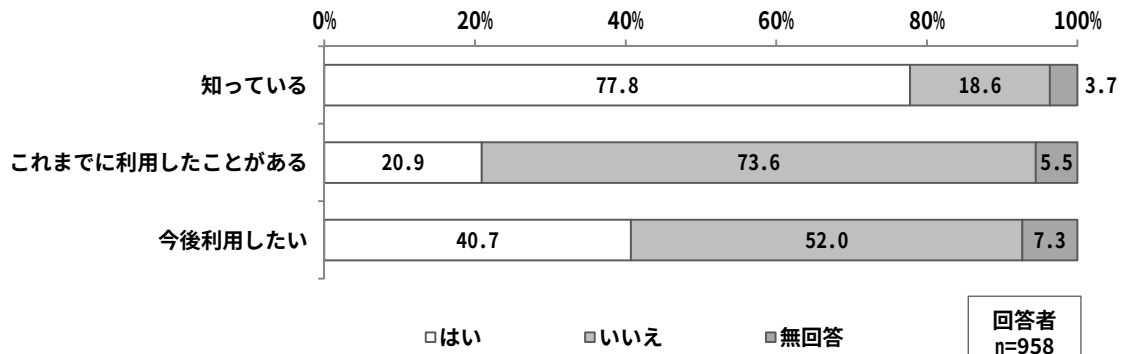


問28 下記の①～⑧の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

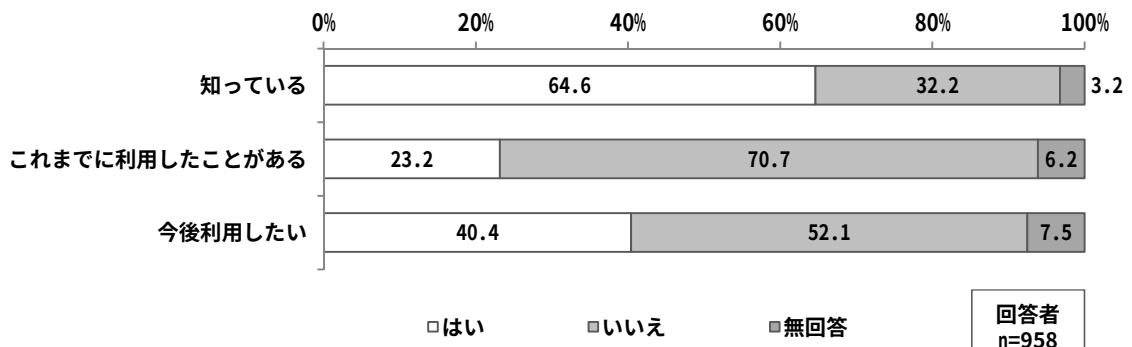




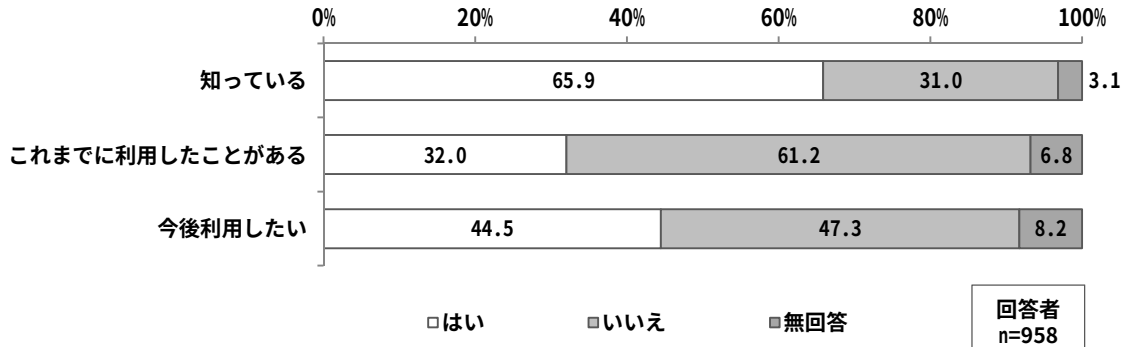
⑥子育て相談窓口（福井市子育て支援室、子ども福祉課、
アオッサ子ども家庭センターなど）



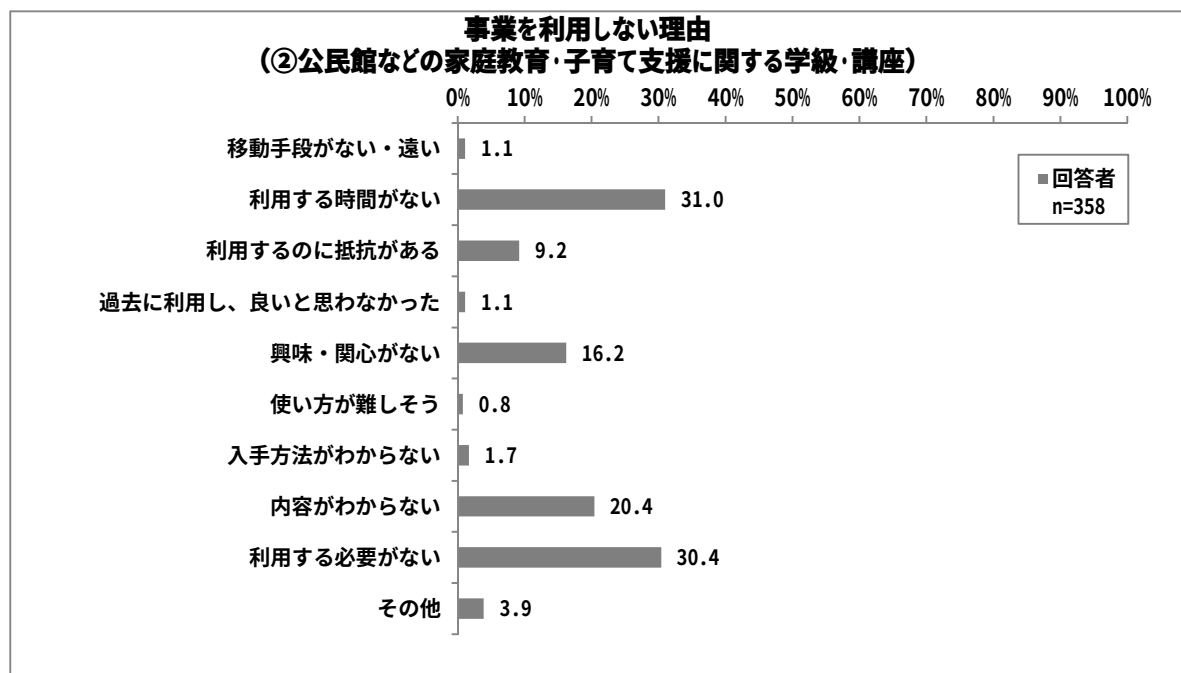
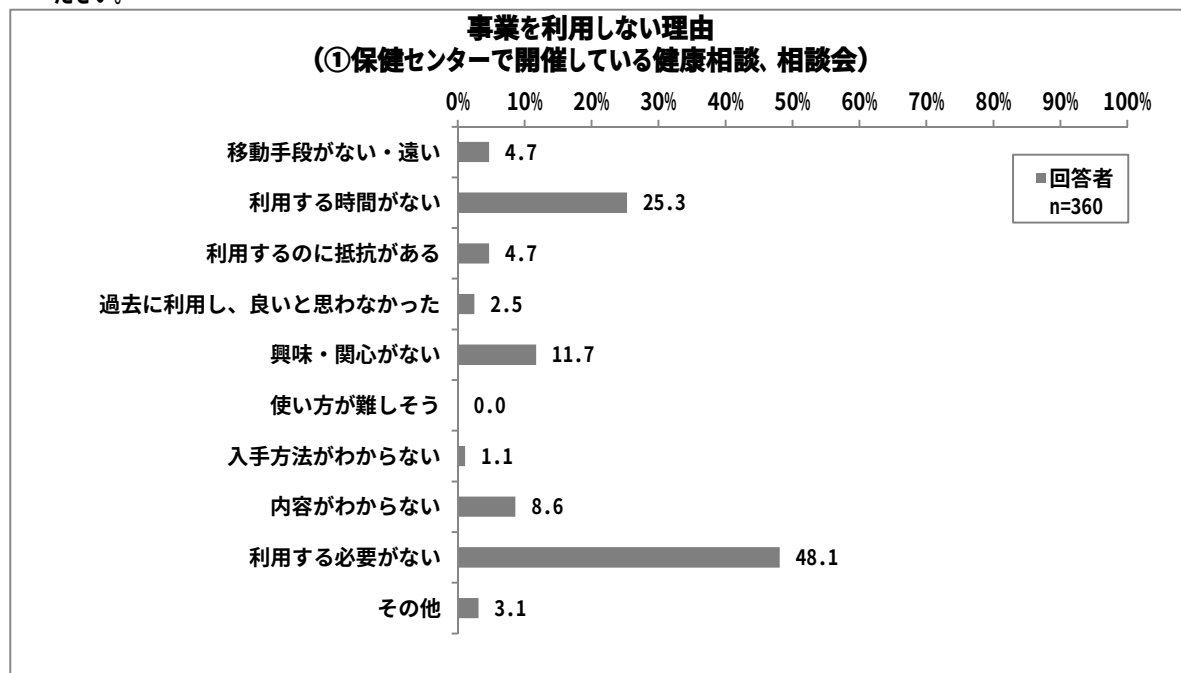
⑦福井市結婚・子育て応援サイト「はぐむ.net」

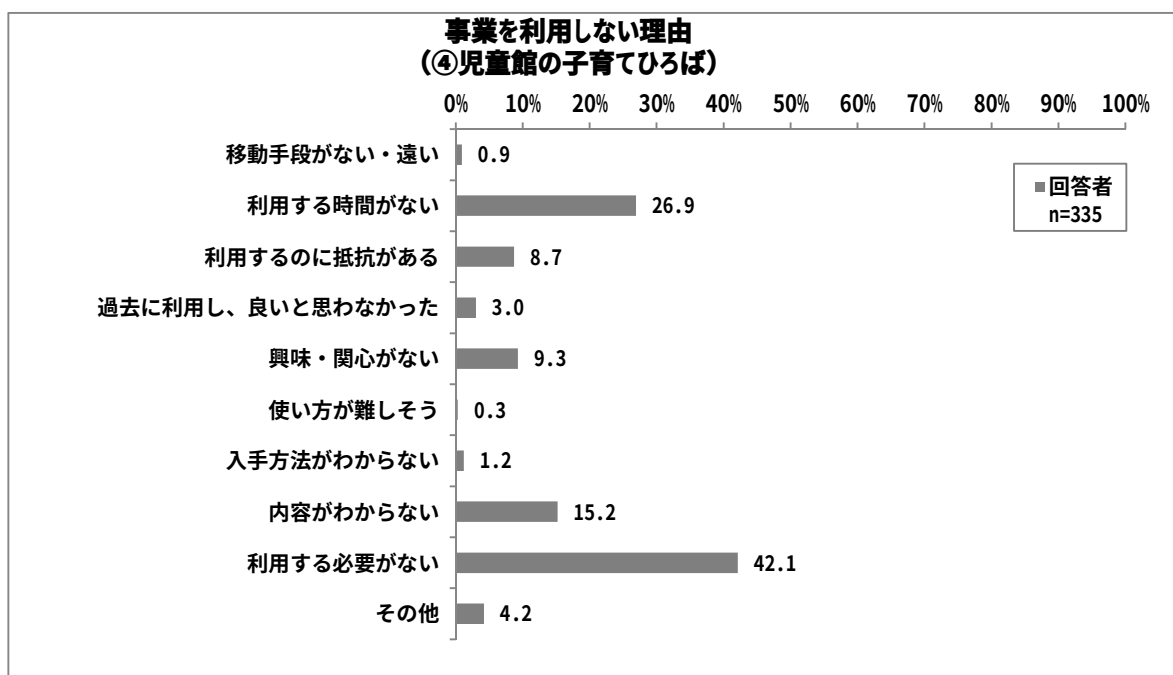
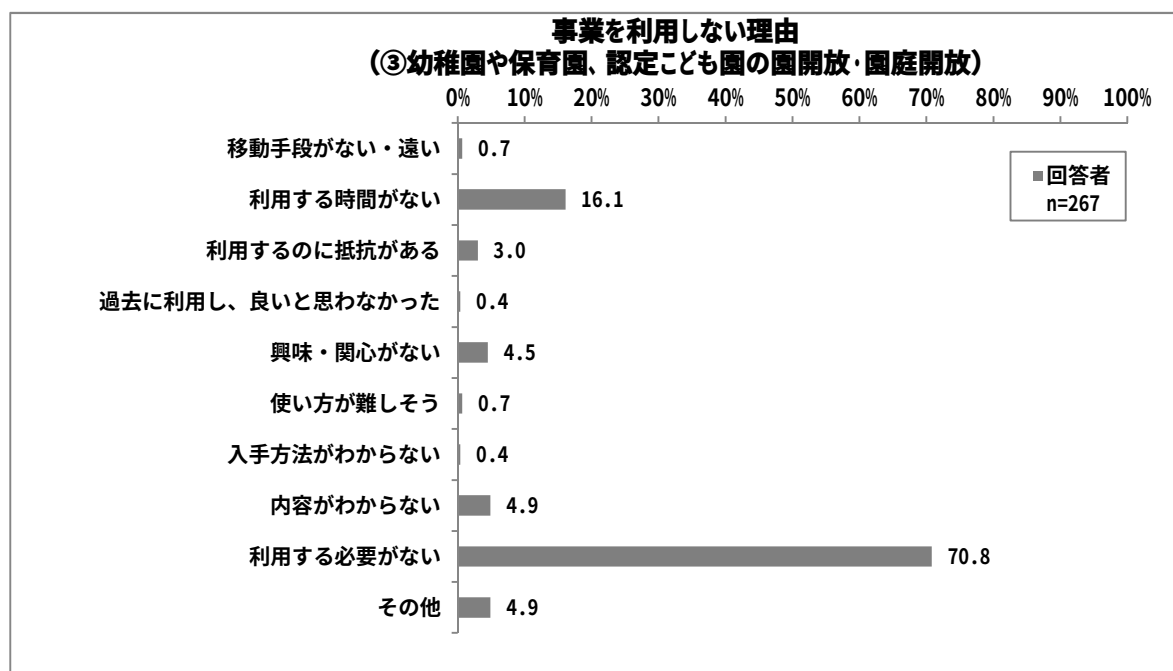


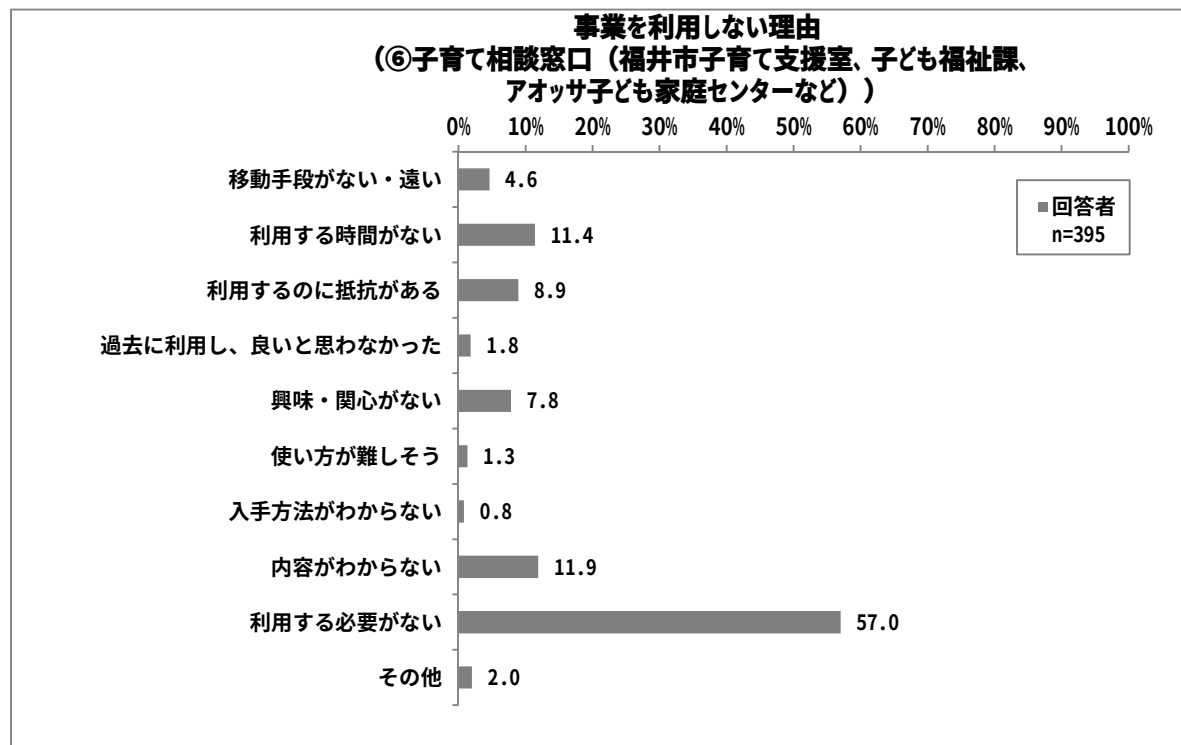
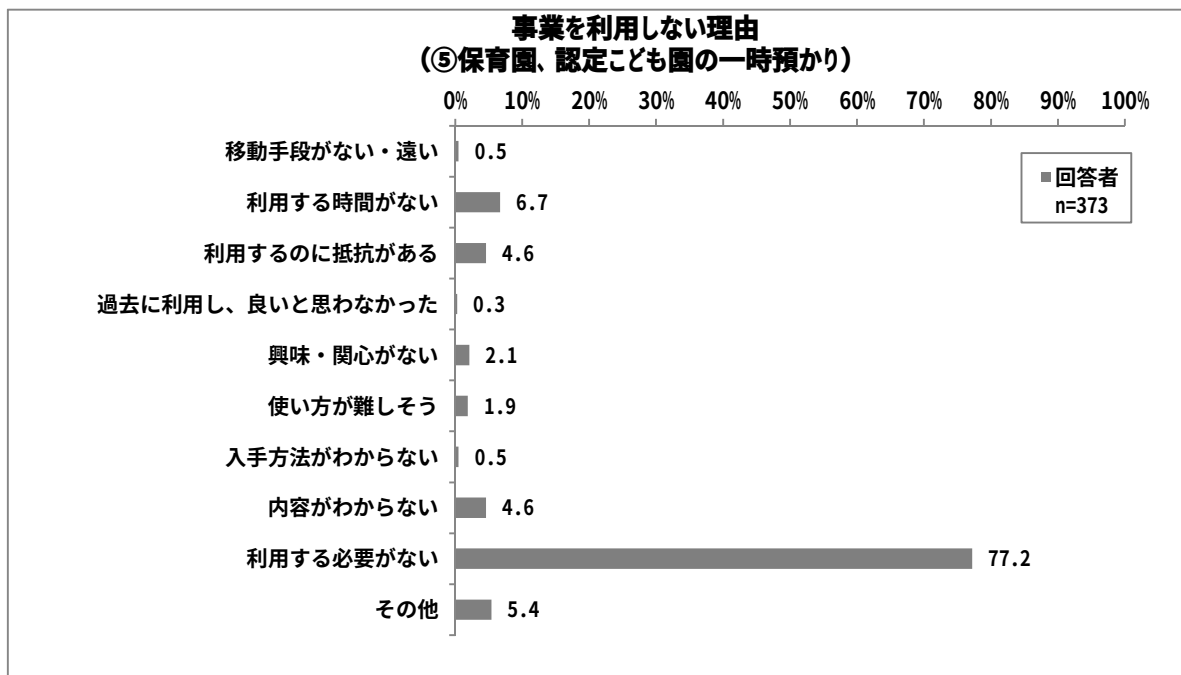
⑧福井市結婚・子育てガイド「はぐむbook」

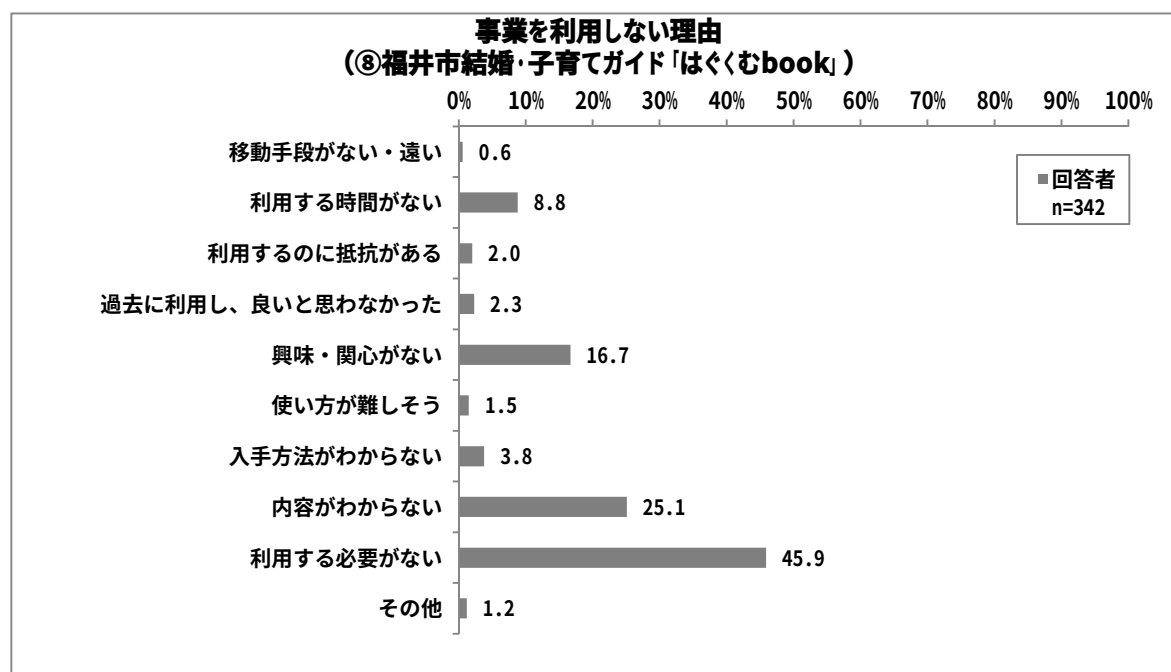
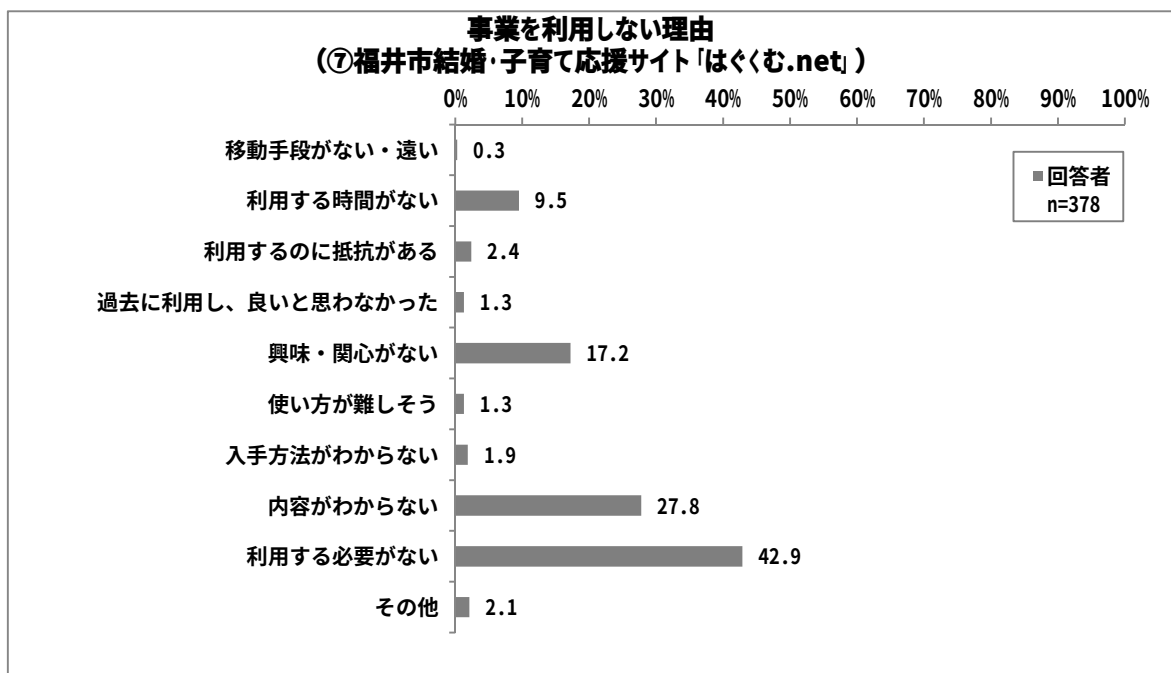


問28-1 問28の①～⑧の事業で、「C 今後利用したい」の「いいえ」に○をつけた方にうかがいます。利用しない理由は何ですか。当てはまる番号すべてを下記から選択し、「D 利用しない理由」のそれぞれの欄に番号を記入してください。





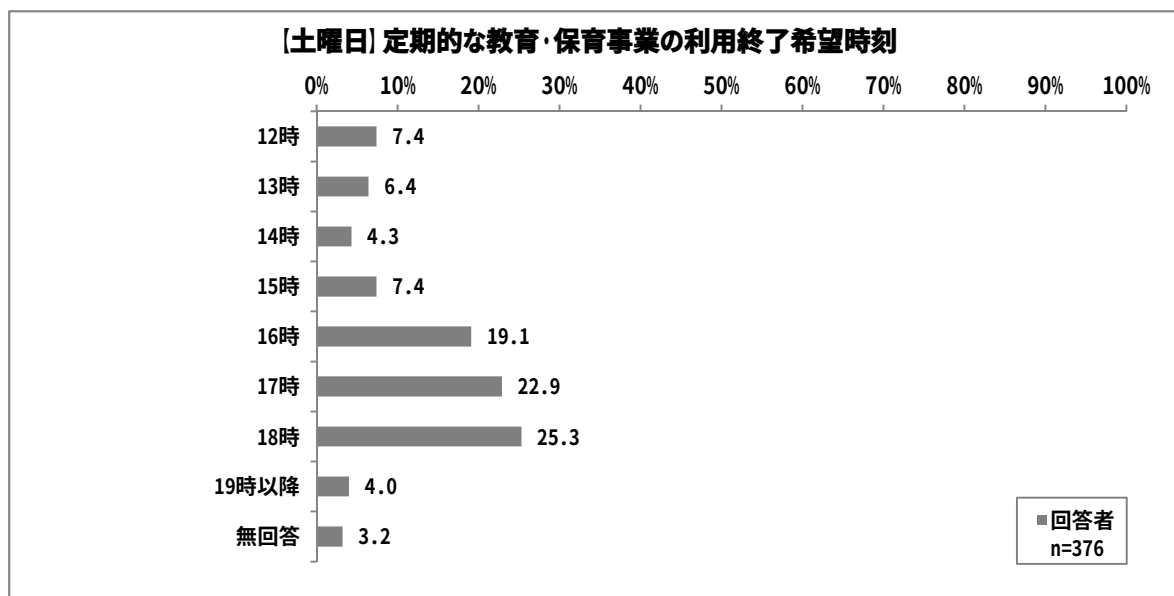
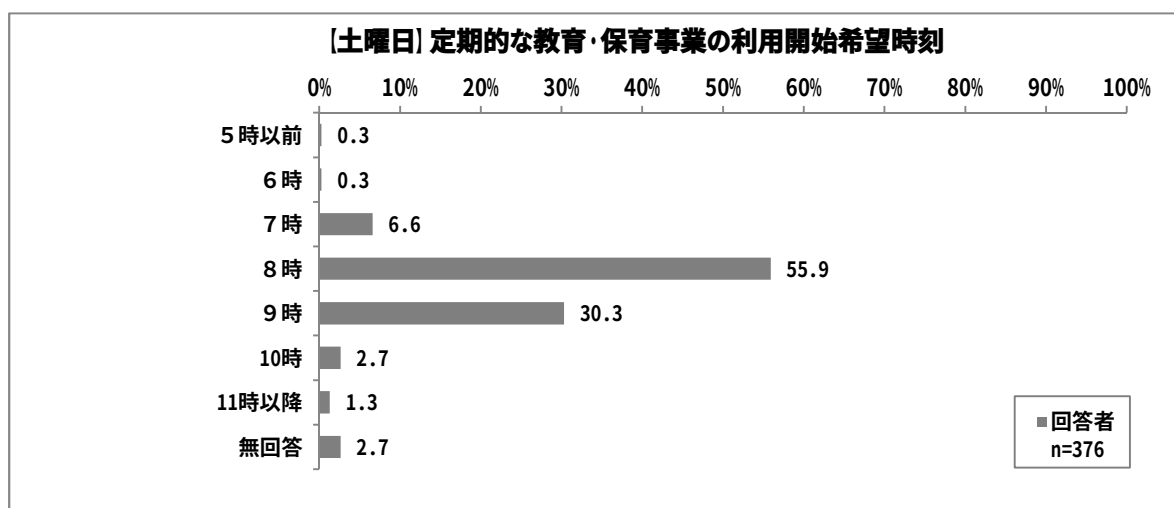
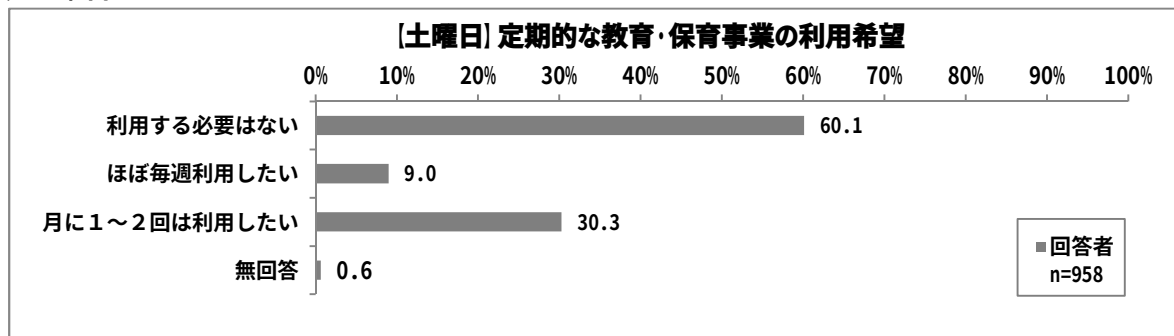


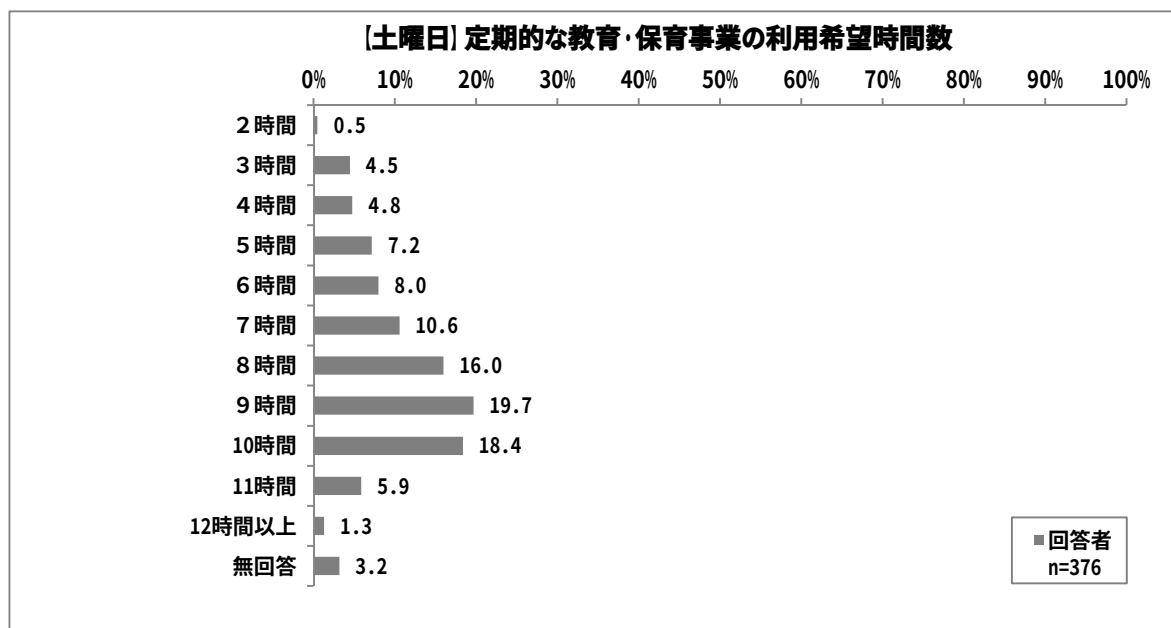


7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

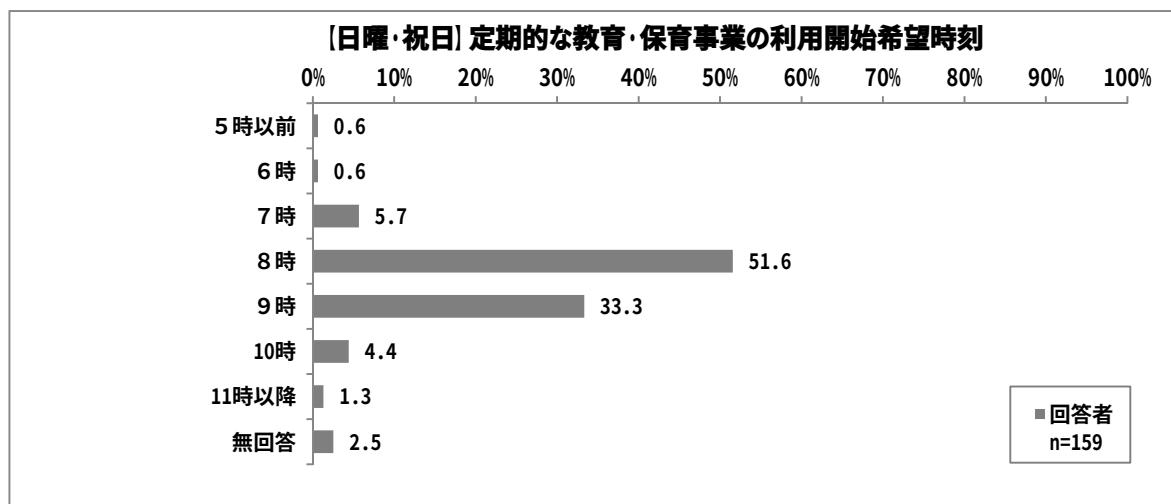
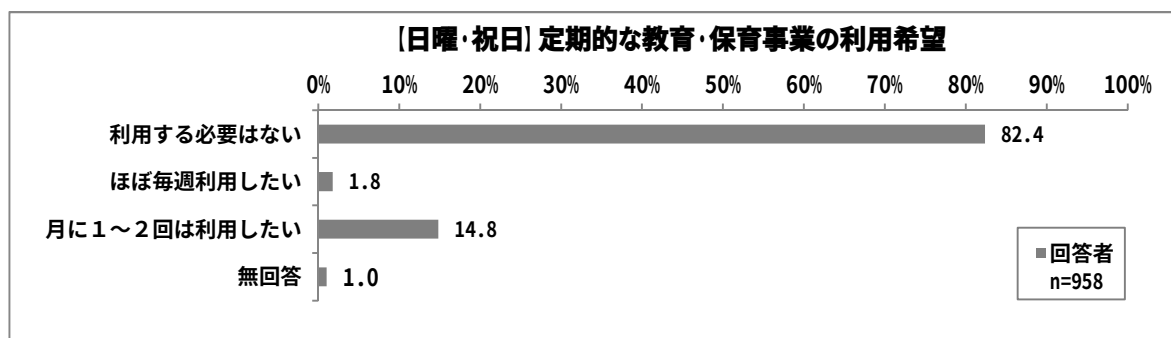
問29 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合には、利用したい時間帯を、（例）0 9 時～1 8 時のように2 4 時間制でお答えください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

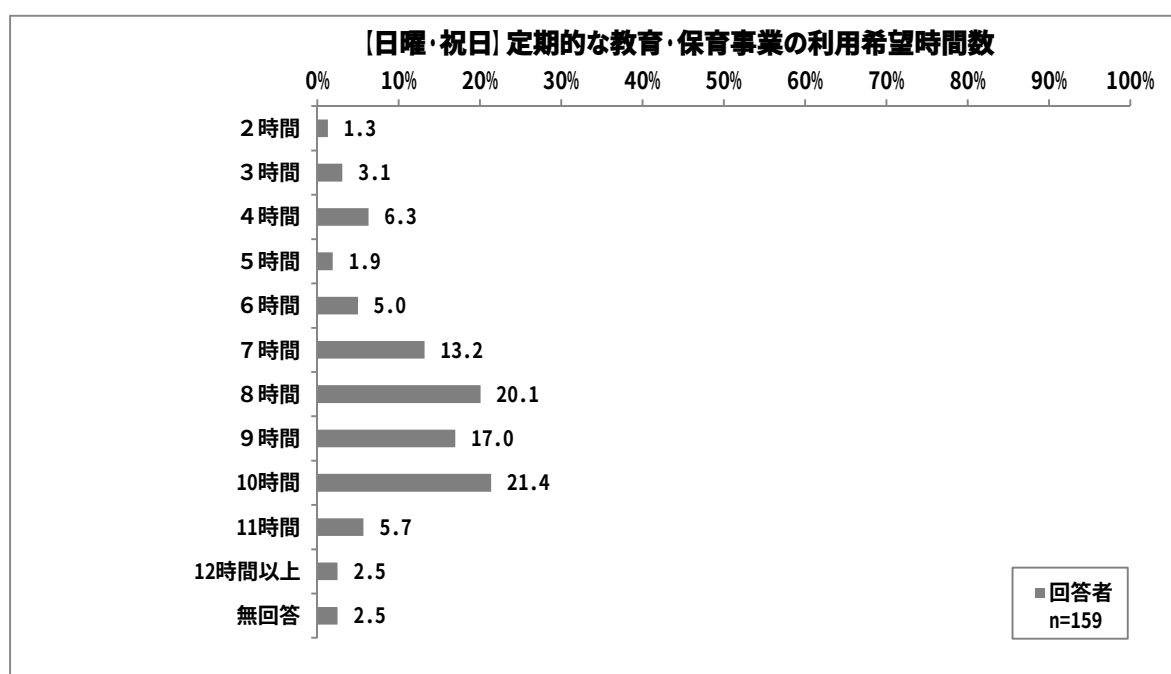
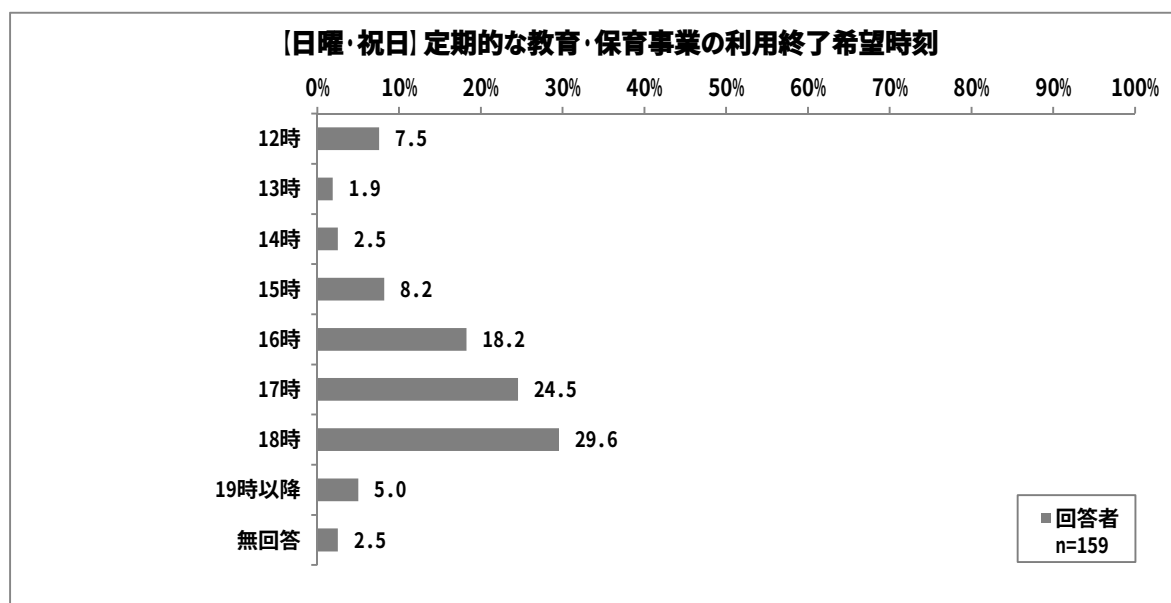
（1）土曜日



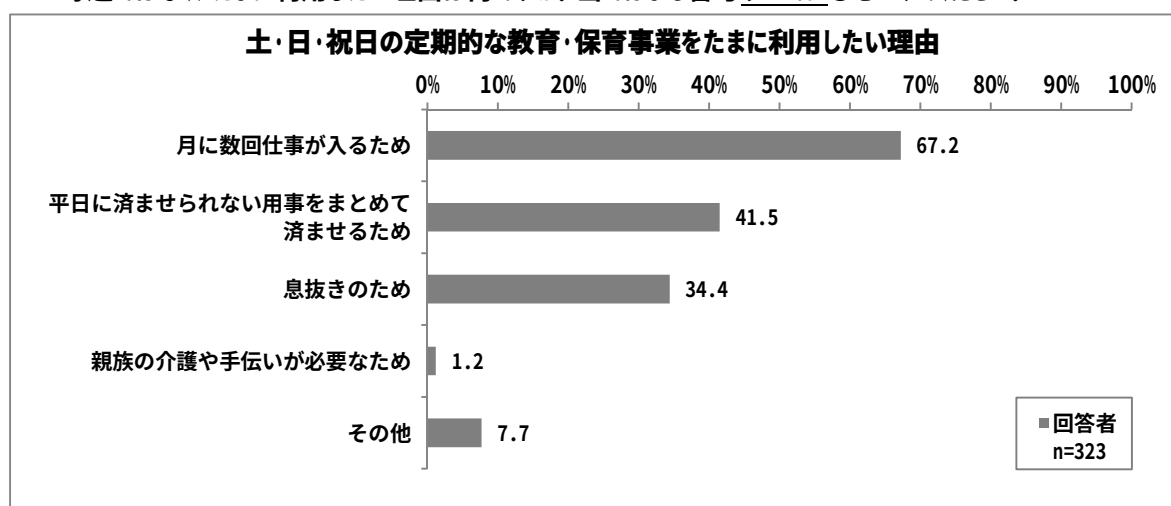


(2) 日曜・祝日

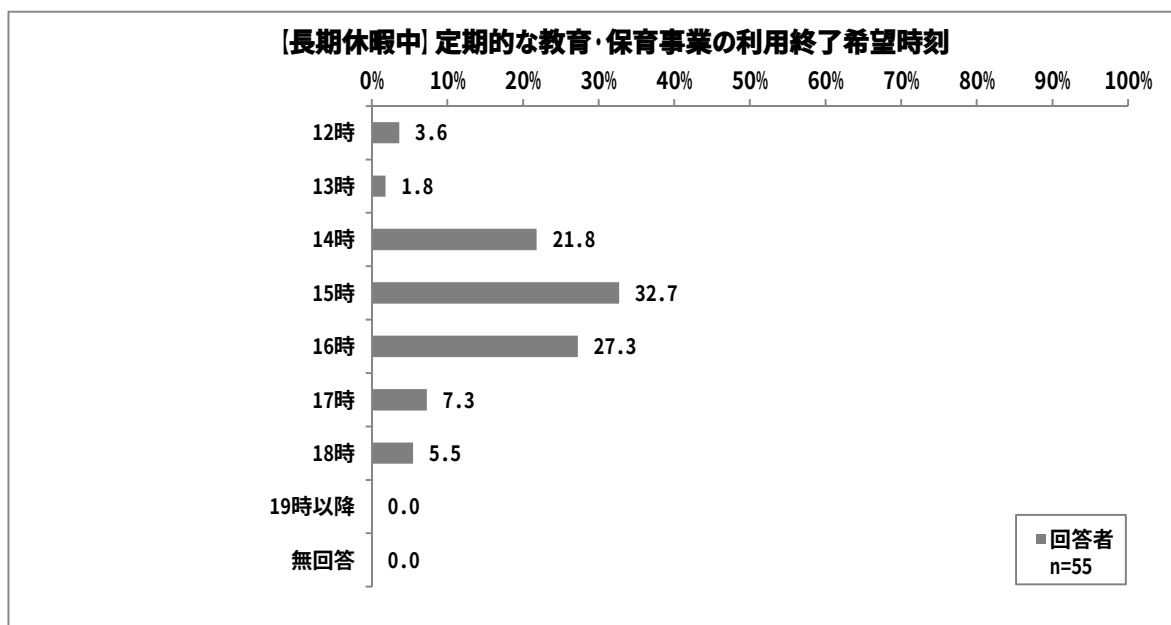
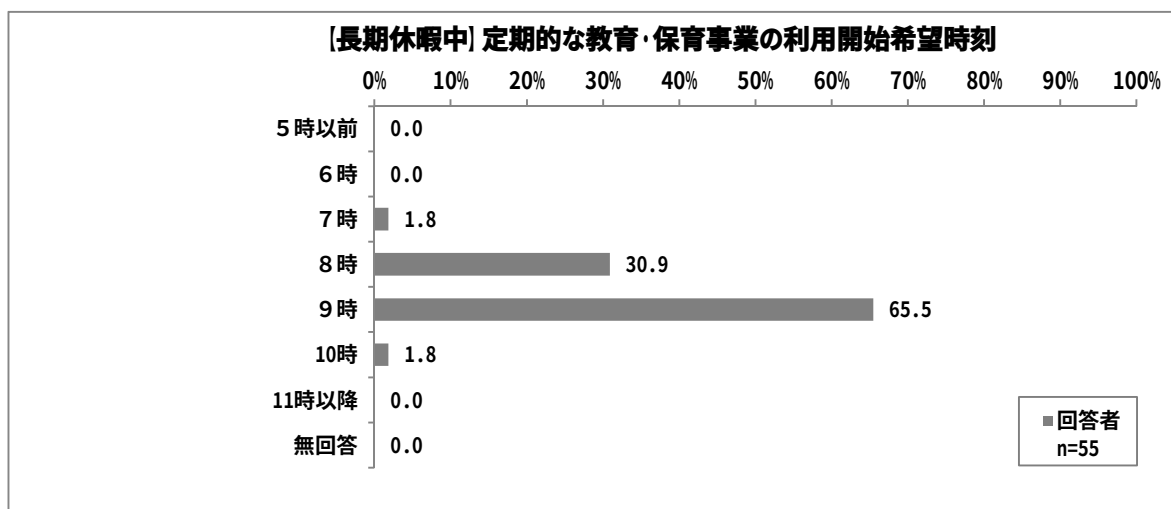
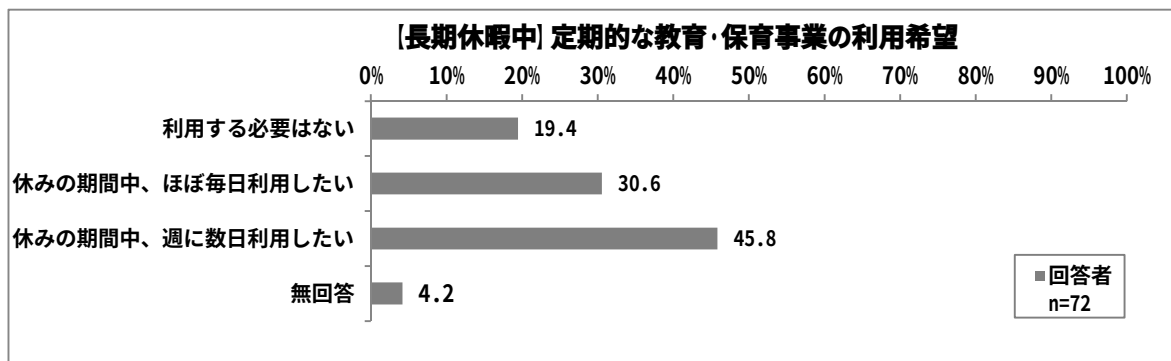


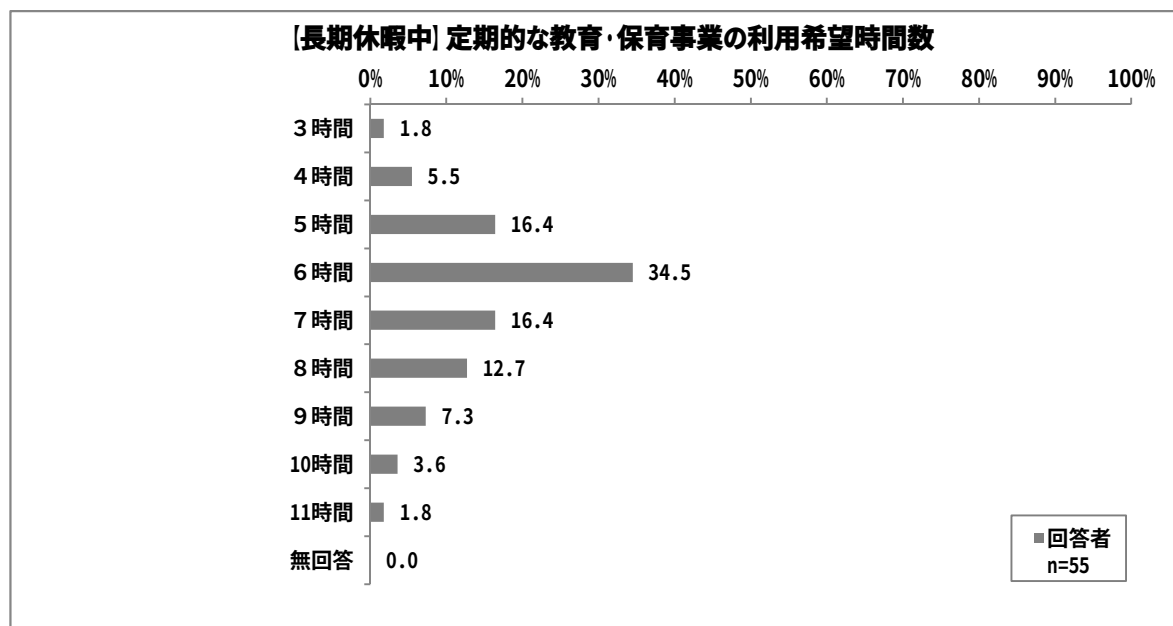


問29-1 問29の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

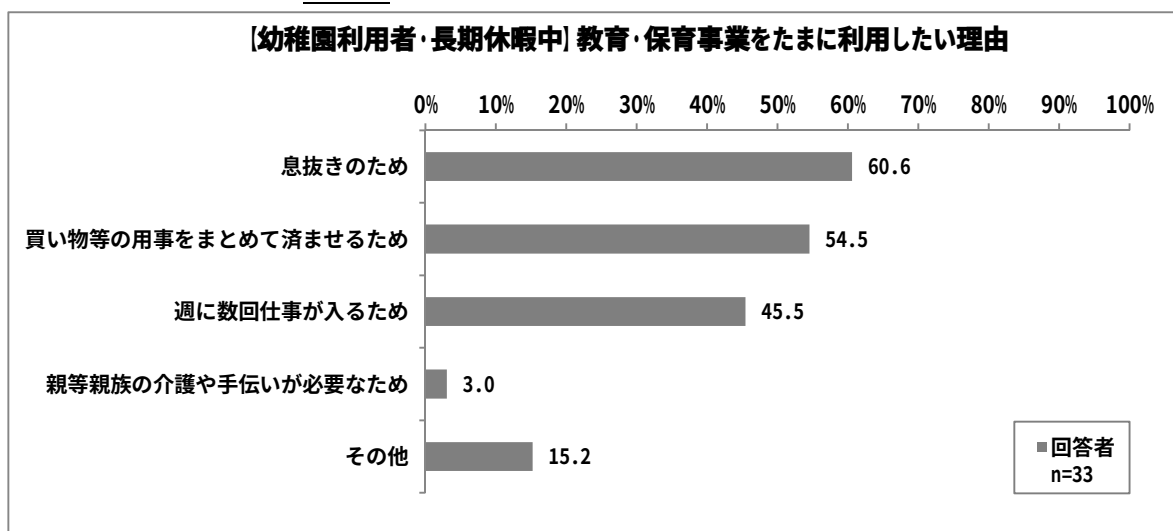


問30 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でお答えください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



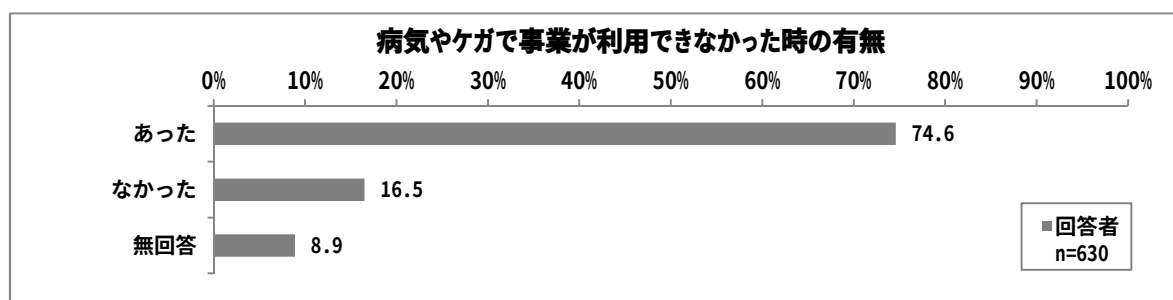


問30-1 問30で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

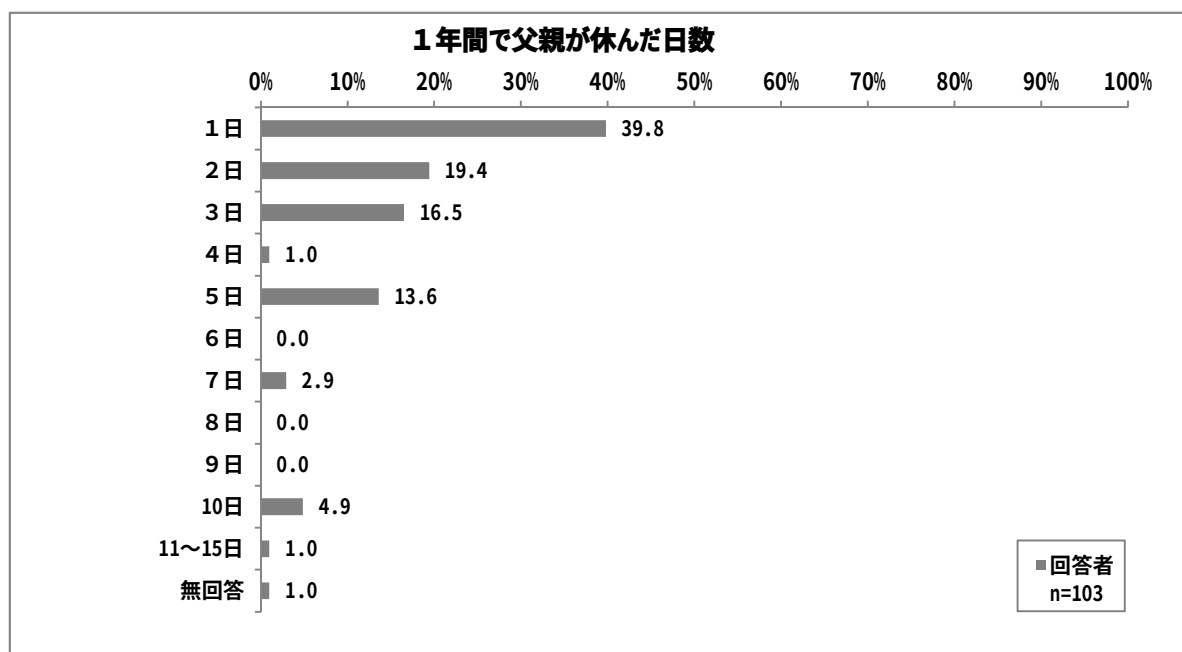
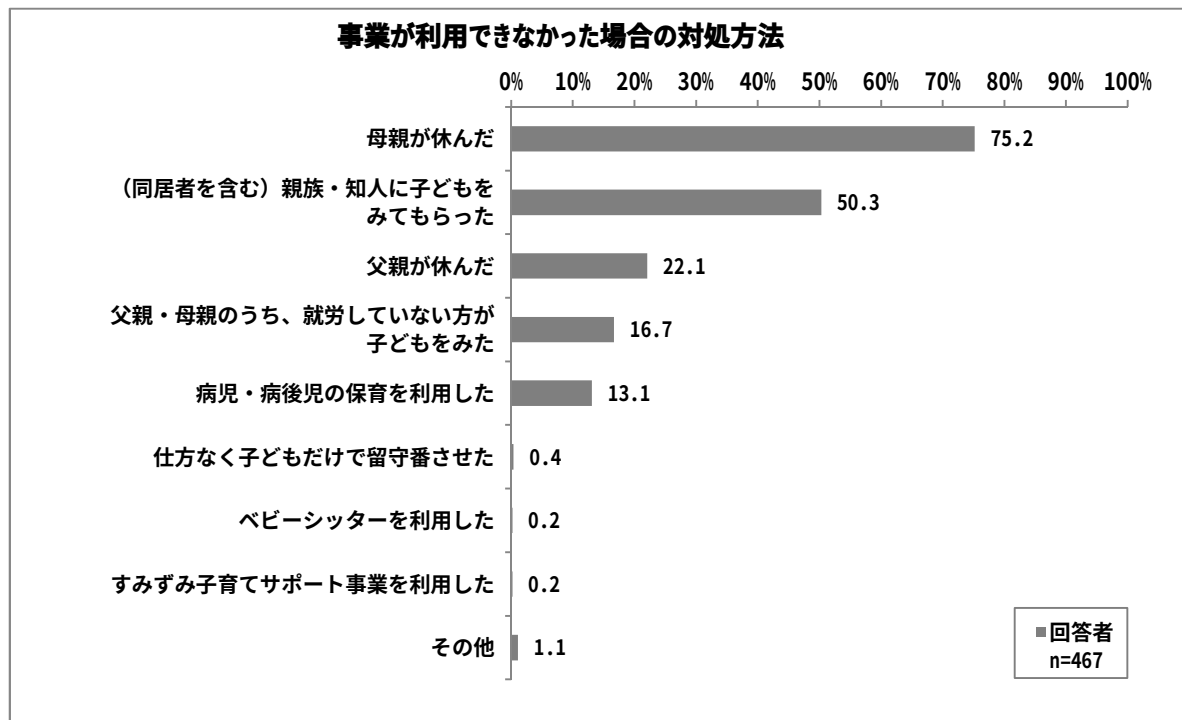


8. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

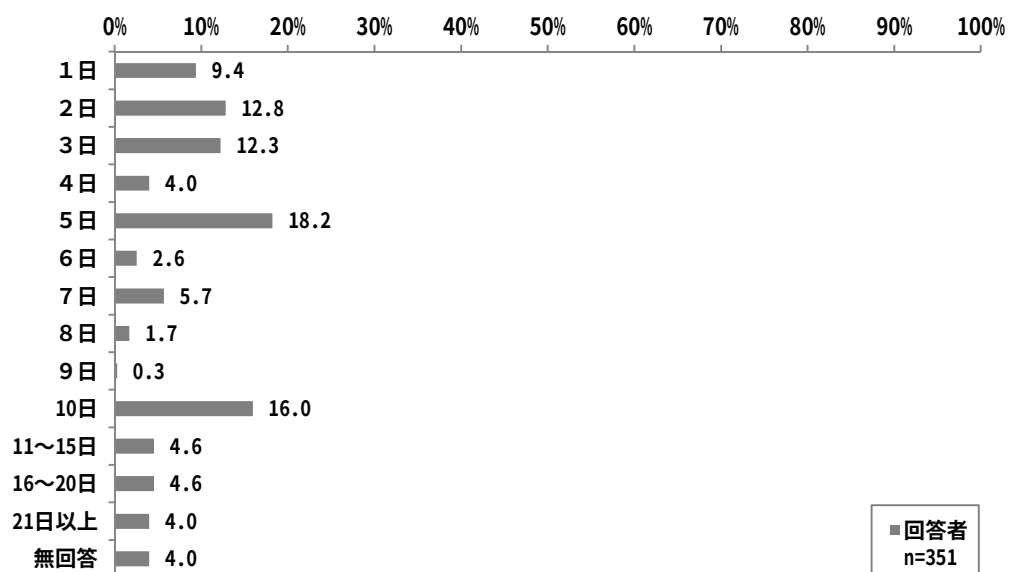
問31 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（P9の問21で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問32にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。



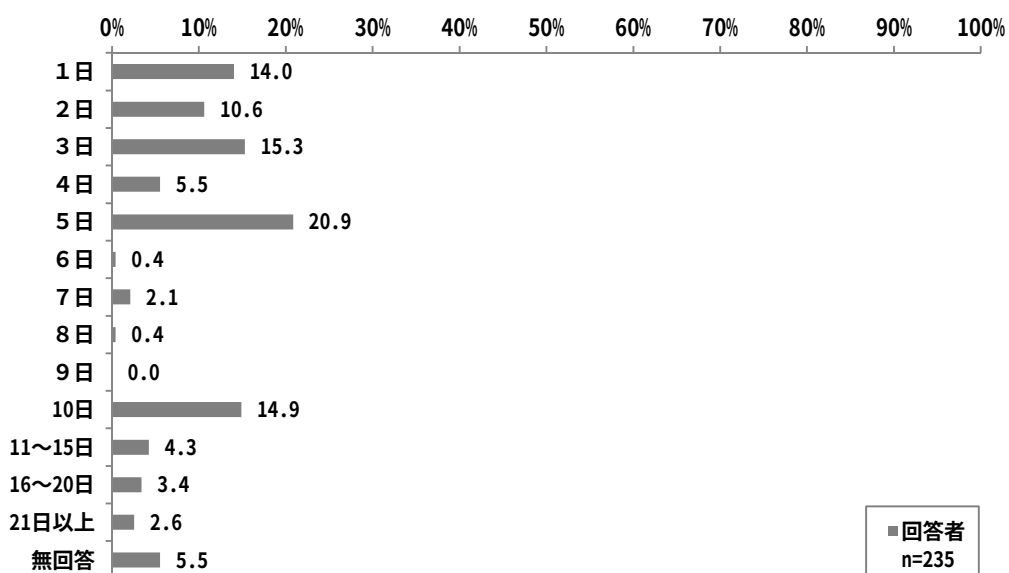
問31-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に
行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日
程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。



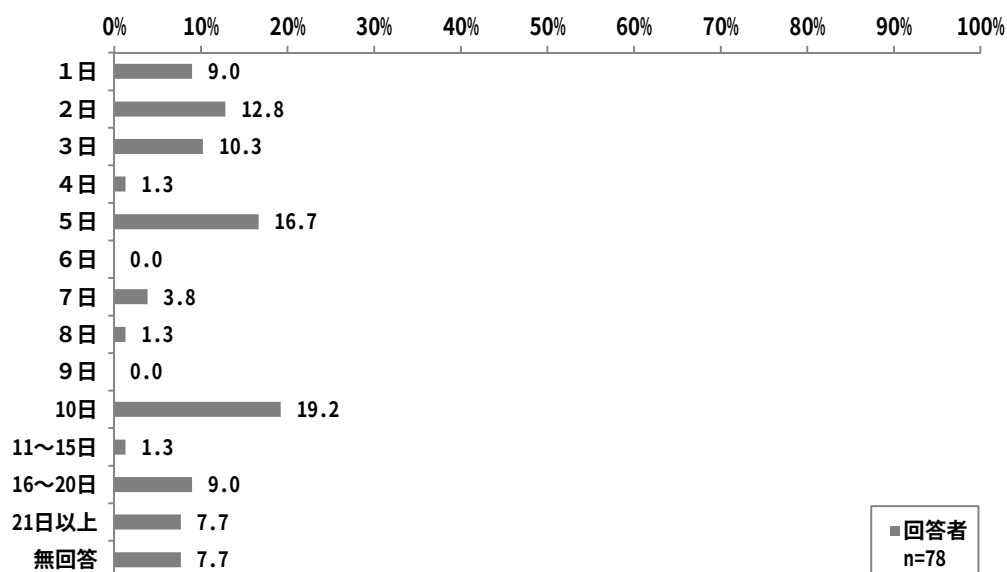
1年間で母親が休んだ日数



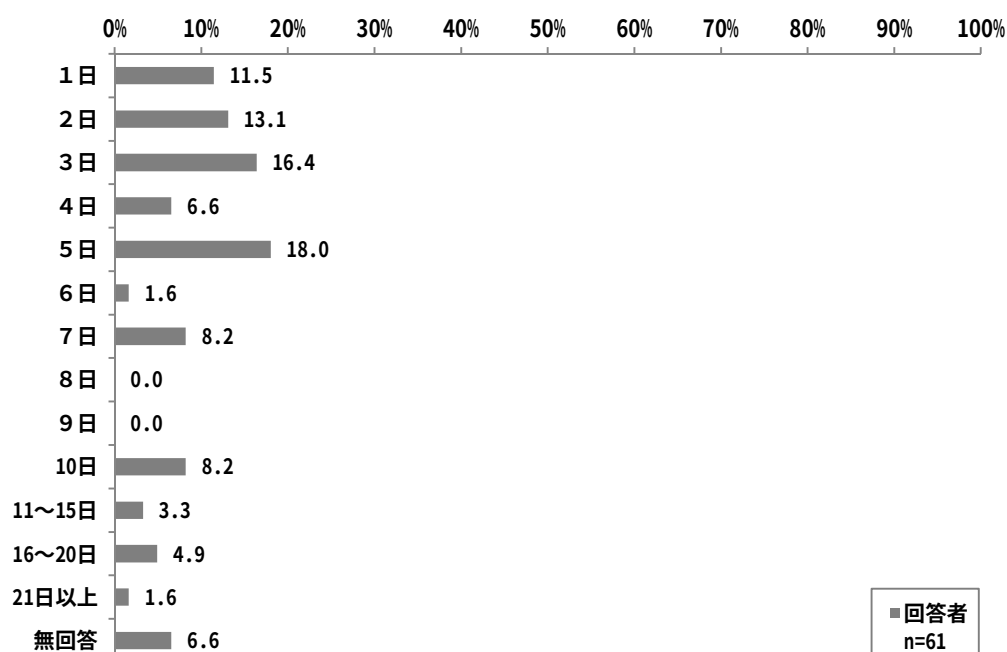
1年間で（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数



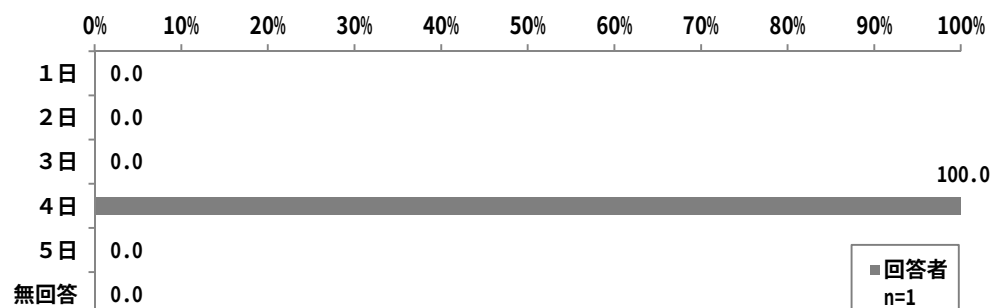
1年間で父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

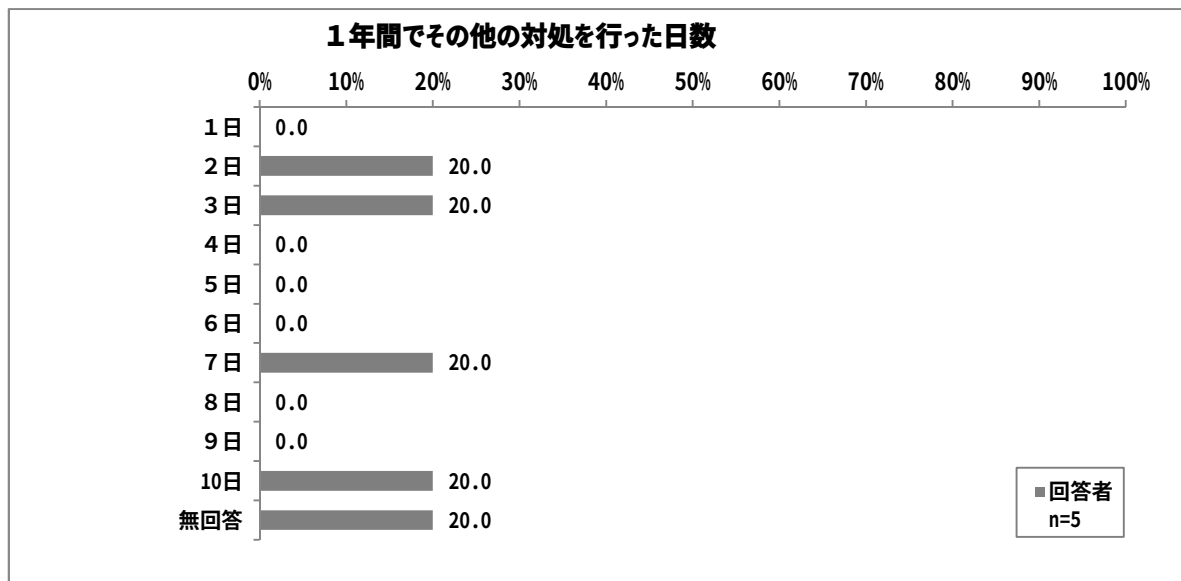
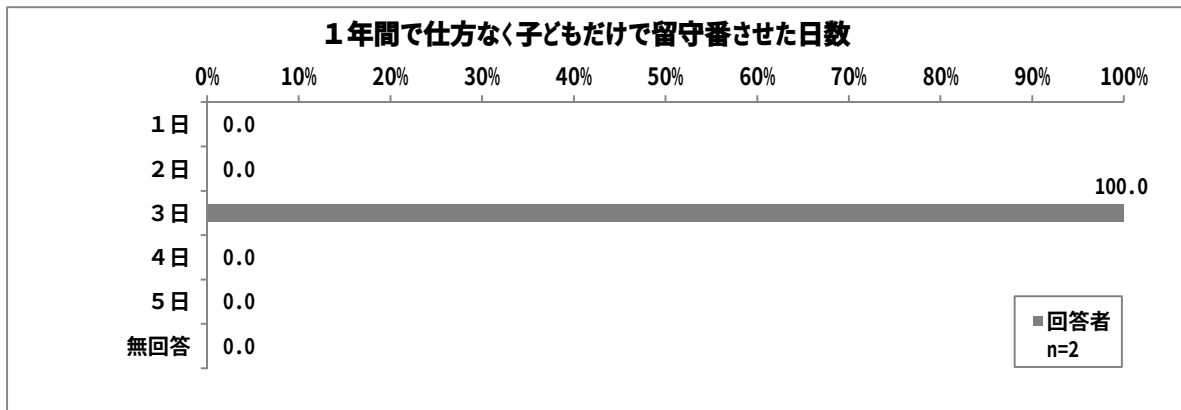
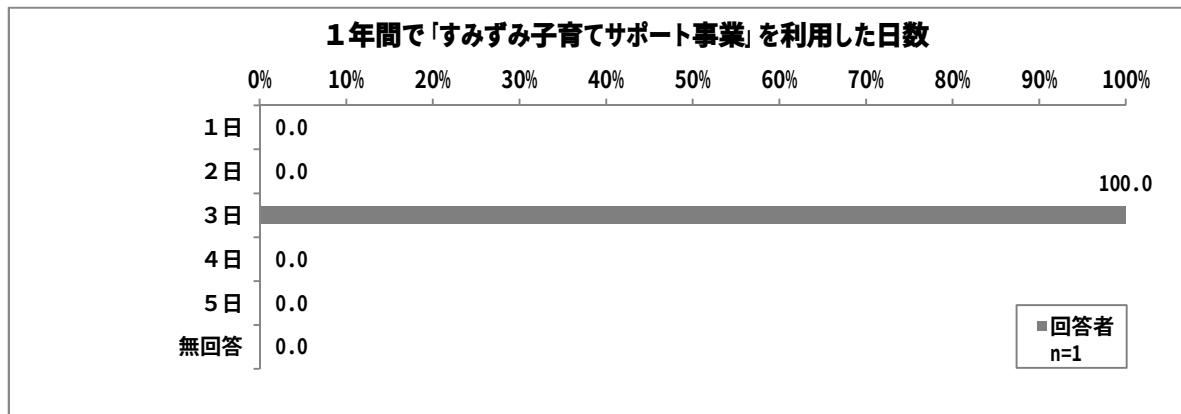


1年間で病児・病後児保育を利用した日数

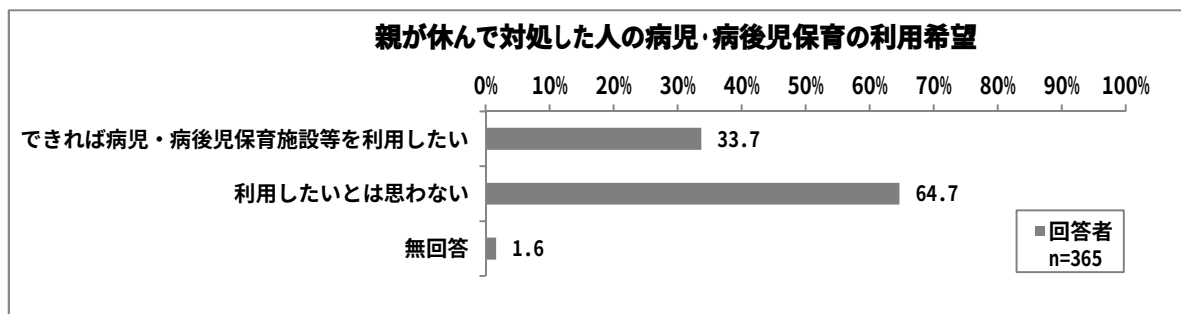


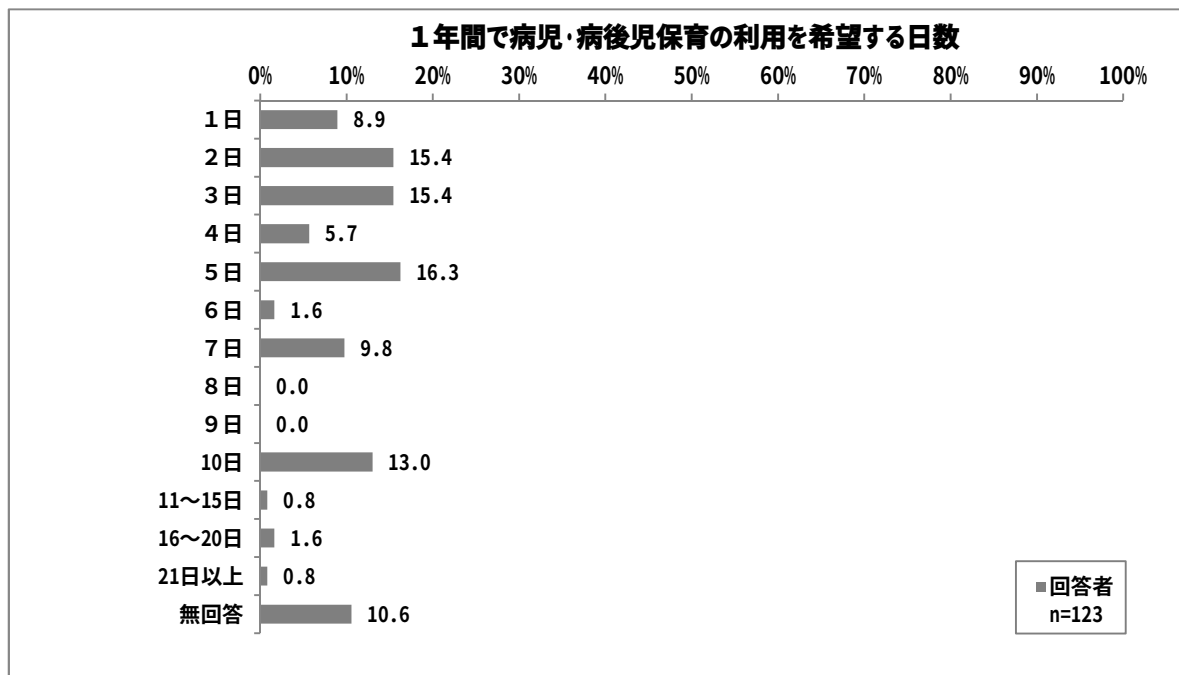
1年間でベビーシッターを利用した日数



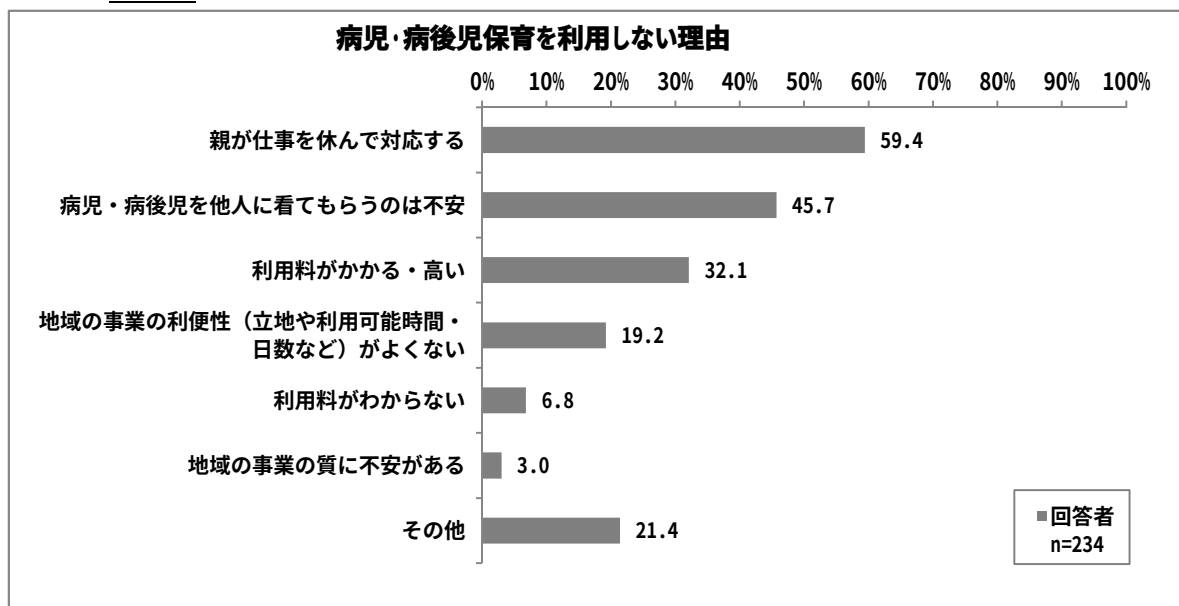


問31-2 問31-1で「ア．父親が休んだ」「イ．母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ「1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択される方は、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に医師の診察が必要となります。

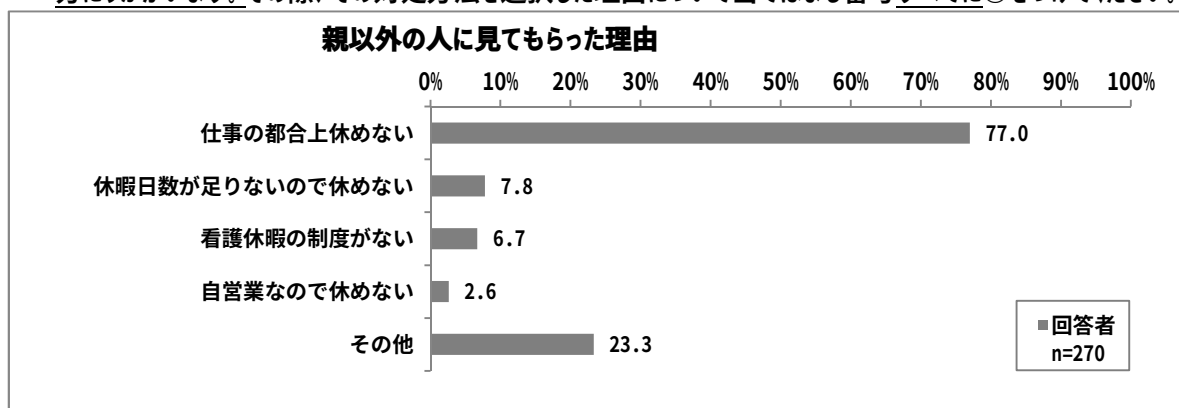




問31-3 問31-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

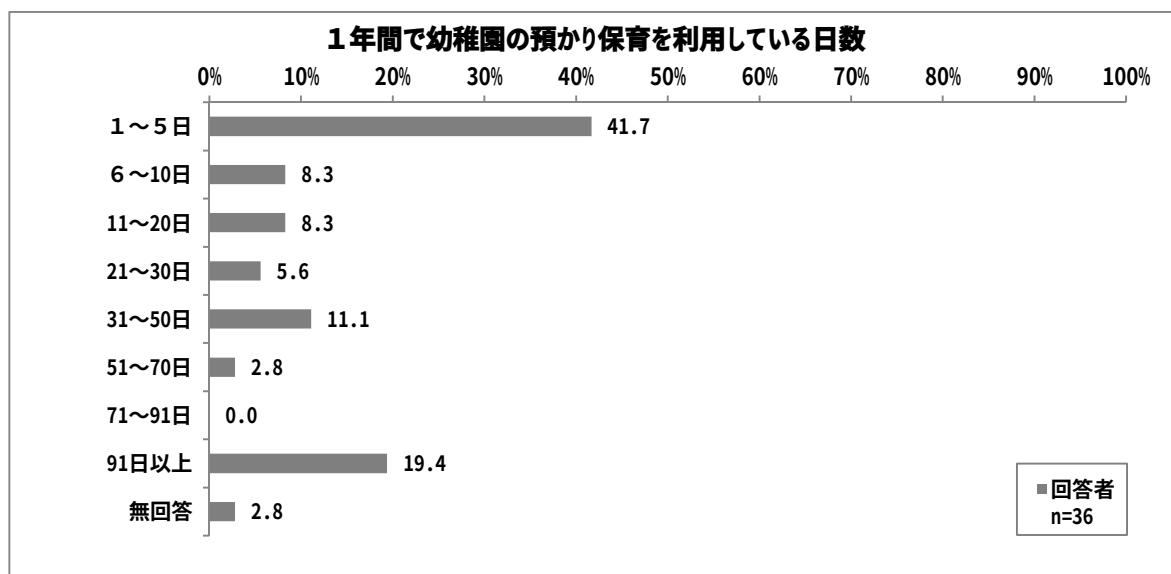
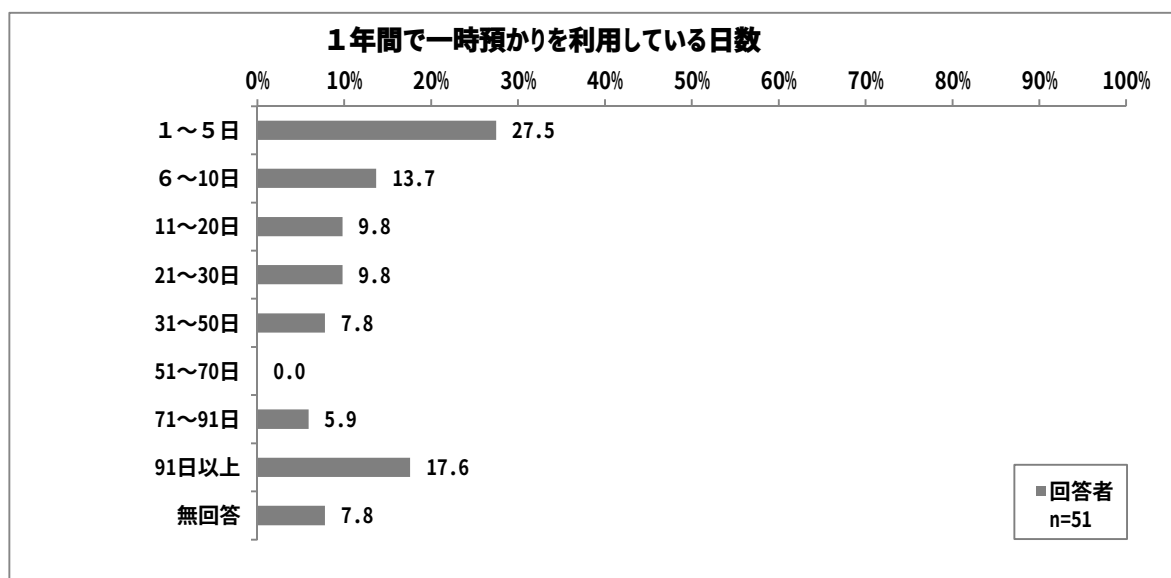
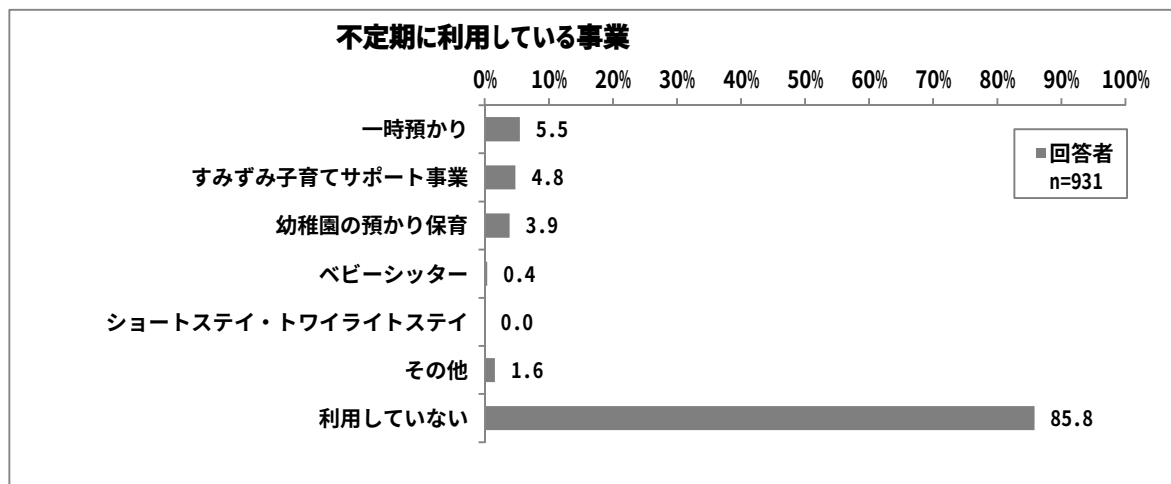


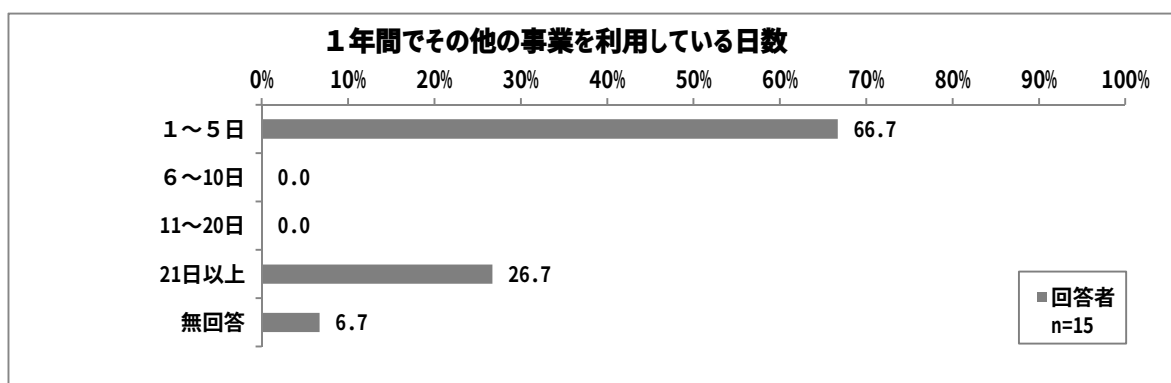
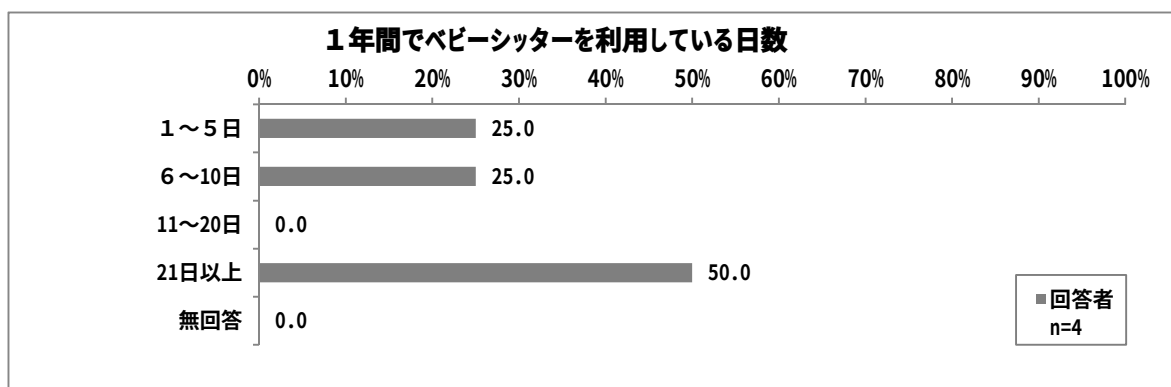
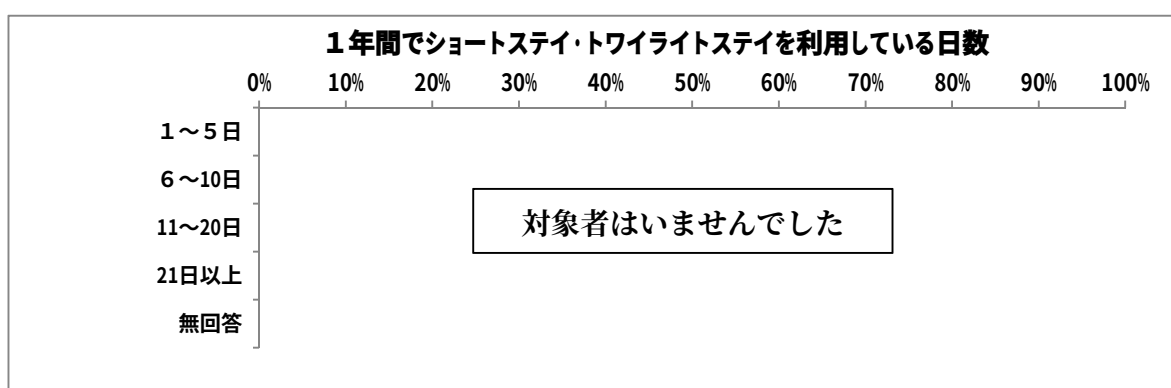
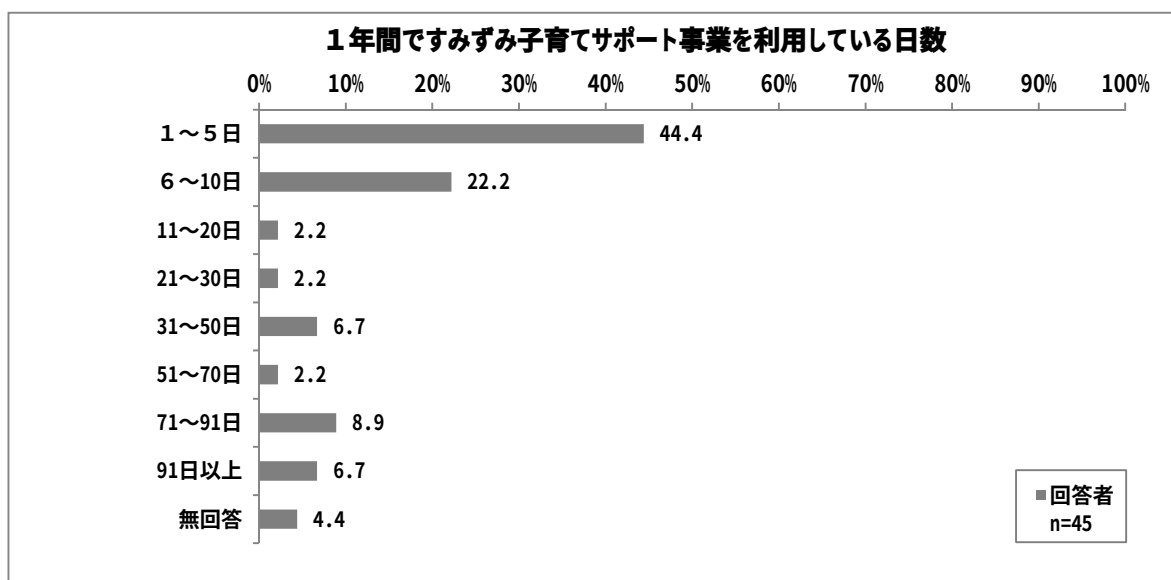
問31-4 問31-1で「ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、その対処方法を選択した理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



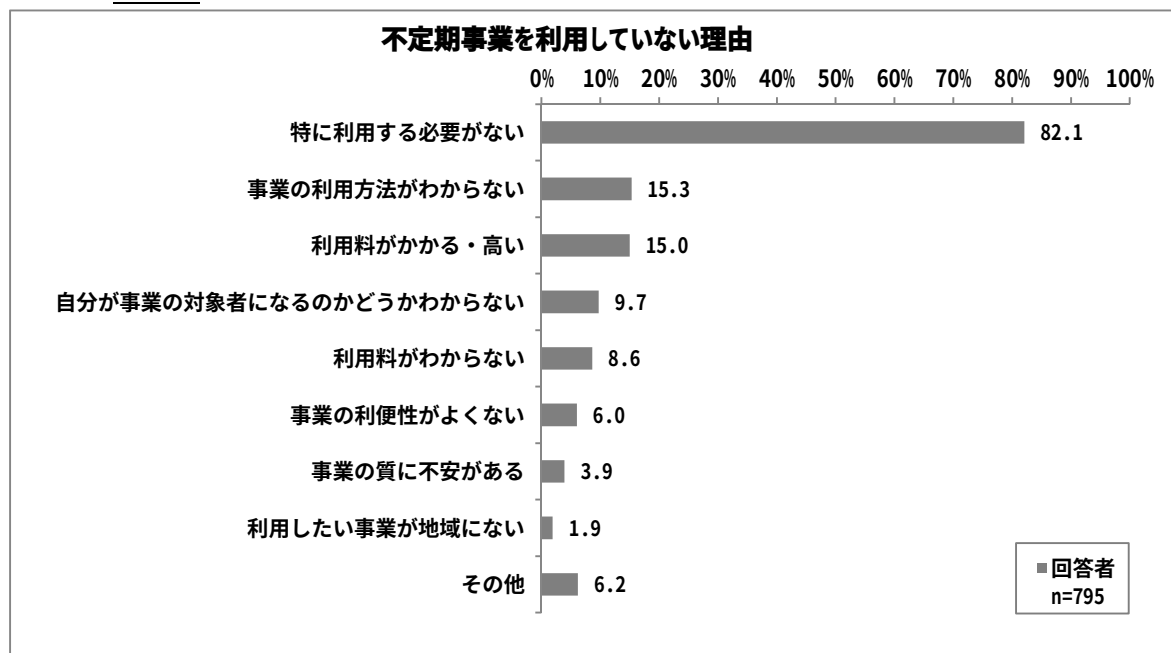
9. 宛名のお子さんの不規則的教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問32 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

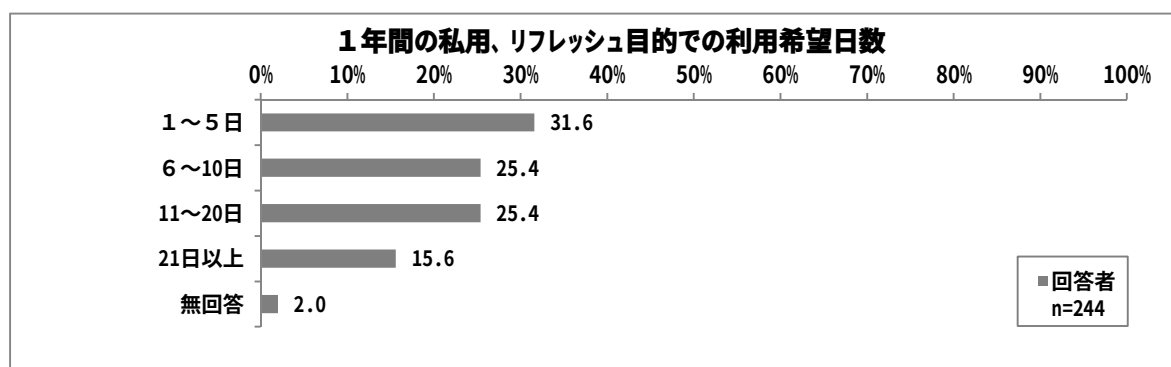
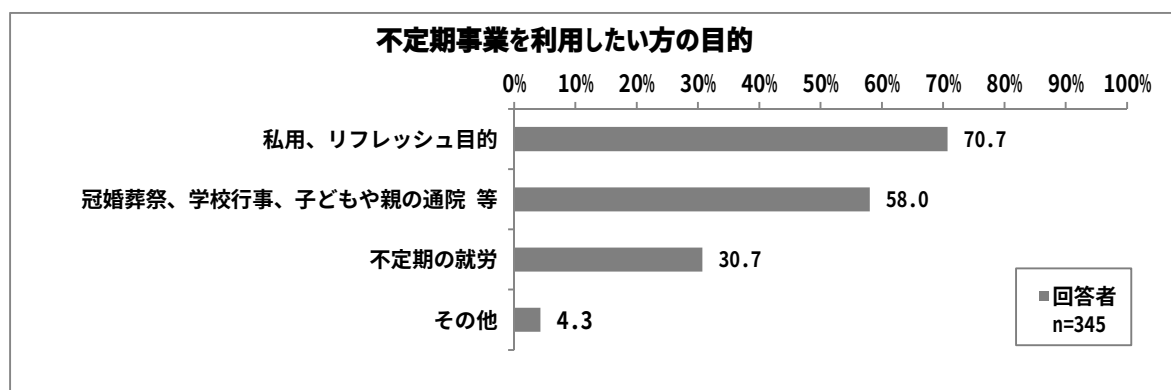
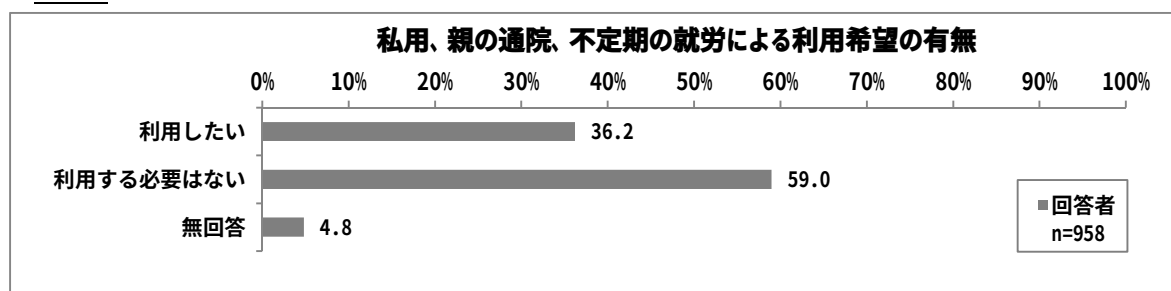


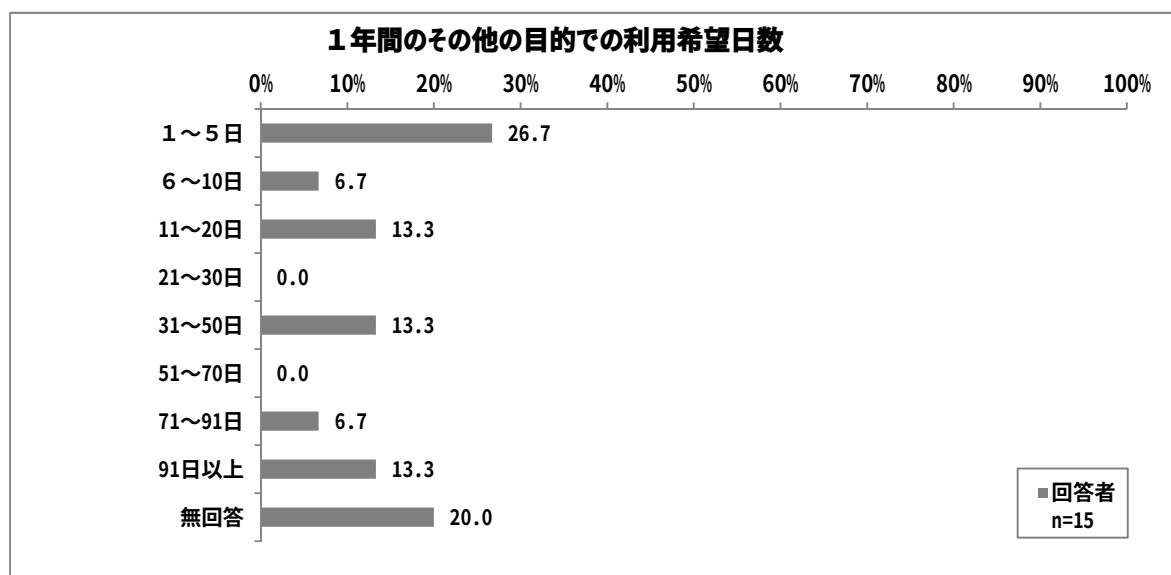
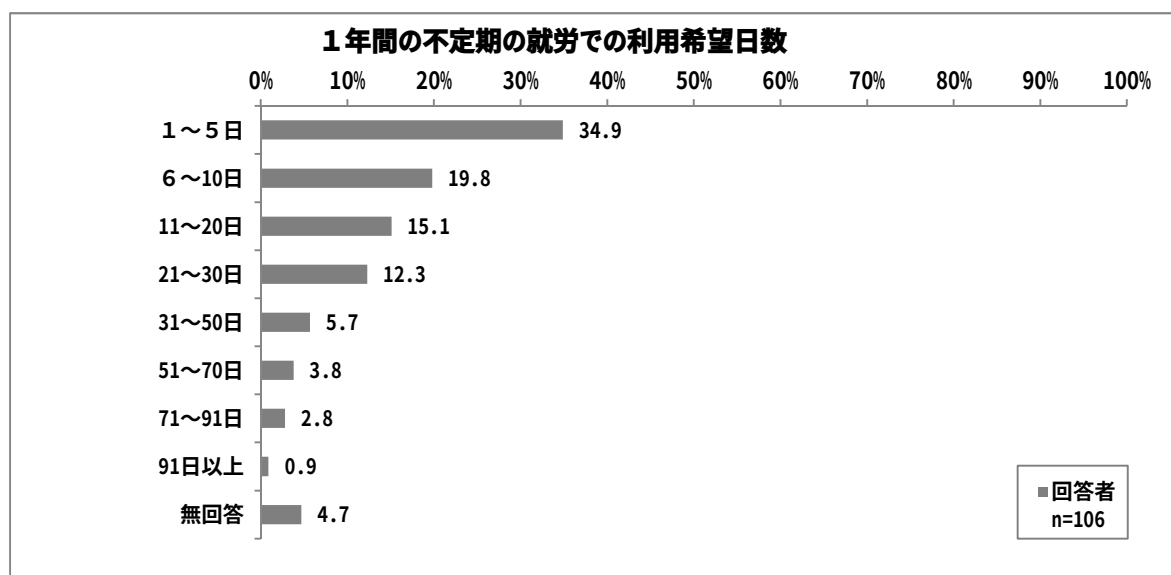
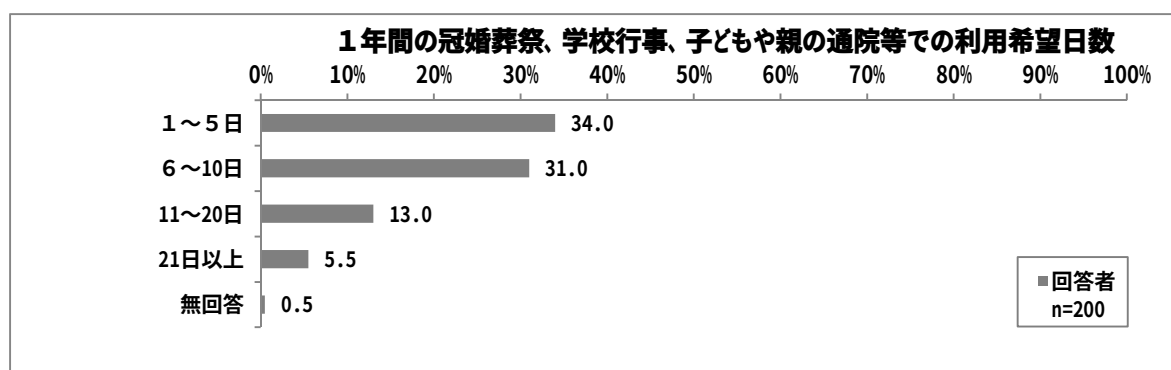


問32-1 問32で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

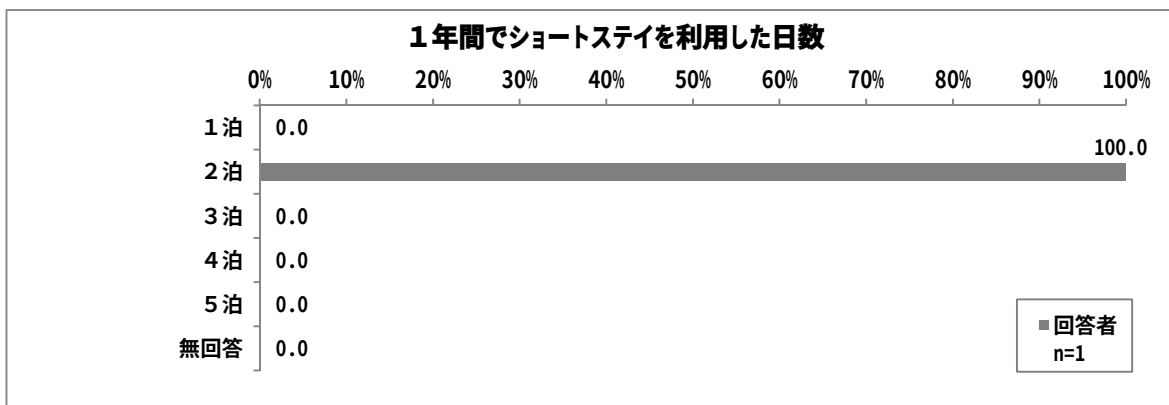
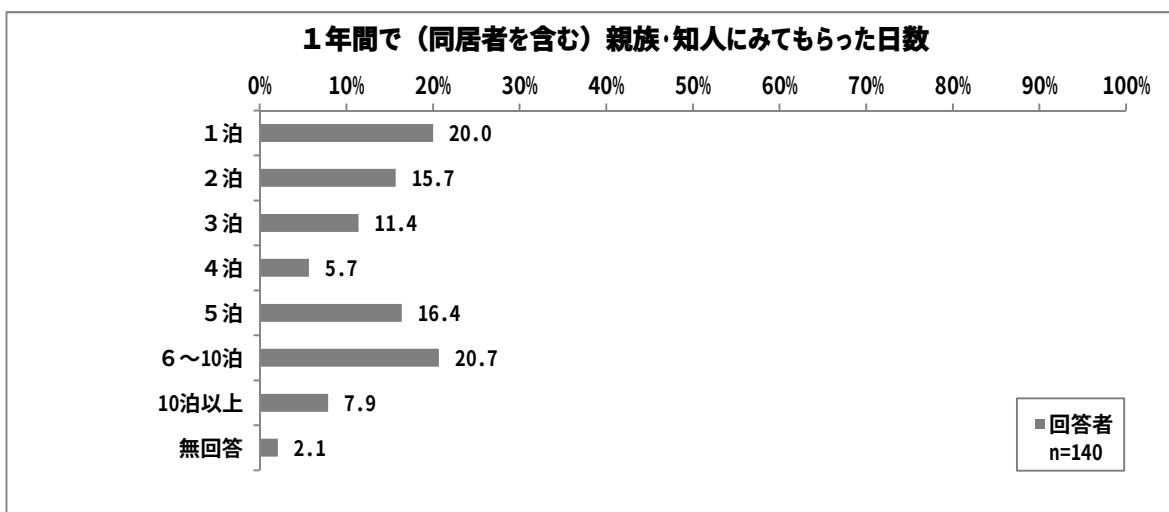
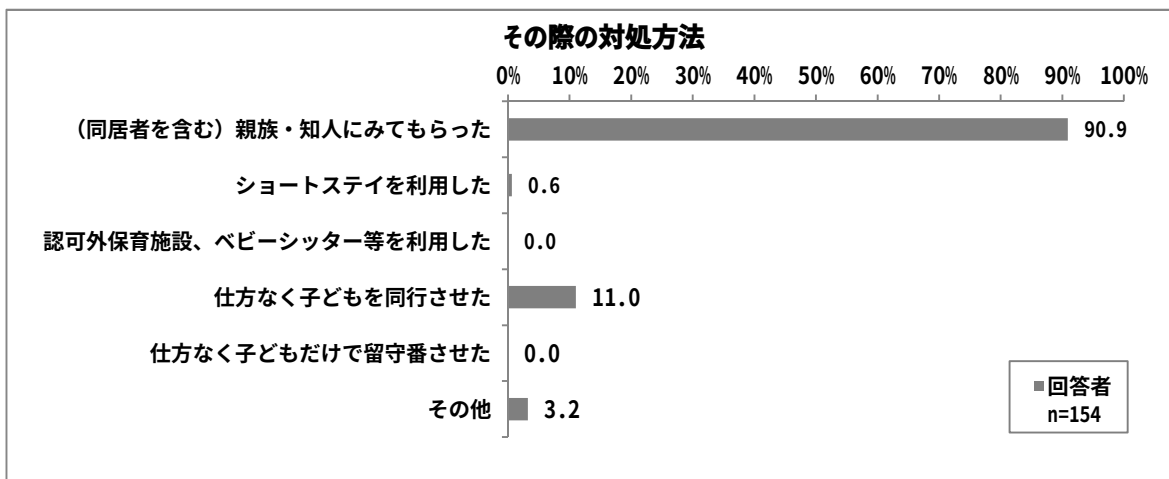
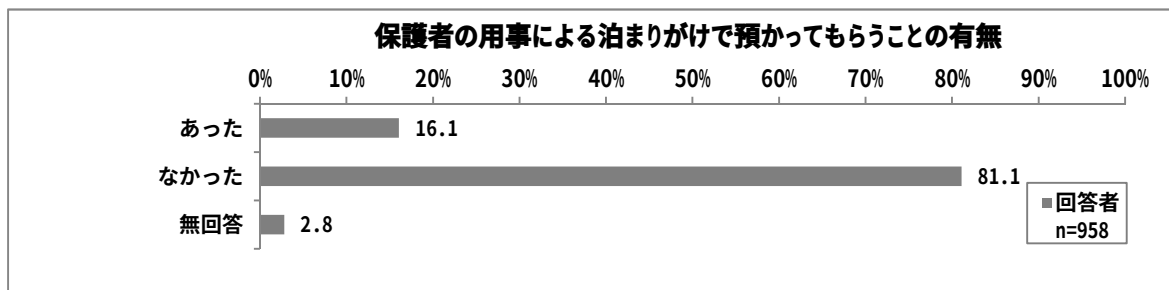


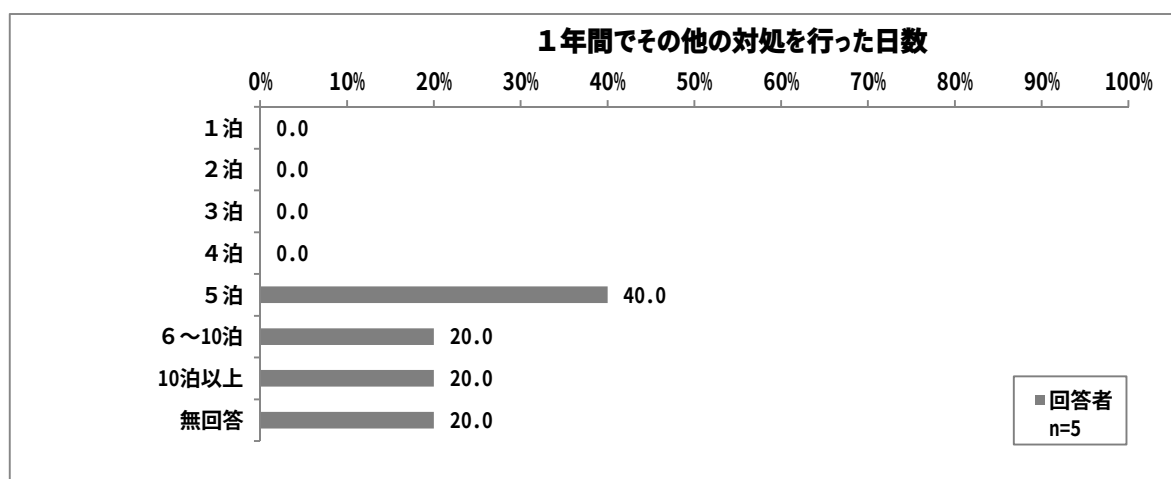
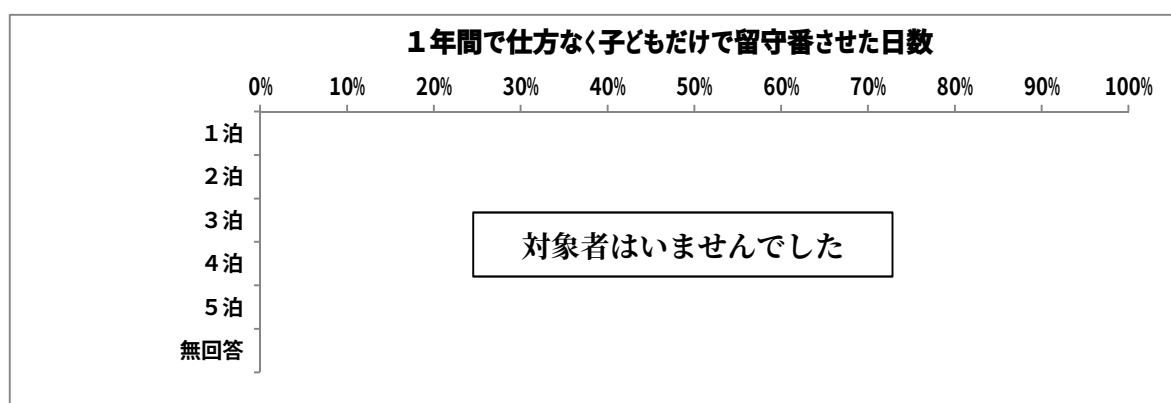
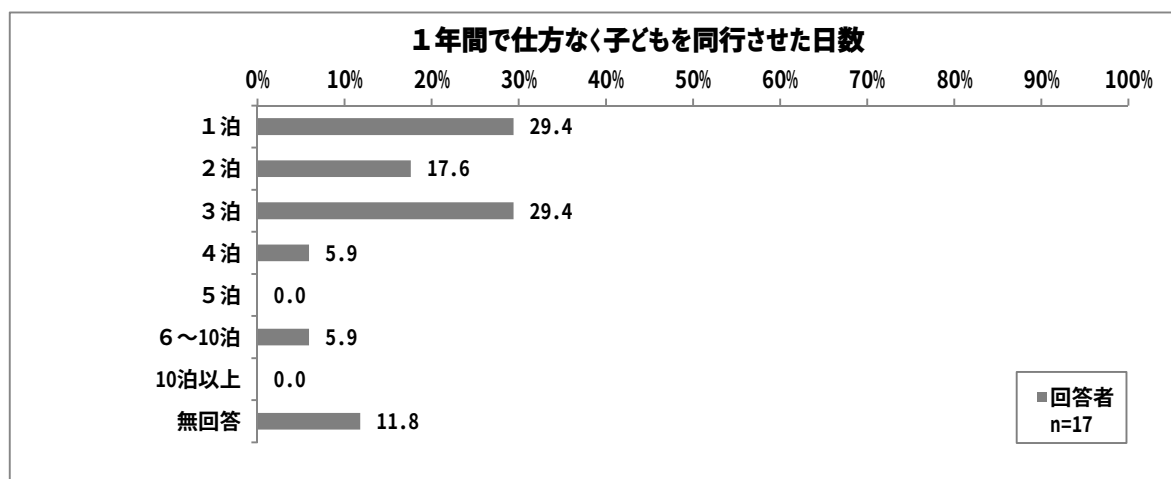
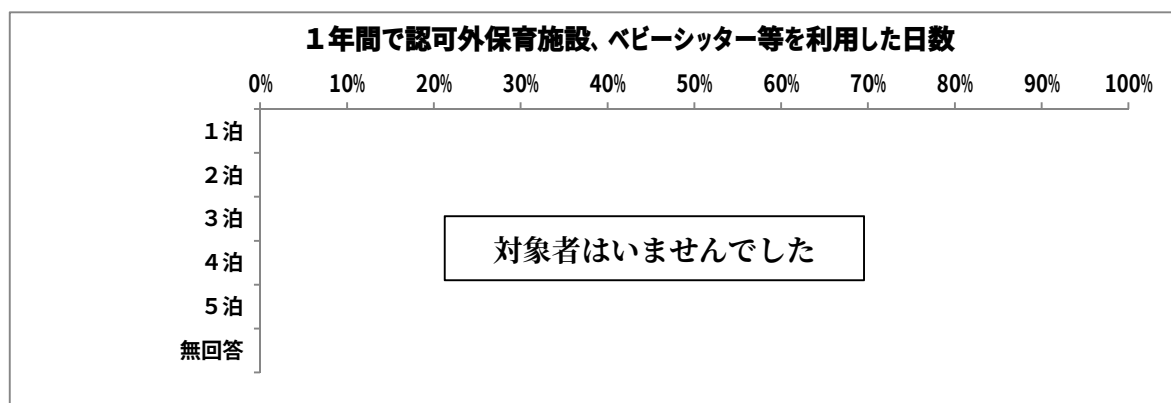
問33 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。





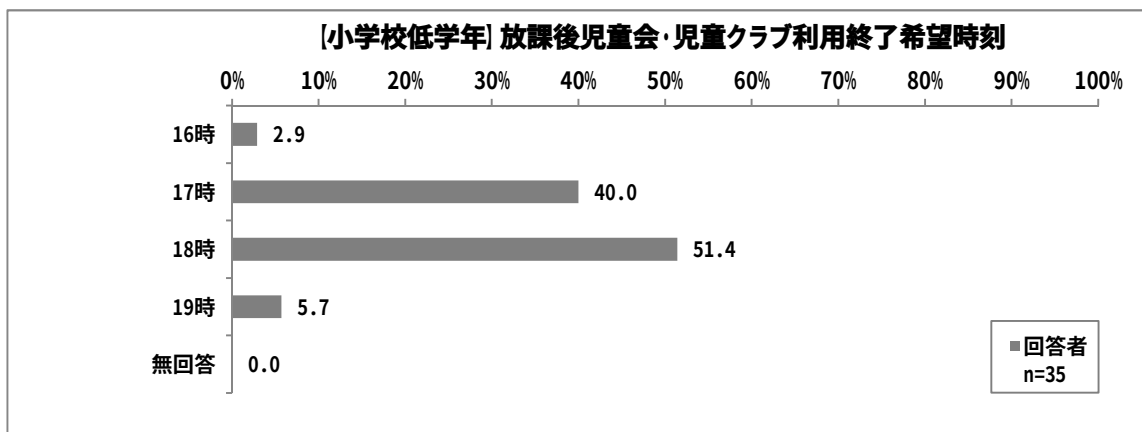
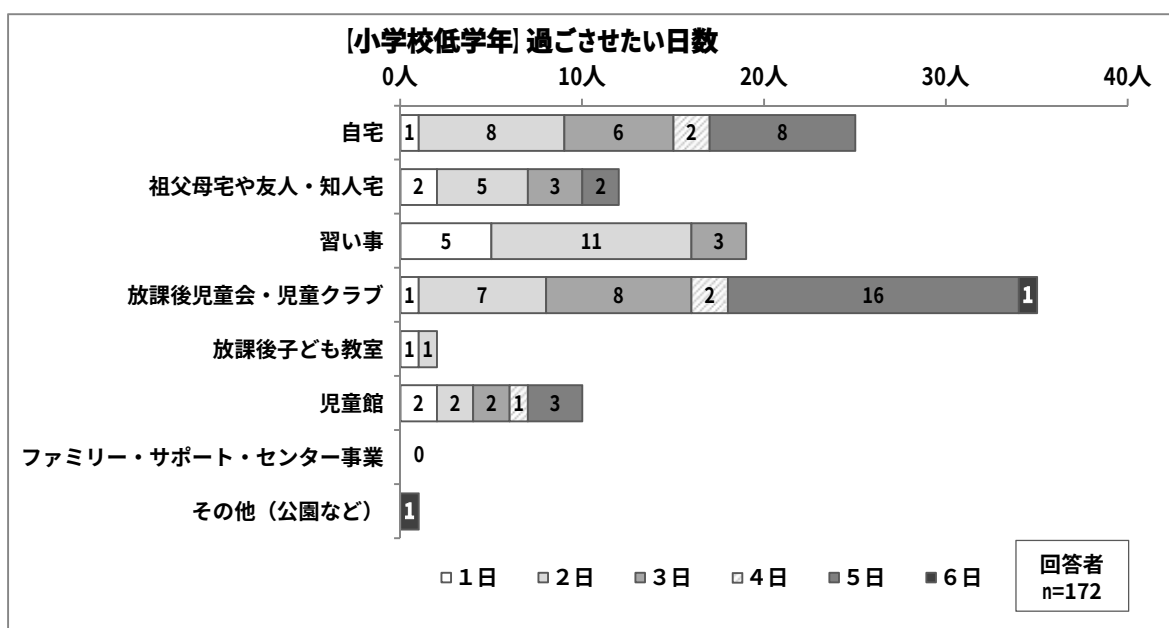
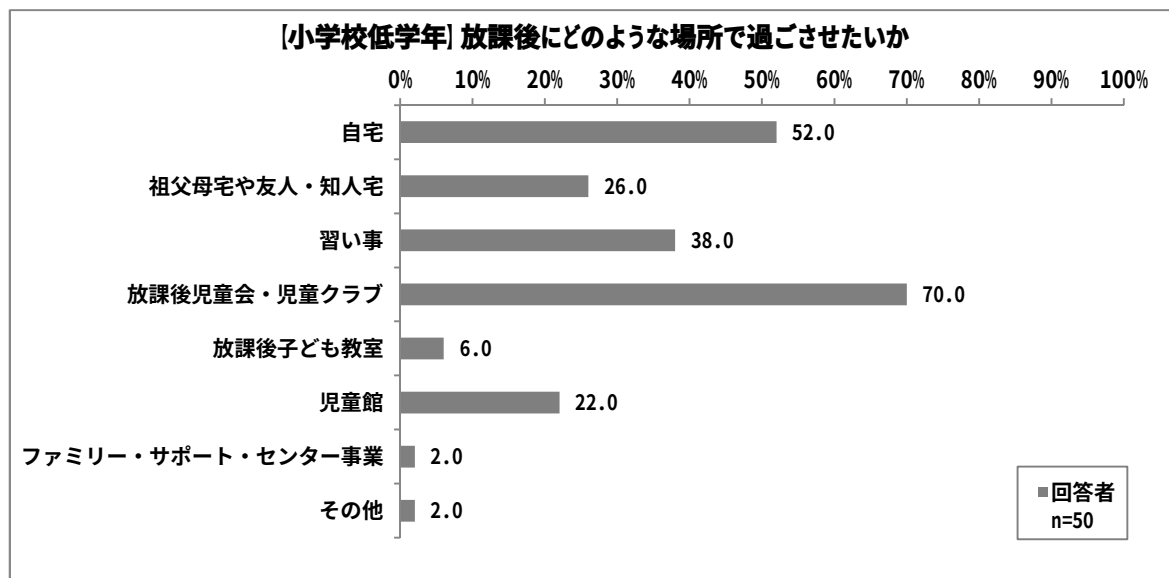
問34 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



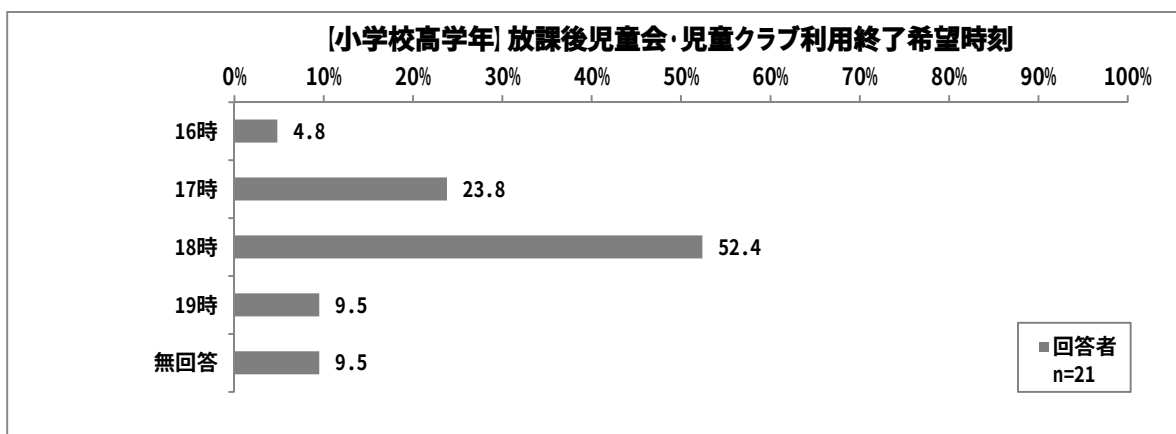
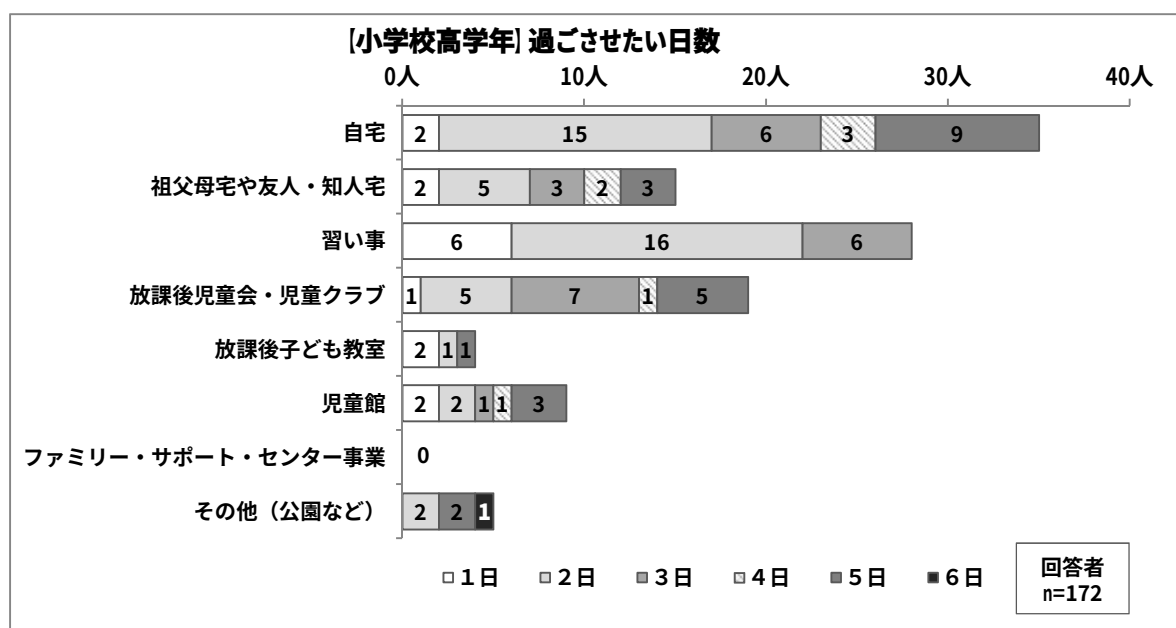
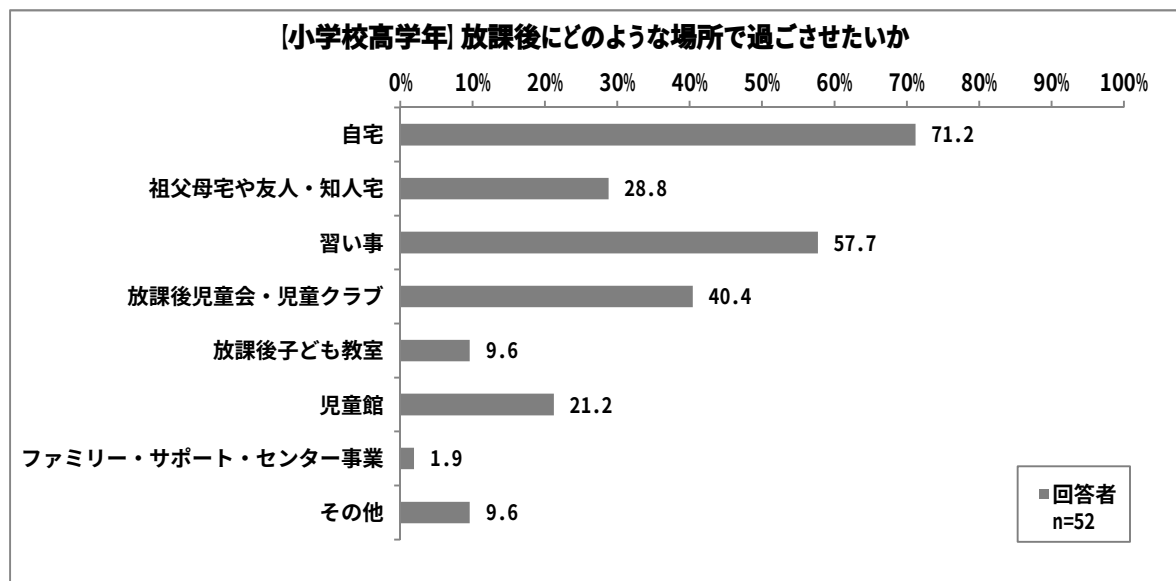


10. 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問35 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

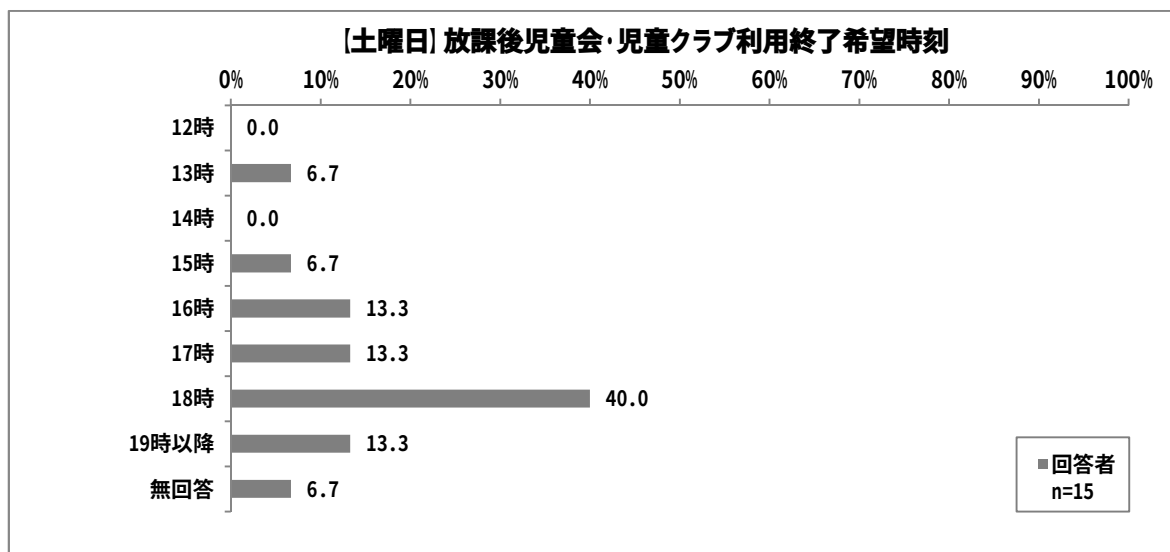
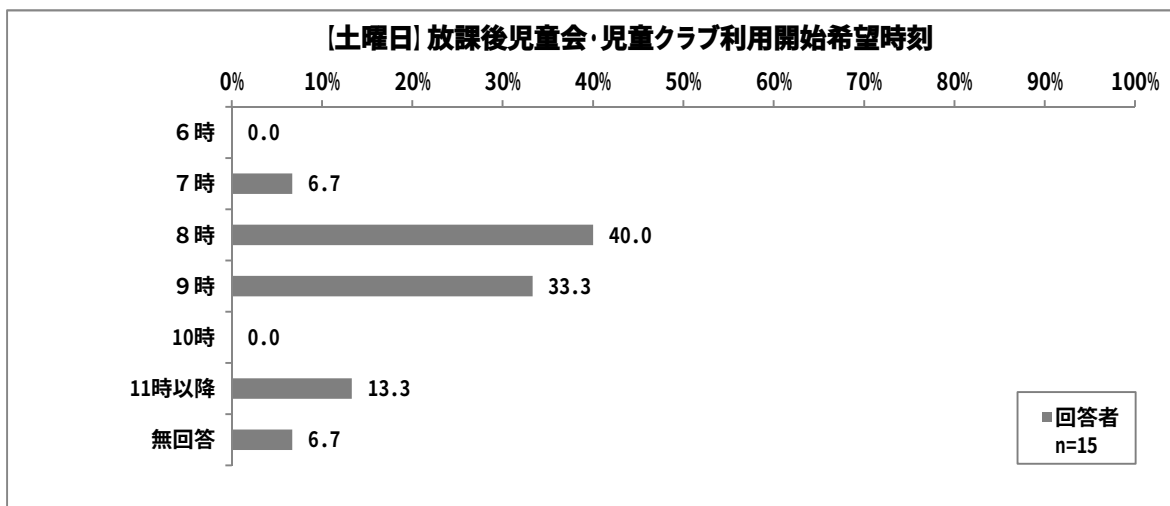
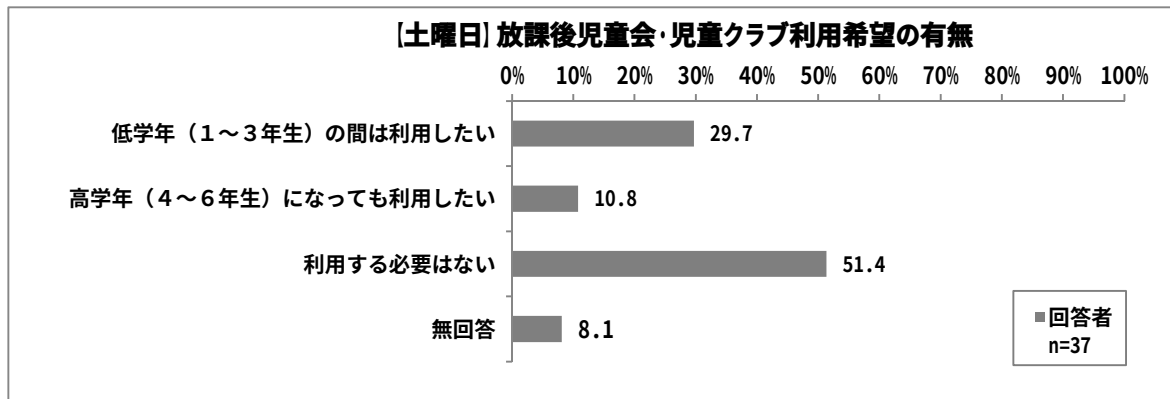


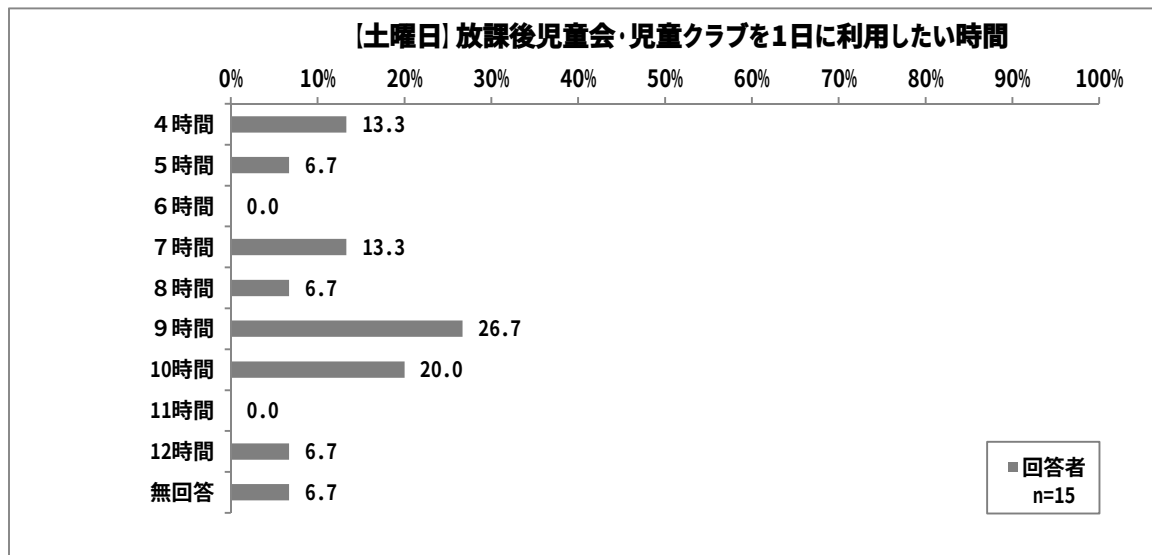
問36 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。
※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



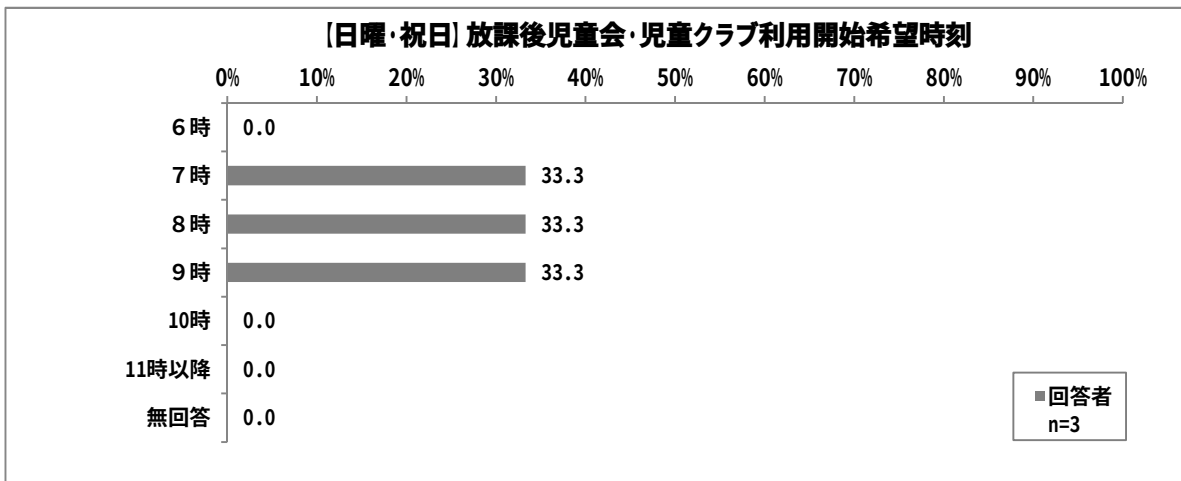
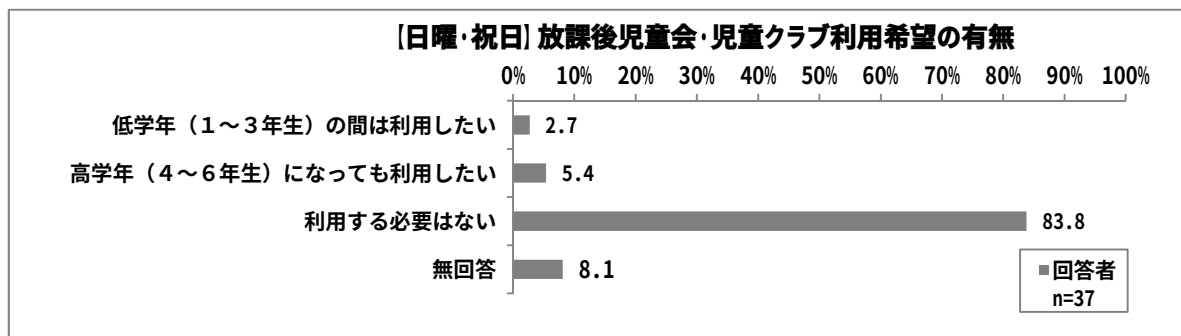
問37 問35または問36で「4. 放課後児童会・児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜・休日・長期休暇中での放課後児童会等の利用時期や利用時間の希望はありますか。(1)～(3)について、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でお答えください(数字は一桁に一字)。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

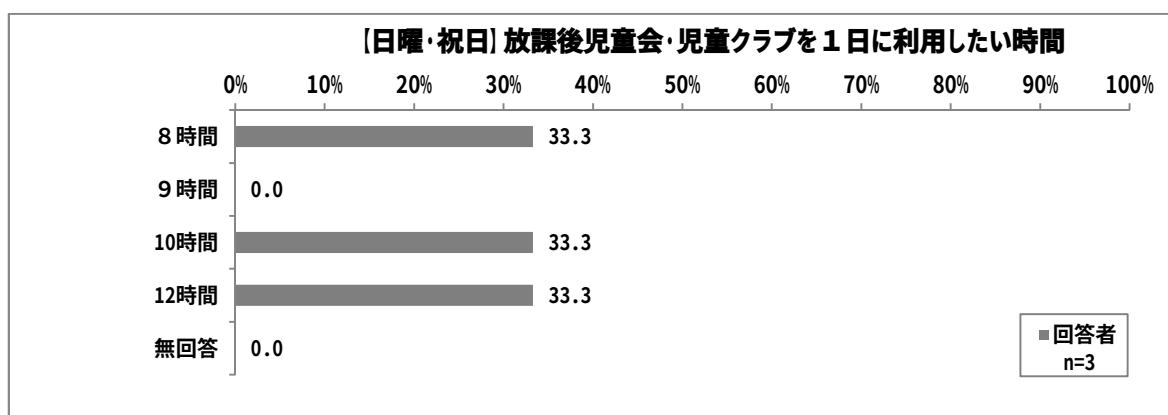
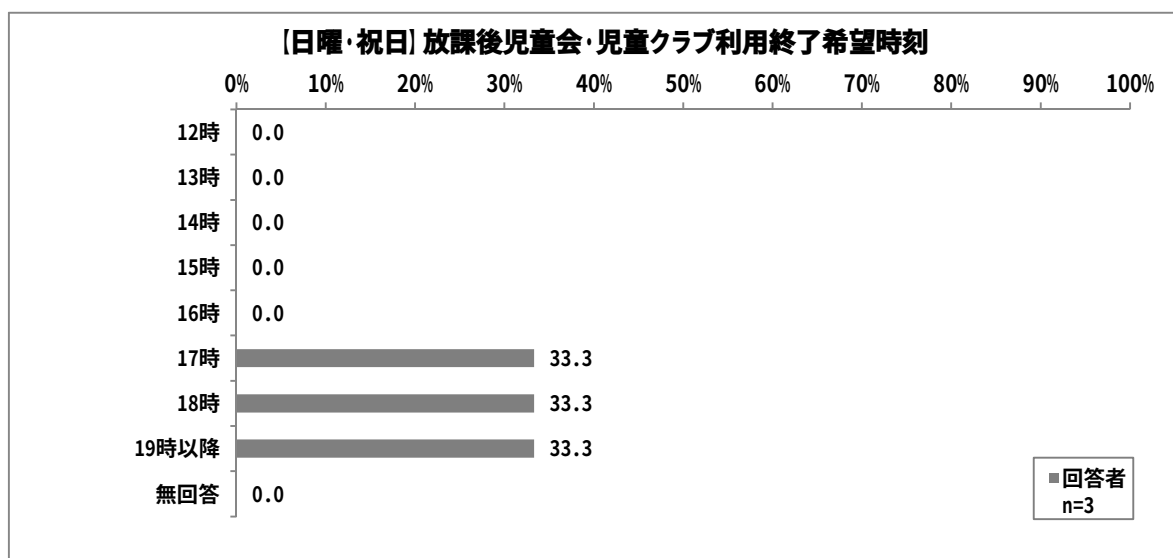
(1) 土曜日



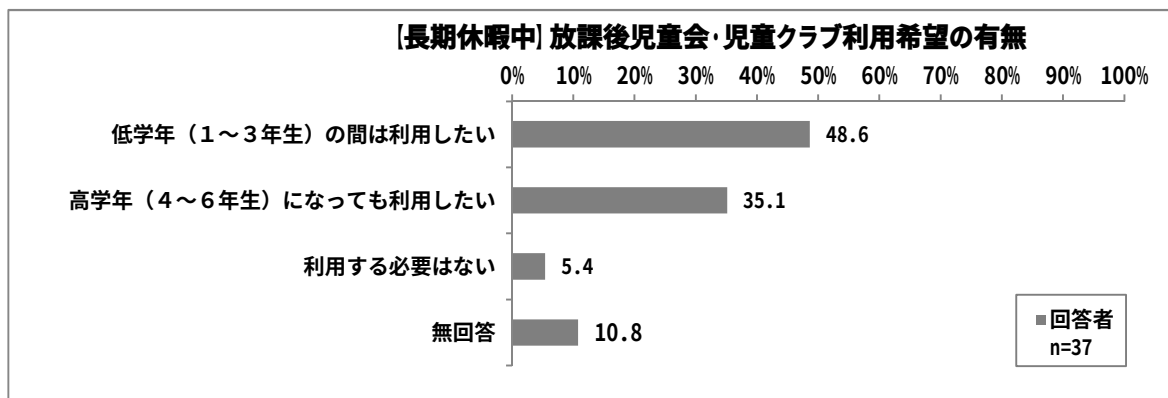


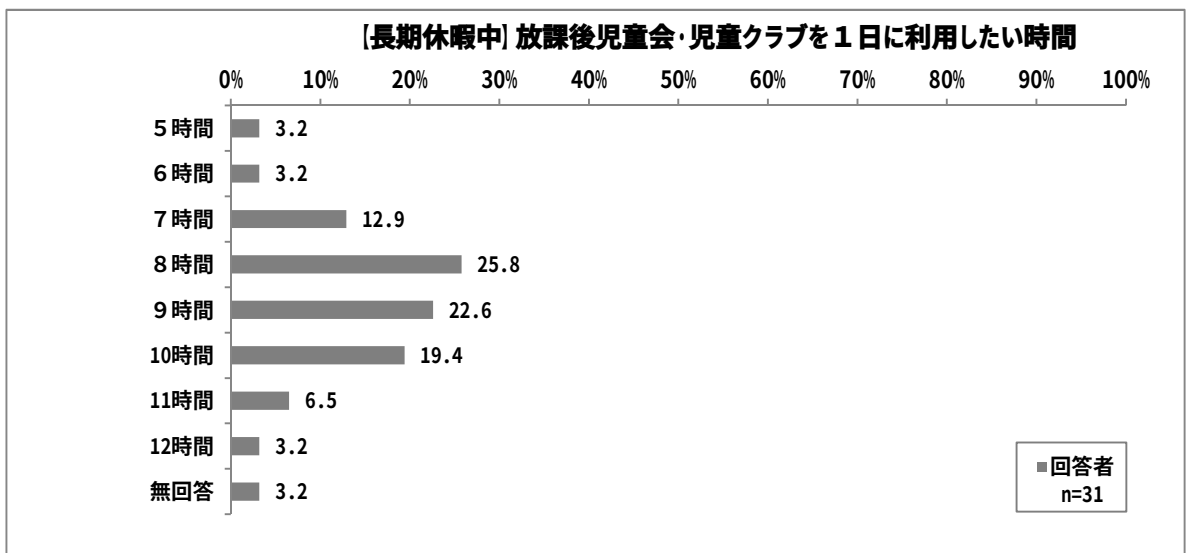
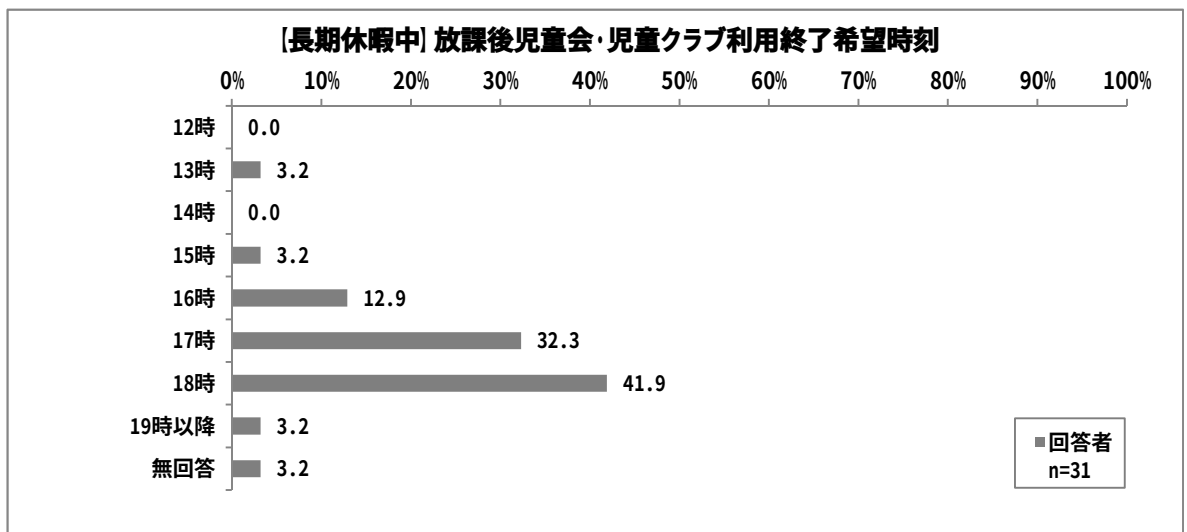
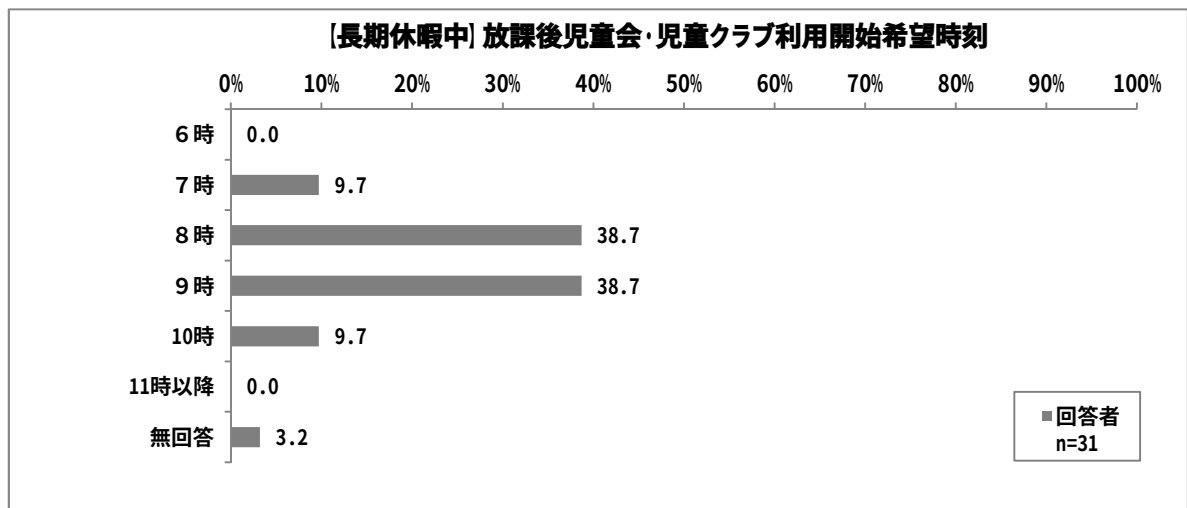
(2) 日曜・祝日





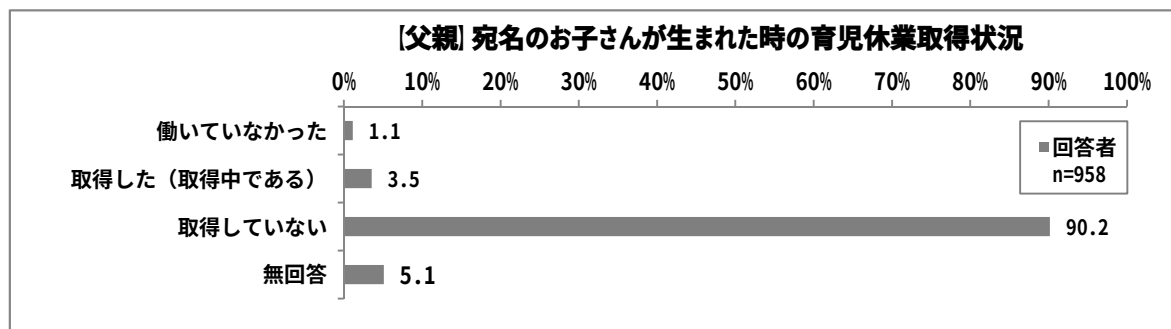
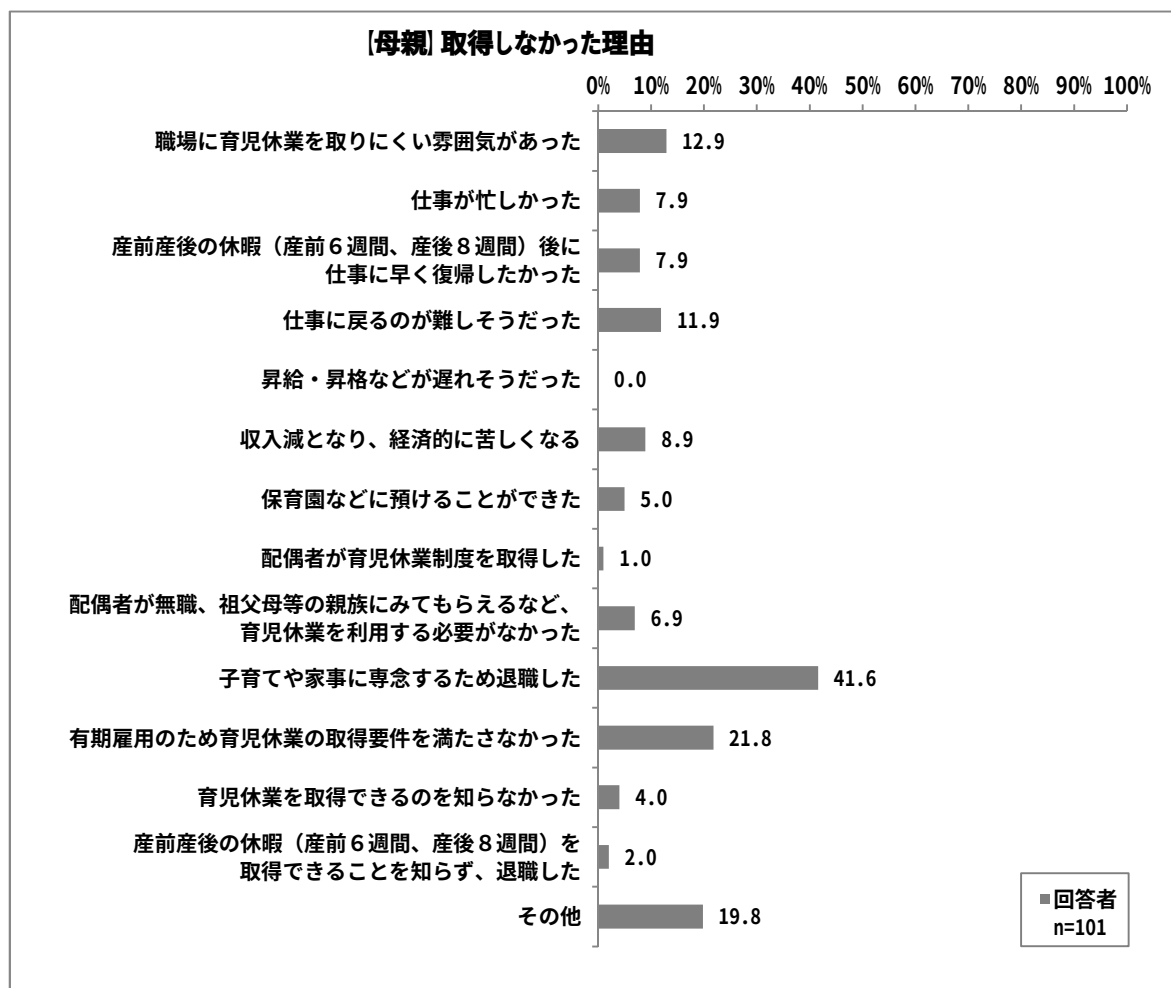
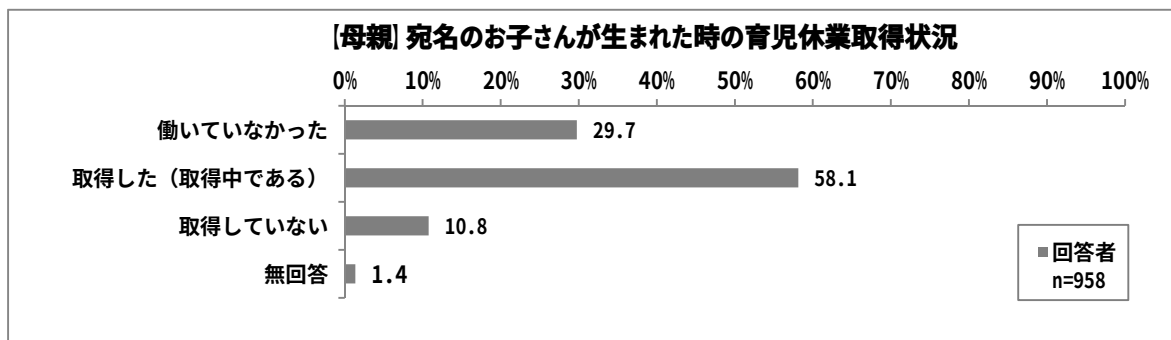
(3) 夏休み冬休みなどの長期休暇中

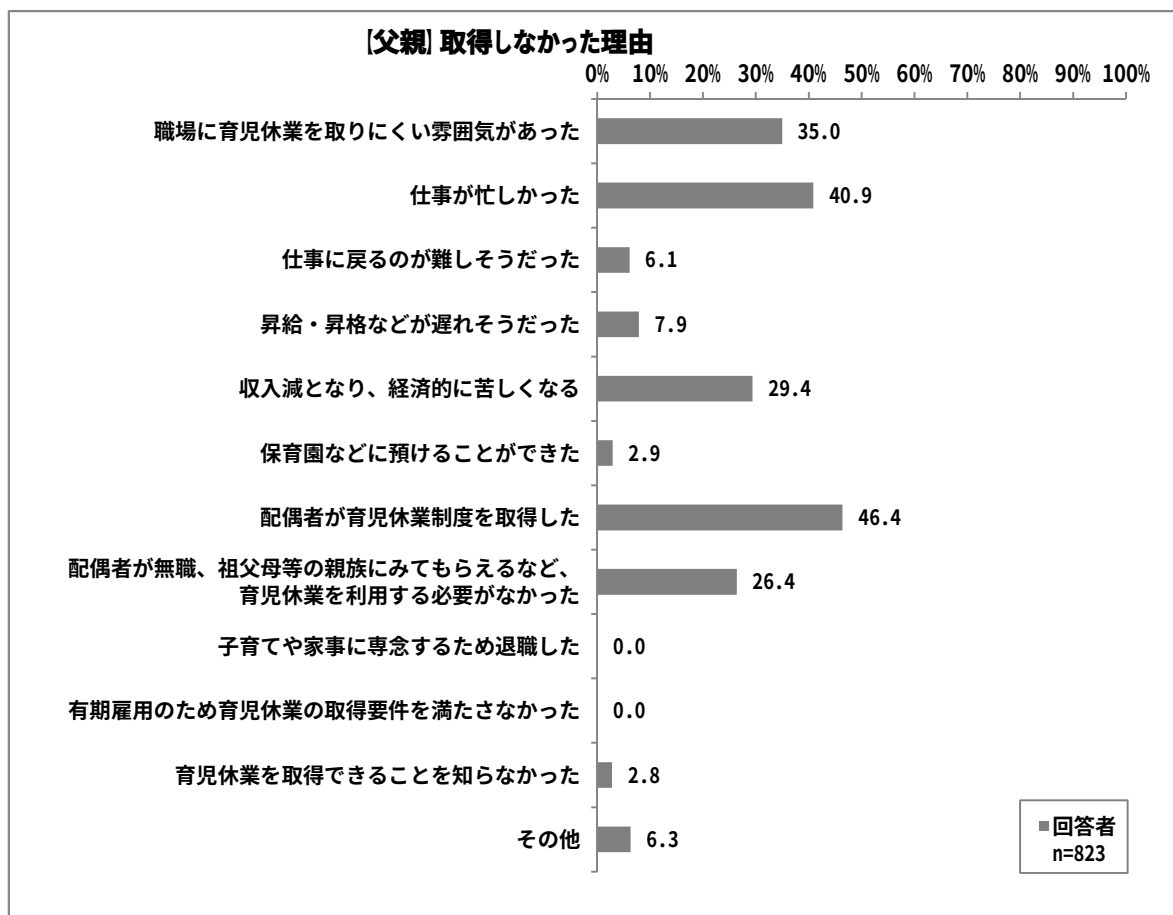




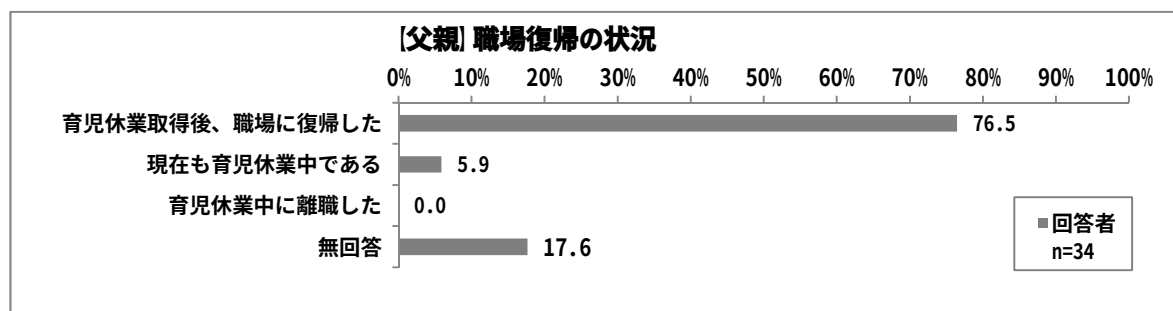
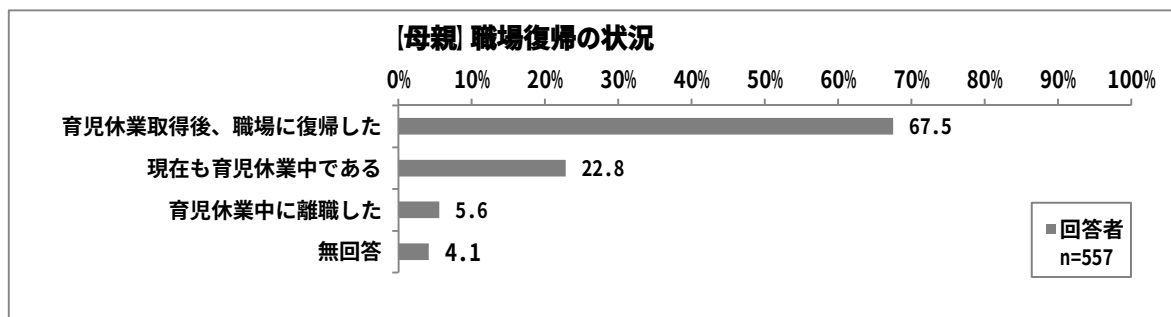
11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問38 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
また、「3. 取得していない」と回答した方はその理由に当てはまる番号 すべてに ○をしてください。

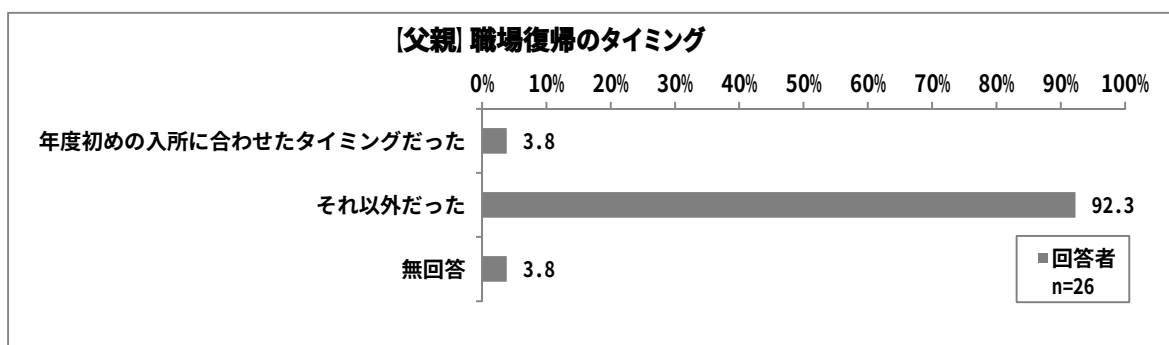
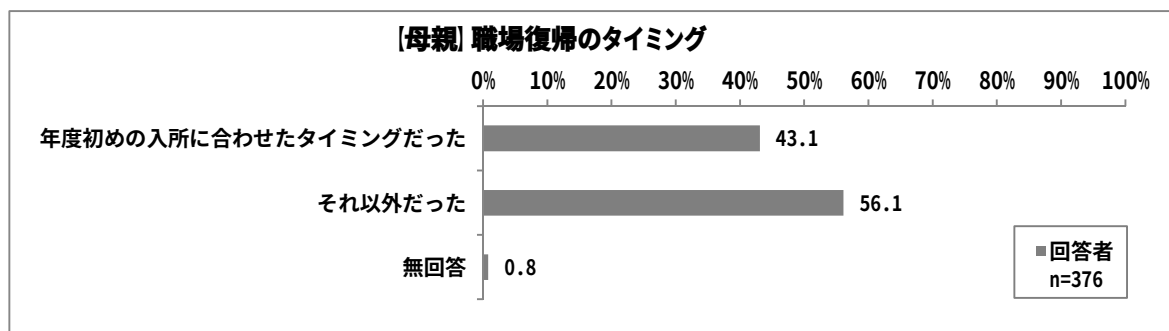




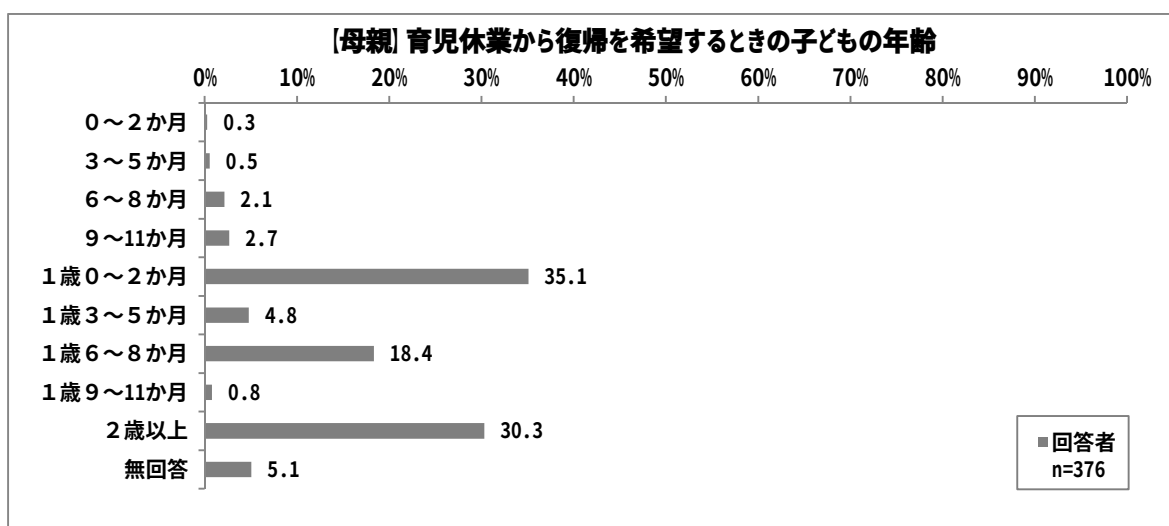
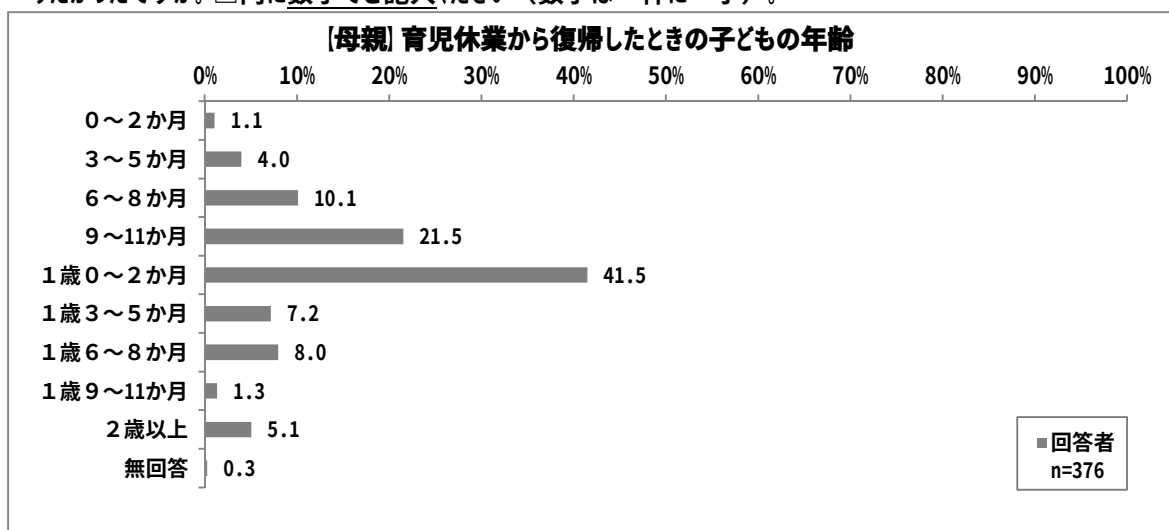
問39 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

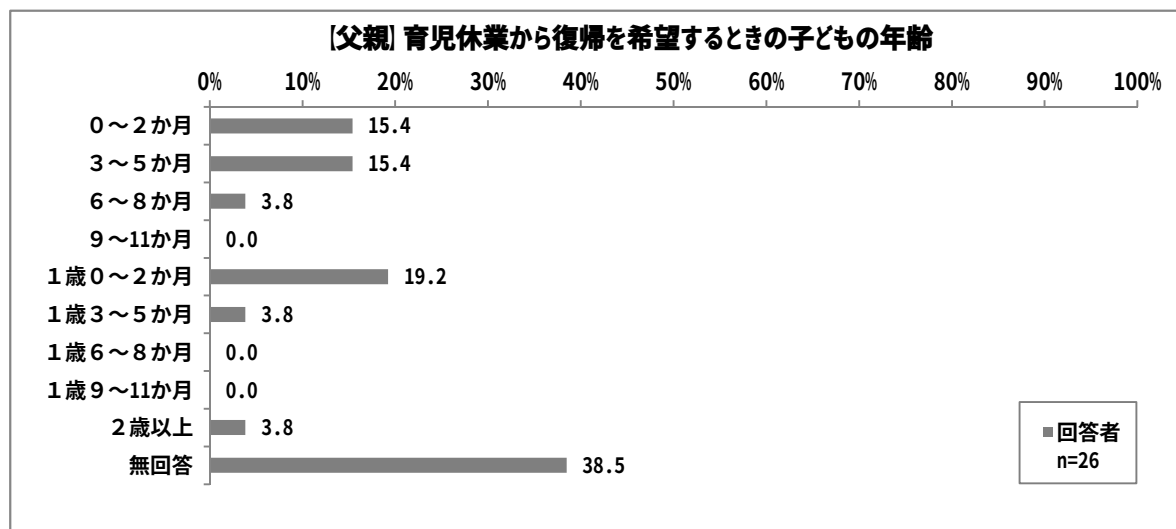
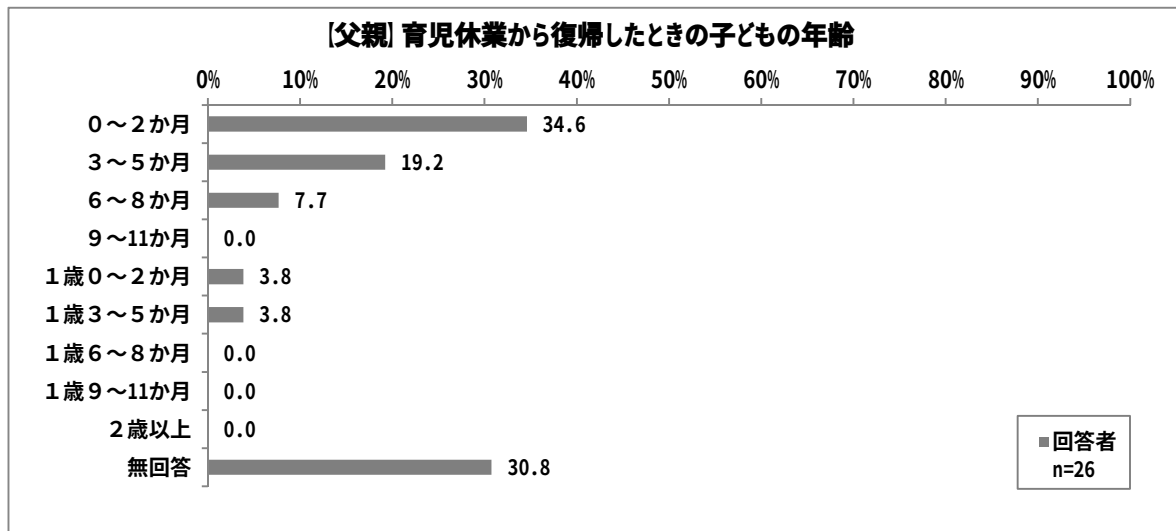


問39-1 育児休業から職場に復帰したタイミングはいつでしたか。次のうちどちらか1つに○をつけてください。

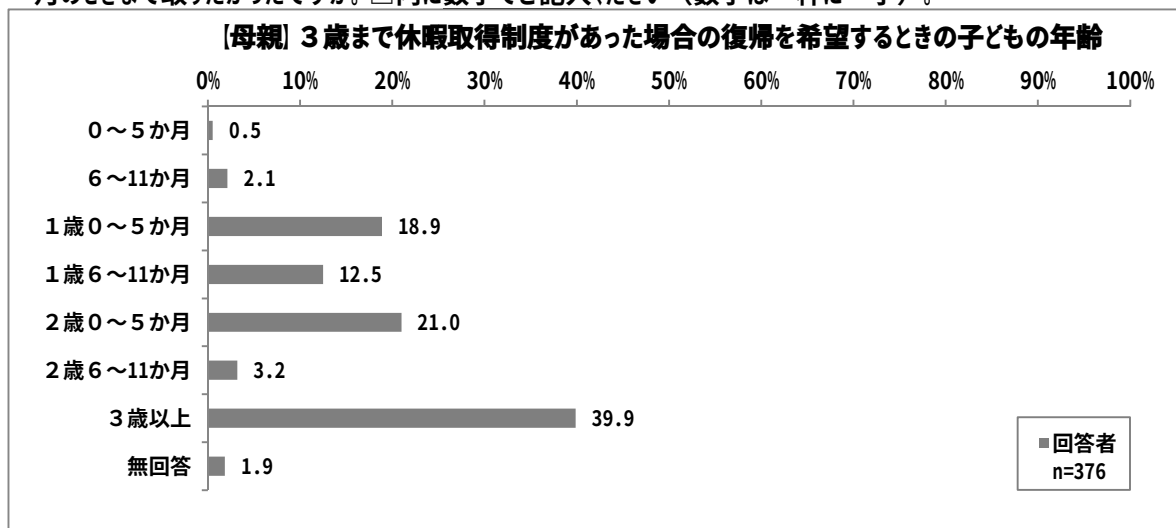


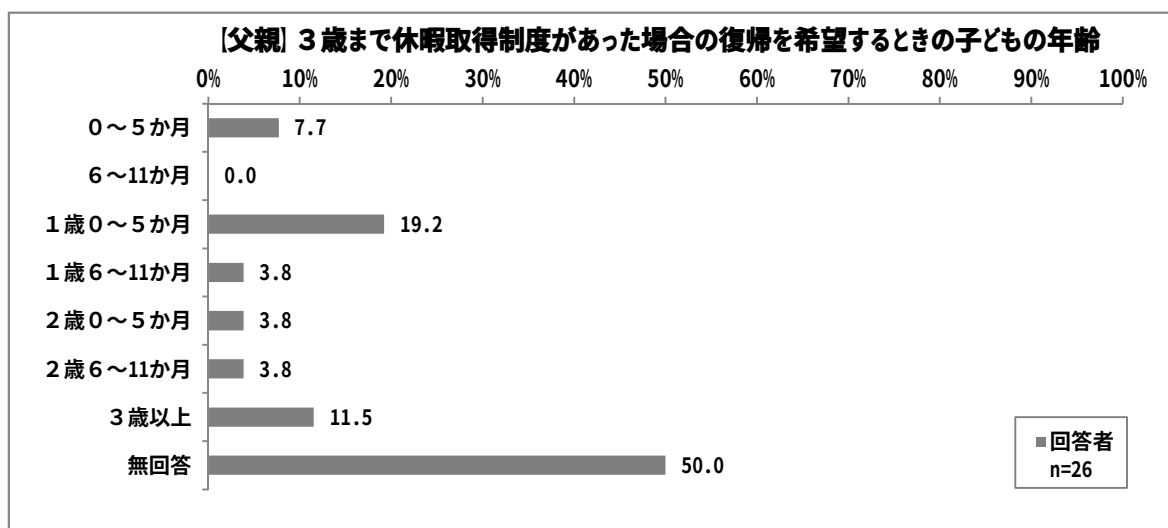
問39-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。





問39-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

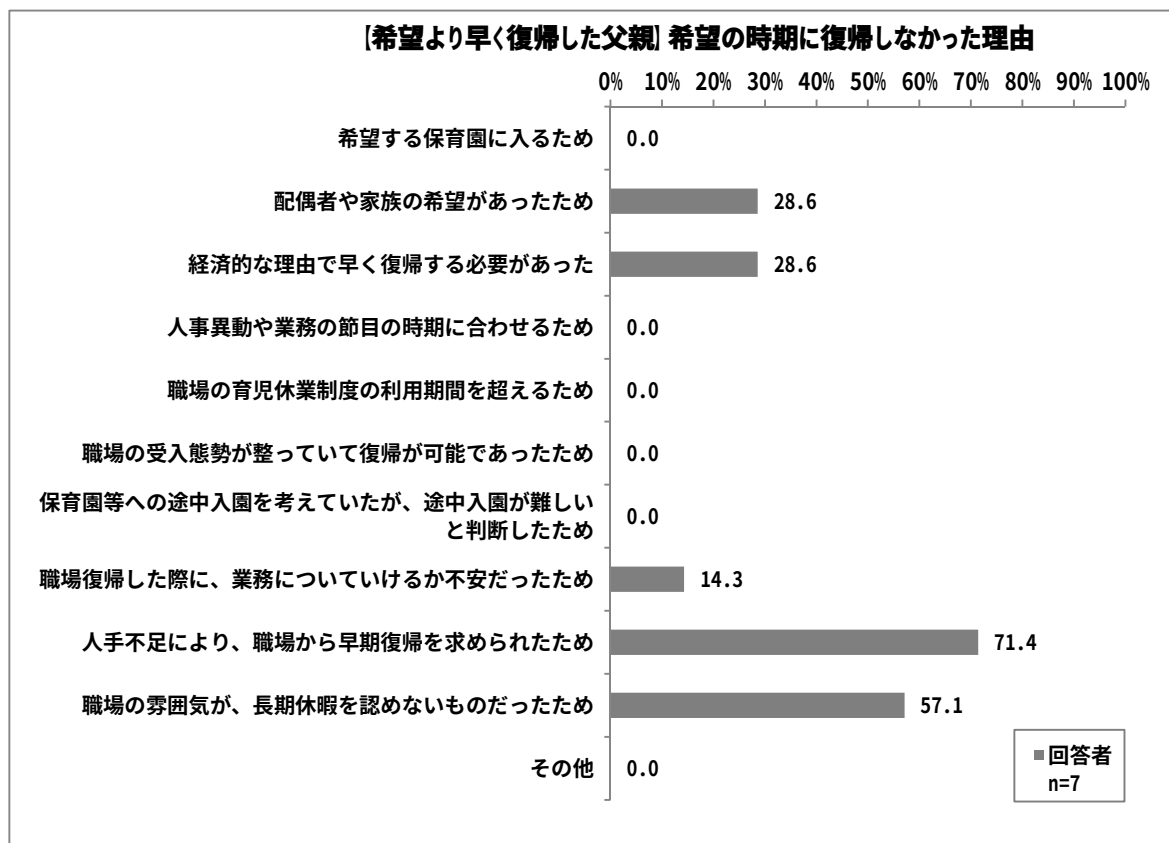
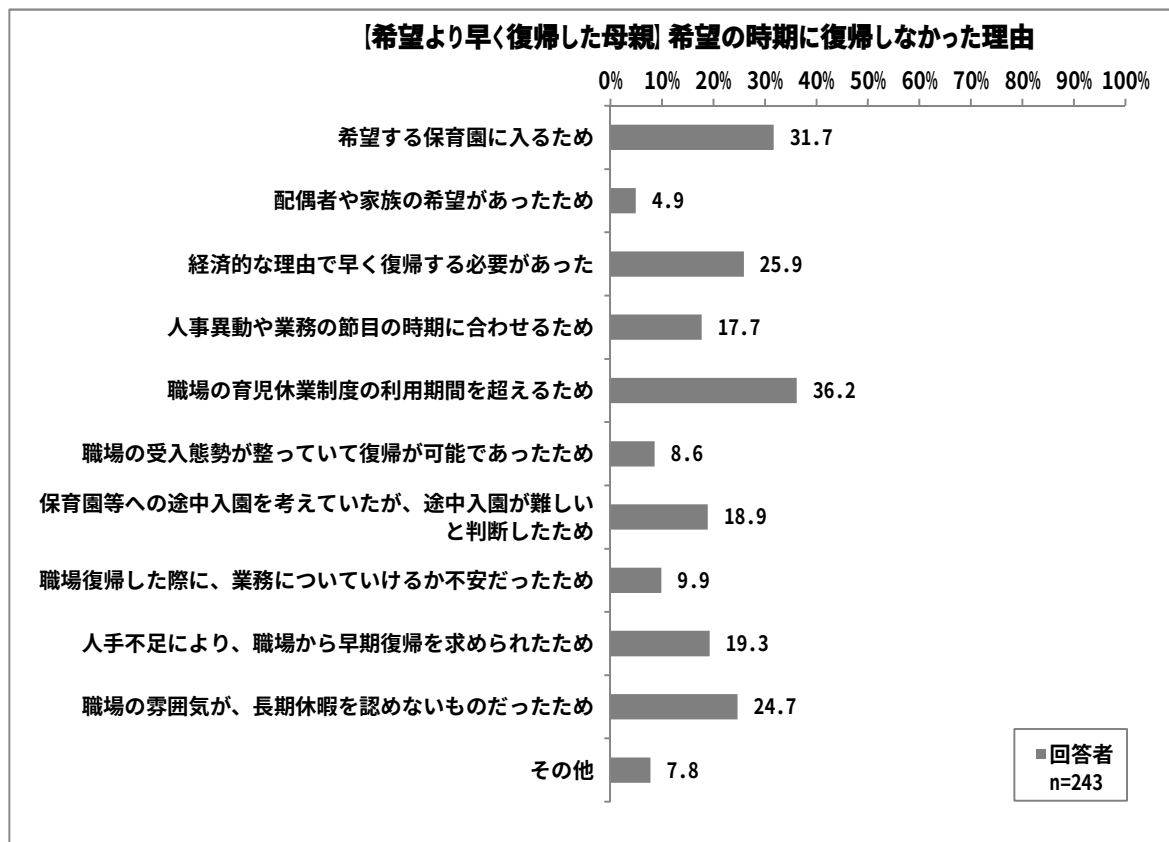




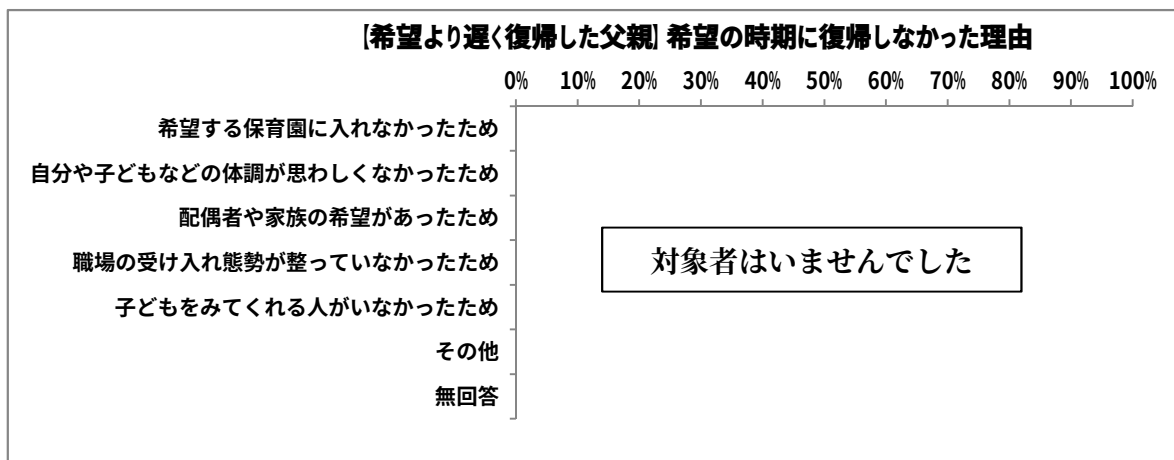
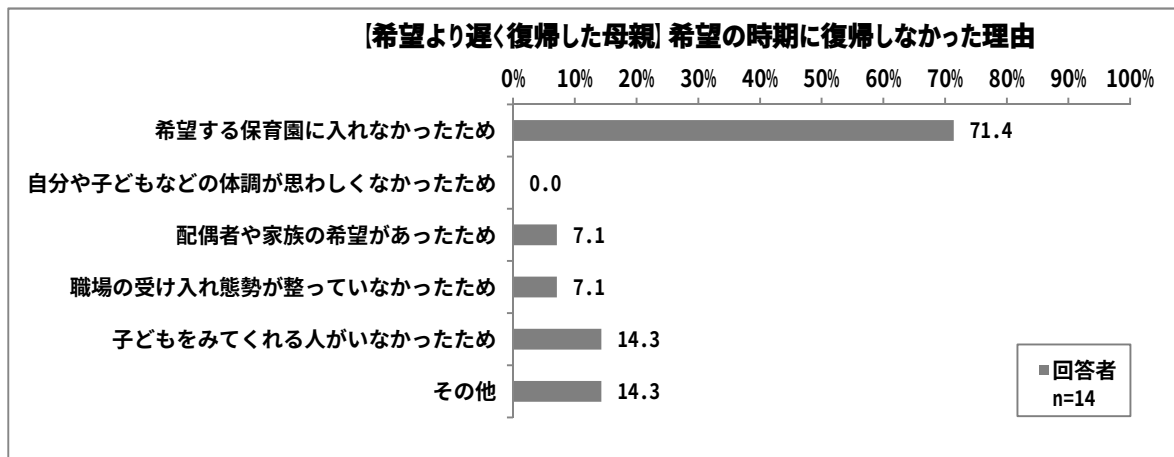
問39-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問39-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

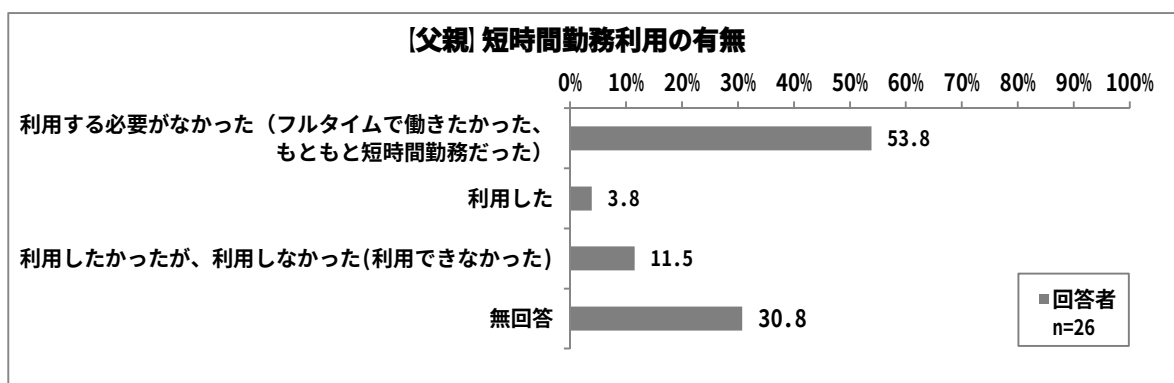
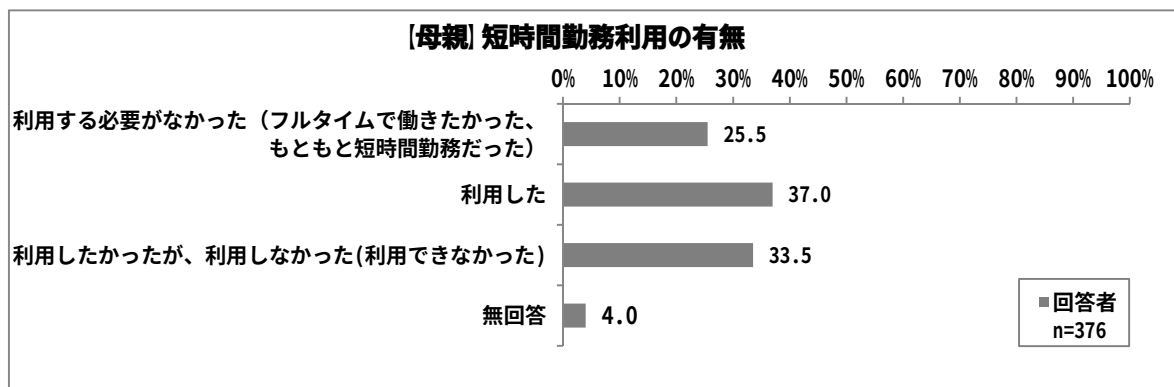
(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください



(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください

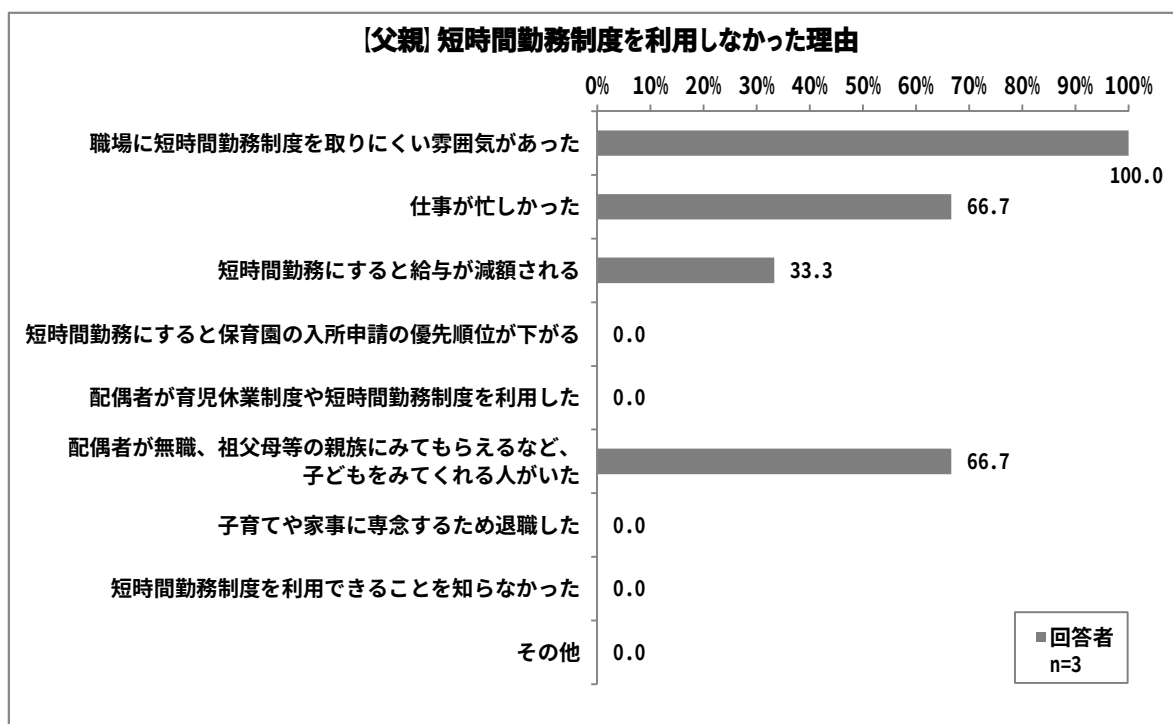
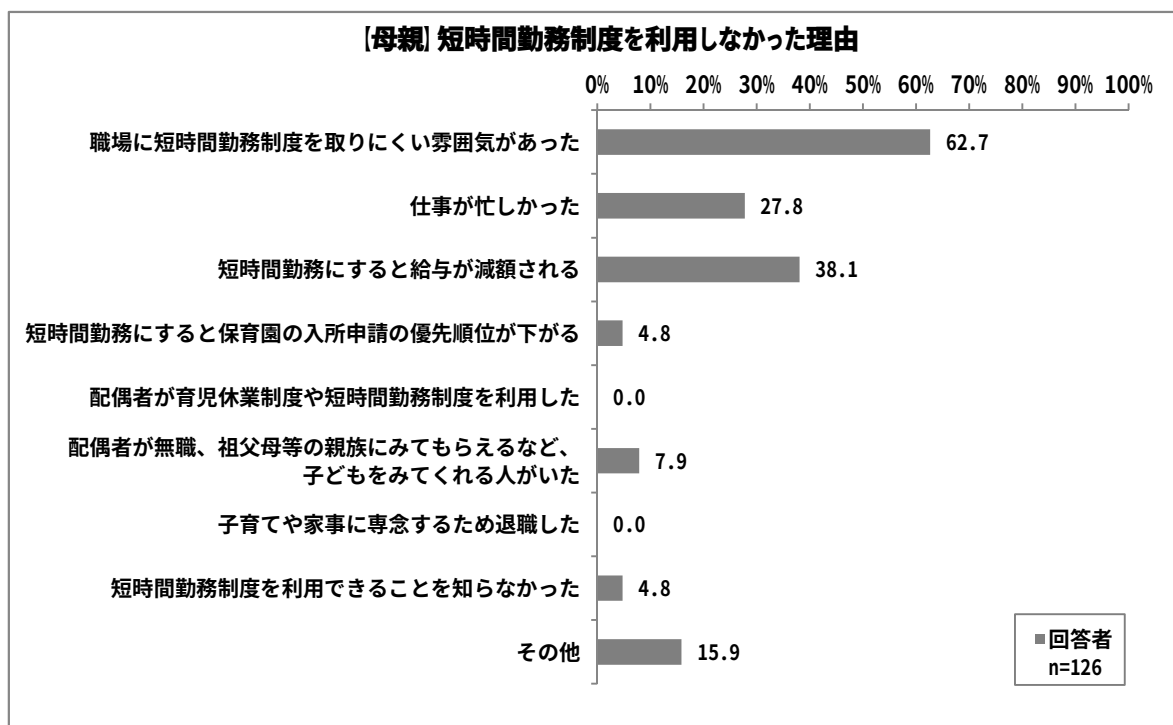


問39-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



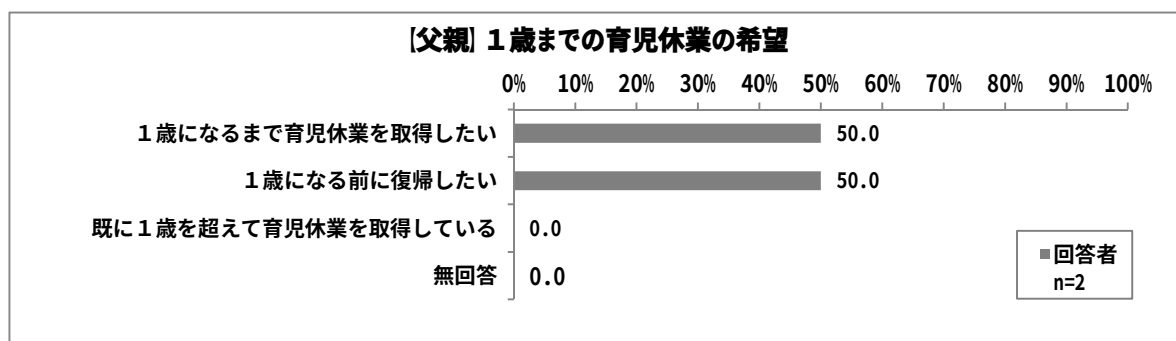
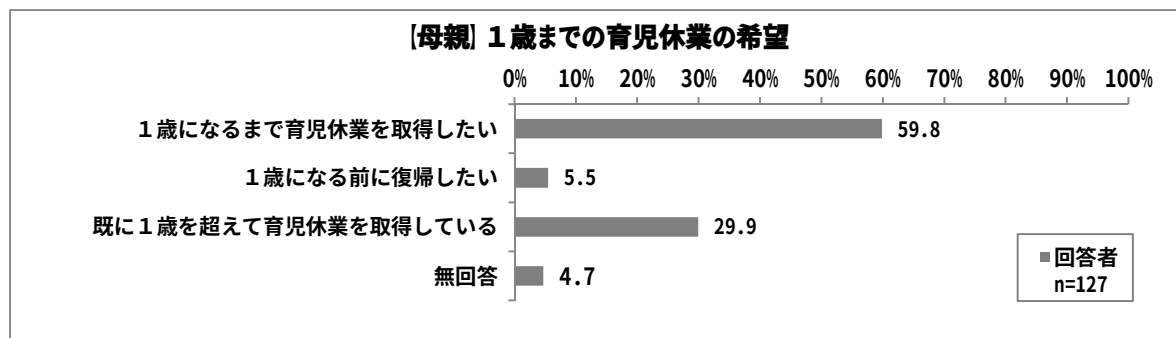
問39-5 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問39-6 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

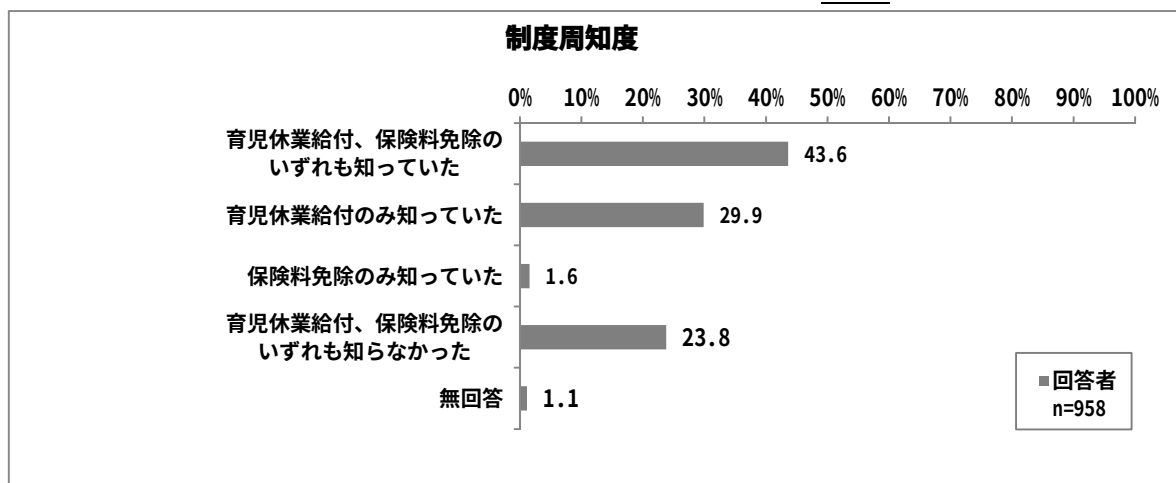


問39で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

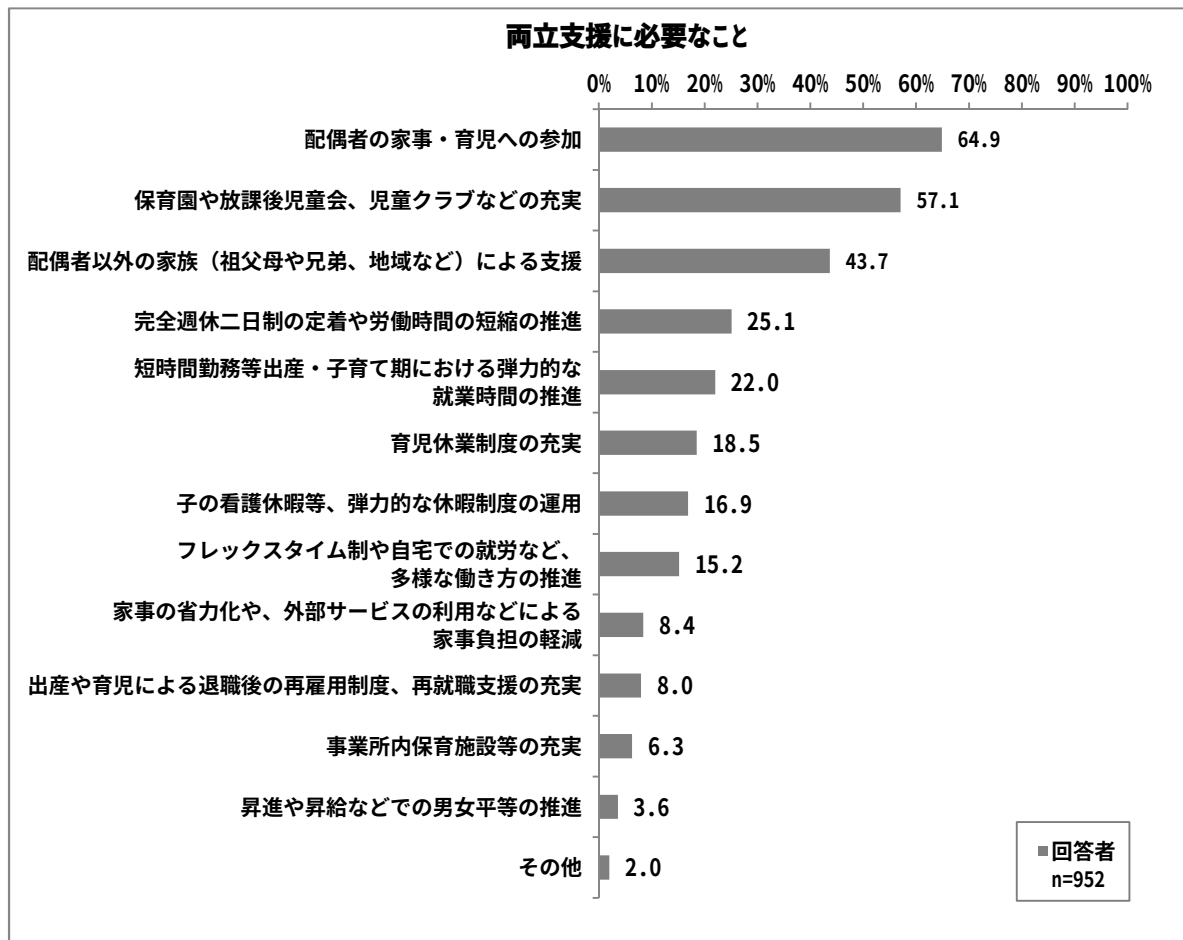
問39-7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等の預かり先があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預かり先があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問40 子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

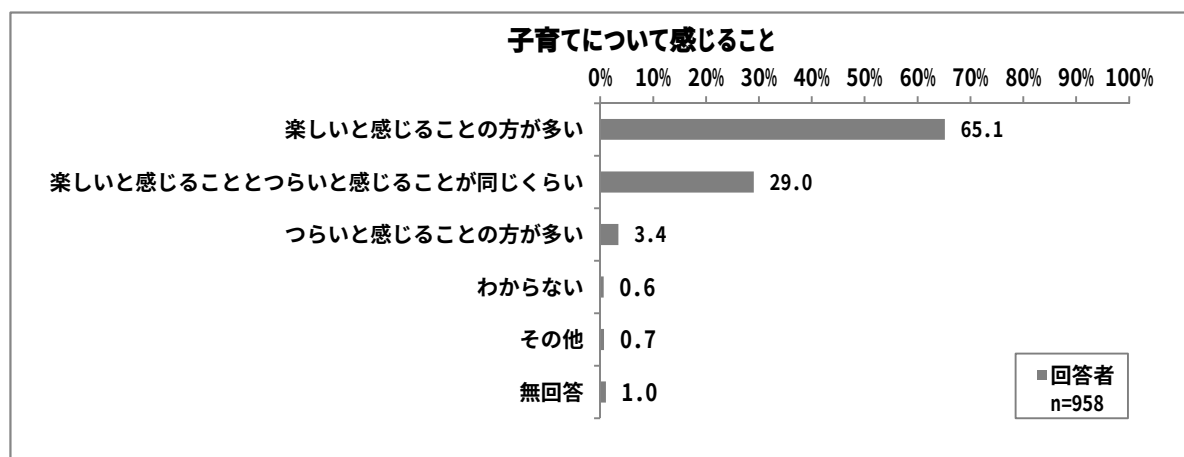


問41 仕事と子育てを両立するためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

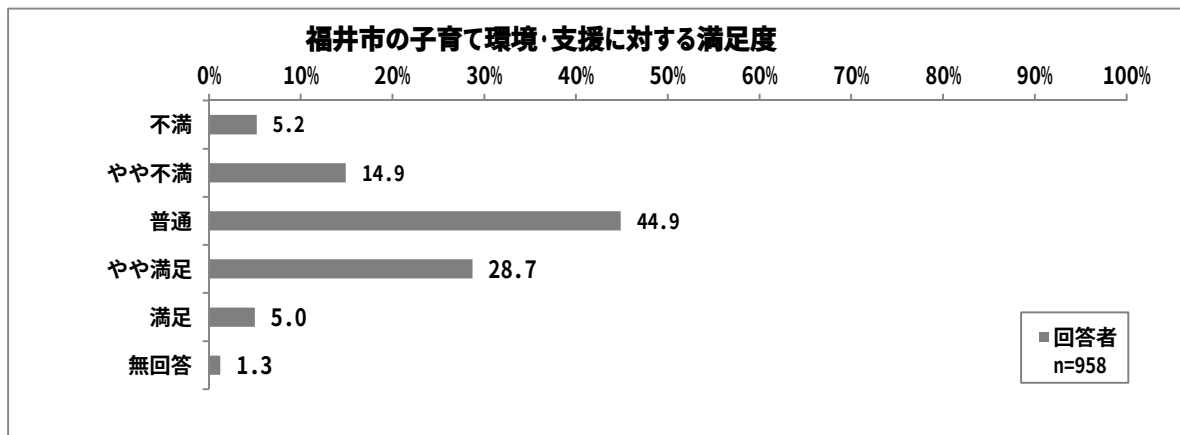


12. 子育てに関して感じることにうかがいます。

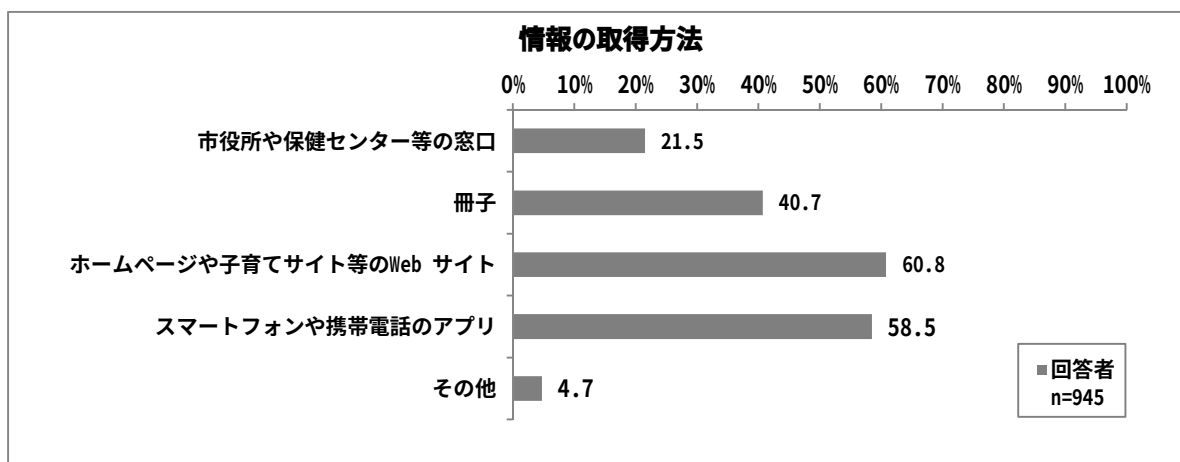
問42 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いですか、それともつらいと感じることが多いですか。もっとも近いもの1つに○をつけてください。



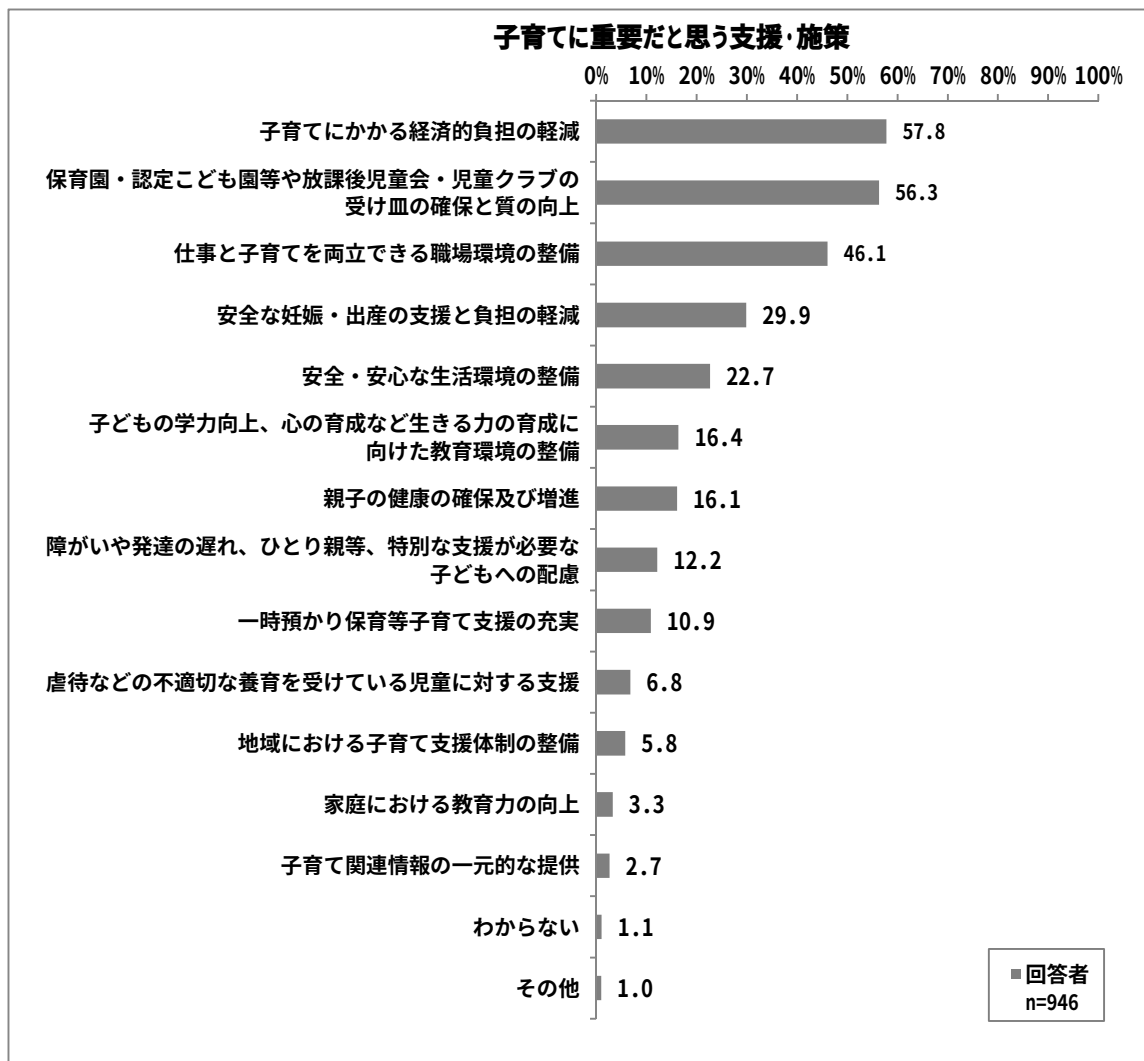
問43 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 につに○をつけてください。



問44 あなたは、子育てについてどのような方法で情報を得たいですか。当てはまるもの すべて に○をつけてください。



問45 あなたは、子育てにはどのような支援、施策が重要だと思いますか。当てはまるもの3つまで選んで○をつけてください。





第3章 意見・要望



1. 意見・要望欄への記載状況

調査の種類	配布数（人）	回収数（人）	記載数（人）	記載率（％）
子ども・子育て支援に関する ニーズ調査（就学前児童用）	2,000	958	382※ ¹	39.9

2. 子ども・子育て支援に関する主な意見・要望等

Nº	分類	記載数	主な内容
1	保育園	88	入所、保育時間、保育料、施設の充実
2	幼稚園	7	入園、預かり保育
3	認定こども園	20	入園、保育時間、保育料
4	放課後児童会・児童クラブ	18	入会、開所時間、長期休暇
5	子育て支援センター	25	年齢制限、利用時間
6	病児・病後児保育	15	施設の充実、事業の周知
7	一時預かり	24	利用頻度、年齢制限
8	職員の資質	23	保育士の処遇改善、職員の対応
9	職場環境	41	子育てへの理解、育児と仕事の両立
10	父親の育児参加	17	父親への育児参加教育、労働時間
11	地域の活用	5	子育てサポート制度
12	情報提供	21	相談先、広報誌
13	子育て環境	130	場所、保健、育児相談、小学校
14	その他	64	
計		498※ ²	

※¹と※²の記載数の差は、意見・要望が複数の分類に渡ることにあります。

3. 子ども・子育て支援に関する主な意見・要望等（抜粋）

1. 保育園

（1）入所関係

- ・現在育児休業中ですが、子どもが1歳になった時に、職場復帰しようと考えています。福井市では、0歳児の途中入園がなかなかできず、家の近くの保育所はなかなか（ほぼ）できないと聞きました。0歳児の途中入園がもっとしやすくなるように、保育施設の充実をお願いします。
- ・子どもを育てながら仕事をしたくても、保育園への入園確定の時期が遅く、復帰できるか？と不安になる。
- ・保育園の入所について、フルタイム核家族世帯であるのに、希望の保育園に入所できませんでした。国は育児休暇を推進しているが、実際は未満児に早く保育園に1人目の子どもを預けたものがちと感じています。不平等で矛盾していて納得できません。4月や春産まれの子が得して1月や2月など冬産まれは損します。1年後に復帰したくても途中入所できない。保育園やこども園でもみんな校区外まで入所して歩いて行ける近所の園に入所できませんでした。第1子は小学校入学時になじめず苦勞しました。
- ・1年間の育休後、職場復帰のために保育園に子どもを預けようとしたところ、上の子と同じ保育園に入れてもらえず（定員いっぱいとのこと）、2つの保育園に毎日送迎しなければならず、子どもも含めて早朝起き、遅い帰宅で大変でした。
- ・森田地区での兄弟で保育園が別々になる事。保育園行事が2つずつになるので大変困る。夫が土曜日仕事のため、行事が重なった時、片方の所は行けなくなるとかわいそう。また、有休が足りないので欠勤扱いになり収入が減る。
- ・入園の手続き等、提出書類が多い、かつ内容も難しく、実際の手続きも市役所へ子どもを連れて行かなければいけずすごく不親切だという印象でした。小さい子どもを連れて書類を提出しに向いても不備があれば出直したり、提出書類が細かすぎてすごくわかりにくいと思います。市の担当職員の方からすれば毎年の事で当たり前の事でも、親側からすれば人生で1～数回しか経験する事もないので、まずはもっと簡素化してほしいです。また、不明な点があった時、電話や窓口でもう少し親切に教えて欲しいと思いました。

（2）保育時間関係

- ・一部の保育施設だろうが、入所前の説明会などでは土曜保育は大丈夫と言っていたが入所すると「子どもが小さい、先生に慣れるまでは」などの理由で年少になるまで土曜はみてもらえない。18時30分まで延長してもらえることになっているが、18時を過ぎると「子どもがかわいそう」と早く迎えに来ようたびたび言われる。土曜保育も延長保育も入所前に伝えてあったが、その時難しいことを伝えられていればその園には入らなかった選択肢もあったのだが、お互い仕事をしている立場は同じなのでわからないでもないが、子ども達のため以上に園で働く職員の環境（勤務時間、日数等）を重視しているように思える。市からも園の運営方針など明確に提示し、実行するよう通達などしていただけるとありがたい。（毎週土曜は託児所or 30分以上かけて祖父母宅で預かってもらい、平日はなるべく早く帰るよう努力している）
- ・今の時代、土、日、祝、お盆、正月と当たり前になっている状態で日、祝、お盆、正月は保育園がやっていなかったり希望保育なのは納得できるが、土の昼からやっている保育園がとても少ない。公立は12時まで。私立は13時まで。13時と言っているが、12時30分をこえたと嫌がられる。仕事が終わる17時30分までを探すと家からも職場からもとても遠く通わせられない。私立はとにかく公立はおかしくないでしょうか？一体誰のための半日保育？7時30分からあずけ8時から仕事。8時から半日勤務で11時30分に

終わる会社がありますか？もう少し考えて欲しいです。せめて13時まで。

- ・保育園などに預けようと思うと、土日仕事の家庭にはどちらかが時短パートになるなどしないとなかなか難しいなと感じています。土曜だけでも、もう少し長く保育してくれるとありがたいです。
- ・福井市は土曜保育が半日しかない所が多い。土曜に仕事があると、半日有休をとらざるをえなくなる。1日預けられない保育園にしか入れない場合、仕事を続けていくのが困難になるので対策してほしい。特に子どもが2人以上いる場合、非常に大変になる。よろしくお願いします。
- ・御幸保育園は早朝7時からやっているが、18時以降延長となる。他の保育園は、18時30分までやっているの、御幸もそうしてほしい。この30分はかなり大きい。夕方は道も混雑するし、仕事を終えて帰ると厳しい。逆に早朝のニーズは減っているのでは。

(3) 保育料関係

- ・保育料の負担が大きい。3人目保育料など3人目の政策の際、兄弟の年齢差が大きく、一番上が18歳に達した際に3人目の恩恵がうけられなくなることが多いので、3人目は3人目として一番上の年齢にかかわらず、支援がうけられるようにしてほしい。
- ・保育料が高い。2人目、3人目と子どもはたくさん欲しいけど、3歳までの保育料が高いので断念している。
- ・2人目は保育料半額となっていると思いますが、その申請時期も遅く、審査もかなり時間がたってからしか結果がわかりません。最初に払って後から戻すというやり方ではなく、はじめから差し引いた金額で保育料を収めるようにしてもらえるとうれしい。
- ・未満児の保育料がとても高い。収入に応じて保育料が違うというのが納得いかない（受けるサービスは同じで仕事も大変なのに）。
- ・保育料が2人目でも「半額」だと高いので、2人目も無料にしてほしいです。パートの人が16時以降、時間の遅れでお金を取るのはやめてほしい。

(4) 保育施設関係

- ・保育園に通っているのですが、駐車場がなく不便です。やはり車がないと通えないので、行事などは歩きや送り迎えなどしてもらわないと不便なので、保育園に駐車場を作してほしいです。
- ・公立の保育園が建物が古い園があるので建て直して欲しい。古い建物に通わせているのは、とても不安。社保育園を新しくして欲しいです。
- ・保育園など施設利用先で紙おむつを捨ててもらいたいし、捨てられると助かりますので、そのようにできるための支援などをお願いします。他の市ではおむつを捨てて帰れるところがあったので。
- ・私立とは違い、公立では難しいかもしれませんが、園から帰宅後は親との時間を大切にしたいです。親と兄弟とのコミュニケーションがとれるようにしたいので、習い事を園でできるようになると嬉しいです。スイミングや英会話など、園児同士でできるものなど、知っているお友達とすると楽しいでしょうし。

2. 幼稚園

- ・今年は幼稚園にむけて願書提出をしましたが、先着順とのことで台風直撃の荒天の中大変苦労しました。10月1日は会社員にとって下期初日で夫が休めるはずもなく、子どもを預ける先もなく（早朝並ぶため）、並ぶには子連れとなり早朝並べず出遅れましたが、ギリギリで定員に入れました。なぜこんな非効率的なやり方を多くの園がやっているのでしょうか？全員が地元の人で身内が近くにいる人ばかりではないです。やり方を見直し

てほしいです。他県出身の人はみんなとても困っていました。

- ・私のパートは週2回＋繁忙月は週3回になったりと、緊急対応があります。しかし、月の平均パート時間が保育園の基準をみたさないのので、園の一時預かりで対応しています。しかし、夏休みなど長期休みの時は、午前か午後の半日しか預かりをしてもらえず（春休みは預かりはない）、職場の状況を説明してもらい、勤務調整をお願いしなければならず困っています。（小5）上の子の時は、長期休みの時も仕事の時は、午前も午後も預かってもらえたのでなんとか仕事もしやすかったのですが、今の制度では幼稚園の時間にパートをしている者には、やさしくない環境だと思います。
- ・希望した幼稚園に入ることができるという安心感を得るための対策も必要。
- ・保育園、幼稚園の預かりをもっと増やし、仕事しながら育児をしやすくなっていったら非常に嬉しいです。
- ・福井の幼稚園が良くて、子どもたちの教育環境が整っていて驚きました。子どもとの時間が大切なので、預けることに抵抗があり、フルタイムで働くことが難しいと感じます。

3. 認定こども園

- ・4月から認定こども園に入園が決まりましたが、（園との直接契約）市との面接が1月→決定2月ではあまりに遅いので、ギリギリまで結果がわからないのは困るので、仕事を今もしているが直接契約を選びました。2号認定でももっと早く結果がわかるようにしてほしい。
- ・認定こども園に移行する園が増えており、そのせいか人気がある園の偏りがでてきている。以前はスムーズに入園できた幼稚園も、競争率が激化しており、兄弟すら入園できない状態だった。実際に姉が入っている幼稚園（認定こども園）に弟は入園できなかった。そのため、姉は転園となり、来年度弟が入園する園に入る事になった。兄弟同じ園に入れるように配慮してほしい。
- ・私自身、ひとり親のため現在フルタイムで働いています。本当は、もっと働いて貯金など資産を増やしていきたいのですが、こども園の利用時間があって働けません。毎日毎日遅くまで預かるのは、子どもの負担になりますが、月に何時間かだけでも遅くまで預かってもらえると助かります。
- ・こども園に時短勤務からフルタイムに戻った事を伝えた時、あからさまに嫌な顔をされた。保育士不足は全国的にも問題だと思うが、十分な保育環境を作れていない気がする。
- ・認定こども園の先生が少なく感じる事があります。一人一人をしっかりと見てあげられるような環境作りをしてもらいたいです。
- ・こども園では大変お世話になり感謝しています。いろんな経験をさせてもらい、子どもも楽しそうです。先生方の給料をぜひあげてもらいたいぐらい大変な仕事だと思います。
- ・こども園申し込みの際、19時まで延長できるところを選んだが、実際は18時でも遅い感じで、全然自分で迎えに行けていない。義母に迷惑をかけてしまって申し訳なく思っている。もう少し預かってくれるとありがたい。
- ・認定こども園になってから保育料が高いと感じます。半年ごとの現況届も回数が多く、職場に記入、捺印してもらうのが申し訳ない。せめて1年に1回ぐらいにして欲しいです。

4. 放課後児童会・児童クラブ

- ・放課後児童会、児童クラブの受け皿が小学1年生しか確実ではないと言われ、それ以降がとても不安。長期

休暇、夏期休暇だけの利用も確実に預かってほしい。

- ・放課後児童クラブに入るのが難しいと聞いています。小学校の近くにいる場合（祖父母が）は落ちるそうですね。祖父母も毎日家にいてくれるわけではないので、児童クラブに入れないと大変困ります。両親ともに仕事をしているので、困ります。来年1年生になる子どもがいるのでとても不安です。1年生なのに、放課後みてもらうところがないとなると心配です。
- ・祖父母がいても児童館の児童クラブなどに入れるといい。以前、上の子の時、祖父母が病気がちであっても祖父母がいるということだけで断われたことがある。ひどいと思った。
- ・児童クラブが小学校3年生までという森田地区に住んでいます。他の地区は高学年4年生以上でも6年生まで預けていると聞いています。不審者情報も多く、4年生以降、児童クラブに預けられないと本当に困ります。今でも経済的に余裕がないので、子どもをみるために仕事をやめることもできません。民間の児童クラブも対応していない地区で、本当に方法がありません。至急、4年生以降も児童クラブで預かっていただけるよう整備していただきたいです。それが無理なら、他の方法でもよいので、放課後安心して過ごせる場所作りをよろしくお願いします。
- ・現在の認定こども園は19時まで預かりがあるので、フルタイム勤務ができるが、小学生になると児童館が18時までなので、子どもが1人で帰ってこないといけな。児童館も19時まで預かって欲しい。福井は祖父母と同居の人が多く、みてもらえる人も多いのかもしれないが、祖父母が遠方の者にはいろいろ厳しい。土日の預かりもない、夫婦とも曜日関係ない仕事をしている。土日祝が休みでない仕事をしている人は多数いるはずなので、そちらも支援して欲しい。
- ・児童クラブには小学校やこども園のように無料になる制度がないため、年の近い兄弟は経済的に苦しい。なんとかしてほしい。
- ・児童館やクラブの預かりの終了を19時までにしてほしい。また長期休暇中は7時から19時までにしてもらえると助かります。
- ・母親が仕事を始めたのですが、学童を利用できるほどは働いておらず、長期休みの子どもの預け先について悩んでいます。明新小学校は子どもの人数が多いので、夏休みだけ学童を利用したりが出来ないと聞きました。なんとかしてもらいたいです。
- ・我が家は自営で親が家にいるため、児童クラブなどにも入れず、夏休みなどは、友だちと遊ぶこともできません。せめて夏休みだけとかでも入所できるといいと思います。

5. 子育て支援センター

- ・支援センターは何度か利用させて頂きましたが、優しく話しかけて下さったり、子どもとも遊んで下さったりしてうれしかったです。これから寒くなり風邪などがはやる季節なので今までの様に連れていくのは少し不安もありますが。子どもが同じくらいの月齢の子の遊び方や行動のし方を見て、学んだりマネしたりといい刺激になっていると思います。いつも思います。いつも感謝しております。
- ・子どもが赤ちゃんの頃、アオッサなどの支援センター、公民館で開催されるイベント、ひだまりの家での一時預かりなどは、よくお世話になりました。親戚は福井にいませんが、その分市のサポートを受けられ助けてもらったなと思っています。福井市で子育ての一番大変な時期を過ごせてよかったと心から感謝しています。
- ・子どもが7ヵ月～保育園に入る1歳6ヵ月までの間、ぱんだルームをよく利用していました。無料で利用でき、

本当にありがたかったです。子ども同士の交流、ママ友作り、育児相談等でき、育児休暇がとても良い思い出となるきっかけになりました。保健センターの月1度の身体測定の会も、気軽に相談ができ、育児に対する不安がなくなりました。ありがとうございました。

- ・アオッサの子育て支援センターにたまに行かせて頂いています。キレイで気に入っていますが毎回駐車場代がかかるので、頻回に利用したくても利用出来ません。ハーツの支援センターは無料ですが、小さい内は良かったのですが、走り回るようになったら少し狭いです。福井市にもう少し広い無料の支援センターが欲しいです。赤ちゃんだけでなく、2～3歳の子も楽しめるような所が欲しいです。
- ・支援センターにはお世話になりましたが、上の子が4歳を過ぎて利用できなくなったので、兄弟はOKにするとかもう少し柔軟にしてほしいです。
- ・福井市は子育て支援センターや児童館が充実していると思うが、3歳未満の子が利用しやすいイメージがある。休日に利用できる場所は少なく3歳以上のきょうだいが一緒に利用できないところも多いと思う。休日や天気の良い日に遊べる場所がなく、石川県や他市の屋内施設のあるところへ出かけることが多い。福井市にもエンゼルランドのような屋内で遊べる施設があってもよいと思う。加賀市にできたニコニコパークはよちよち歩きの子も走り回れる小学生の子も同時に利用できて、3人の子どもを同時に遊ばせることができてよかった。福井市にも家族みんなで利用できる場所ができる事を期待します。
- ・支援センターの営業時間について。15時や16時に終わるのはおかしいと思う。働く人の都合に感じる。私は15時～深夜までワンオペ育児です。お昼寝をさせると支援センターは終了していて、結局（天気の悪い日などは）ショッピングセンターで遊ばせるしかない。せめて18時くらいまで開いているべきじゃないかと思う。

6. 病児保育

- ・子どもが病気になった時、突然仕事を休めないのが困る。熱が38度でたから迎えに来いといわれてもすぐには行けないので幼稚園内に病児預かりみたいなものをもってもらって、預かってほしい。学校でいう保健室的な。
- ・病児保育の受け皿が少なすぎる。場所が遠い。利用前の診察など、預けるまでの時間がかかりすぎる。受ける人数が少なすぎる。1度だけ利用したが、非常に不便でいつでも使えるとは到底思えなかった。
- ・子どもの病児保育施設を校区内に最低1つは作ってほしい。
- ・一番困るのは子どもが体調不良で急に呼ばれたり、仕事を休まないといけない時だが、病児保育施設は近所になく、受診が必要のため結局仕事には遅刻をするし、知らない人に預けるので子どもは慣れず心配である。いつも通うこども園に病児保育部門があると慣れた場所、先生で安心なため、看護師を常勤させるなどして、できるだけこども園で見てくれると仕事にも休まずできる。
- ・現在、母は時間外免除の8時30分から17時までの勤務（夜勤あり）をしているが、子どもが熱や下痢になると面倒を見てくれる人がいないため、病児保育に預けるしかない。病児保育の場所まで送り迎えするのが体力的にも精神的にもつらい。時間に追われているようで、いつも焦っており余裕がない。そのため、こども園内に隔離部屋を設置して預かってくれる場所があると余裕ができるし安心して預けられる。下痢の症状だけで1週間こども園に行けなかった時、病児保育を利用すると金銭的負担もかかる。こども園に看護師がいてくれたら良いと思う。看護師が近医まで付き添い医師に処方された内服薬などを管理して、隔離部屋で預かってくれたら、同じこども園に兄弟を預けている親としては非常に助かる。子どもを3人産む場合は正規雇用で働くのは難しいと思うのが現状だと思う。

- ・入園当初は次から次へと病気になり、兄弟がいればもう一方にもうつって会社を何日も休み、とても大変でした。病児保育があることを知り、預けるようになりましたが、子ども2人で病気が続くと経済的負担が大きかったです。病児保育できる施設も限られますし、そちらの面での支援がより良くなっていったらと思います。

7. 一時預かり

- ・3人目で一時預かりをよく利用させてもらっています。とても助かっています。どんどん利用するといいいのと思っています。
- ・ハーツの一時預かりなど、とても助かっていました。ハーツの先生達も本当に親切で話しやすかった。
- ・一時預かり保育を頼もうとこども園に電話するが、断られてばかり。年度始めに預かる子を決めてほしい。途中で困ったことが起きて、預かってほしくてもダメ！となる。事業内容と異なる気がする。何故、市はこのやり方を認めているのかわからない。
- ・第2子を出産する際、長女の預け先を探すのが大変だった（市役所の窓口で相談し、空き枠のある保育園があれば、なければ確認して電話してもらうよう頼んだが、電話はかかってこなかった）。結局、保育園の一時預かりを利用したが、週3日しか預けられず、産後は預けることが出来ないの、家族に休みを取ってもらった。公立の保育園・幼稚園の預かり保育がもっと気軽に利用できればいいなと思います。
- ・福井市では現在、住民票が福井市の子のみ一時預かり料金が安いですが、私は仕事の都合で数年のみ福井に住む予定で後は県外に住むことになります。しかし、地元は福井なので地元の友人と遊んだりする時は一時預かりを利用したいと考えています。しかし、県外に引越した後は料金が上がるので困っています。後、一時預かりは親にどうしても子どもを連れていけない用事がある場合に利用するもので、リフレッシュのために利用するというのは親が子をかわいく思っていないからだ、と言われたことがあり利用に抵抗がありました。そういった風潮がなくなればいいなと思います。
- ・一時預かりの対象年齢（月齢）が1歳以上という施設が多いのが不便だと感じます。もちろん6ヵ月やそれ未満でも預かっていただける施設があることは存じていますが、車の運転ができない者にとって、遠くの施設に預けに行くのは難しいです。上の子のこども園の行事で利用したくても利用できないことが複数回ありました。
- ・第二子妊娠中のママが、第一子の預け先に困る（つわり、切迫中）。私自身は隣の市に実父母、義父母がいて随分助けてもらっています。転勤族の方には、もう少し特別な支援が必要だと思います。近くに頼れる人がいないのは本当に辛い。

8. 職員の資質

- ・保育士の職場環境や給料面を充実させる事が子どもの教育、保育環境の充実につながると思います。
- ・市役所の子育て支援室へ相談に行っても職員の対応がすごく悪い。若い人に対応させ、窓口へ行っても、上司は、イスに座ったままで対応もしない。そんな所へ相談にいけますでしょうか？保育園のことを相談に行っても、人により違った対応を受けた。市役所の対応をどうにかしないと、相談に行きたくても、行けません。
- ・市役所に相談しても、相談を聞くだけで、何にも解決しない。支援、施策をしてほしい。
- ・我が子は発達障害があり、相談員さんがついています。市の事業を教えていただいて、連絡もさせていただいております。担当の方が不在であったり、つながりにくさはありますがよく理解されている担当の方だと丁寧に対応

していただいています。いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

- ・公立保育園、こども園で日常的にテレビを見させている事についてやめてほしい。人員配置や保育方法を再考すべきだと思います。
- ・役所（子育て支援室）の、人によって言うことが違うのをどうにかして欲しいです。良いと言われたのに他の方にはダメと言われたり、書類の不備を一度で指摘してくれればいいのに、3度も書き直しのため職場に再提出して手間がかかりました。部署内での教育、統一をしっかりといただかないと困ります。

9. 職場環境

- ・福井市は子育てしやすい地域だと思うが、職場はまだまだ祖父母の協力がある（ない状態では無理）前提での働き方を求めている。特に夜勤がある仕事では今の市のサービスではほぼ仕事を続けることはできない。核家族も増えている中、祖父母の協力なしでも働ける環境を職場も地域も考えてほしい。
- ・できる事なら専業主婦やパート勤務になりたいが、経済的な面でフルタイム勤務をせざるを得ない。しかし子どもの急な病気等で休まなければいけない日も出て、なるべく私（母）、父親、祖母で順に仕事を休んで分担しているが、職場ではとても片身が狭い。子育てと仕事の両立が難しい。
- ・子どもが熱を出したり病気になった時、病院や保育園から、上司や人事に直接連絡が行く制度がほしいです。そして、職場から親（本人）に子の看護休暇を得る、又は帰宅するように指示を出さなければならない制度も欲しいです。私は夫の両親が仕事を調節し、看護をかわってくれたため、仕事に穴をあけずに済んでいましたが、そうではない同僚が上司に文句を言われたり、同僚にひたすら謝罪をしているのを見て辛い気持ちになりました。会社側から指示を出されたら罪悪感がやわらぐのと、上司や同僚の意識も変わるのではないかと思います。
- ・家庭と子育てにもっと専念できるような環境になって欲しいと思います。パートの立場でも休みづらい時が多々あり、仕事優先でスケジュールを立てないといけないというのが現状です。仕事でお迎えが遅くなる時もあり、時々なら良いのですが、数が重なると延長料金も結構な値段がします。収入を増やすと保育料が上がり、悪循環で経済面では安心とは言い難いです。それに病児や一時保育料金などが重なると、正直、何のために働いているのかとまで思う時もたまにあります。
- ・従業員が2～3人の職場では育休を取ることは会社にとってかなりの負担です。小さな会社にはそれなりの補助もしくはその分の人を雇う補助が必要に思います。
- ・私が勤務している職場は、子育てにとっても理解のある職場のため、子が病気の時や、園行事などその都度休ませて頂いており、子育てしやすいです。時短も小3まで可能で、自分の働ける範囲で無理なく仕事することができており、理解ある職場に感謝します。
- ・パートやアルバイトでも気軽に産休・育休が取れるといいです。同一労働、同一賃金といいながら、絶対ならぬい。
- ・私の職場は恵まれており、時短制度、育休もとりやすく、子育てと仕事を両立できる環境であると思います。しかし、一方で男女平等、女性活用などの推進で、女性の責任も重く、高齢出産も増える中、ますます仕事と家事と育児の両立は難しいと思います。18時に帰宅したとしてもそれから夕食、入浴、寝かしつけ、洗濯等平日の夕方はとてもあわただしい日々を送っています。朝5時に起きて弁当、朝食作り、寝不足との戦いです。今後、昇任していくとさらに残業が続き、幼い子どもに淋しい思いをさせてしまうと思うと、転職しようかと悩みます。昇任したくないという子育てママの話を多数聞きます。

10. 父親の育児参加

- ・共働き率N o 1と福井県はいわれていますが、仕事、家事、育児、そして介護とほぼ全てが母親（妻）の方にのしかかっているといっても過言ではないと思います。もっと男性の家事、育児参加が必要です。夫とその両親の意識改革が必要です。仕事をする上で、能力のある女性はいっぱいいるのに、家に帰った時のことを考えるとどっさりある家事、育児にゲンナリします。仕事をセーブするしかないという女性がたくさんいるのではないでしょうか。子どもの教育も大切ですが、男性の教育もして欲しいです。
- ・福井は共働きがほぼ当たり前で、まだまだ「子育ては母親がするもの」という考えが強くあると思います。私は3人の子どものフルタイムで働きながら全員0歳から保育園に預けていましたが、子どもの熱や行事で仕事を休むのはとても大変でした。感染系の病気となると、熱は下がっても5～6日ほど休まなければいけませんでした。が、「母親が休むもの」が当然、といった雰囲気なので、私自身も夫と同じ正社員、同じ責任感で働いていたつもりですが、夫がそれを1日でも代わってくれた日はありませんでした。福井の男性（お父さんだけでなく、会社の社長さんなども）意識を変えるイベントが増えるといいなと思います。
- ・同居をする家族が減り、核家族でがんばっている母親が多いです。子どもを作って育てることは、とても体力、労力がいるますが、そのほとんどは母親についてきます。もっともっと男性を家族、家庭に参加できるようにしたいと思います。
- ・核家族で夫の仕事が忙しいため子育てが辛く感じる時もあります。男性の育児休暇制度などいいですが、それより週2日でも平日5時半には退社できて家族で夕食を食べれること、土日（週休2日）をしっかり休めるようにすることなどを徹底してほしいです。
- ・父、母ともに教員です。育児休業を取っていますが、父親の帰りが遅いため（中学校教育で部活動指導があり）平日は子ども2人が寝てから帰ってくる。土、日も試合等で出勤しなければいけないため、なかなか協力して育児をすることが難しいです。教員の部活動（勤務時間外の仕事）を減らしてほしい。18時頃までしかない学童などの迎えに間に合うように帰れるようにしてもらえるとありがたいなと思います。私も復帰予定ですが、家（子ども）のことを考えるとフルタイムでの復帰に不安があります。19時頃には家族そろって家で過ごせるように働きたいと思います。
- ・子育ては夫婦で行いたいですが、夫が激務のため、ほぼ家にいない状況です。かといって働かなければ収入も減る。もう少し労働環境がよくなるものかと思います。

11. 地域の活用

- ・他県出身（遠方）で知人友人等いない環境で子育てをしています。誰も頼る人がいない中「すみずみ子育てサポート」は料金も安く予約もとりやすいので助かっています。
- ・地域に知人が少なく寂しいので、例えば公民館など親子で参加できる夕食会など（持ち寄りでも）あって、子育てのことなど色々話せる場があればいいなと思っています。
- ・ファミサポを作りたい。これだけ子育て得意な中高年がいるので、預かってくれるような地域の方を紹介してほしい。私が点滴打つにも子どもを連れていけないといけず、本当に苦労しました。気軽に話せて預けられる地域のファミサポを導入して欲しいです。
- ・すみずみ子育てサポートは昨年～今年3月まで（入園まで）たまに利用していましたが、市の補助金は大変ありがたいと思っていました。

12. 情報提供

- ・産後、入院先から帰ってきた時に、産後うつのような状態になり、どこに助けを求めてもよいかわかりませんでした（両親にはたよれず、産院に電話しましたが、あちらも困ったような回答でした）。幸い数日でその状態からは抜け出しましたが、誰にでも産後うつの可能性はあると思います。たくさんの電話番号がのっていてもどこにかけたらよいのか判断がつかません。一つの番号から適切な機関につなげるような窓口の一本化はできないでしょうか。
- ・実家は町内の回覧版などで、市の広報等が定期的に見れるが、自宅は賃貸で町内会にも入っていないため（入り方が分からない、子どもが就学すると町内に入った方がよいと思うがどうしてよいかわからない）、子育ての情報を積極的に探しに行かないと知らないことも多い。うっかりしていると今月は何も子育ての場に参加できなかったという月もあるので、賃貸の住居にも市政広報等を配布してもらえるとありがたい。
- ・現在、上の子が小3なのですが、地域に子どもの数が少ないうえ、どんな子がいるのかも把握していません。子ども会などで、新1年生に案内を出そうにも、小学校が個人情報を出さないの、人数が把握できない状況です。もっと子どもをめぐる情報が地域で共有されるといいと思います。
- ・夫婦とも他県から来たので、福井のルールがわからず困りました。他県から来た人に福井の過ごし方の本などがあればいいですね。知り合いもなく、カルチャーショックが多くひきこもりとなりました。小学校ではこんな事をするとか、区民体育大会（びっくり）。マラソン大会。制服を着る、でも日中は体操服とか（他県からみたら不思議です）。外ズックがある、長靴にあしほそをつけるとか（知りませんでした）。これ以外にもいろいろ。
- ・子どもが産まれるまでは気づかなかったが、外出したとき施設の設備（おむつが換えられる、授乳がしやすい）や、ベビーカーをおしているときに段差があるところは通りにくかったり、歩道にのりにくいなど、ちょっとしたことで不便さを感じる事が多くて驚いた。支援センターや保健センターなど、子どもを連れて遊べる場所があったり、子どもが産まれてから助産師さんが訪問してくれたりなど、バタバタしている中では自分で調べたりできないけれど、頻繁にそういったサービスがあると知らせてもらえることはとても助かった。特に退院してからが不安も自分も体調の悪さもあったので、心強かった。チャイルドシートのとりつけ方、使い方がわからなくて困ったが、聞ける場所があまりない。相談や子どもを連れて遊びに行ける場所など、お知らせをもらったが読めないこともあったり、産まれてからだと動けないこともあるので、産まれる前に動けるときにどんな所があるか見ておけるとよかった。直接話をしてどんな所があるかきけたほうがわかりやすかった。
- ・保健センターの離乳食教室ですが、離乳食後期や幼児食についても講座があると良いと思います。子育て情報やイベント情報など1つのアプリに集約すると良いと思います。

13. 子育て環境

（1）遊び場関係

- ・福井には、足羽山やエンゼルランドなど無料で子ども達が学べる場所がたくさんあるのでとても助かっています。子育てするにはとても住みやすい県だと思います。このような施設が今後減っていったりしないように願います。
- ・福井市内（中心部）に大型公園（だるまちゃん公園のような施設）を！だるまちゃん公園（越前市）、エンゼルランド（坂井市）は車をもっていない家庭には大変交通の便が悪く、遠いので利用しにくい。あと、福井は、冬期天候が悪く外で遊べないのに、室内で体を動かす施設がないのですか？福井県に引越してから冬の遊び場がなく、困惑しています。
- ・福井市も子が遊ぶところを充実させて欲しいです。毎回県外だよりです。市内を充実させて下さい。そして、そ

の中で親子としてともに育っていききたいです。福井にもいい所いっぱいあると思いますので、引き出し、努力して下さい。お願いします。ゲームを与え、家で過ごす家庭を増やさない。外で充分に遊べる、室内で汗をかくほど遊べる場所をつくって下さい。

- ・公園の環境整備、雨天時に遊べる場所の充実（室内遊具の補助など）をしてもらいたいです。近くの公園には錆びた道具だったり砂場がなかったりで残念です。
- ・働きやすい環境を作るのと同時に、子育てしやすい環境作りにも力を入れてほしいです。（助成金などもありますが、夏休みなどの長期休み時に安心して遊ばせられる場所やイベント、母親（又は父親）同士で集える会など。）
- ・児童館が狭すぎて遊べない。体を動かす遊びができない。1～3歳までの子どもが屋内でおもいきり走り回れる施設があるといいな。
- ・ショッピングセンターなどの遊び場（有料）なのは、ほとんど、小学生は遊べず、上の子が小学生、下の子が保育園児だと、買い物などに行った時、一緒に遊ばせる場所が少ないなと思いました。

（２）保健関係

- ・子どもの医療費補助は非常に助かっている。窓口支払いが不要となった事も大変良い。
- ・任意の予防接種、特にインフルエンザの負担金を少しでも援助してほしい。
- ・風疹の予防接種や抗体検査に関する補助が福井市は何もないとのことで驚きました。周りの市や小さい町ではあるのに福井市にないのは情けないな、とさえ思います。これも大切な子育て支援だと思います。補助がないと中年男性が自己負担してまで動くはずないです。うちの夫の検査も見送ることにしました。
- ・両親共働きで保育園を利用しているのにも関わらず、3歳児健診など平日に行われる事が不満です。予防接種も期間内に受ける事ができない、時期が遅れてしまったりしてしまうので、小学校や保育園で強制的に接種できるシステムを作るというのではないのでしょうか。小さい子どもの時期は上記の事で会社に迷惑をかけてきました。今も「どうして平日なんだろう」と申し訳ない気持ちで会社を抜けたり、休んだりしています。少しでも共働きでも育てやすい環境になって頂けるとありがたいです！
- ・産後うつについて相談できる場がほしい。直接はハードルが高いし、私のように外に出るのがつらい人もいるので、メールで相談したい。気軽にできてすぐに返事をくれると、死にたいと思っていた前までの自分のような人も救われると思う。LINEで相談できるとなお良い。
- ・「こんにちは赤ちゃん訪問」来てもらって色々な悩みを聞いてもらえて良かったです。

（３）育児相談関係

- ・最近困ったのは、保育園から子の発達について指摘を受けたのですが、検査、相談できる窓口が非常に少なく、半年待ちの予約の所ばかりでした。県や市の受け皿がもう少し分かりやすく、広くあるといいなと思います。親として発達について問題があるといわれるのはとても不安なので最初の受診までに時間がかかるのには困りました。
- ・小さな子どもを持つひとり親家庭の親や子どもが気軽に相談したり、集まって話をしたりする場があればと思います。
- ・健常ではない子を初めて持ち、今後の育児についてどうすれば良いのか、正直悩んでいます。通院と療育センターには通っていますが、それ以外のサービスについては全く知らず、ほぼ家に閉じ込めているのが現状です。子どものためにも、自分のためにも、どこかでの保育の必要性を感じてはいますが、障害を持った子をすんなり

受け入れてくれる場所があるのか、考えてみては、答えの出ないまま、行動することも出来ずに今に至っています。

(4) 小学校関係

- ・森田地区は、現在子どもの人数が急増しており、数年後には小学校の児童数は1,000人を超える。教室などの環境や大規模な学校での教育は、一人一人の教育を保障できるのでしょうか。教室が足りなかったり、指導が行き届かなかったりして、充実した教育を行えるのでしょうか。とても心配です。何か解決策を示してもらいたい。私の周囲にも、このことを心配している方はたくさんおられます。
- ・小学校まで歩く時間が長い(45～50分かかる)。冬場、帰宅時暗くなり、危険だと感じる。小・中学校の児童数が多くなり、教室はたりるのか？小学校を2つに分けることはできないのか？
- ・子どもの数が増加している地区で、保育園への入園を断られたり、小学校の入学に向けての新1年生の人数の多さに不安を感じます。森田小学校も2校に分割することはできないのでしょうか。特にバス通学をしなければならない児童がいるのに少々かわいそうだと思っています。
- ・うちの子もだが、発達障害の子が増えている。診断を受けるのも何ヶ月も待ち、療育を受けるのも混んでいて何ヶ月も待たされる。こういった子ども達の施設をもっと増やしてほしい。あと、こういった子どもなので母が働きたくても働けない状況です。知的障害の子の行く支援学校はあっても、発達障害の子ども用の小学校はないので考えてほしい。
- ・全国でも学力、運動能力はトップクラス(トップ?)の数字がでているので、そちらはさらなる向上を期待します。一人一人の才能開花のためのしくみ作り等。

14. その他

- ・福井には陣痛タクシーがないようなので整備して頂けたらと思います。破水していたら断られた話も聞きました。
- ・ミルクや紙おむつ、おしりふきなど必ず使う物の現物支給をしてもらいたいです。産後は買い物も大変だしお金も何かとかかるので、最低限子どもが生きるために必要なものだけでも揃っていると安心して家族生活を送ることができます。
- ・予防接種の問診票がまとめて送られてくるが、4歳くらいで打つものを0歳の時に来ても忘れてしまうので、それは4歳に送ってほしい。
- ・引っ越して間もないのに車に乗らないのがありますが、どこに行くにも車利用前提で考えられているなど強く思います。保健センターのような施設はもう少し交通の便のよいところに作ってほしいです。
- ・歩道の無い道路で、用水路の周辺に柵だけが設けられている所があるのですが、柵の幅が広く、子どもが容易に用水路の中に入れそうな状態になっています。出来れば用水路にフタをして頂けると転落の防止になり安全性が高まると思うので、検討して頂きたいです。
- ・2年前に死産を経験した際に退院後体調、精神的につらいことが多く相談窓口も分からずフォローも少なかったため、今後私のように死産、流産経験者へのフォローがどこかしらであれば、1人でも多くの福井の女性が救われると感じます。
- ・申請などをしたいので、市役所がせめて土曜日の午前中だけでも開いていると助かる。
- ・市や園発行の物の電話番号の全てに市外局番を記載してほしい。県外から転居した時、携帯しか持っていない

かったので、電話をかける時に手間がかかった。

- ・母子手帳について。冊子のサイズを少し大きくしてほしい（字が小さく見にくい、記入しにくい。使いにくい）。デザイン。他県の様なディズニーのデザインや、子供服ブランドのキャラクターのデザインの母子手帳はうらやましい。



第 4 章 調査票



平成30年度

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

就学前児童用

子育て当事者のみなさんの声をぜひお聞かせください

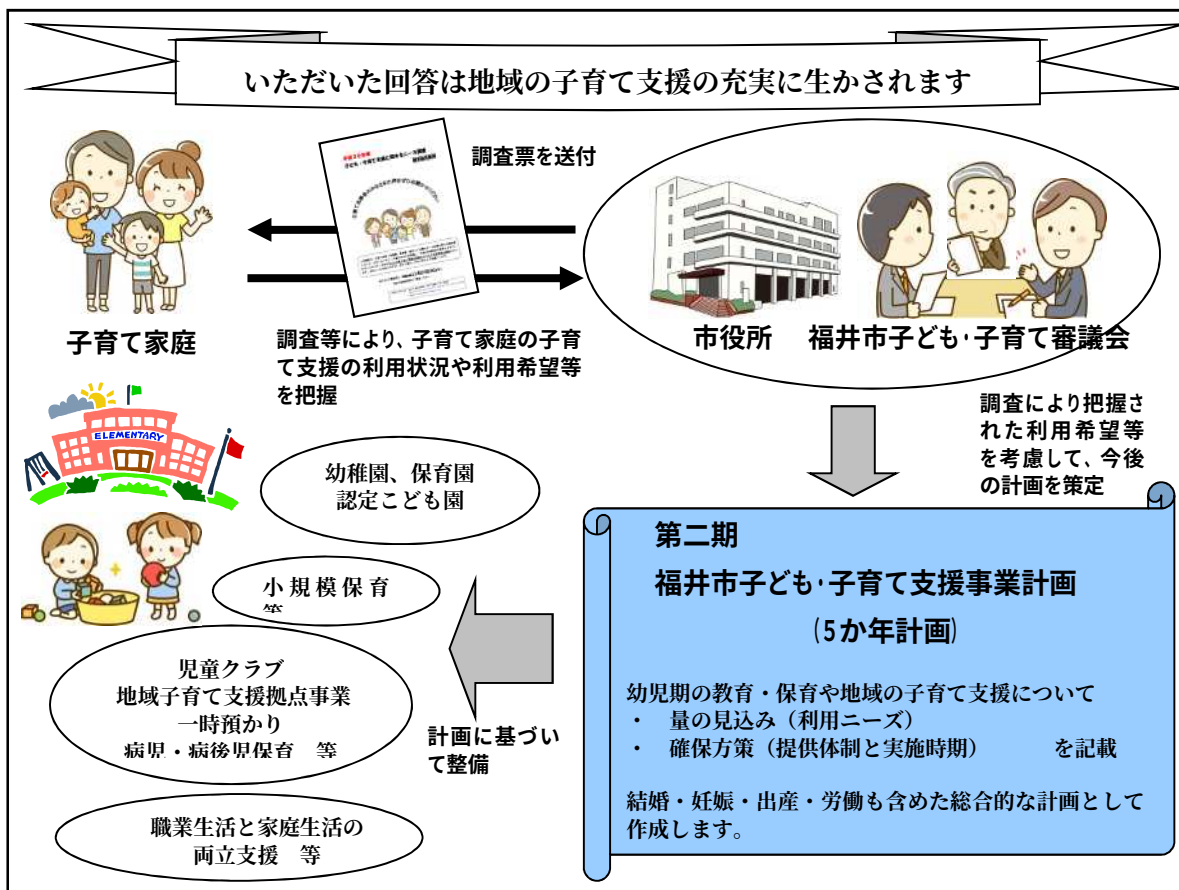


この調査は、子育て施設（幼稚園、保育園、認定こども園など）や各種子育て支援事業について、どのくらいのニーズ量があるかを把握し、今後の計画策定の資料とさせていただきます。本市の子どもを取り巻く環境を整備するうえで大変重要な調査となります。お忙しいとは存じますが、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

記入された調査票は、**平成30年11月27日(火)までに、**

同封の返信用封筒でご返送ください。

【お問い合わせ先】 福井市 福祉保健部 子育て支援室 子育て支援係
TEL: 0776-20-5270 FAX: 0776-20-5490
E-mail: kosodate@city.fukui.lg.jp



【ご記入にあたってのお願い】

1. 当てはまる番号を○で囲んでください。質問によって、回答数が異なりますのでご注意ください。
また、「その他」を選択された場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
2. □内に数字をご記入いただく質問があります。記入方法については以下のようにご記入ください。

例) 平成28年7月生まれ⇒平成 2 8 年 0 7 月生まれ

15日⇒ 0 1 5 日 3時間⇒ 0 3 時間



（用語の定義）この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 教 育：問20までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問21以降においては幼稚園、認定こども園等における幼児期の教育の意味で用いています。
- ・ 地域子育て支援センター：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です。福井市内に12か所あります。（おやこの広場『あ・の・ね』、子育て支援室「赤とんぼ」、ハーツきつず羽水「ひよこるーむ」、ハーツきつず学園「ひよこるーむ」、ハーツきつず志比口「ひよこるーむ」、たんぼぼ広場、ぱんだルーム、ひよこ広場、アオッサ子ども家庭センター子育て支援室、ぴょんぴょんルーム、すくすくキッズ、きのこルーム）

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区の小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 木田	2. 豊	3. 足羽	4. 東安居	5. 湊
6. 春山	7. 順化	8. 宝永	9. 松本	10. 日之出
11. 旭	12. 和田	13. 円山	14. 啓蒙	15. 西藤島
16. 社北	17. 社南	18. 安居	19. 中藤	20. 大安寺
21. 河合	22. 麻生津	23. 国見	24. 岡保	25. 東藤島
26. 殿下	27. 鶉	28. 本郷	29. 棗	30. 鷹巣
31. 長橋	32. 森田	33. 明新	34. 酒生	35. 一乗
36. 上文殊	37. 六条	38. 文殊	39. 東郷	40. 日新
41. 清明	42. 社西	43. 下宇坂	44. 羽生	45. 美山啓明
46. 越廼	47. 清水西	48. 清水東	49. 清水南	50. 清水北

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月と保護者の方の年齢をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

子：平成□□年□□月生まれ	母親：□□歳	父親：□□歳 (H30.4.1 現在)
---------------	--------	---------------------

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 □人	末子の生年月 平成□□年□□月生まれ
-----------	--------------------

問4 宛名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内に行き来できる範囲)の状況について、当てはまるものすべてに○をつけてください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父同居	2. 母同居	3. 祖父同居	4. 祖母同居
5. 祖父近居	6. 祖母近居	7. その他 ()	

問5 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()
----------	---------	---------	----------	------------

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|--------|--------|--------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父母 | 4. 幼稚園 | 5. 保育園 |
| 6. 認定こども園 | 7. その他 () | | | |

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響が大きいと思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育園 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他 () | | | | |

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問11-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問12へ |
|-------------------|------------------|

問11-1 問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関してあなたが気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援センター | 6. 児童館 |
| 7. 保健所・保健センター | 8. 幼稚園、保育園、認定こども園 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 市の子育て担当窓口 | |
| 12. その他 () | |

問12 すべての方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)について相談したいときに、どの方法が最も相談しやすいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 電話相談 | 2. メール相談 | 3. 直接相談(直接話す) |
| 4. その他 () | | |

【出産経験のある方にうかがいます】 ⇒ 該当しない方は問14へ（P5）

問13 あなたは、妊娠中や産後に不安や負担を感じましたか、又は感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. とても感じた、又はとても感じている	⇒ 問13-1へ
2. 時々感じた、又は時々感じている	
3. あまり感じなかった、又はあまり感じていない	
4. まったく感じなかった、又は全く感じていない	⇒ 問14へ（P5）
5. わからない	

問13-1 問13で「1. とても感じた、又はとても感じている」、「2. 時々感じた、又は時々感じている」に○をつけた方にうかがいます。最も不安や負担を感じた、又は感じている時期はいつですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 妊娠中	⇒ 問13-2へ
2. 出産直後（入院中）	
3. 出産後（退院後～1か月）	
4. 出産後2か月～4か月頃	⇒ 問13-3へ
5. 出産後5か月～12か月頃	
6. 出産後1年～	
7. わからない	
8. その他（	）

問13-2 問13-1で「1. 妊娠中」に○をつけた方にうかがいます。不安や負担を感じた内容についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊娠中の自身の身体面（つわり、貧血など）	2. 妊娠中の自身の精神面（落ち込むなど）
3. 出産時の痛みやトラブルに対する不安	4. 出産後の不安
5. 妊娠中の子どもの発育	
6. その他（	）

問13-3 問13-1で「2. ～6.」（出産直後、出産後）に○をつけた方にうかがいます。不安や負担を感じた内容についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 出産や育児による疲労感	2. 身体面のトラブル（乳房や腰痛など）
3. 十分な睡眠がとれない	4. イライラしたり落ち込んだりする
5. 自分の時間がもてない	6. 子育てに自信がもてない
7. 子どもの育て方、接し方がわからない	8. 子どもが泣き止まない
9. 子どもの健康面	10. 相談する人がいない
11. 育児の協力者が足りない	12. 経済的な不安
13. その他（	）

問 1 4 お子さんの発達(ことばや行動)で気になるところ(気になっていたところ)はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 気になるところがあり、相談した ⇒ 問 1 4 - 1 へ |
| 2. 気になるところはあったが、相談しなかった ⇒ 問 1 4 - 2 へ |
| 3. 気になるところはなかった ⇒ 問 1 5 へ |

問 1 4 - 1 問14で「1. 気になるところがあり、相談した」に○をつけた方にうかがいます。あなたは誰(どこ)に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 子育て支援センター |
| 5. 児童館 | 6. 保健所・保健センター |
| 7. 幼稚園、保育園、認定こども園 | 8. 医療機関 |
| 9. 市の子育て担当窓口 | 10. その他 () |

⇒ 問 1 5 へ

問 1 4 - 2 問14で「2. 気になるところはあったが、相談しなかった」に○をつけた方にうかがいます。相談しなかったのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 相談する人がいなかった | 2. 相談する場がなかった(場を知らなかった) |
| 3. 相談する気持ちになれなかった | 4. しばらく様子をみようと思った |
| 5. その他 () | |

問 1 5 宛名のお子さんのいる家庭で、過去1年間、以下の①～⑥の手当や援助などを受けたことがありますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 受けている(受けたことがある)
2. 受けたいと思うが、受ける手続き(相談)をしていない
3. 受ける手続き(相談)をしたが、受けられなかった
4. 受ける必要がない、対象ではない
5. 制度そのものを知らない

①児童扶養手当 ※ 1	1	2	3	4	5
②雇用保険(失業給付)	1	2	3	4	5
③親・親族からの仕送り、又は離婚後の配偶者からの養育費	1	2	3	4	5
④公的年金(老齢年金、遺族年金、障害年金)	1	2	3	4	5
⑤生活保護	1	2	3	4	5
⑥(就学しているお子さんがいる場合)就学援助・高校授業料免除・奨学金 ※ 2	1	2	3	4	5

- ※ 1 児童扶養手当…ひとり親世帯等で18歳までの児童を養育している方に支給される手当
 ※ 2 就学援助・高校授業料免除・奨学金…日本学生支援機構やあしなが育英会などによる高校以上の学校に通うために貸与される奨学金

問 16 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 貯蓄をしている 2. 貯蓄をしたいが、できていない 3. 貯蓄をするつもりはない

問 17 あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. ゆとりがある

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母 親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|---------|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労している
が、産休・育休・介護休業中である | ⇒(1)-1へ |
| 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒(2)へ |
| 6. これまで就労したことがない | (P7) |

(1) - 1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(休憩時間を除く、残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(1) - 2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

(例) 7時～7時29分の場合 ⇒ 07時と回答してください。

7時30分～8時の場合 ⇒ 08時と回答してください。

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

(2) 父 親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	⇒(2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒問20へ
6. これまで就労したことがない	(P8)

(2) - 1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間を除く、残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間
-------	---	---	-------	---	---	----

(2) - 2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

(例) 7時～7時29分の場合 ⇒ 07時と回答してください。

7時30分～8時の場合 ⇒ 08時と回答してください。

家を出る時刻	□	□	時	帰宅時刻	□	□	時
--------	---	---	---	------	---	---	---



問19 問18の(1)または(2)で、「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問20へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問20 問18の(1)または(2)で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→ 希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→ 1週当たり□日 1日当たり□□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→ 希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→ 1週当たり□日 1日当たり□□時間

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園、認定こども園など、間21-1に示した事業が含まれます。

問21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園、認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問21-1へ 2. 利用していない ⇒ 問21-5へ (P10)

問21-1 問21-1～問21-4は、問21で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
5. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
6. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
7. その他の認可外の保育施設（託児所等）
8. その他（

問 2 1-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず
（例）08時～18時のように24時間制でお答えください。

(1) 現在

1週当たり 日

1日当たり 時間 (時 ~ 時)

(2) 希望

1 週当たり 日

1日当たり 時間 (時～ 時)

問 2 1 - 3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族等を介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問 2 1－4 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、以下の項目ごとに満足度として当てはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	満足度が低い ←————→ 満足度が高い				
教育・保育の内容	1	2	3	4	5
幼稚園教諭、保育士等の対応	1	2	3	4	5
施設の設備	1	2	3	4	5
利用者負担額（保育料）	1	2	3	4	5
危機管理対応（感染症、防災、防犯対策）	1	2	3	4	5

⇒ 問 2 2 へ

問 2 1－5 問 2 1で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1.（子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（）

問 2 2 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの（保育従事者や給食の要件は認可保育園と異なる））
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設（託児所等）
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（センターに登録した会員間で子どもの預かり等の相互援助を行う事業、報酬は会員相互で決定）
12. その他（）

※ 5. 6. 8. 11は、現在福井市では実施しておりません。

問 2 2 - 1 問 2 2 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～12.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2 3 すべての方にうかがいます。認可保育園または認定こども園について、公立と私立のイメージとして以下の項目ごとに当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

教育・保育の内容	1. 公立がよい 2. 私立がよい 3. どちらともいえない 4. わからない
保育教諭・保育士等の対応	1. 公立がよい 2. 私立がよい 3. どちらともいえない 4. わからない
施設の設備	1. 公立がよい 2. 私立がよい 3. どちらともいえない 4. わからない
危機管理対応 （感染症、防災、 防犯対策）	1. 公立がよい 2. 私立がよい 3. どちらともいえない 4. わからない

問 2 4 すべての方にうかがいます。平成 31 年 10 月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定です。無償化が実施された場合、0 歳～2 歳については非課税世帯の子どもに限り保育園、認定こども園の利用が無料になる予定です。その場合に、お子さんを何歳から保育園等に預けたいですか。

また、今後 0 歳～2 歳までのお子さんの保育料がすべて無償化された場合はお子さんを何歳から保育園等に預けたいと思いますか。

それぞれの場合で預けたいお子さんの年齢をそれぞれの□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。※お子さんが 0～2 歳に当てはまらない方も、仮定で構いませんのでお答えください。

現在の保育料の場合	非課税世帯の子どものみが 無償の場合	全ての子どもが無償の場合
歳から預けたい	歳から預けたい	歳から預けたい

問 2 5 お子さんの現在の保育状況についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 幼稚園、保育園、認定こども園	⇒ 問 2 6 へ
2. 認可外保育施設（企業主導型保育、勤務先の保育施設、ベビーシッター等を含む）	⇒ 問 2 5 - 1 へ
3. 家庭での保育（親族等を含む）	



問25-1 問25で「2. 認可外保育施設」または「3. 家庭での保育」に○をつけ、かつ、現在0～4歳のお子さんをもつ保護者の方にうかがいます。幼児教育・保育の無償化が実施された場合、3歳～5歳については幼稚園、保育園、認定こども園の利用が無料になる予定です。その場合に、3～5歳の各時点で希望する幼児教育・保育について当てはまる番号をそれぞれ1つに○をつけてください。

なお、保育の必要性の認定(※)を受けていないお子さんについては、無料で利用できるのは「1. 幼稚園(認定こども園の幼稚園としての利用を含む)」のみで、原則として「3. 保育園(認定こども園の保育園としての利用を含む)」の利用はできません。

※保育の必要性の認定…保護者が、就労、妊娠・出産、疾病、介護、求職中、就学、育児休業中などの事由のいずれかに該当し、保育の必要性があると市が認定すること。

3歳の時点	1. 幼稚園(認定こども園の幼稚園としての利用を含む)(例: 9時～14時) 2. 1. + 預かり保育等(例: 1. + 14～18時) 3. 保育園(認定こども園の保育園としての利用を含む)(例: 7時～18時) 4. 認可外保育施設等(企業主導型保育、勤務先の保育施設、ベビーシッター等を含む) 5. 家庭での保育(親族等を含む)
4歳の時点	1. 幼稚園(認定こども園の幼稚園としての利用を含む)(例: 9時～14時) 2. 1. + 預かり保育等(例: 1. + 14～18時) 3. 保育園(認定こども園の保育園としての利用を含む)(例: 7時～18時) 4. 認可外保育施設等(企業主導型保育、勤務先の保育施設、ベビーシッター等を含む) 5. 家庭での保育(親族等を含む)
5歳の時点	1. 幼稚園(認定こども園の幼稚園としての利用を含む)(例: 9時～14時) 2. 1. + 預かり保育等(例: 1. + 14～18時) 3. 保育園(認定こども園の保育園としての利用を含む)(例: 7時～18時) 4. 認可外保育施設等(企業主導型保育、勤務先の保育施設、ベビーシッター等を含む) 5. 家庭での保育(親族等を含む)

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問26 宛名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場 P1参照)を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 利用している	⇒ 1週当たり □ 回
	もしくは 1か月当たり □ 回程度 ⇒ 問26-1へ
2. 利用していない	⇒ 問26-2へ

問26-1 問26で、「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。「地域子育て支援センター」を利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|----------------|---------------|
| 1. 気軽に子育て相談ができる | 2. 子どもに友だちができる | 3. 雨の日の遊び場になる |
| 4. ママ友、パパ友ができる | 5. 好きな時間に利用できる | 6. 利用が無料 |
| 7. 楽しめるイベントが多い（わらべうたや読み聞かせ、ベビーヨガ等） | 8. 職員の方が優しい | |
| 9. 子育てマイスターによる子育て講座がある（成長・発達、離乳食等） | | |
| 10. その他（ | | ） |

問26-2 問26で、「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。「地域子育て支援センター」を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|--------------|----------------|
| 1. 移動手段がない・遠い | 2. 利用する時間がない | 3. 利用するのに抵抗がある |
| 4. 土曜・休日に利用したいが開所していない | 5. 内容がわからない | |
| 6. 利用する必要がない | | |
| 7. その他（ | | ） |

問26-3 すべての方にうかがいます。地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 利用していないが今後利用したい |
| 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度 |
| 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい |
| 1週当たり更に □ 回 もしくは 1か月当たり更に □ 回程度 |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない |

問27 すみずみ子育てサポート事業※ を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※ すみずみ子育てサポート事業 … 就学前児童（児童クラブを利用できない場合は小学3年生まで）を対象に、一時保育、保育園等への送迎、子育て家庭における生活支援を行う事業。料金は施設により異なり1時間当たり700円～1,500円（市から一部補助あり）。利用時間の上限は、1施設につき月70時間以内。

- | | | |
|------------|-------------------|----------|
| 1. 利用している | ⇒ 1週当たり □ 回 | |
| | もしくは 1か月当たり □ 回程度 | ⇒ 問27-1へ |
| 2. 利用していない | ⇒ 問27-2へ | |

問27-1 問27で、「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。すみずみ子育てサポート事業を利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|---------------|----------|
| 1. 仕事 | 2. 就職活動 | 3. 学校等の公的行事参加 | 4. 疾病・通院 |
| 5. 買物等私用 | 6. 習い事、趣味 | 7. リフレッシュ・休養 | |
| 8. その他（ | | | ） |

問27-2 問27で、「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。すみずみ子育てサポート事業を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 移動手段がない・遠い 2. 利用するのに抵抗がある 3. 内容がわからない
4. 利用する必要がある 5. その他 ()

問27-3 すべての方にうかがいます。すみずみ子育てサポート事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 利用していないが今後利用したい
1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり更に □ 回 もしくは 1か月当たり更に □ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問28 下記の①～⑧の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい	D 利用しない理由 (問28-1から選択)
①保健センターで開催している健康相談、相談会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
②公民館などの家庭教育・子育て支援に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
③幼稚園や保育園、認定こども園の園開放、園庭開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
④児童館の子育てひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑤保育園、認定こども園の一時預かり	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑥子育ての相談窓口(福井市子育て支援室、子ども福祉課、アオッサ子ども家庭センターなど)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑦福井市結婚・子育て応援サイト「はぐくむ.net」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑧福井市結婚・子育てガイド「はぐくむ book」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	

問28-1 問28の①～⑧の事業で、「C 今後利用したい」の「いいえ」に○をつけた方にうかがいます。利用しない理由は何ですか。当てはまる番号すべてを下記から選択し、「D 利用しない理由」のそれぞれの欄に番号を記入してください。

1. 移動手段がない・遠い 2. 利用する時間がない 3. 利用するのに抵抗がある
4. 過去に利用し、良いと思わなかった 5. 興味・関心がない 6. 使い方が難しそう
7. 入手方法がわからない 8. 内容がわからない 9. 利用する必要がある
10. その他 ()

7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問29 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合には、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でお答えください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない	}	⇒ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない	}	⇒ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問29-1 問29の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他（ ）	

問30 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でお答えください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	}	⇒ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		

問30-1 問30で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他（ ）	

問3 1-3 問3 1-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよい | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（ | ） |

⇒ 問3 1-1で「ウ.」～「ケ.」に○をつけた方は問3 1-4へ、それ以外の方は問3 2へ

問3 1-4 問3 1-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、その対処方法を選択した理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------|
| 1. 看護休暇の制度がない |
| 2. 自営業なので休めない |
| 3. 仕事の都合上休めない |
| 4. 休暇日数が足りないので休めない |
| 5. その他（ |
| ） |



ここまでご回答いただきありがとうございます。
一息ついていただいてから、引き続き、残りのご回答もよろしくお願いいたします。

休憩タイム♪



9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問3-2 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

利用している事業・日数（年間）	
１．一時預かり （私用など理由を問わずに保育園・認定こども園で一時的に子どもを保育する事業）	日
２．幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
３．すみずみ子育てサポート事業 （施設や子育て家庭において一時的に子どもを預かる事業）	日
４．ショートステイ・トワイライトステイ （児童養護施設等で子どもを預かる事業）	日
５．ベビーシッター	日
６．その他【例】託児所、障害者福祉サービスの短期入所など （ ）	日
７．利用していない	

⇒問３３へ（P１９）

⇒問３２－１へ

問32-1 問32で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない ３．事業の質に不安がある ５．利用料がかかる・高い ７．自分が事業の対象者になるのかどうか わからない ９．その他（ ）	２．利用したい事業が地域にない ４．事業の利便性（立地や利用可能時間・日数 など）がよくない ６．利用料がわからない ８．事業の利用方法（手続き等など）がわから ない
--	--

問 3 3 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	理由	日数
1. 利用したい	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□ □ 日
	ウ. 不定期の就労	□ □ 日
	エ. その他（ ）	□ □ 日
2. 利用する必要はない		

問 3 4 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	宿泊数
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	□ □ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□ □ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	□ □ 泊
	カ. その他（ ）	□ □ 泊
2. なかった		

10. 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒5歳未満の方は、問38へ（P22）

問35 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 放課後児童会・児童クラブ ※1	週 日くらい ⇒ 下校時から 時まで
5. 放課後子ども教室 ※2	週 日くらい
6. 児童館（放課後児童会としての利用者を除く）※3	週 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター事業 ※4	週 日くらい
8. その他（ ）	週 日くらい

※1 放課後児童会・児童クラブ（学童保育）… 放課後、保護者が就労等により家庭にいない児童（放課後留守家庭児童）に、生活の場を提供する事業です。福井市では、児童館内で実施するものを放課後児童会、児童館以外の場所で実施するものを児童クラブと呼んでいます。利用にあたっては、事前の登録が必要であり、一定の利用料金がかかります。

※2 放課後子ども教室 … 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に公民館などでスポーツ・文化芸術活動などを学ぶ取組です。保護者の就労の制限はありません。参加費については、教室の内容によって異なります。

※3 児童館 … 0～18歳未満の児童に、遊びの場を提供し、健全な育成を図ることを目的とした児童厚生施設です。基本的に無料で利用することができます。

※4 ファミリー・サポート・センター … センターに登録した会員間で子どもの預かりなどの相互援助を行う事業です。報酬は会員相互で決定します。現在福井市では実施していません。



問36 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 日くらい
4. 放課後児童会・児童クラブ	週 日くらい ⇒ 下校時から 時まで
5. 放課後子ども教室	週 日くらい
6. 児童館(放課後児童会としての利用者を除く)	週 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター事業	週 日くらい
8. その他(公園など)	週 日くらい

問37 問35または問36で「4. 放課後児童会・児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜・休日・長期休暇中での放課後児童会等の利用時期や利用時間の希望はありますか。(1)～(3)について、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、内に(例)09時～18時のように24時間制でお答えください(数字は一桁に一字)。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

母親、父親それぞれについて当てはまる設問に回答してください。まず、母親についてP22～25まで回答し、次に父親についてP22～25まで回答してください。

問38 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」と回答した方はその理由に当てはまる番号すべてに○をしてください。

母 親	父 親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
⇒取得していない理由（当てはまる番号すべてに○）	⇒取得していない理由（当てはまる番号すべてに○）
(1)職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	(1)職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
(2)仕事が忙しかった	(2)仕事が忙しかった
(3)産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）後に仕事に早く復帰したかった	
(4)仕事に戻るのが難しそうだった	(4)仕事に戻るのが難しそうだった
(5)昇給・昇格などが遅れそうだった	(5)昇給・昇格などが遅れそうだった
(6)収入減となり、経済的に苦しくなる	(6)収入減となり、経済的に苦しくなる
(7)保育園などに預けることができた	(7)保育園などに預けることができた
(8)配偶者が育児休業制度を取得した	(8)配偶者が育児休業制度を取得した
(9)配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、育児休業を利用する必要がなかった	(9)配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、育児休業を利用する必要がなかった
(10)子育てや家事に専念するため退職した	(10)子育てや家事に専念するため退職した
(11)有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	(11)有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
(12)育児休業を取得できるのを知らなかった	(12)育児休業を取得できるのを知らなかった
(13)産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	
(14)その他 〔 〕	(14)その他 〔 〕

⇒ 問40へ(P26)

⇒ 問39へ(P23)

⇒ 問40へ(P26)

※育児休業…ここでのいう育児休業とは、産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）取得後、子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳）になるまで取得できる休業のこと。

問38で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒該当しない方は、問40へ(P26)

問39 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母 親	父 親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

⇒ 問39-1へ
⇒ 問39-7へ(P25)
⇒ 問40へ(P26)

問39で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問39-1 育児休業から職場に復帰したタイミングはいつでしたか。次のうちどちらか1つに○をつけてください。

(育児休業取得後、復帰した) 母 親	(育児休業取得後、復帰した) 父 親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった※	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった※
2. それ以外だった	2. それ以外だった

※ 年度初めでの認可保育園、認定こども園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

問39-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(育児休業取得後、復帰した) 母 親	(育児休業取得後、復帰した) 父 親
実際 □ 歳 □ □ か月	実際 □ 歳 □ □ か月
希望 □ 歳 □ □ か月	希望 □ 歳 □ □ か月

問39-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

母 親	父 親
□ 歳 □ □ か月	□ 歳 □ □ か月



問39-2で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。⇒実際と希望が同じ方は、問39-5へ(P25)

問39-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください

(育児休業取得後、復帰した) 母 親	(育児休業取得後、復帰した) 父 親
1. 希望する保育園に入るため	1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. 職場の育児休業制度の利用期間を超えるため	5. 職場の育児休業制度の利用期間を超えるため
6. 職場の受入態勢が整っていて復帰が可能であったため	6. 職場の受入態勢が整っていて復帰が可能であったため
7. 保育園等への途中入園を考えていたが、途中入園が難しいと判断したため	7. 保育園等への途中入園を考えていたが、途中入園が難しいと判断したため
8. 職場復帰した際に、業務についていけるか不安だったため	8. 職場復帰した際に、業務についていけるか不安だったため
9. 人手不足により、職場から早期復帰を求められたため	9. 人手不足により、職場から早期復帰を求められたため
10. 職場の雰囲気、長期休暇を認めないものだったため	10. 職場の雰囲気、長期休暇を認めないものだったため
11. その他 〔 〕	11. その他 〔 〕

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください

(育児休業取得後、復帰した) 母 親	(育児休業取得後、復帰した) 父 親
1. 希望する保育園に入れなかったため	1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ体制が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ体制が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため	5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他 〔 〕	6. その他 〔 〕

問 3 9 - 5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度※ を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(育児休業取得後、復帰した) 母 親	(育児休業取得後、復帰した) 父 親	
1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	⇒ 問 4 0 へ (P 2 6)
2. 利用した	2. 利用した	
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	⇒ 問 3 9 - 6 へ

※ 短時間勤務制度 …… 働き続けながら子育てを行う労働者が子育てのための時間を確保できるようにするため、勤務時間を短縮する制度

問 3 9 - 5 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 3 9 - 6 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(育児休業取得後、復帰した) 母 親	(育児休業取得後、復帰した) 父 親
1. 職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他 ()	9. その他 ()

⇒ 問 4 0 へ
(P 2 6)

問 3 9 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 3 9 - 7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等の預かり先があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預かり先があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(現在も育児休業中の) 母 親	(現在も育児休業中の) 父 親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい
3. 既に1歳を超えて育児休業を取得している	3. 既に1歳を超えて育児休業を取得している

[すべての方にうかがいます]

問 4 0 子どもが原則1歳(保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 4 1 仕事と子育てを両立するためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1. 保育園や放課後児童会、児童クラブなどの充実
- 2. 配偶者の家事・育児への参加
- 3. 配偶者以外の家族(祖父母や兄弟、地域など)による支援
- 4. 家事の省力化や、外部サービス※の利用などによる家事負担の軽減
- 5. 育児休業制度の充実
- 6. 完全週休二日制の定着や労働時間の短縮の推進
- 7. 子の看護休暇等、弾力的な休暇制度の運用
- 8. フレックスタイム制や自宅での就労など、多様な働き方の推進
- 9. 短時間勤務等出産・子育て期における弾力的な就業時間の推進
- 10. 出産や育児による退職後の再雇用制度、再就職支援の充実
- 11. 昇進や昇給などでの男女平等の推進
- 12. 事業所内保育施設等の充実
- 13. その他()

※ 外部サービス …… ここでいう外部サービスとは、食事づくり、掃除、洗濯、育児などを代わって行うサービス業のこと。

12. 子育てに関して感じることをうかがいます。

問42 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いですか、それともつらいと感じることが多いですか。もっとも近いもの1つに○をつけてください。

- 1. 楽しいと感じることの方が多い
- 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
- 3. つらいと感じることの方が多い
- 4. わからない
- 5. その他 ()

問43 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問44 あなたは、子育てについてどのような方法で情報を得たいですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 市役所や保健センター等の窓口 | 2. 冊子 |
| 3. ホームページや子育てサイト等の Web サイト | 4. スマートフォンや携帯電話のアプリ |
| 5. その他 () | |



問 4 5 あなたは、子育てにはどのような支援、施策が重要だと思いますか。当てはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

1. 安全な妊娠・出産の支援と負担の軽減
2. 親子の健康の確保及び増進
3. 保育園・認定こども園等や放課後児童会・児童クラブの受け皿の確保と質の向上
4. 虐待などの不適切な養育を受けている児童に対する支援
5. 障がいや発達の遅れ、ひとり親等、特別な支援が必要な子どもへの配慮
6. 子どもの学力向上、心の育成など生きる力の育成に向けた教育環境の整備
7. 安全・安心な生活環境の整備
8. 一時預かり保育等子育て支援の充実
9. 子育てにかかる経済的負担の軽減
10. 家庭における教育力の向上
11. 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備
12. 地域における子育て支援体制の整備
13. 子育て関連情報の一元的な提供
14. わからない
15. その他 ()

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れ、切手は貼らずにご投函ください。



福井市 子ども子育て支援に関するニーズ調査報告書

発行日 平成31年3月

発行者 福井市 子育て支援室

住 所 〒910-8511

福井県福井市大手3丁目10番1号

T E L (0776) 20-5270
